

高齢者実態調査結果報告書

令和5年7月

山形県 山形市

目 次

序章 調査の実施概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の内容	4
(1) 高齢者の健康と生活状況調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	4
(2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)	4
3 電算処理および分析に関する注意事項について	5
(1) 電算処理	5
(2) 報告書の記載方法	5
4 調査票の配布と回収状況について	6
(1) 有効回答者数と回収率	6
(2) 有効回答者の性別・年齢階級別の状況	8
第1章 高齢者像等の判定結果	19
1 “高齢者像” からみた地域分析	20
2 リスク別該当者の分析	22
(1) 各リスク別該当者出現率	22
(2) リスク別該当者の性別年齢階級別出現率	23
(3) IADL低下該当者出現率	26
(4) 知的能動性低下該当者出現率	26
第2章 集計結果に基づくビジョンに関連した分析結果	29
1 一般高齢者等のビジョンに関連した分析	31
(1) 社会参加	31
(2) 介護予防、生活支援	41
2 要介護者等のビジョンに関連した分析	66
(1) 「本人」の在宅生活の継続性の確保	66
(2) 家族等「介護者」の就労継続	72
(3) 「サービス提供体制」の確保	75

第3章 地区分析	81
第一圏域（なでしこ）	82
1 「出羽地区」	82
2 「大郷地区」	86
3 「明治地区」	90
4 「千歳地区」	94
第二圏域（大森）	98
1 「楯山地区」	98
2 「高瀬地区」	102
3 「山寺地区」	106
第三圏域（敬寿会）	110
1 「鈴川地区」	110
第四圏域（たきやま）	114
1 「滝山地区」	114
第五圏域（ふれあい）	118
1 「第六地区」	118
第六圏域（山形西部）	122
1 「南山形地区」	122
2 「本沢地区」	126
3 「大曽根地区」	130
4 「西山形地区」	134
5 「村木沢地区」	138
第七圏域（さくら）	142
1 「第一地区」	142
2 「第二地区」	146
第八圏域（かがやき）	150
1 「第三地区」	150
2 「第四地区」	154
3 「第九地区」	158
第九圏域（霞城北部）	162
1 「第七地区」	162
第十圏域（霞城西部）	166
1 「第十地区」	166
2 「飯塚地区」	170
3 「榎沢地区」	174

第十一圏域（蔵王）	178
1 「蔵王地区」	178
第十二圏域（愛らんど）	182
1 「第五地区」	182
2 「第八地区」	186
3 「東沢地区」	190
第十三圏域（南沼原）	194
1 「南沼原地区」	194
第十四圏域（金井）	198
1 「金井地区」	198

第4章 高齢者の健康と生活状況調査結果

（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果）	205
1 あなたのご家族や生活状況について	205
（1）家族構成及び日中独居者の状況	205
（2）日常生活における介護（介助）者の有無	206
（3）現在の経済状況	208
（4）現在の住居環境	208
2 からだを動かすことについて	209
（1）運動機能の状況	209
（2）外出の状況	211
3 食べることについて	217
（1）現在の肥満（BMI）状況	217
（2）歯・口腔の状況	218
（3）食事の状況	221
（4）毎日の食事で行っていること	222
4 毎日の生活について	223
（1）IADL（手段的自立度）の状況	223
（2）社会参加（知的能動性）の状況	228
（3）社会参加（社会的役割）の状況	230
（4）生きがいについて	232
（5）物忘れの状況	233
（6）その他の生活状況	235
5 地域での活動について	240
（1）グループ活動等の状況	240
（2）地域づくりに対する参加意向	243

6	たすけあいについて	246
	(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手	246
	(2) 友人・知人との交流状況	248
7	健康について	250
	(1) 健康状態	250
	(2) こころの健康状態	251
	(3) 疾病と喫煙や飲酒の関係	252
8	認知症にかかる相談窓口の把握について	254
9	介護が必要になった場合の生活等について	255
10	もしものときの話し合いについて	258
11	その他	261

第5章 高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果

	(在宅介護実態調査結果)	265
1	ご本人(要介護者)の状況について	265
	(1) 要介護者の介護度	265
	(2) 要介護者の世帯状況	265
	(3) 家族・親族から介護してもらう頻度	266
2	主な介護者等の状況(属性等)について	268
	(1) 主な介護者の状況	268
	(2) 主な介護者の介護実態	269
	(3) 家族・親族が介護のために離職した状況	271
3	支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて	274
	(1) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス	274
	(2) 訪問診療の利用状況	279
	(3) 介護保険サービスの利用状況	280
4	主な介護者の就労状況について	281
	(1) 主な介護者の勤務形態	281
	(2) 就労実態と意向	281
5	介護生活を続ける際の不安や困りごと	283
	(1) 主な介護者が不安に感じる介護等の内容	283
6	もしものときの話し合いについて	286

資料編	293
-----	-------	-----

1	電算処理の判定条件等	293
2	アンケート調査票	297
	(1) 高齢者の健康と生活状況調査	
	(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	297
	(2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)	317

序章

調査の実施概要

序章 調査の実施概要

1 調査の目的

「高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）」については、「65歳以上の一般高齢者」「介護予防・日常生活支援総合事業対象者（以下、「事業対象者」という。）」

「要支援1・2認定者」を対象に、からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査し、要介護状態となる前のリスクや社会参加状況等を把握することで地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定するとともに、「一般介護予防事業評価事業」の実施のため、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用することを目的とします。

また「高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）」については、「要支援1・2認定者」「要介護1～5認定者」とその家族を対象に、要介護認定者の在宅生活の継続や介護者の就労継続に有効な介護サービスのあり方の検討に活用することを目的とします。

以上の国が設定した調査目的のほか、本市は「山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）」を「ビジョン達成型」の計画として策定することから、ビジョンの達成に向けた取組の検討、その取組の効果を自然体推計の見込量に反映させて修正を行うための「サービス提供体制の構築方針」の検討に活用することを目的とします。

2 調査の内容

(1) 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

調査対象者	令和5年1月5日現在、市内に居住する65歳以上の一般高齢者、事業対象者、要支援1・2認定者より層化無作為抽出	14,000人
調査方法	令和5年2月21日～3月20日、郵送による配布・回収	
調査票の設計	設問の内訳	
	1 あなたのご家族や生活状況について	7 設問
	2 からだを動かすことについて	10 設問
	3 食べることについて	11 設問
	4 毎日の生活について	35 設問
	5 地域での活動について	8 設問
	6 たすけあいについて	8 設問
	7 健康について	7 設問
	8 認知症にかかる相談窓口の把握について	3 設問
	9 介護が必要になった場合の生活等について	4 設問
	10 もしものときの話し合いについて	4 設問
	11 その他	2 設問
	設問数合計	99 設問

※調査票は資料編に掲載しています。

(2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

調査対象者	令和5年1月5日現在、市内に居住する65歳以上の要介護・要支援認定者より層化無作為抽出	8,167人
調査方法	令和5年2月28日～3月27日、郵送による配布・回収	
調査票の設計	設問の内訳	
	I ご本人（要介護者）の状況について	2 設問
	II 主な介護者等の状況（属性等）について	8 設問
	III 支援・サービス・診療訪問の利用状況・ニーズについて	8 設問
	IV 主な介護者の就労状況について	4 設問
	V 介護生活を続ける際の不安や困りごと	2 設問
	VI もしものときの話し合いについて	4 設問
	VII その他	1 設問
	設問数合計	29 設問

※調査票は資料編に掲載しています。

3 電算処理および分析に関する注意事項について

(1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能低下リスク、うつ傾向リスク等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

(2) 報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、各種テーマごとに関連する設問を集約し、分析を行っているために調査票の設問番号順の記載になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳ずつの年齢階級で記載していない場合や、回答結果に見られる実態が年齢ではなく病気や障害等に起因することが多い要支援者については記載していない場合があります。

報告書で使用している用語について、「一般高齢者」は事業対象者・要支援認定者・要介護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。また、要支援認定者は「要支援者」、要介護認定者は「要介護者」として略称を用いています。

4 調査票の配布と回収状況について

(1) 有効回答者数と回収率

本調査の回収状況は以下のとおりです。

表 0.1 調査別回答状況

	高齢者の健康と生活状況調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)			高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)		
	配布数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)	配布数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)
市全域	14,000	9,453	67.5	8,167	4,046	49.5
第一圏域	1,837	1,245	67.8	815	435	53.4
出羽地区	480	318	66.3	247	129	52.2
大郷地区	469	331	70.6	173	89	51.4
明治地区	376	258	68.6	60	35	58.3
千歳地区	512	338	66.0	335	182	54.3
第二圏域	1,283	876	68.3	331	174	52.6
楯山地区	514	353	68.7	180	95	52.8
高瀬地区	477	329	69.0	109	56	51.4
山寺地区	292	194	66.4	42	23	54.8
第三圏域	566	397	70.1	719	334	46.5
鈴川地区	566	397	70.1	719	334	46.5
第四圏域	510	348	68.2	704	340	48.3
滝山地区	510	348	68.2	704	340	48.3
第五圏域	550	368	66.9	530	253	47.7
第六地区	550	368	66.9	530	253	47.7
第六圏域	1,986	1,358	68.4	476	257	54.0
南山形地区	577	390	67.6	221	122	55.2
本沢地区	402	275	68.4	91	51	56.0
大曾根地区	286	195	68.2	32	18	56.3
西山形地区	373	253	67.8	71	39	54.9
村木沢地区	348	245	70.4	61	27	44.3
第七圏域	1,015	661	65.1	585	275	47.0
第一地区	477	309	64.8	203	91	44.8
第二地区	538	352	65.4	382	184	48.2

	高齢者の健康と生活状況調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)			高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)		
	配布数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)	配布数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)
市全域	14,000	9,453	67.5	8,167	4,046	49.5
第八圏域	1,418	924	65.2	732	353	48.2
第三地区	490	330	67.3	336	173	51.5
第四地区	466	307	65.9	255	114	44.7
第九地区	462	287	62.1	141	66	46.8
第九圏域	563	384	68.2	546	259	47.4
第七地区	563	384	68.2	546	259	47.4
第十圏域	1,269	859	67.7	548	250	45.6
第十地区	490	316	64.5	380	162	42.6
飯塚地区	407	290	71.3	111	57	51.4
榎沢地区	372	253	68.0	57	31	54.4
第十一圏域	541	363	67.1	567	301	53.1
蔵王地区	541	363	67.1	567	301	53.1
第十二圏域	1,413	967	68.4	639	315	49.3
第五地区	468	317	67.7	264	124	47.0
第八地区	508	335	65.9	244	117	48.0
東沢地区	437	315	72.1	131	74	56.5
第十三圏域	531	333	62.7	502	254	50.6
南沼原地区	531	333	62.7	502	254	50.6
第十四圏域	518	370	71.4	473	246	52.0
金井地区	518	370	71.4	473	246	52.0

(2) 有効回答者の性別・年齢階級別の状況

本調査における圏域別の性別年齢階級別有効回答者は以下のとおりです。

表 0.2.1 市全域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	8,898	992	1,225	904	644	325	104	1,035	1,326	999	783	392	169
	100.0	11.1	13.8	10.2	7.2	3.7	1.2	11.6	14.9	11.2	8.8	4.4	1.9
事業対象者	198	1	3	8	8	17	5	1	4	23	42	53	33
	100.0	0.5	1.5	4.0	4.0	8.6	2.5	0.5	2.0	11.6	21.2	26.8	16.7
要支援者	357	3	8	10	23	38	19	6	12	34	56	86	62
	100.0	0.8	2.2	2.8	6.4	10.6	5.3	1.7	3.4	9.5	15.7	24.1	17.4

表 0.2.2 市全域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	1,054	26	40	31	49	84	64	19	39	111	148	234	209
	100.0	2.5	3.8	2.9	4.6	8.0	6.1	1.8	3.7	10.5	14.0	22.2	19.8
要介護者	2,992	48	117	141	211	221	237	38	93	150	317	585	834
	100.0	1.6	3.9	4.7	7.1	7.4	7.9	1.3	3.1	5.0	10.6	19.6	27.9

表 0.2.3 第一圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	1,173	127	174	115	93	43	14	138	170	120	106	50	23
	100.0	10.8	14.8	9.8	7.9	3.7	1.2	11.8	14.5	10.2	9.0	4.3	2.0
事業対象者	25	0	0	2	1	2	0	0	1	3	6	7	3
	100.0	0.0	0.0	8.0	4.0	8.0	0.0	0.0	4.0	12.0	24.0	28.0	12.0
要支援者	47	1	0	2	3	5	1	1	0	5	7	12	10
	100.0	2.1	0.0	4.3	6.4	10.6	2.1	2.1	0.0	10.6	14.9	25.5	21.3

表 0.2.4 第一圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	108	2	4	4	4	8	4	0	3	11	13	25	30
	100.0	1.9	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	0.0	2.8	10.2	12.0	23.1	27.8
要介護者	327	5	11	11	26	24	30	2	7	13	37	67	94
	100.0	1.5	3.4	3.4	8.0	7.3	9.2	0.6	2.1	4.0	11.3	20.5	28.7

表 0.2.5 第二圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	826	109	125	77	64	25	7	84	121	90	72	38	14
	100.0	13.2	15.1	9.3	7.7	3.0	0.8	10.2	14.6	10.9	8.7	4.6	1.7
事業対象者	18	0	2	0	1	1	0	0	0	5	4	2	3
	100.0	0.0	11.1	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	27.8	22.2	11.1	16.7
要支援者	32	1	1	0	4	4	0	1	1	1	5	9	5
	100.0	3.1	3.1	0.0	12.5	12.5	0.0	3.1	3.1	3.1	15.6	28.1	15.6

表 0.2.6 第二圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	37	3	1	1	3	3	2	1	1	3	5	7	7
	100.0	8.1	2.7	2.7	8.1	8.1	5.4	2.7	2.7	8.1	13.5	18.9	18.9
要介護者	137	1	6	6	8	6	17	2	6	5	14	21	45
	100.0	0.7	4.4	4.4	5.8	4.4	12.4	1.5	4.4	3.6	10.2	15.3	32.8

表 0.2.7 第三圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	376	38	46	39	29	14	5	40	60	43	33	19	10
	100.0	10.1	12.2	10.4	7.7	3.7	1.3	10.6	16.0	11.4	8.8	5.1	2.7
事業対象者	6	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3
要支援者	15	0	0	2	1	1	1	0	1	2	4	3	0
	100.0	0.0	0.0	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	13.3	26.7	20.0	0.0

表 0.2.8 第三圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	95	2	7	5	6	9	7	3	5	7	14	20	10
	100.0	2.1	7.4	5.3	6.3	9.5	7.4	3.2	5.3	7.4	14.7	21.1	10.5
要介護者	239	2	7	11	20	24	25	1	6	16	25	39	63
	100.0	0.8	2.9	4.6	8.4	10.0	10.5	0.4	2.5	6.7	10.5	16.3	26.4

表 0.2.9 第四圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／%

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	325	39	43	38	22	14	2	33	50	38	26	15	5
	100.0	12.0	13.2	11.7	6.8	4.3	0.6	10.2	15.4	11.7	8.0	4.6	1.5
事業対象者	10	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	3	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	30.0	20.0
要支援者	13	0	0	1	1	2	1	0	1	1	2	2	2
	100.0	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7	15.4	15.4	15.4

表 0.2.10 第四圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／%

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	92	1	4	5	5	9	7	1	4	6	17	17	16
	100.0	1.1	4.3	5.4	5.4	9.8	7.6	1.1	4.3	6.5	18.5	18.5	17.4
要介護者	248	5	11	12	19	22	9	3	8	14	20	59	66
	100.0	2.0	4.4	4.8	7.7	8.9	3.6	1.2	3.2	5.6	8.1	23.8	26.6

表 0.2.11 第五圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／%

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	341	37	49	36	28	13	5	36	40	39	33	14	11
	100.0	10.9	14.4	10.6	8.2	3.8	1.5	10.6	11.7	11.4	9.7	4.1	3.2
事業対象者	11	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	3	2
	100.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	27.3	18.2
要支援者	16	0	1	0	1	2	1	0	0	1	3	3	4
	100.0	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	18.8	18.8	25.0

表 0.2.12 第五圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／%

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	63	3	6	1	3	5	1	1	5	3	14	8	13
	100.0	4.8	9.5	1.6	4.8	7.9	1.6	1.6	7.9	4.8	22.2	12.7	20.6
要介護者	190	5	5	8	14	15	13	5	5	13	21	37	49
	100.0	2.6	2.6	4.2	7.4	7.9	6.8	2.6	2.6	6.8	11.1	19.5	25.8

表 0.2.13 第六圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	1,273	149	190	130	73	48	14	158	208	113	108	56	26
	100.0	11.7	14.9	10.2	5.7	3.8	1.1	12.4	16.3	8.9	8.5	4.4	2.0
事業対象者	31	0	0	2	1	2	1	0	1	2	8	7	7
	100.0	0.0	0.0	6.5	3.2	6.5	3.2	0.0	3.2	6.5	25.8	22.6	22.6
要支援者	54	0	4	0	2	8	3	1	2	4	9	15	6
	100.0	0.0	7.4	0.0	3.7	14.8	5.6	1.9	3.7	7.4	16.7	27.8	11.1

表 0.2.14 第六圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	63	4	0	1	2	5	1	1	1	7	8	19	14
	100.0	6.3	0.0	1.6	3.2	7.9	1.6	1.6	1.6	11.1	12.7	30.2	22.2
要介護者	194	2	9	6	10	13	15	0	5	12	16	48	58
	100.0	1.0	4.6	3.1	5.2	6.7	7.7	0.0	2.6	6.2	8.2	24.7	29.9

表 0.2.15 第七圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	619	76	83	54	41	15	10	79	100	68	54	25	14
	100.0	12.3	13.4	8.7	6.6	2.4	1.6	12.8	16.2	11.0	8.7	4.0	2.3
事業対象者	11	0	1	0	1	1	0	0	0	2	2	2	2
	100.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2
要支援者	31	1	0	0	1	2	0	1	3	3	4	9	7
	100.0	3.2	0.0	0.0	3.2	6.5	0.0	3.2	9.7	9.7	12.9	29.0	22.6

表 0.2.16 第七圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	71	2	1	1	0	8	4	3	2	6	9	19	16
	100.0	2.8	1.4	1.4	0.0	11.3	5.6	4.2	2.8	8.5	12.7	26.8	22.5
要介護者	204	4	5	10	8	18	18	4	8	15	22	39	53
	100.0	2.0	2.5	4.9	3.9	8.8	8.8	2.0	3.9	7.4	10.8	19.1	26.0

表 0.2.17 第八圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	870	87	105	84	65	33	10	120	129	112	80	34	11
	100.0	10.0	12.1	9.7	7.5	3.8	1.1	13.8	14.8	12.9	9.2	3.9	1.3
事業対象者	18	1	0	0	0	1	0	0	1	3	3	7	2
	100.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	16.7	16.7	38.9	11.1
要支援者	36	0	1	0	4	2	2	0	2	4	6	8	7
	100.0	0.0	2.8	0.0	11.1	5.6	5.6	0.0	5.6	11.1	16.7	22.2	19.4

表 0.2.18 第八圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	97	2	2	2	4	5	4	1	4	10	13	25	25
	100.0	2.1	2.1	2.1	4.1	5.2	4.1	1.0	4.1	10.3	13.4	25.8	25.8
要介護者	256	4	9	15	14	13	19	5	8	7	31	56	75
	100.0	1.6	3.5	5.9	5.5	5.1	7.4	2.0	3.1	2.7	12.1	21.9	29.3

表 0.2.19 第九圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	358	33	50	34	33	17	5	41	41	43	34	18	9
	100.0	9.2	14.0	9.5	9.2	4.7	1.4	11.5	11.5	12.0	9.5	5.0	2.5
事業対象者	10	0	0	1	0	2	0	0	1	1	2	2	1
	100.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0
要支援者	16	0	0	0	0	2	1	0	1	2	2	5	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	12.5	12.5	31.3	18.8

表 0.2.20 第九圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	71	0	2	1	1	8	6	0	2	8	8	20	15
	100.0	0.0	2.8	1.4	1.4	11.3	8.5	0.0	2.8	11.3	11.3	28.2	21.1
要介護者	188	2	7	13	16	14	11	0	5	10	13	30	67
	100.0	1.1	3.7	6.9	8.5	7.4	5.9	0.0	2.7	5.3	6.9	16.0	35.6

表 0.2.21 第十圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	811	69	102	87	63	36	10	83	123	101	76	43	18
	100.0	8.5	12.6	10.7	7.8	4.4	1.2	10.2	15.2	12.5	9.4	5.3	2.2
事業対象者	17	0	0	1	1	2	0	0	0	1	3	6	3
	100.0	0.0	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	17.6	35.3	17.6
要支援者	31	0	1	1	2	3	3	1	1	4	4	5	6
	100.0	0.0	3.2	3.2	6.5	9.7	9.7	3.2	3.2	12.9	12.9	16.1	19.4

表 0.2.22 第十圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	66	2	2	2	4	6	4	0	3	6	12	16	9
	100.0	3.0	3.0	3.0	6.1	9.1	6.1	0.0	4.5	9.1	18.2	24.2	13.6
要介護者	184	2	7	9	11	12	21	1	6	6	19	39	51
	100.0	1.1	3.8	4.9	6.0	6.5	11.4	0.5	3.3	3.3	10.3	21.2	27.7

表 0.2.23 第十一圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	344	50	46	38	18	9	3	46	47	40	31	12	4
	100.0	14.5	13.4	11.0	5.2	2.6	0.9	13.4	13.7	11.6	9.0	3.5	1.2
事業対象者	9	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	3	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	33.3	11.1
要支援者	10	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	3	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	30.0

表 0.2.24 第十一圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	75	3	3	2	4	2	4	0	2	13	9	17	16
	100.0	4.0	4.0	2.7	5.3	2.7	5.3	0.0	2.7	17.3	12.0	22.7	21.3
要介護者	226	5	7	13	16	19	14	5	8	9	27	47	56
	100.0	2.2	3.1	5.8	7.1	8.4	6.2	2.2	3.5	4.0	11.9	20.8	24.8

表 0.2.25 第十二圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	915	101	125	95	68	38	13	92	144	103	77	43	16
	100.0	11.0	13.7	10.4	7.4	4.2	1.4	10.1	15.7	11.3	8.4	4.7	1.7
事業対象者	18	0	0	1	0	1	1	0	0	2	4	7	2
	100.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1	22.2	38.9	11.1
要支援者	34	0	0	3	1	3	3	1	0	2	6	8	7
	100.0	0.0	0.0	8.8	2.9	8.8	8.8	2.9	0.0	5.9	17.6	23.5	20.6

表 0.2.26 第十二圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	85	2	1	3	3	5	11	3	4	4	11	17	21
	100.0	2.4	1.2	3.5	3.5	5.9	12.9	3.5	4.7	4.7	12.9	20.0	24.7
要介護者	230	3	11	11	9	13	16	4	5	13	25	38	82
	100.0	1.3	4.8	4.8	3.9	5.7	7.0	1.7	2.2	5.7	10.9	16.5	35.7

表 0.2.27 第十三圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	315	35	40	39	22	9	3	37	42	46	25	13	4
	100.0	11.1	12.7	12.4	7.0	2.9	1.0	11.7	13.3	14.6	7.9	4.1	1.3
事業対象者	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0
要支援者	13	0	0	1	1	2	1	0	0	3	2	2	1
	100.0	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	23.1	15.4	15.4	7.7

表 0.2.28 第十三圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
要支援者	67	0	3	2	4	4	4	4	2	12	8	14	10
	100.0	0.0	4.5	3.0	6.0	6.0	6.0	6.0	3.0	17.9	11.9	20.9	14.9
要介護者	187	6	10	9	19	12	14	2	8	10	26	36	35
	100.0	3.2	5.3	4.8	10.2	6.4	7.5	1.1	4.3	5.3	13.9	19.3	18.7

表 0.2.29 第十四圏域 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
一般 高齢者	352	42	47	38	25	11	3	48	51	43	28	12	4
	100.0	11.9	13.4	10.8	7.1	3.1	0.9	13.6	14.5	12.2	8.0	3.4	1.1
事業 対象者	9	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	2	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	22.2
要支援者	9	0	0	0	1	2	1	0	0	1	1	2	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1

表 0.2.30 第十四圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

単位：上段／人、下段／％

調査対象者	計	男 性						女 性					
		65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上
要支援者	64	0	4	1	6	7	5	1	1	15	7	10	7
	100.0	0.0	6.3	1.6	9.4	10.9	7.8	1.6	1.6	23.4	10.9	15.6	10.9
要介護者	182	2	12	7	21	16	15	4	8	7	21	29	40
	100.0	1.1	6.6	3.8	11.5	8.8	8.2	2.2	4.4	3.8	11.5	15.9	22.0

第1章

高齢者像等の判定結果

第1章 高齢者像等の判定結果

第1章は一般高齢者の調査結果における市全域の高齢者像を含む各種判定結果について、前回調査と比較しながら分析しました。

表1.1 高齢者像

高齢者像	
一般高齢者	要支援者・要介護者・事業対象者を除く 65 歳以上の高齢者の方を称しています。
健康高齢者	一般高齢者のうち、介護予防事業対象者、サービス事業対象者に該当していない方を称しています。
介護予防事業対象者	一般高齢者のうち、サービス事業対象者と判定される方を除く、6つのリスク（「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知機能の低下」「うつ傾向」）の何れかに該当した方を称しています。
サービス事業対象者	一般高齢者のうち、6つのリスクの何れかに該当し、家族構成が一人暮らしか共に 65 歳以上の夫婦二人暮らしの方、もしくは日中独居状態がよくある方で何らかの介護・介助を受けているまたは必要としているが受けていない方を称しています。
事業対象者	要支援者を除き、介護予防・日常生活支援総合事業の対象となっている方を称しています。
要支援者	要支援 1・2 の認定を受けている方を称しています。
要介護者	要介護 1～5 の認定を受けている方を称しています。

※一般高齢者については、さらに3つの高齢者像（「健康高齢者」「介護予防事業対象者」「サービス事業対象者」）に細分化しています。

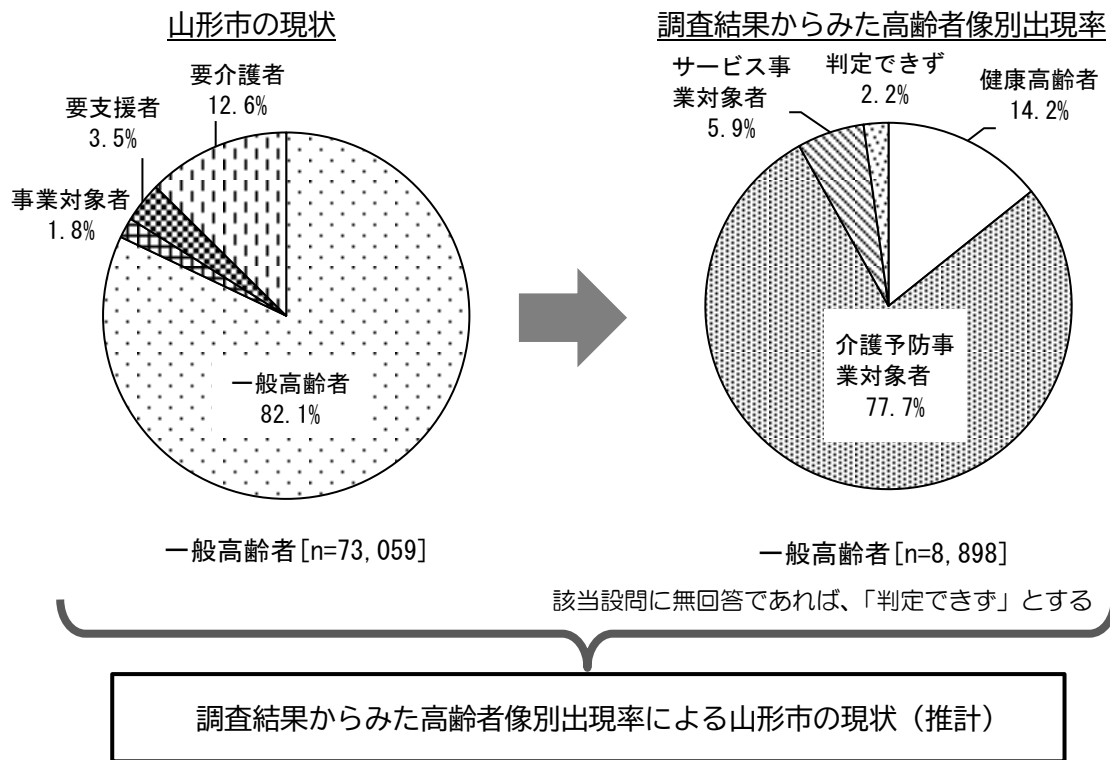
※高齢者像や各リスクの詳細な判定条件は資料編（289ページ）に掲載しています。

1 “高齢者像” からみた地域分析

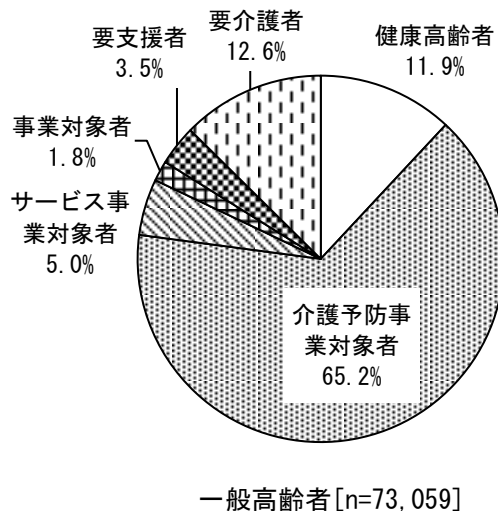
本市における令和5年1月5日現在の高齢者73,059人のうち、要支援・要介護を合わせた認定者数は11,794人（認定率16.1%）で、認定者と事業対象者を除いた一般高齢者は59,956人と高齢者の82.1%となっています。また、一般高齢者の調査結果から高齢者像別に出現率をみると、健康高齢者は14.2%、介護予防事業対象者は77.7%、サービス事業対象者は5.9%となっています。

この調査結果による高齢者像別出現率を本市の一般高齢者59,956人（82.1%）に置き換えてみると、健康高齢者は11.9%、介護予防事業対象者は65.2%、サービス事業対象者は5.0%となっています。

図 1.1 高齢者像別出現率

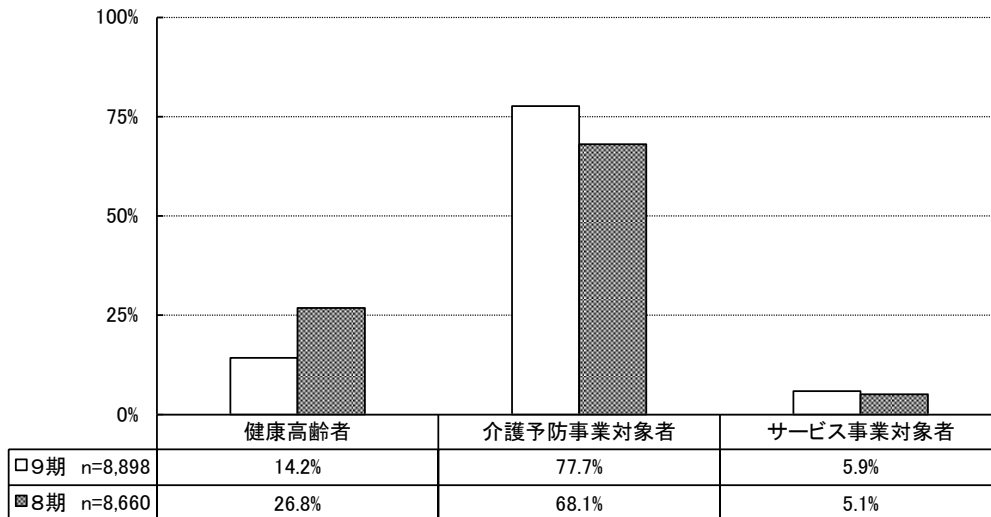


調査結果からみた山形市の現状（高齢者像別出現率）



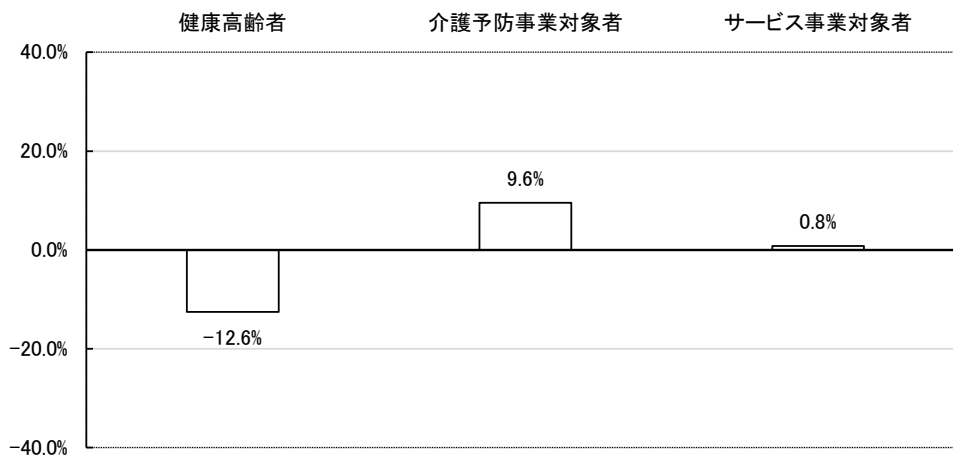
- 一般高齢者における3つの高齢者像別出現率をみると、市全域で健康高齢者は14.2%、介護予防事業対象者は77.7%、サービス事業対象者は5.9%となっています。
- 前回調査結果と比較すると、健康高齢者は12.6ポイントの減少、介護予防事業対象者は9.6ポイントの増加、サービス事業対象者は0.8ポイントの増加となっています。

図 1.2 一般高齢者における3つの高齢者像出現率の経年比較



※サービス事業対象者の判定は、介護・介助を受けている人に加えて、今回から、必要としているが受けていない人も対象としています。

図 1.3 一般高齢者における3つの高齢者像出現率の増減



※8期を0.0とし、増減を表示しています。

2 リスク別該当者の分析

(1) 各リスク別該当者出現率

- 一般高齢者におけるリスク別該当者出現率をみると、市全域で運動器の機能低下は12.5%、低栄養の傾向は1.0%、口腔機能の低下は22.2%、閉じこもり傾向は33.6%、認知機能の低下は52.3%、うつ傾向は45.1%となっています。
- 前回調査結果と比較すると、運動器の機能低下は1.0ポイント、低栄養の傾向は0.1ポイント、口腔機能の低下は2.5ポイント、閉じこもり傾向は24.8ポイント、認知機能の低下は1.3ポイント、うつ傾向は1.1ポイント増加しています。

図 1.4 リスク別該当者出現率の経年比較

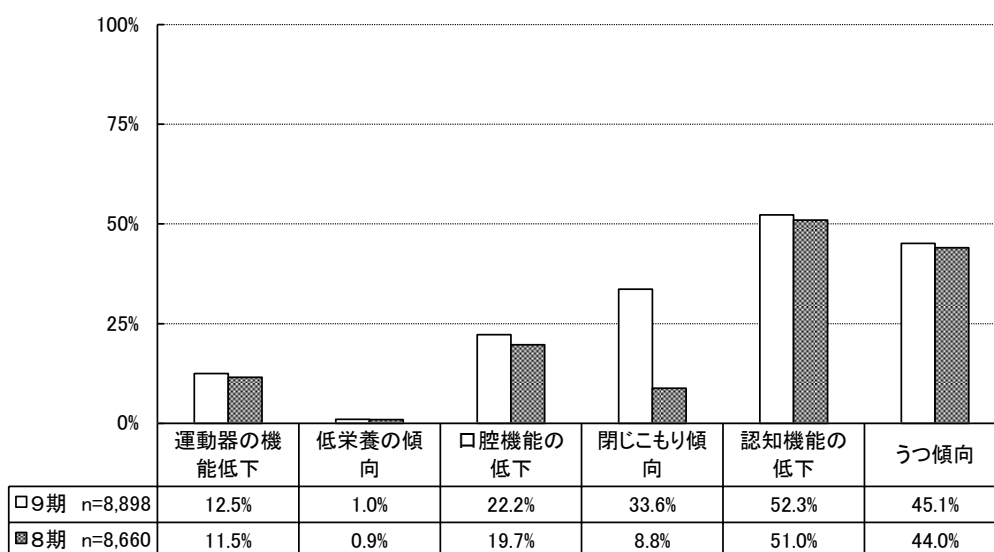
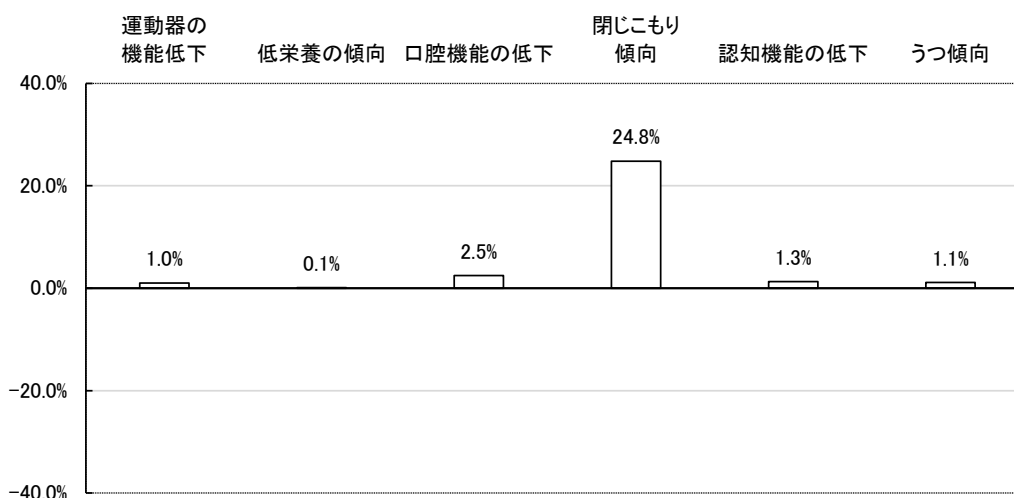


図 1.5 リスク別該当者出現率の増減

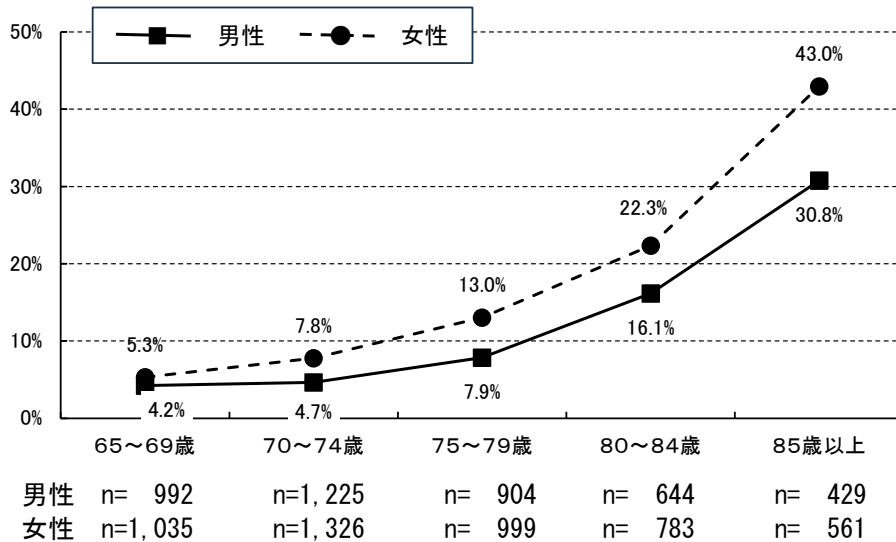


※8期を0.0とし、増減を表示しています。

(2) リスク別該当者の性別年齢階級別出現率

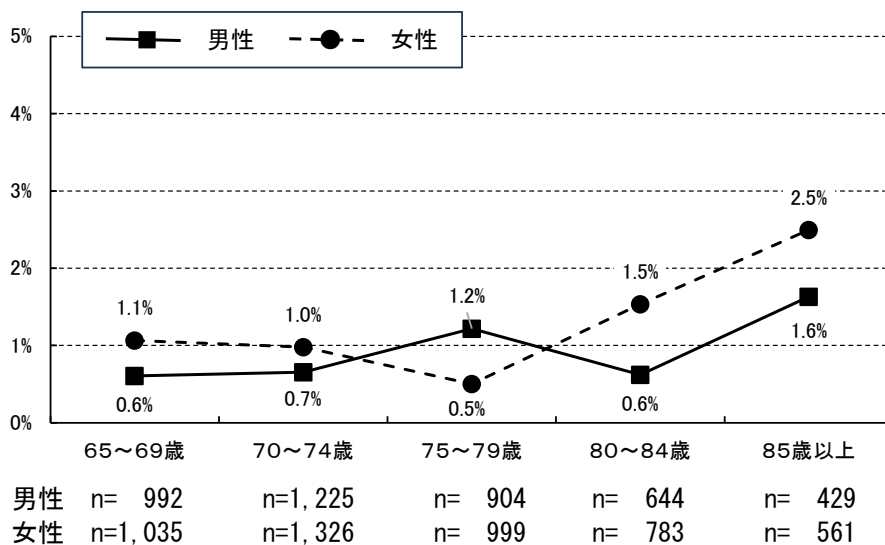
○運動器の機能低下リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢とともに高くなり、特に80歳から大きく上昇しています。また、全年齢階級で女性の割合が男性を上回っています。

図1.6 運動器の機能低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率



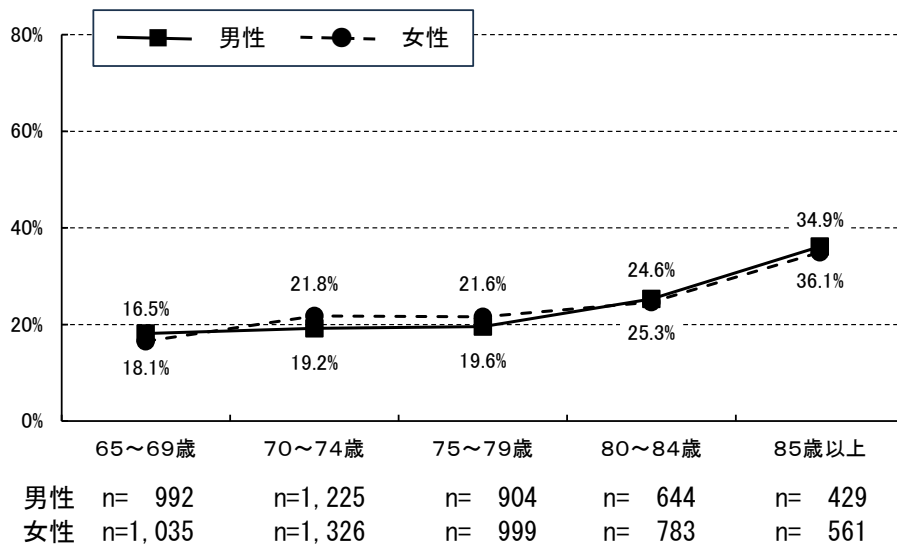
○低栄養の傾向リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも85歳以上で最も高くなっています。また、75~79歳を除き女性の割合が男性を上回っています。

図1.7 低栄養の傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率



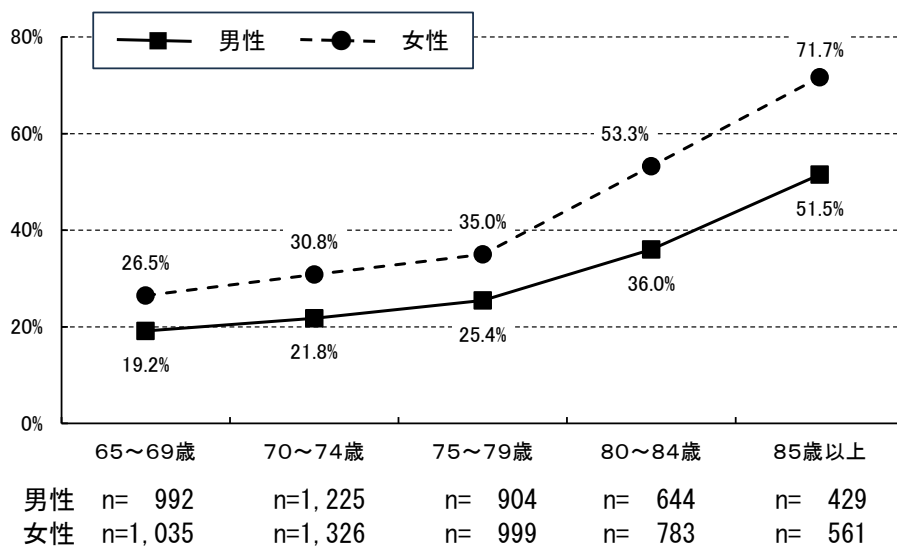
○口腔機能の低下リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢とともに高くなっています。また、いずれの年齢階級でも男女での差は僅差となっています。

図 1.8 口腔機能の低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率



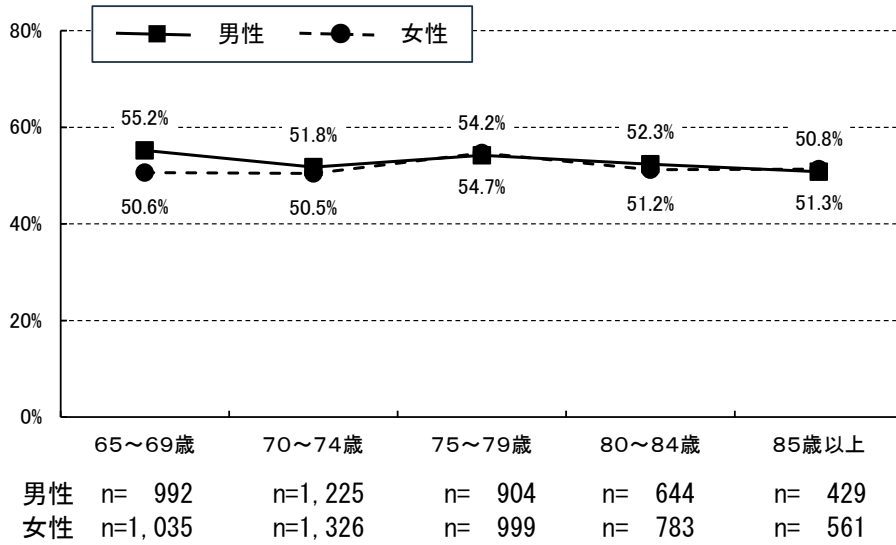
○閉じこもり傾向リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢とともに高くなり、特に女性は85歳以上で7割を超えています。また、全年齢階級で女性の割合が男性を上回っています。

図 1.9 閉じこもり傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率



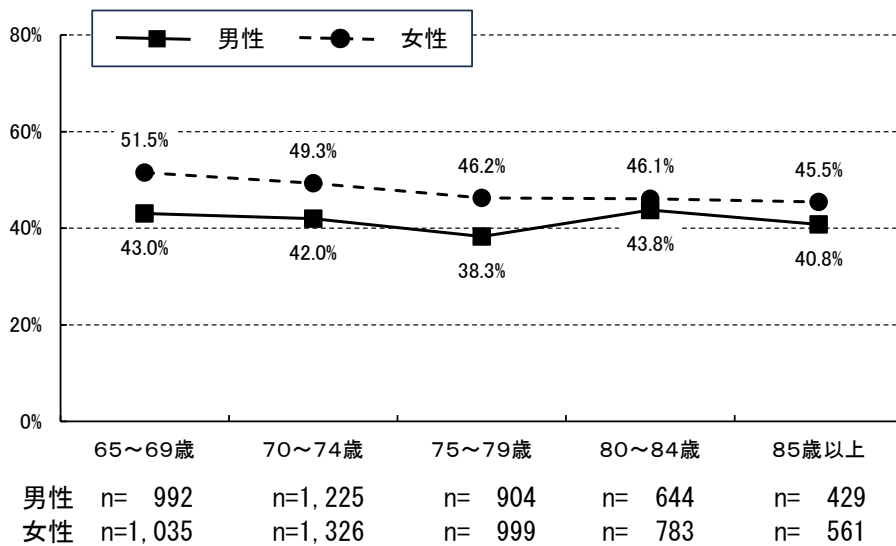
○認知機能の低下リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも5割程度で推移しています。また、いずれの年齢階級でも男女での差は僅差となっています。

図 1.10 認知機能の低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率



○うつ傾向リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、女性は全年齢階級で4割を超えており、男性も75~79歳以外で4割を超えています。また、全年齢階級で女性の割合が男性を上回っています。

図 1.11 うつ傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率



(3) IADL 低下該当者出現率

○ IADL 低下該当者出現率をみると、5.2%となっており、前回調査結果と比較すると、0.9ポイント増加しています。

図 1.12 IADL 低下該当者出現率の経年比較

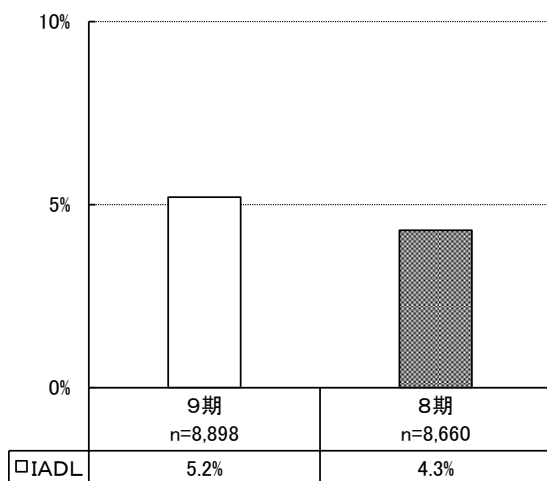
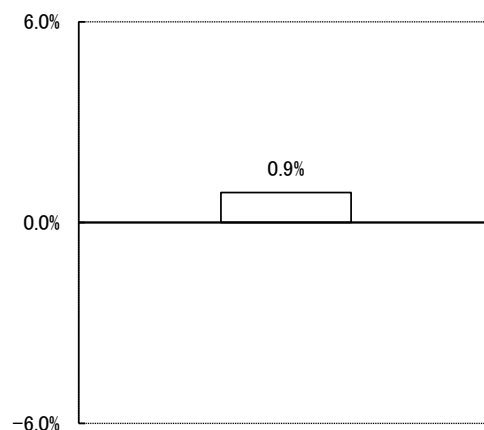


図 1.13 IADL 低下該当者出現率の増減



※8期を0.0とし、増減を表示しています。

(4) 知的能動性低下該当者出現率

○ 知的能動性低下該当者出現率をみると、12.5%となっており、前回調査結果と比較すると、1.7ポイント増加しています。

図 1.14 知的能動性低下該当者出現率の経年比較

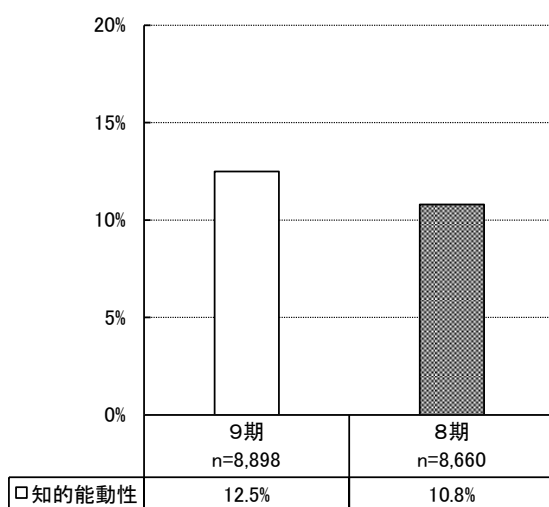
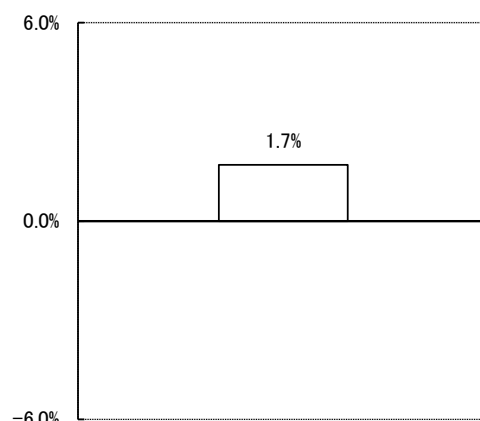


図 1.15 知的能動性低下該当者出現率の増減



※8期を0.0とし、増減を表示しています。

第2章

集計結果に基づくビジョンに
関連した分析結果

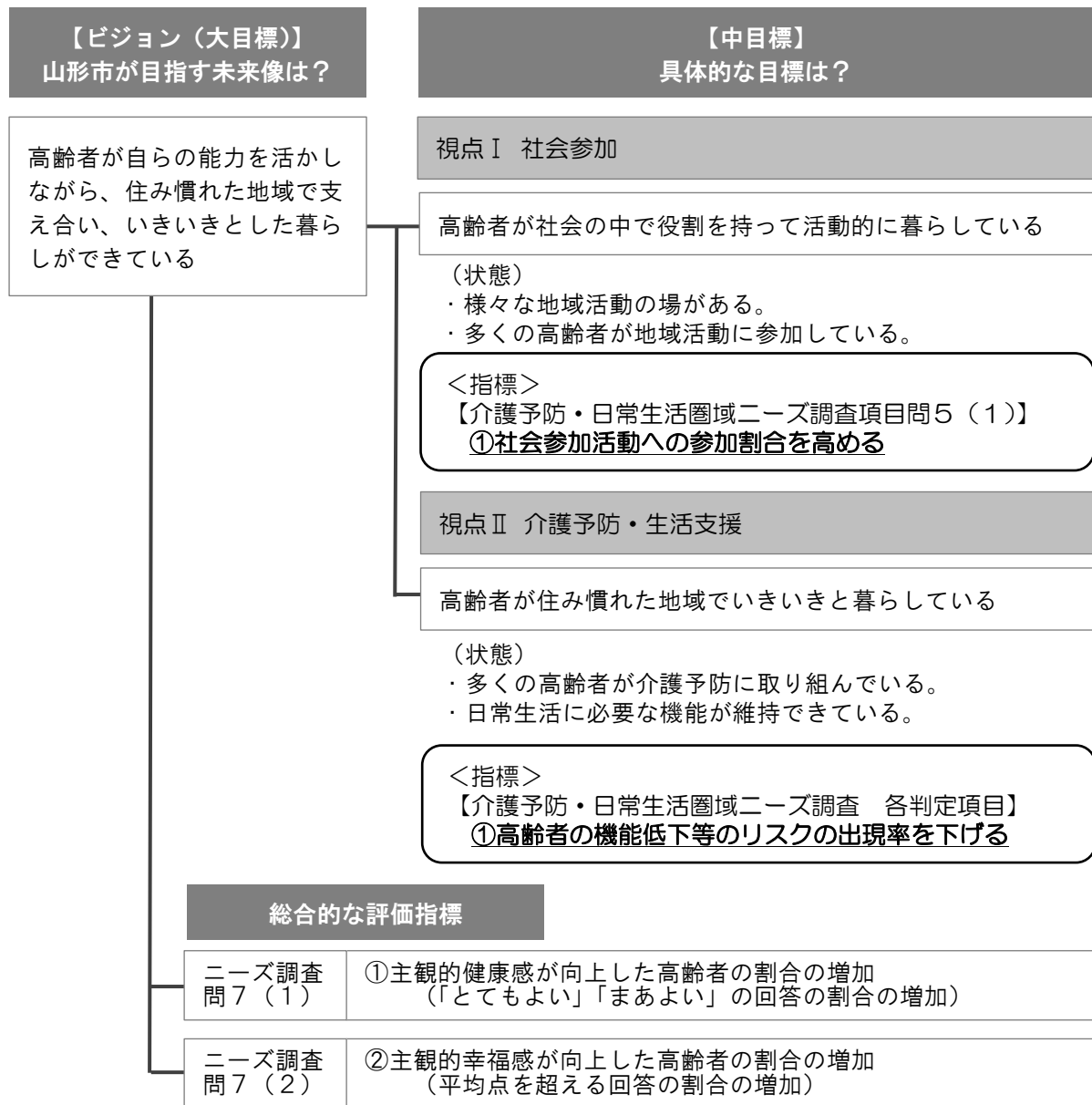
第2章 集計結果に基づくビジョンに関連した分析結果

第2章は、本市が設定するビジョンの達成に関連した指標を導き出すため、調査の集計結果をもとに、 χ^2 （カイ二乗）検定^{※1}を用いて分析を行いました。

ビジョンは、「一般高齢者等」と「要介護者等」の2つに分けて大目標を設定し、さらに、高齢者の状態や立場による視点ごとに中目標を設定しています。また、大目標・中目標には、その達成状況を示す指標を設定しています。

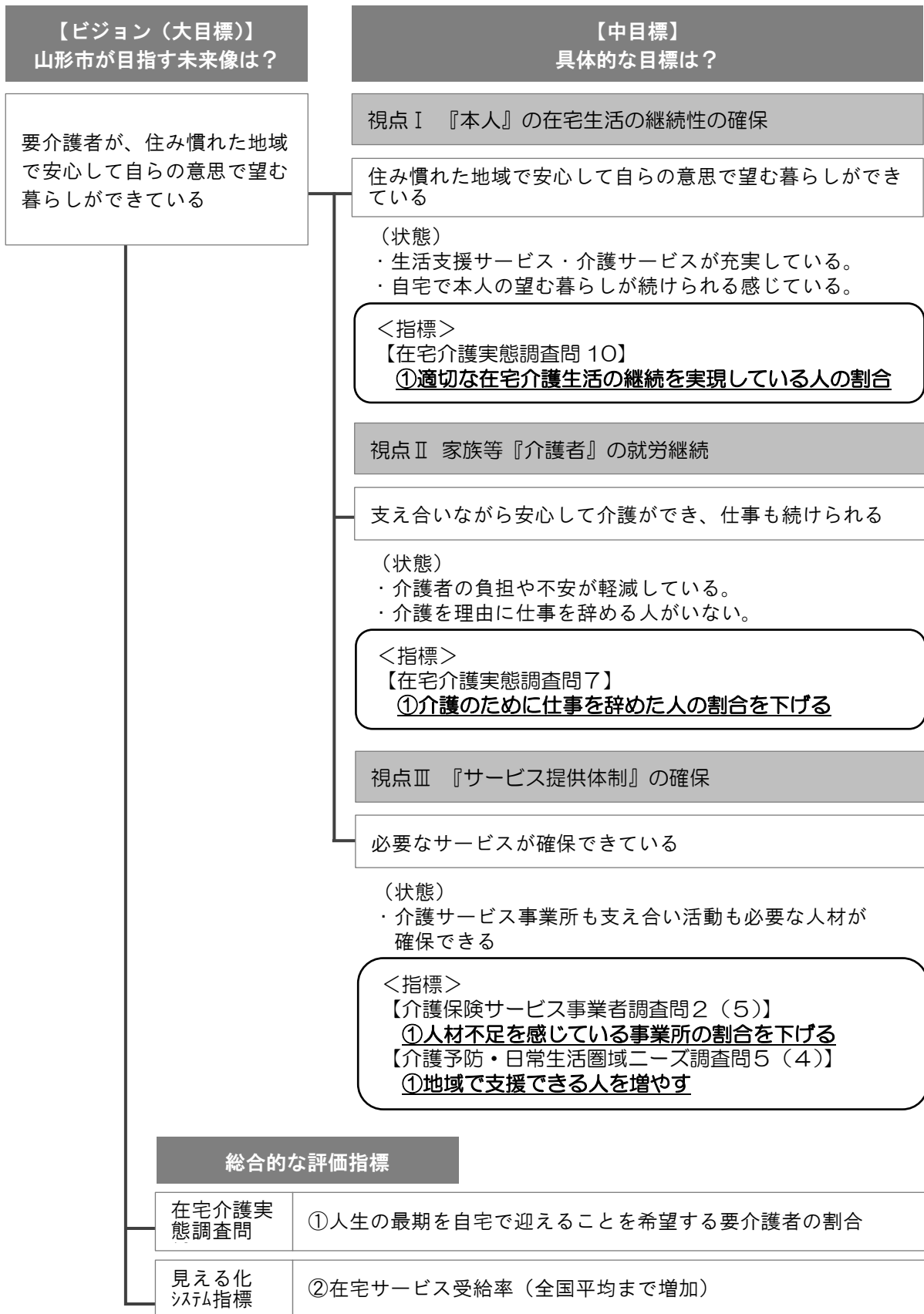
分析結果は、大目標・中目標に設定した指標を効果的・効率的に達成するための取組（小目標）の設定に用います。

図2.1 一般高齢者等のビジョン



※1 χ^2 （カイ二乗）検定とは、帰無仮説が正しい場合の検定統計量が漸近的にカイ二乗分布に従うような統計的検定法の総称。2つの独立した変数に有意差がみられない「帰無仮説」とそれに対立する「対立仮説」を設定し、帰無仮説の元で検定統計量とその値となる確率p値を求め、p値が有意水準とされる0.05以下の場合、帰無仮説を偽として棄却し、対立仮説が採択される。

図2.2 要介護者等のビジョン



※本章における図表見出しの設問番号については、「高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）」の設問番号は『問 1』、「高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）」の設問番号は『問 1』のように表記しています。

1 一般高齢者等のビジョンに関連した分析

(1) 社会参加

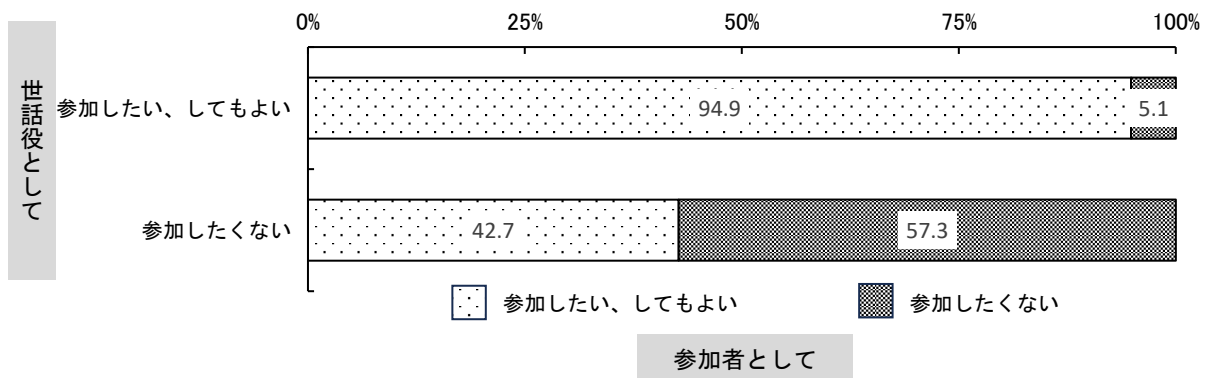
○世話役としての社会参加意向と参加者としての社会参加意向の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、世話役として「参加したい、参加してもよい」グループは、「参加したくない」グループより、参加者として「参加したい、参加してもよい」割合が高くなっています。

表2.1 問5-(3) 世話役としての社会参加意向×問5-(2) 参加者としての社会参加意向の分割表

		参加者として		
		参加したい、してもよい	参加したくない	合計
世話役として	参加したい、してもよい	2,600	141	2,741
	期待値	1,682.2	1,058.8	
	参加したくない	2,101	2,818	4,919
	期待値	3,018.8	1,900.2	
	合計	4,701	2,959	7,660

p 値=0.000

図2.3 問5-(3) 世話役としての社会参加意向×問5-(2) 参加者としての社会参加意向



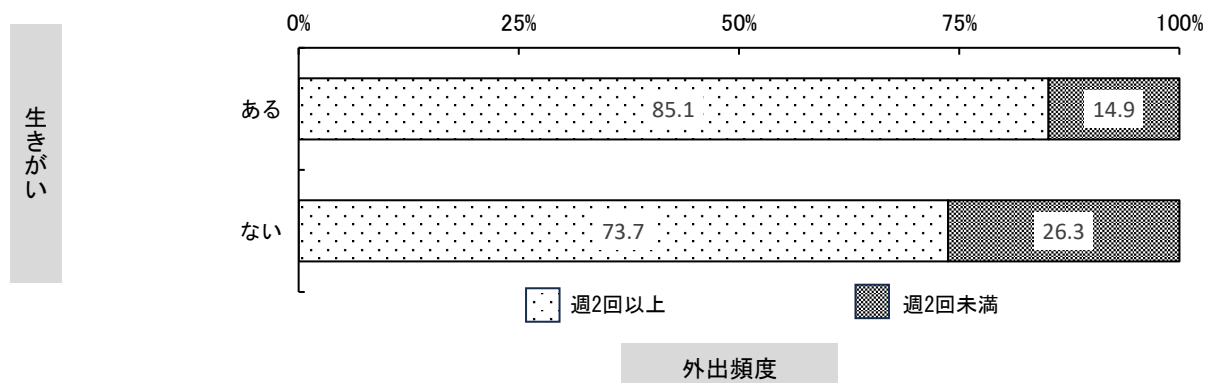
○生きがいの有無と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、生きがいがあるグループは、「思いつかない」グループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.2 問4(18) 生きがいの有無×問2(6) 外出頻度の分割表

		外出頻度		
		週2回以上	週2回未満	合計
生きがい	ある	4,821	841	5,662
	期待値	4,588.2	1,073.8	
	ない	2,349	837	3,186
	期待値	2,581.8	604.2	
	合計	7,170	1,678	8,848

p 値=0.000

図2.4 問4(18) 生きがいの有無×問2(6) 外出頻度



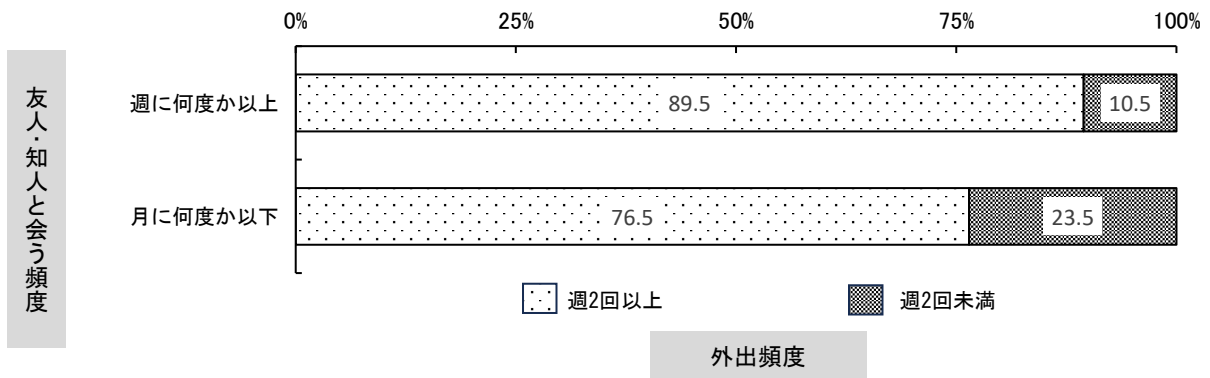
○友人・知人と会う頻度と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、友人・知人と会う頻度が「週に何度か以上」のグループは、「月に何度か以下」のグループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.3 問6(6) 友人・知人と会う頻度×問2(6) 外出頻度の分割表

		外出頻度		
		週2回以上	週2回未満	合計
友人・知人と 会う頻度	週に何度か以上	2,795	329	3,124
	期待値	2,528.3	595.7	
	月に何度か以下	4,573	1,407	5,980
	期待値	4,839.7	1,140.3	
	合計	7,368	1,736	9,104

p 値=0.000

図2.5 問6(6) 友人・知人と会う頻度×問2(6) 外出頻度



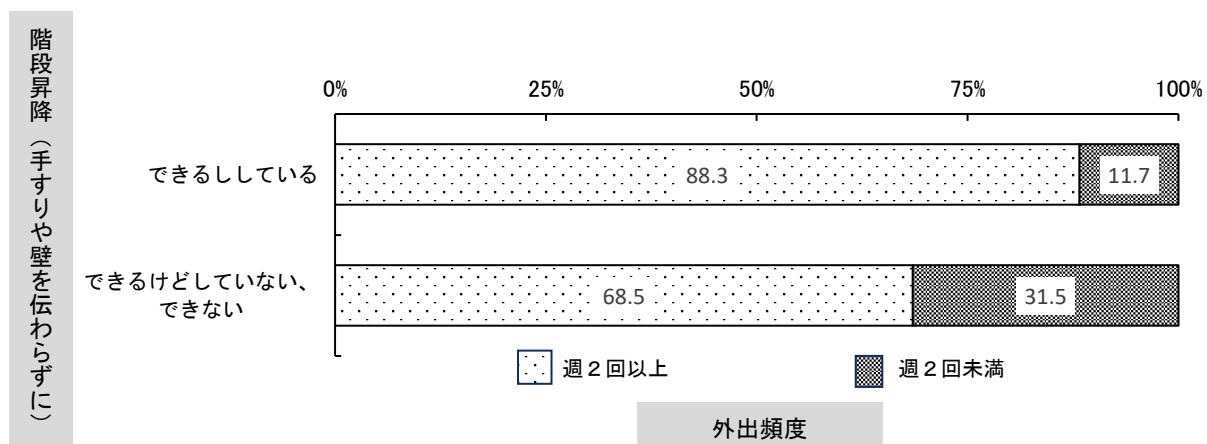
○階段昇降と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、階段昇降を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.4 問2(1) 階段昇降×問2(6) 外出頻度の分割表

		外出頻度		
		週2回以上	週2回未満	合計
階段昇降 (手すりや壁を伝 わらずに)	できるししている	5,055	671	5,726
	期待値	4,626.1	1,099.9	
	できるけどしていない、 できない	2,394	1,100	3,494
	期待値	2,822.9	671.1	
合計		7,449	1,771	9,220

p 値=0.000

図2.6 問2(1) 階段昇降×問2(6) 外出頻度



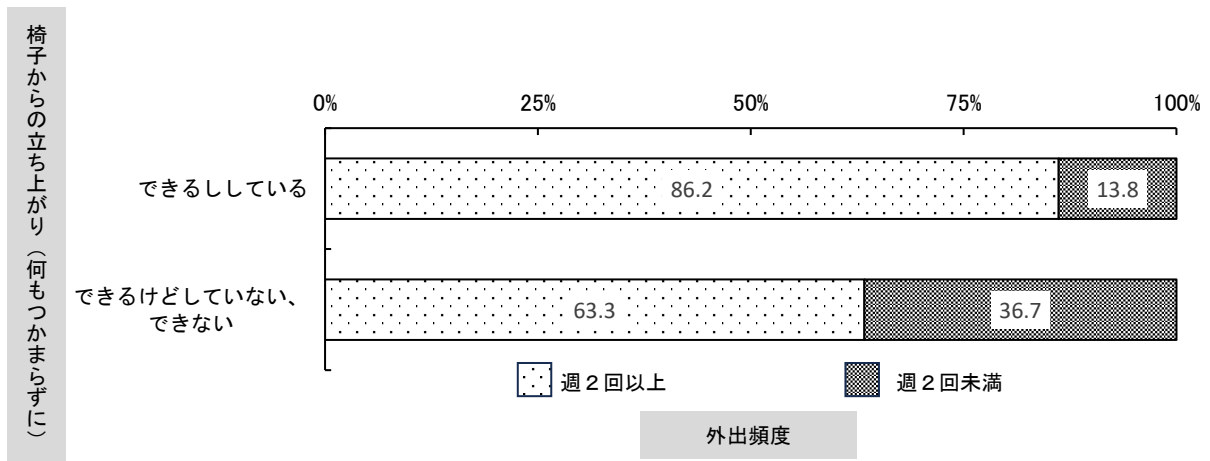
○椅子からの立ち上がりと外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、椅子からの立ち上がりが「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.5 問2(2) 椅子からの立ち上がり×問2(6) 外出頻度の分割表

		外出頻度		
		週2回以上	週2回未満	合計
椅子からの立ち上がり(何もつかまらずに)	できるししている	6,104	979	7,083
	期待値	5,726.7	1,356.3	
	できるけどしていない、できない	1,365	790	2,155
	期待値	1,742.3	412.7	
	合計	7,469	1,769	9,238

p 値=0.000

図2.7 問2(2) 椅子からの立ち上がり×問2(6) 外出頻度



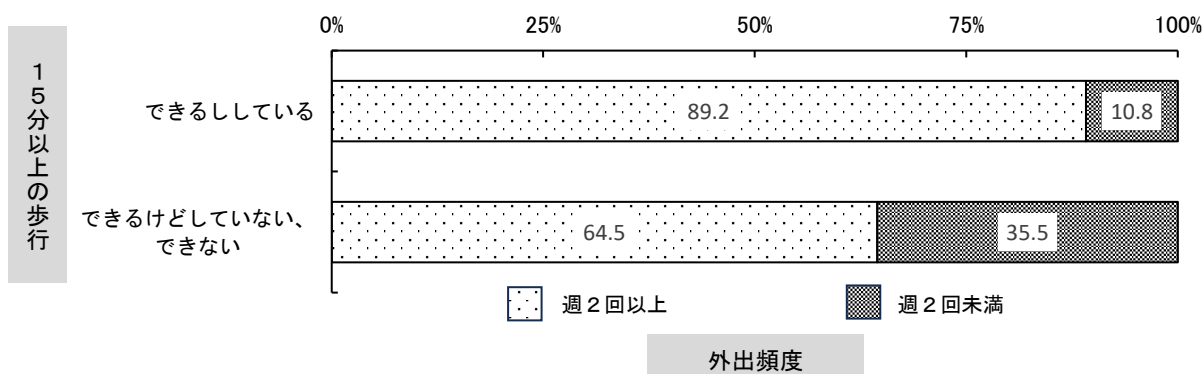
○15分以上の歩行と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、15分以上の歩行を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.6 問2(3) 15分以上の歩行×問2(6) 外出頻度の分割表

		外出頻度		
		週2回以上	週2回未満	合計
15分以上の歩行	できるししている	5,458	664	6,122
	期待値	4,946.3	1,175.7	
	できるけどしていない、できない	2,022	1,114	3,136
	期待値	2,533.7	602.3	
	合計	7,480	1,778	9,258

p 値=0.000

図2.8 問2(3) 15分以上の歩行×問2(6) 外出頻度



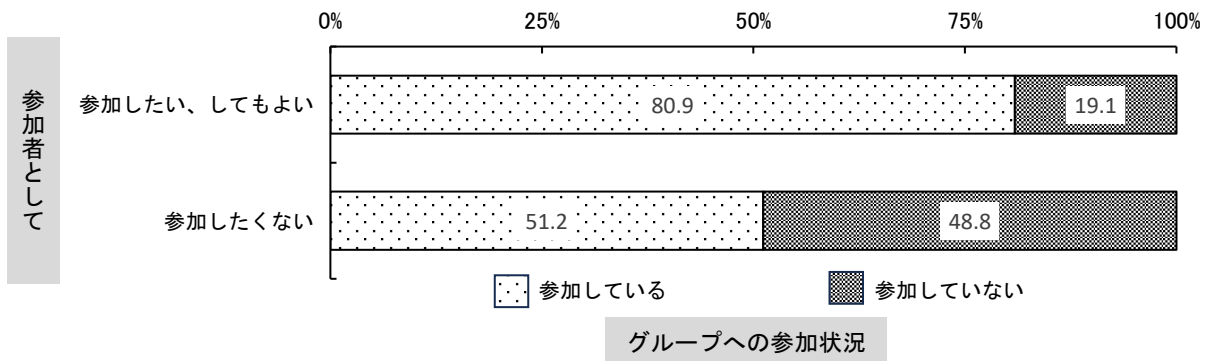
○参加者としての社会参加意向とグループへの参加状況の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、参加者として「参加したい、参加してもよい」グループは、「参加したくない」グループより、グループへの参加状況で「参加している」割合が高くなっています。

表2.7 問5-(2) 参加者としての社会参加意向×問5(1) グループへの参加状況の分割表

		グループへの参加状況		
		参加している	参加していない	合計
参加者として	参加したい、してもよい	4,012	947	4,959
	期待値	3,470.5	1,488.5	
	参加したくない	1,474	1,406	2,880
	期待値	2,015.5	864.5	
	合計	5,486	2,353	7,839

p 値=0.000

図2.9 問5-(2) 参加者としての社会参加意向×問5(1) グループへの参加状況



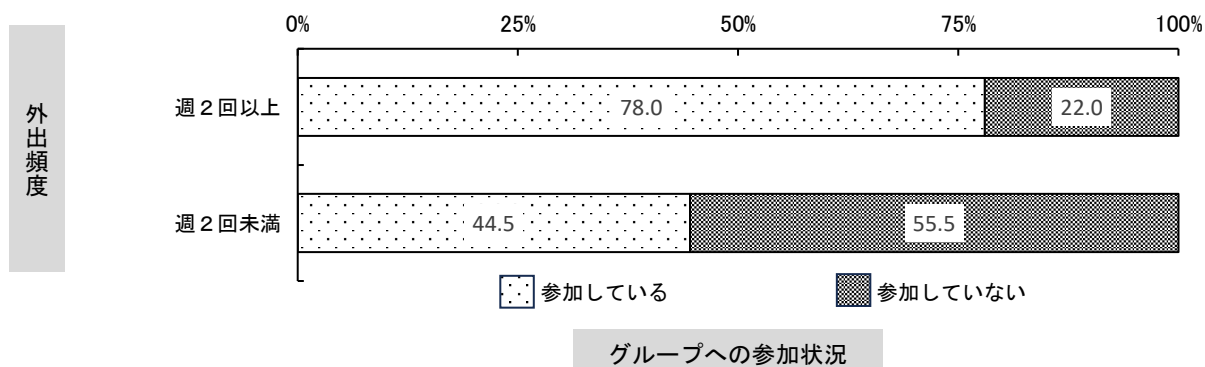
○外出頻度とグループへの参加状況の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、外出頻度が「週2回以上」のグループは、「週2回未満」のグループより、グループへの参加状況で「参加している」割合が高くなっています。

表2.8 問2(6) 外出頻度×問5(1) グループへの参加状況の分割表

		グループへの参加状況		
		参加している	参加していない	合計
外出頻度	週2回以上	5,478	1,543	7,021
	期待値	5,049.8	1,971.2	
	週2回未満	696	867	1,563
	期待値	1,124.2	438.8	
	合計	6,174	2,410	8,584

p 値=0.000

図2.10 問2(6) 外出頻度×問5(1) グループへの参加状況



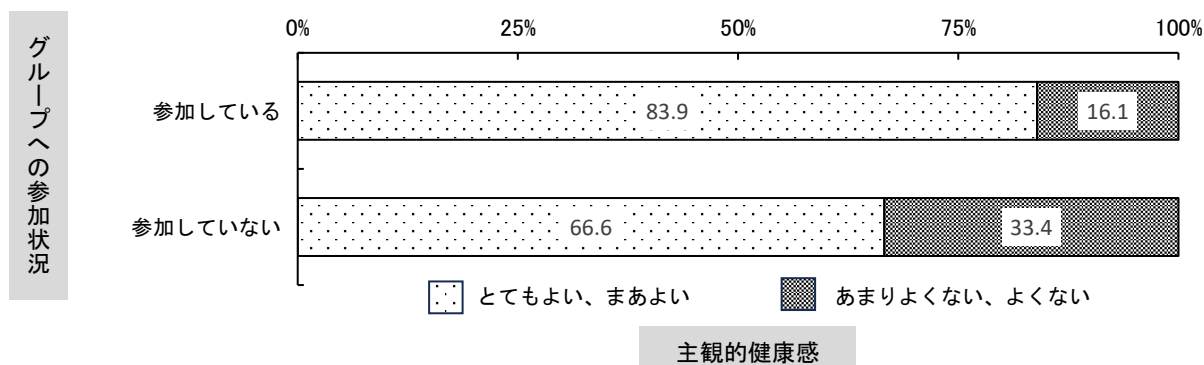
○グループへの参加状況と主観的健康感の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、グループへの参加状況で「参加している」グループは、「参加していない」グループより、主観的健康感で「とてもよい、まあよい」の割合が高くなっています。

表2.9 問5(1) グループへの参加状況×問7(1) 主観的健康感の分割表

		主観的健康感		
		とてもよい、まあよい	あまりよくない、よくない	合計
グループへの参加状況	参加している	5,145	984	6,129
	期待値	4,846.7	1,282.3	
	参加していない	1,594	799	2,393
	期待値	1,892.3	500.7	
	合計	6,739	1,783	8,522

p 値=0.000

図2.11 問5(1) グループへの参加状況×問7(1) 主観的健康感



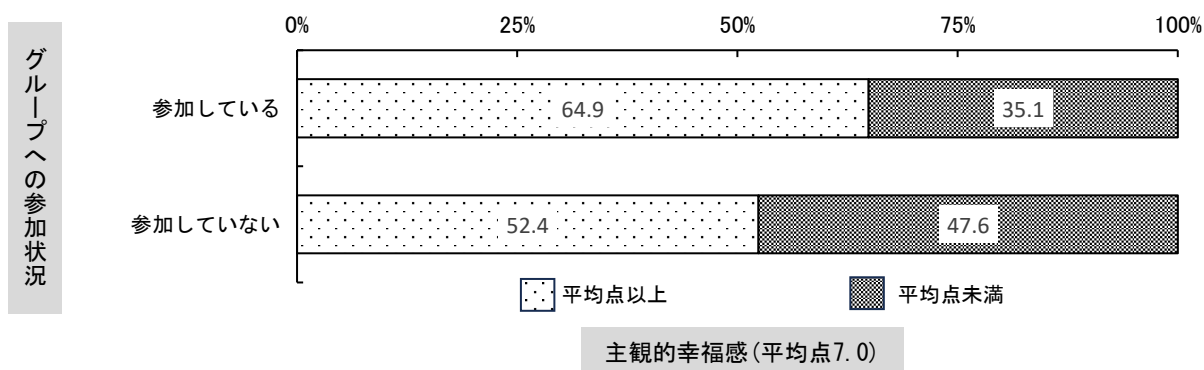
○グループへの参加状況と主観的幸福感の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、グループへの参加状況で「参加している」グループは、「参加していない」グループより、主観的幸福感で「平均点 (7.0 点) 以上」の割合が高くなっています。

表2.10 問5(1) グループへの参加状況×問7(2) 主観的幸福感の分割表

		主観的幸福感 (平均点 7.0 点)		
		平均点以上	平均点未満	合計
グループへの参加状況	参加している	3,954	2,137	6,091
	期待値	3,742.3	2,348.7	
	参加していない	1,229	1,116	2,345
	期待値	1,440.7	904.3	
	合計	5,183	3,253	8,436

p 値=0.000

図2.12 問5(1) グループへの参加状況×問7(2) 主観的幸福感



(2) 介護予防、生活支援

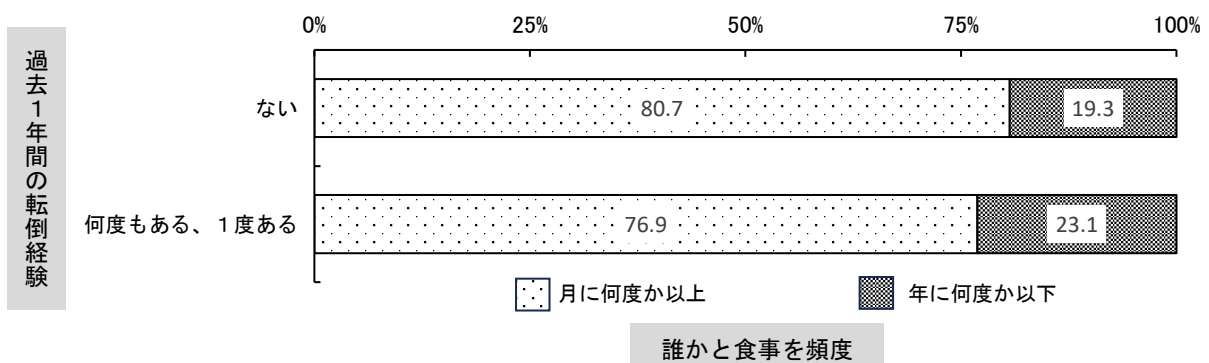
○転倒経験の有無と誰かと食事をする頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、過去1年間の転倒経験が「ない」グループは、「何度もある、1度ある」グループより、誰かと食事をする頻度で「月に何度か以上」の割合が高くなっています。

表2.11 問2(4) 転倒経験の有無×問3(8) 誰かと食事をする頻度の分割表

		だれかと食事を頻度		
		月に何度か以上	年に何度か以下	合計
過去1年間の転倒経験の	ない	5,000	1,198	6,198
	期待値	4,924.4	1,273.6	
	何度もある、1度ある	2,296	689	2,985
	期待値	2,371.6	613.4	
	合計	7,296	1,887	9,183

p 値=0.000

図2.13 問2(4) 転倒経験の有無×問3(8) 誰かと食事をする頻度



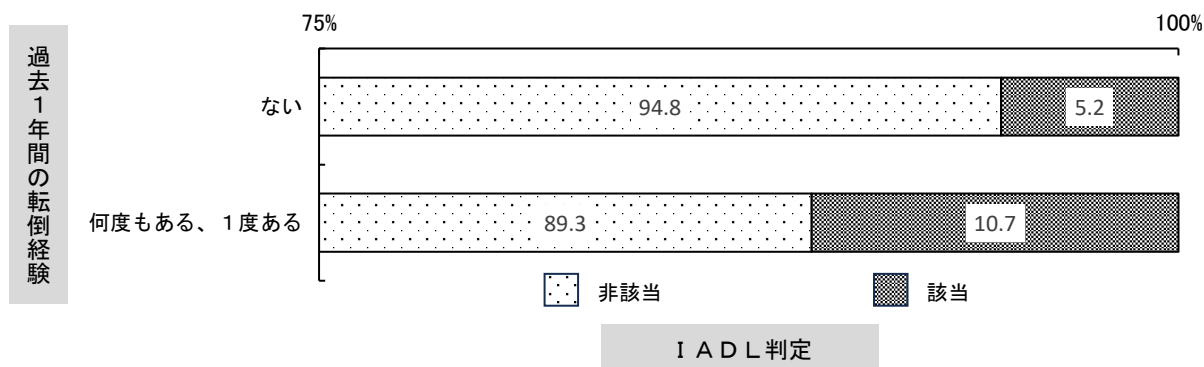
○転倒経験の有無と I A D L 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、過去 1 年間の転倒経験が「ない」グループは、「何度もある、1 度ある」グループより、I A D L 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.12 問2(4) 転倒経験の有無×IADL判定の分割表

		I A D L 判定		
		非該当	該当	合 計
過去 転倒 1年 間の 経験 の	ない	5,887	320	6,207
	期待値	5,775.5	431.5	
	何度もある、1度ある	2,680	320	3,000
	期待値	2,791.5	208.5	
	合 計	8,567	640	9,207

p 値=0.000

図2.14 問2(4) 転倒経験の有無×IADL判定



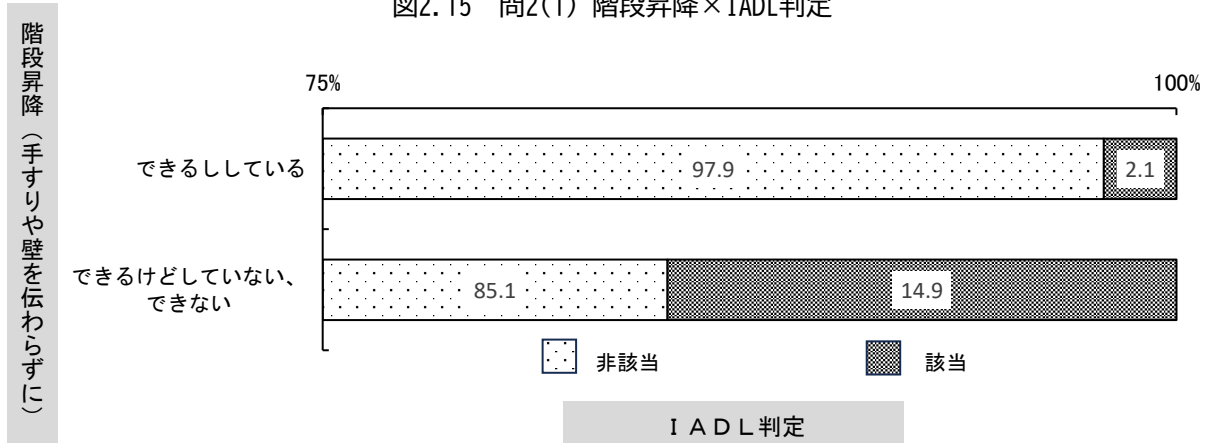
○階段昇降とIADL判定の分割表をみると有意差がみられ(p値=0.000)、階段昇降を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.13 問2(1) 階段昇降×IADL判定の分割表

		IADL判定		
		非該当	該当	合計
階段昇降 (手すりや壁を 伝わらずに)	できるししている	5,533	120	5,653
	期待値	5,258.6	394.4	
	できるけどしていない、 できない	2,946	516	3,462
	期待値	3,220.4	241.6	
合計		8,479	636	9,115

p値=0.000

図2.15 問2(1) 階段昇降×IADL判定



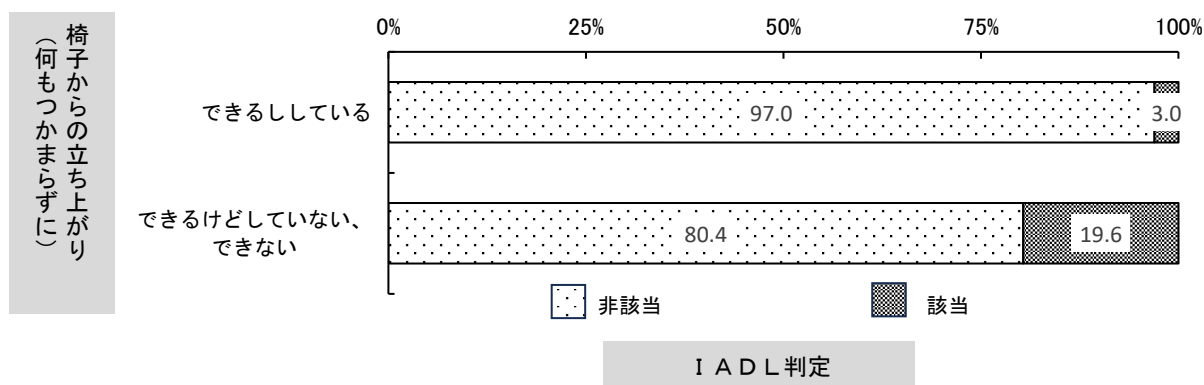
○椅子からの立ち上がりとIADL判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、椅子からの立ち上りを「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.14 問2(2) 椅子からの立ち上がり×IADL判定の分割表

		IADL判定		
		非該当	該当	合計
椅子からの立ち上がり (何もつかまらずに)	できるししている	6,795	212	7,007
	期待値	6,524.4	482.6	
	できるけどしていない、 できない	1,708	417	2,125
	期待値	1,978.6	146.4	
合計		8,503	629	9,132

p値=0.000

図2.16 問2(2) 椅子からの立ち上がり×IADL判定



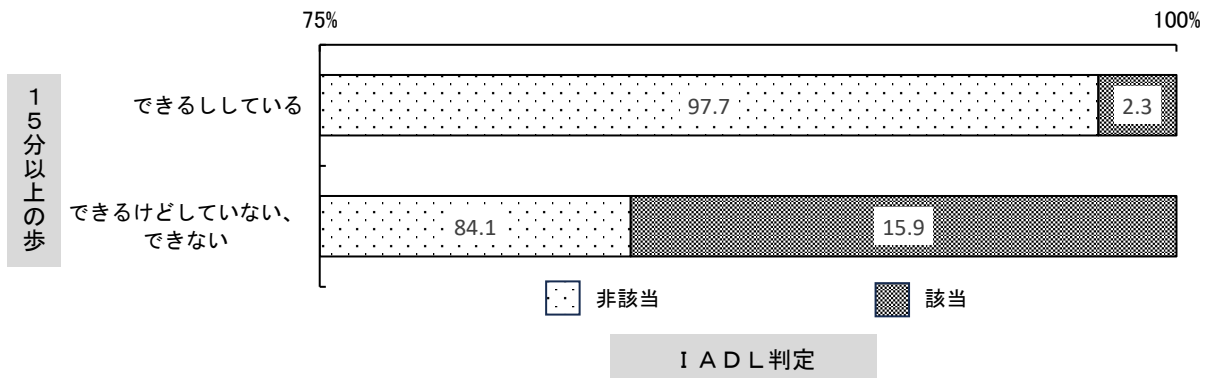
○15分以上の歩行とIADL判定の分割表をみると有意差がみられ(p値=0.000)、15分以上の歩行を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.15 問2(3) 15分以上の歩行×IADL判定の分割表

		IADL判定		
		非該当	該当	合計
15分以上の歩行	できるししている	5,912	138	6,050
	期待値	5,632.3	417.7	
	できるけどしていない、できない	2,609	494	3,103
	期待値	2,888.7	214.3	
	合計	8,521	632	9,153

p値=0.000

図2.17 問2(3) 15分以上の歩行×IADL判定



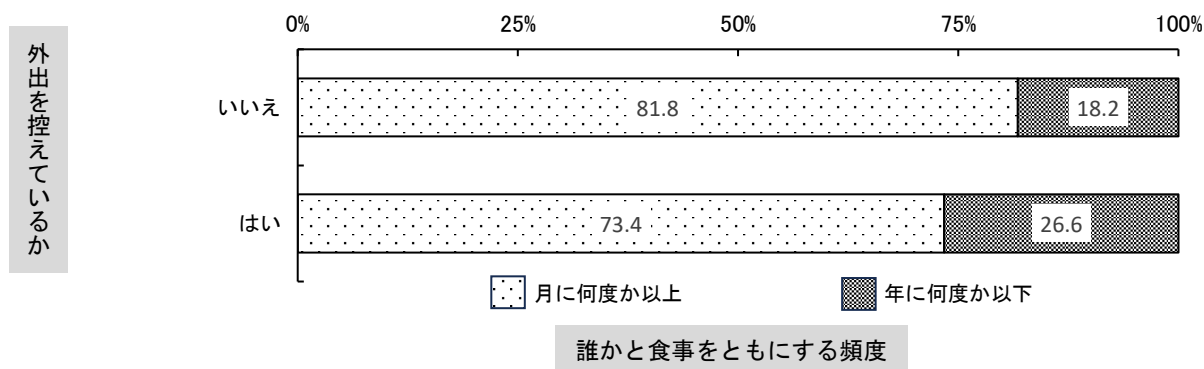
○外出を控えているかと誰かと食事をする頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値 =0.000)、外出を控えているかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、誰かと食事をする頻度で「月に何度か以上」の割合が高くなっています。

表2.16 問2(8) 外出を控えているか×問3(8) 誰かと食事をする頻度の分割表

		誰かと食事をとる頻度		
		月に何度か以上	年に何度か以下	合計
外出を控えているか	いいえ	5,392	1,202	6,594
	期待値	5,236.5	1,357.5	
	はい	1,906	690	2,596
	期待値	2,061.5	534.5	
	合計	7,298	1,892	9,190

p 値=0.000

図2.18 問2(8) 外出を控えているか×問3(8) 誰かと食事をする頻度



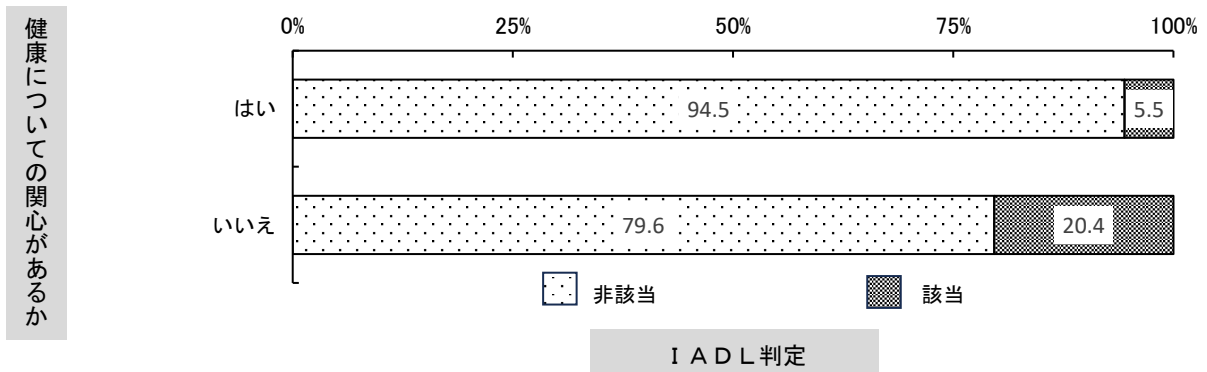
○健康への関心があるかと IADL判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、健康についての関心があるかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.17 問4(12) 健康への関心があるか×IADL判定の分割表

		IADL判定		
		非該当	該当	合計
かの健康 関心があ っている	はい	7,909	464	8,373
	期待値	7,795.9	577.1	
	いいえ	669	171	840
	期待値	782.1	57.9	
	合計	8,578	635	9,213

p値=0.000

図2.19 問4(12) 健康への関心があるか×IADL判定



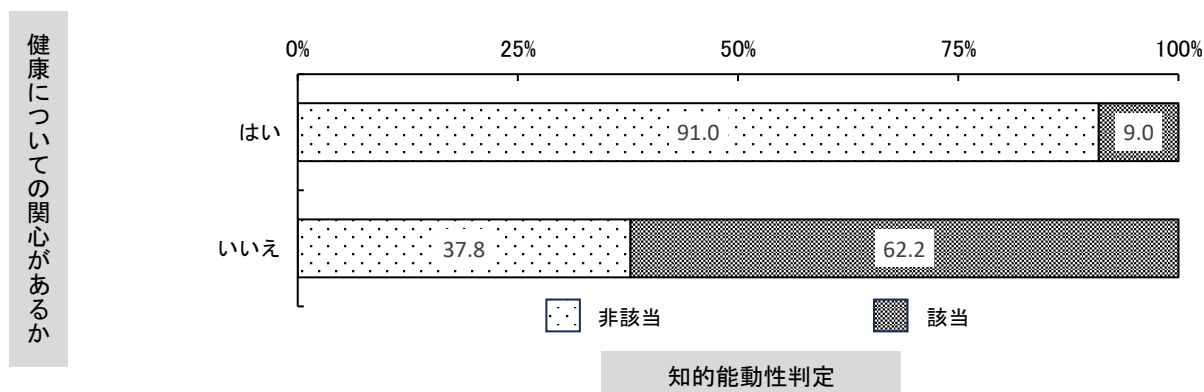
○健康への関心があるかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、健康についての関心があるかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.18 問4(12) 健康への関心があるか×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
健康 への 関心 があ るか の こ と	はい	7,586	753	8,339
	期待値	7,179.1	1,159.9	
	いいえ	318	524	842
	期待値	724.9	117.1	
	合計	7,904	1,277	9,181

p 値=0.000

図2.20 問4(12) 健康への関心があるか×知的能動性判定



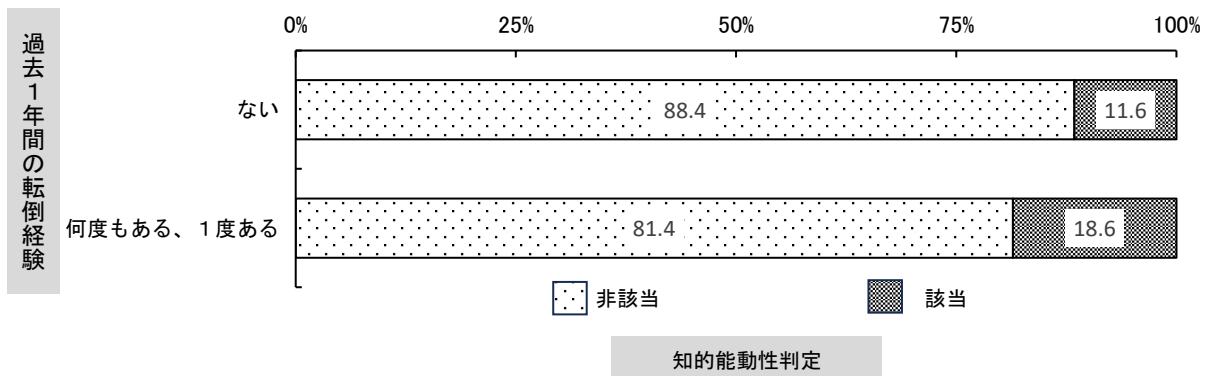
○転倒経験の有無と知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、過去1年間の転倒経験が「ない」グループは、「何度もある、1度ある」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.19 問2(4) 転倒経験の有無×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
過去1年間の転倒経験の	ない	5,443	713	6,156
	期待値	5,303.6	852.4	
	何度もある、1度ある	2,397	547	2,944
	期待値	2,536.4	407.6	
	合計	7,840	1,260	9,100

p 値=0.000

図2.21 問2(4) 転倒経験の有無×知的能動性判定



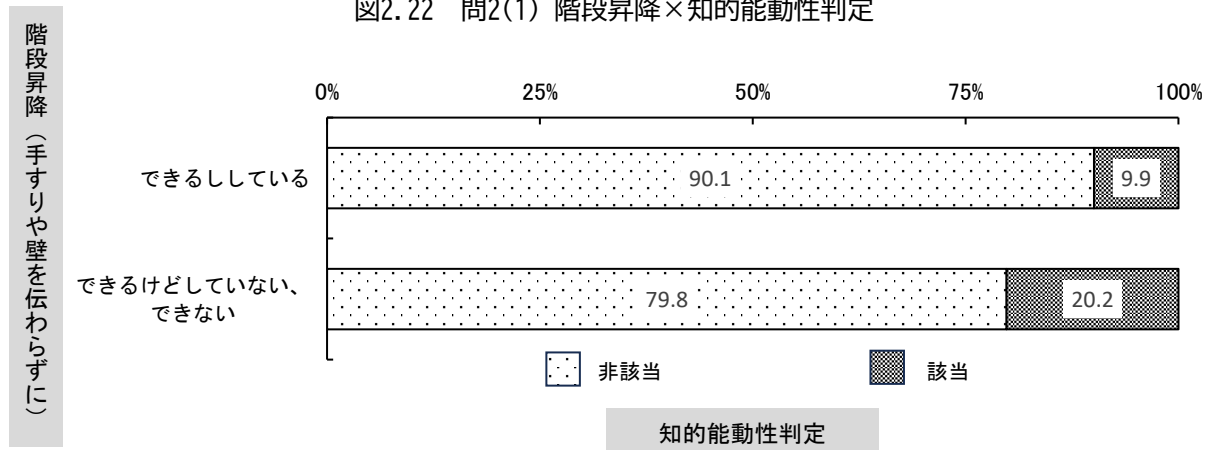
○階段昇降と知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、階段昇降を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.20 問2(1) 階段昇降×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
階段昇降 (手すりや壁を伝 わらずに)	できるししている	5,051	557	5,608
	期待値	4,834.1	773.9	
	できるけどしていない、 できない	2,719	687	3,406
	期待値	2,935.9	470.1	
合計		7,770	1,244	9,014

p 値=0.000

図2.22 問2(1) 階段昇降×知的能動性判定



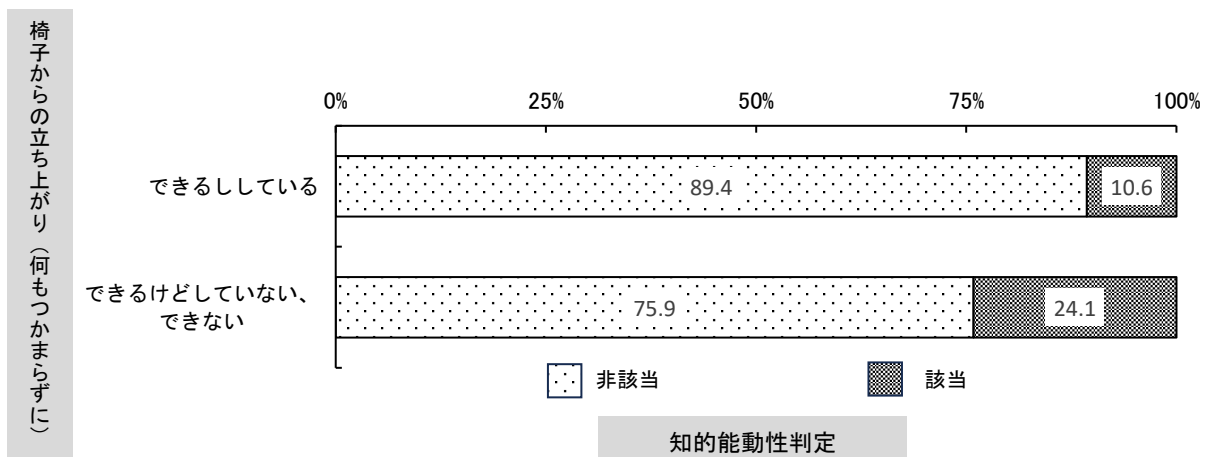
○椅子からの立ち上がりと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、椅子からの立ち上りを「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.21 問2(2) 椅子からの立ち上がり×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
椅子からの立ち上がり(何もつかまらずに)	できるししている	6,210	739	6,949
	期待値	5,993.5	955.5	
	できるけどしていない、できない	1,581	503	2,084
	期待値	1,797.5	286.5	
	合計	7,791	1,242	9,033

p 値=0.000

図2.23 問2(2) 椅子からの立ち上がり×知的能動性判定



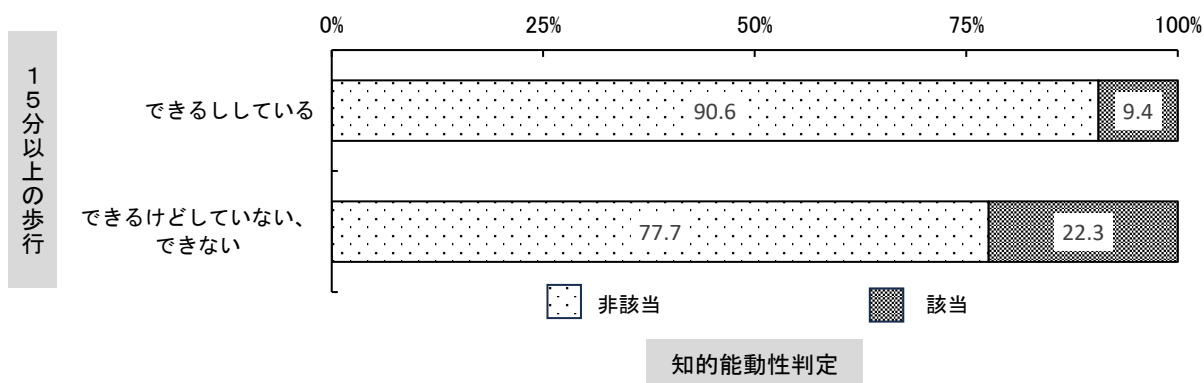
○15分以上の歩行と知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、15分以上の歩行を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.22 問2(3) 15分以上の歩行×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
15分以上の歩行	できるししている	5,427	562	5,989
	期待値	5,164.8	824.2	
	できるけどしていない、できない	2,375	683	3,058
	期待値	2,637.2	420.8	
	合計	7,802	1,245	9,047

p 値=0.000

図2.24 問2(3) 15分以上の歩行×知的能動性判定



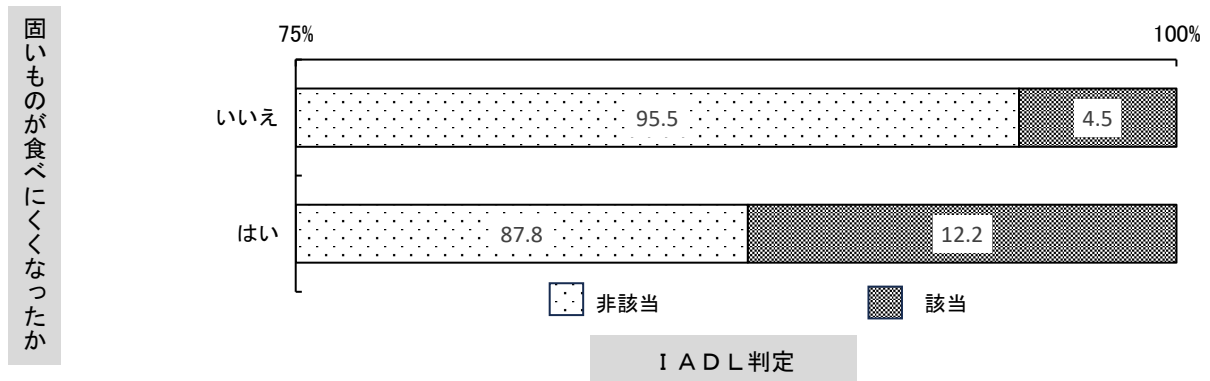
○固いものが食べにくくなったかと IADL 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値 =0.000)、固いものが食べにくくなったかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、IADL 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.23 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×IADL判定の分割表

		IADL 判定		
		非該当	該当	合計
に固くもなつたか食べかべ	いいえ	5,989	280	6,269
	期待値	5,836.9	432.1	
	はい	2,534	351	2,885
	期待値	2,686.1	198.9	
	合計	8,523	631	9,154

p 値=0.000

図2.25 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×IADL判定



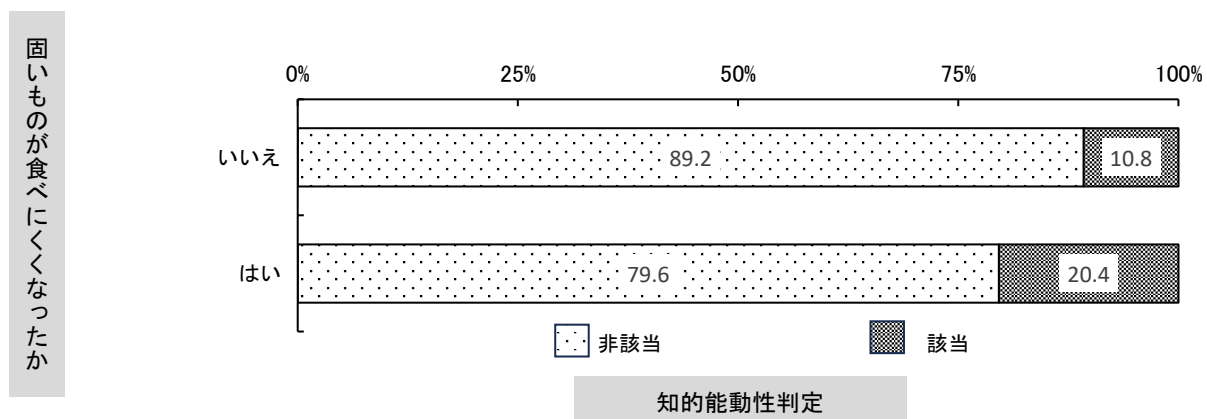
○固いものが食べにくくなったかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値 =0.000)、固いものが食べにくくなったかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.24 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
に固く いも くな もの つが た食 かべ	いいえ	5,539	668	6,207
	期待値	5,351.7	855.3	
	はい	2,264	579	2,843
	期待値	2,451.3	391.7	
	合計	7,803	1,247	9,050

p 値=0.000

図2.26 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×知的能動性判定



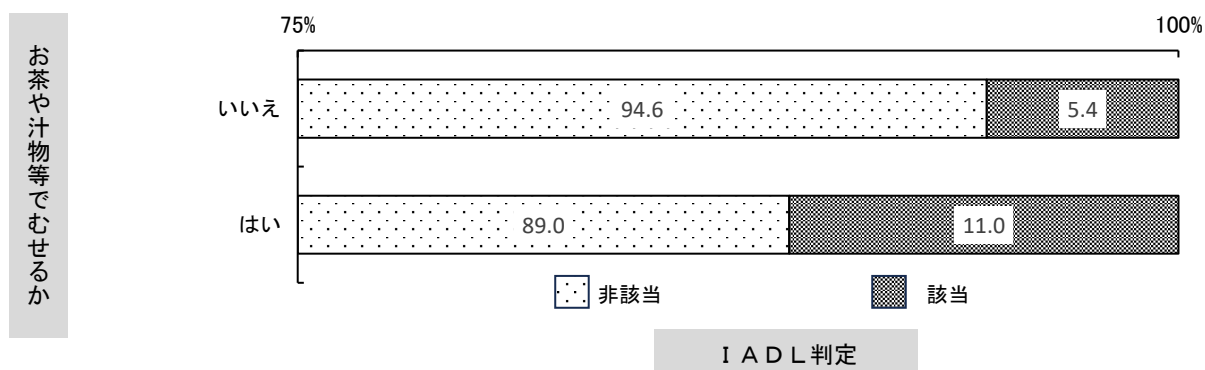
○お茶や汁物等でむせるかと IADL 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、お茶や汁物等でむせるかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、IADL 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.25 問3(3) お茶や汁物でむせるか×IADL判定の分割表

		IADL 判定		
		非該当	該当	合計
お茶や汁物等でむせるか	いいえ	6,382	367	6,749
	期待値	6,281.7	467.3	
	はい	2,167	269	2,436
	期待値	2,267.3	168.7	
	合計	8,549	636	9,185

p 値=0.000

図2.27 問3(3) お茶や汁物でむせるか×IADL判定



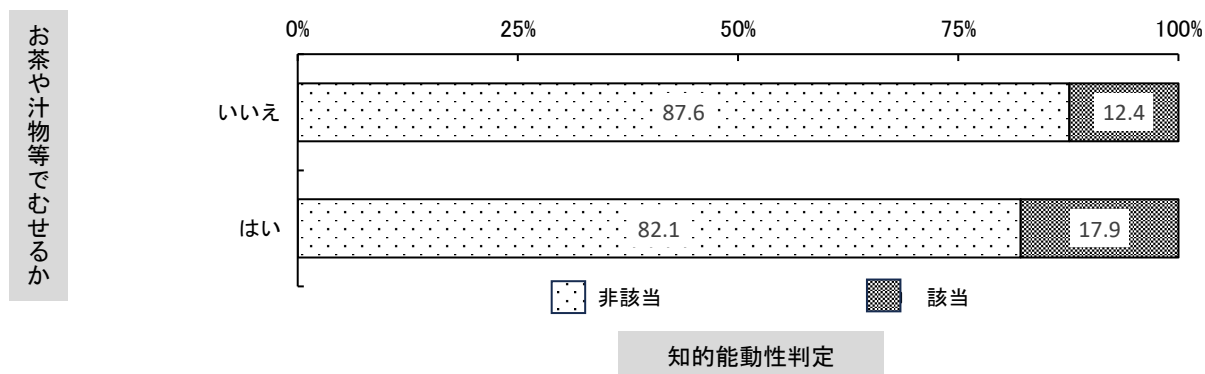
○お茶や汁物等でむせるかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値 =0.000)、お茶や汁物等でむせるかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.26 問3(3) お茶や汁物でむせるか×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
お茶や汁物等でむせるか	いいえ	5,851	826	6,677
	期待値	5,752.9	924.1	
	はい	1,974	431	2,405
	期待値	2,072.1	332.9	
	合計	7,825	1,257	9,082

p 値=0.000

図2.28 問3(3) お茶や汁物でむせるか×知的能動性判定



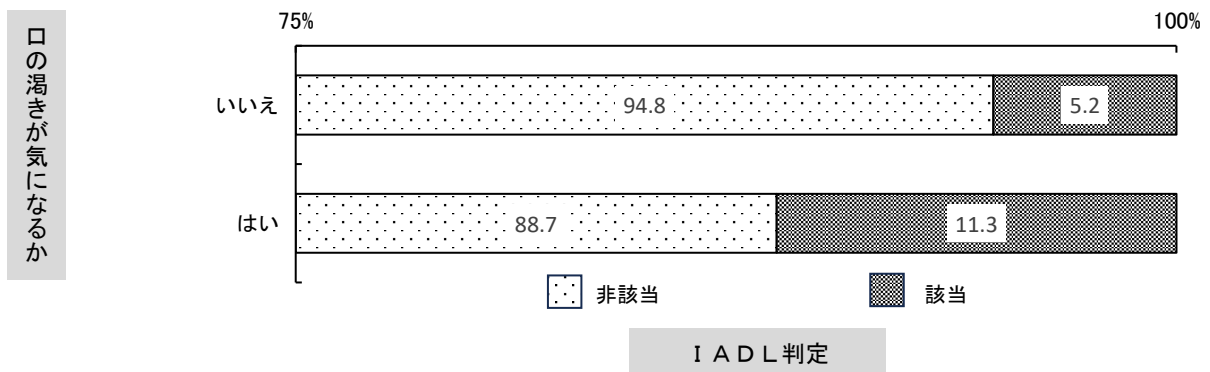
○口の渇きが気になるかと IADL 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、口の渇きが気になるかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、IADL 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.27 問3(4) 口の渇きが気になるか×IADL判定の分割表

		IADL 判定		
		非該当	該当	合計
口の渇きが 気になるか	いいえ	6,371	349	6,720
	期待値	6,261.4	458.6	
	はい	2,148	275	2,423
	期待値	2,257.6	165.4	
合計		8,519	624	9,143

p 値=0.000

図2.29 問3(4) 口の渇きが気になるか×IADL判定



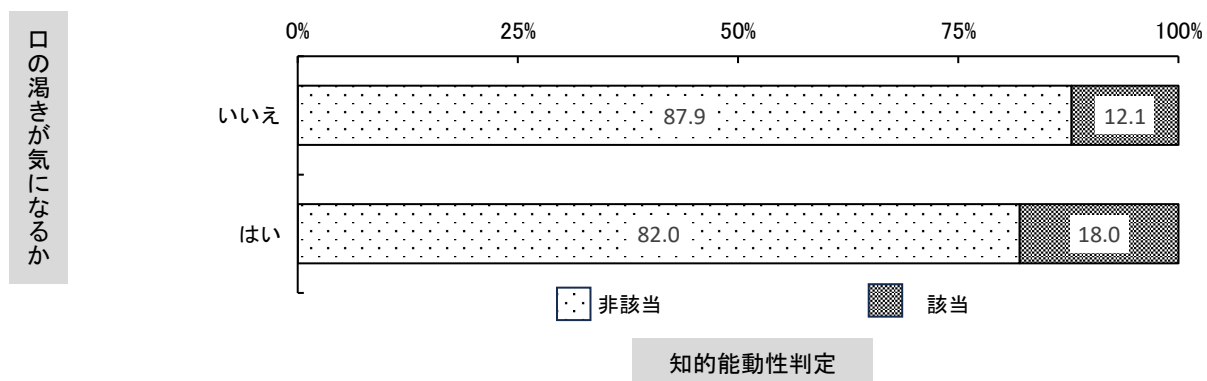
○口の渴きが気になるかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、口の渴きが気になるかで「いいえ」のグループは、「はい」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.28 問3(4) 口の渴きが気になるか×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
口の なる き か 気	いいえ	5,851	808	6,659
	期待値	5,747.6	911.4	
	はい	1,956	430	2,386
	期待値	2,059.4	326.6	
	合計	7,807	1,238	9,045

p 値=0.000

図2.30 問3(4) 口の渴きが気になるか×知的能動性判定



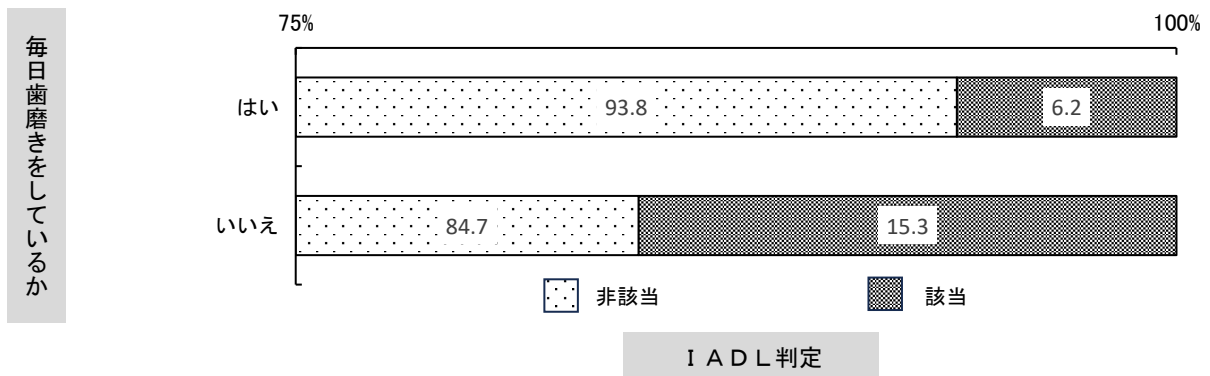
○毎日歯磨きをしているかと IADL 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、毎日歯磨きをしているかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、IADL 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.29 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×IADL判定の分割表

		IADL 判定		
		非該当	該当	合計
毎日歯磨きをしているか	はい	7,990	531	8,521
	期待値	7,936.1	584.9	
	いいえ	544	98	642
	期待値	597.9	44.1	
	合計	8,534	629	9,163

p 値=0.000

図2.31 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×IADL判定



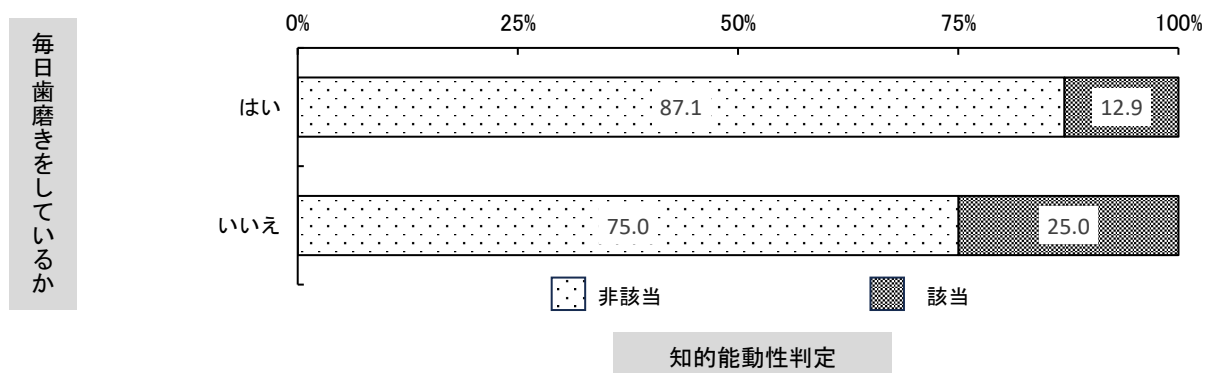
○毎日歯磨きをしているかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値 =0.000)、毎日歯磨きをしているかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.30 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合計
毎日歯磨きをしているか	はい	7,343	1,089	8,432
	期待値	7,272.9	1,159.1	
	いいえ	469	156	625
	期待値	539.1	85.9	
	合計	7,812	1,245	9,057

p値=0.000

図2.32 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×知的能動性判定



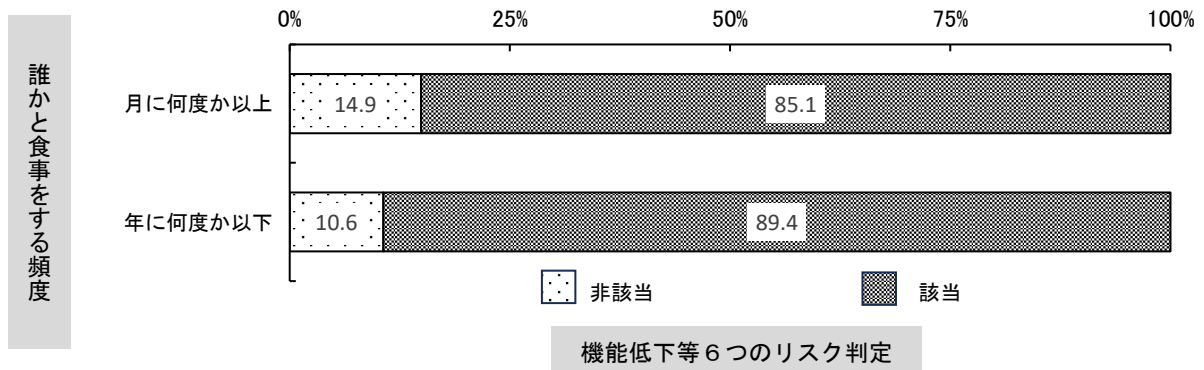
○誰かと食事をする頻度と介護予防リスク判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値 =0.000)、誰かと食事をする頻度で「月に何度か以上」のグループは、「年に何度か以下」のグループより、介護予防リスク判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.31 問3(8) 誰かと食事をする頻度×介護予防リスク判定の分割表

		機能低下等6つのリスク判定		
		非該当	該当	合計
誰かと食事をする頻度	月に何度か以上	1,076	6,135	7,211
	期待値	1,012.1	6,198.9	
	年に何度か以下	200	1,680	1,880
	期待値	263.9	1,616.1	
合計		1,276	7,815	9,091

p値=0.000

図2.33 問3(8) 誰かと食事をする頻度×介護予防リスク判定



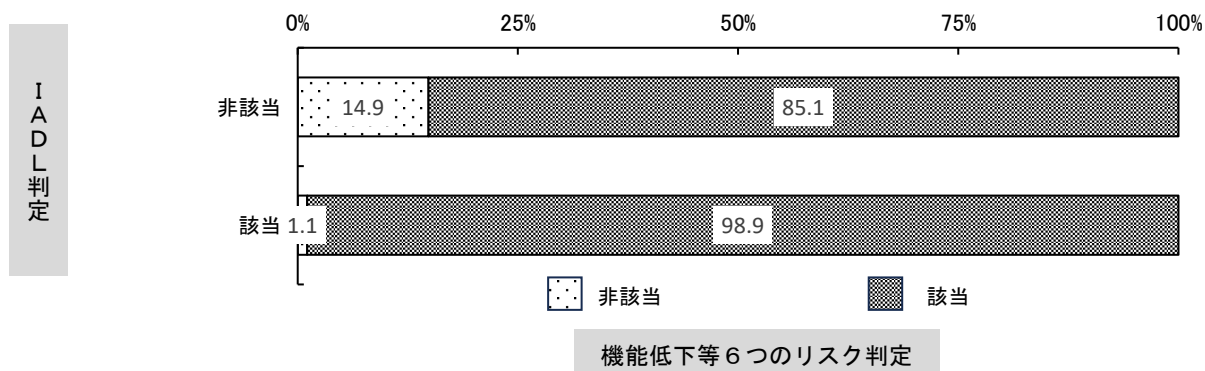
○ IADL判定と介護予防リスク判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、IADL判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、介護予防リスク判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.32 IADL判定×介護予防リスク判定の分割表

		機能低下等 6 つのリスク判定		
		非該当	該当	合計
I A D L 判 定	非該当	1,257	7,203	8,460
	期待値	1,174.6	7,285.4	
	該当	7	637	644
	期待値	89.4	554.6	
	合計	1,264	7,840	9,104

p 値=0.000

図2.34 IADL判定×介護予防リスク判定



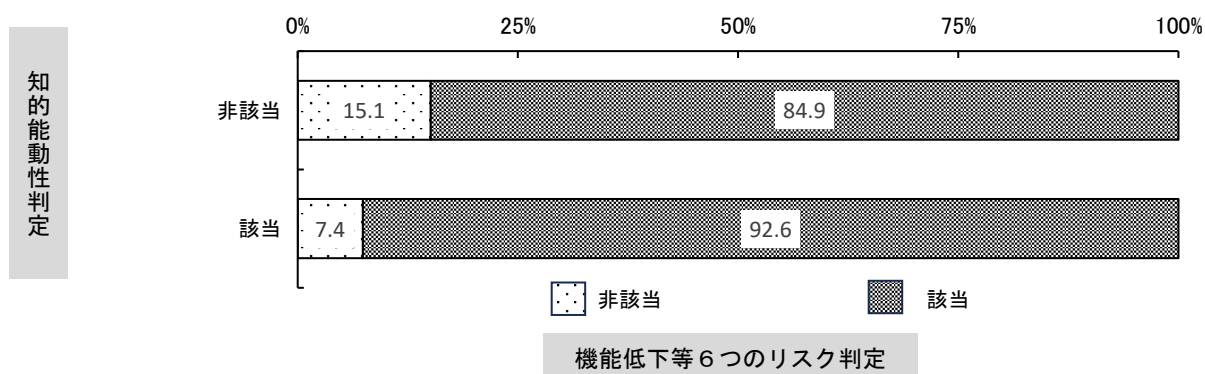
○知的能動性判定と介護予防リスク判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、知的能動性判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、介護予防リスク判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.33 知的能動性判定×介護予防リスク判定の分割表

		機能低下等6つのリスク判定		
		非該当	該当	合計
知的能動性判定	非該当	1,169	6,575	7,744
	期待値	1,085.8	6,658.2	
	該当	93	1,164	1,257
	期待値	176.2	1,080.8	
	合計	1,262	7,739	9,001

p 値=0.000

図2.35 知的能動性判定×介護予防リスク判定



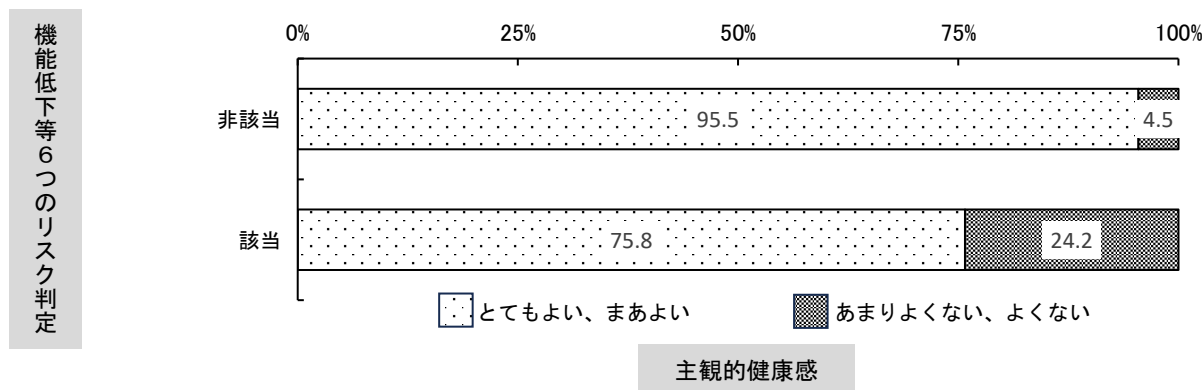
○介護予防リスク判定と主観的健康感の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、介護予防リスク判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、主観的健康感で「とてもよい、まあよい」の割合が高くなっています。

表2.34 介護予防リスク判定×問7(1) 主観的健康感の分割表

		主観的健康感		
		とてもよい、まあよい	あまりよくない、よくない	合計
の機能低下等6つのリスク判定	非該当	1,220	58	1,278
	期待値	1,003.8	274.2	
	該当	5,918	1,892	7,810
	期待値	6,134.2	1,675.8	
	合計	7,138	1,950	9,088

p 値=0.000

図2.36 介護予防リスク判定×問7(1) 主観的健康感



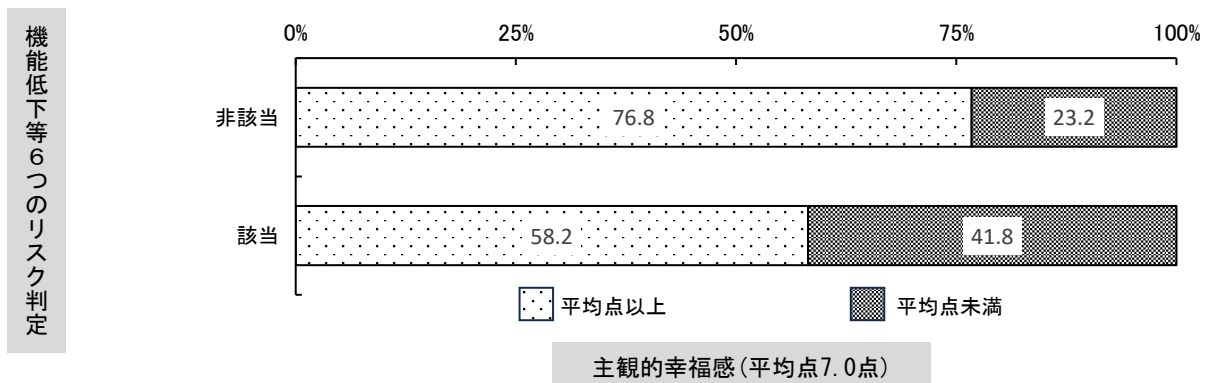
○介護予防リスク判定と主観的幸福感の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、介護予防リスク判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、主観的幸福感で「平均点 (7.0 点) 以上」の割合が高くなっています。

表2.35 介護予防リスク判定×問7(2) 主観的幸福感の分割表

		主観的幸福感(平均点7.0点)		
		平均点以上	平均点未満	合計
の機能 リスク 低下等 6つ	非該当	974	295	1,269
	期待値	771.5	497.5	
	該当	4,485	3,225	7,710
	期待値	4,687.5	3,022.5	
	合計	5,459	3,520	8,979

p 値=0.000

図2.37 介護予防リスク判定×問7(2) 主観的幸福感



2 要介護者等のビジョンに関連した分析

(1) 「本人」の在宅生活の継続性の確保

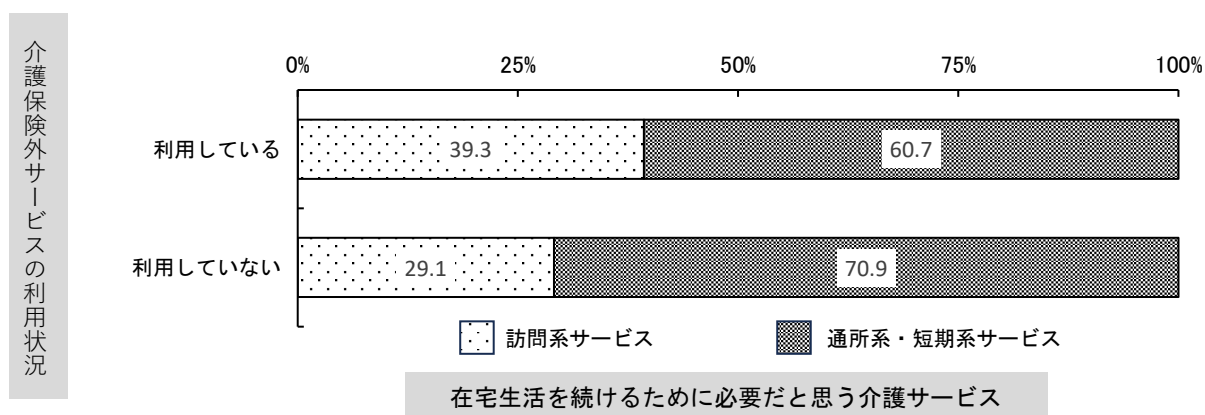
○介護保険サービス以外のサービスを利用の有無と在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、介護保険サービス以外のサービスを利用の有無で「利用している」グループは、「利用していない」グループより、在宅生活を続けるために必要だと思うサービスで「訪問系サービス」の割合が高くなっています。

表2.36 [問8] 介護保険サービス以外のサービスを利用の有無
×[問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表

		在宅生活を続けるために必要だと思う介護サービス		
		訪問系サービス	通所系・短期系サービス	合計
介護保険外サービスの利用状況	利用している	340	525	865
	期待値	280.7	584.3	
	利用していない	511	1,246	1,757
	期待値	570.3	1186.7	
	合計	851	1,771	2,622

p 値=0.000

図2.38 [問8] 介護保険サービス以外のサービスを利用の有無
×[問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス



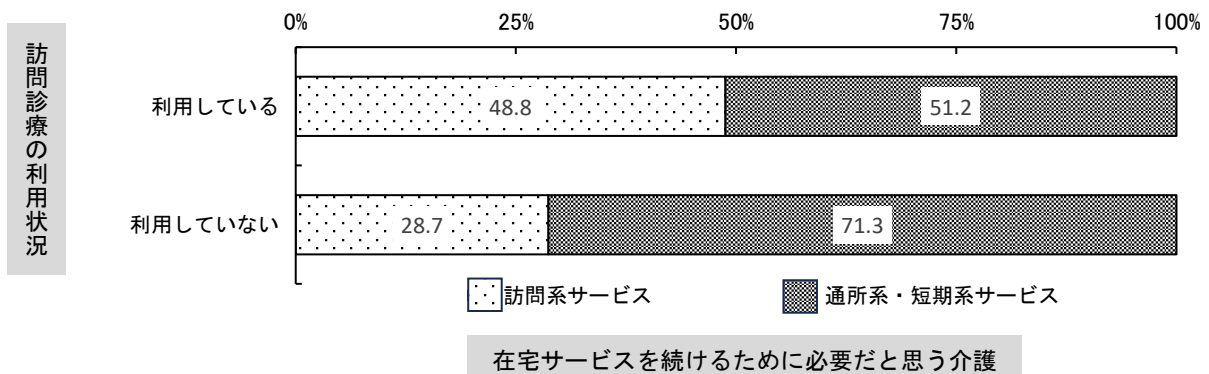
○訪問診療の利用状況と在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、訪問診療の利用状況で「利用している」グループは、「利用していない」グループより、在宅生活を続けるために必要だと思うサービスで「訪問系サービス」の割合が高くなっています。

表2.37 [問12] 訪問診療の利用状況
× [問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表

		在宅生活を続けるために必要だと思う介護サービス		
		訪問系サービス	通所系・短期系サービス	合計
訪問診療の 利用状況	利用している	264	277	541
	期待値	175.8	365.2	
	利用していない	671	1,666	2,337
	期待値	759.2	1577.8	
	合計	935	1,943	2,878

p 値=0.000

図2.39 [問12] 訪問診療の利用状況× [問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス



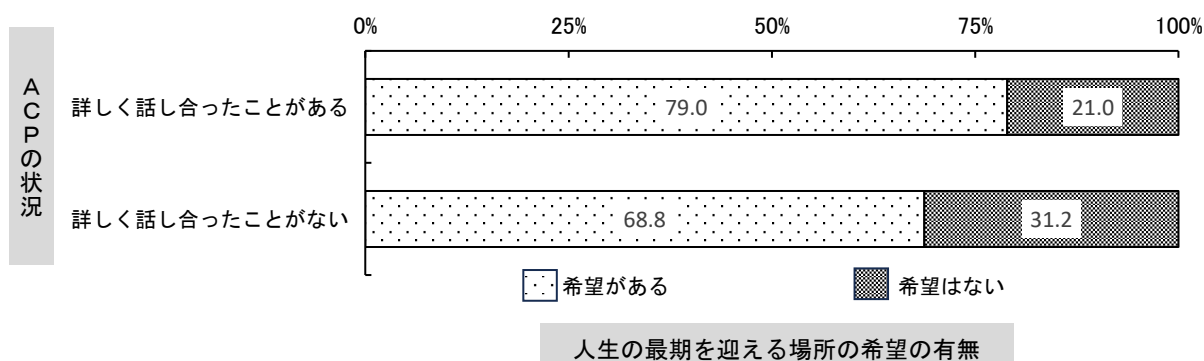
○ACP の状況と人生の最期を迎える場所の希望の有無の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、ACP の状況で「詳しく話し合ったことがある」グループは、「詳しく話し合ったことがない」グループより、人生の最期を迎える場所の希望の有無で「希望がある」の割合が高くなっています。

表2.38 [問17] ACPの状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無の分割表

		人生の最期を迎える場所の希望の有無		
		希望がある	希望はない	合計
ACP の 状 況	詳しく話し合ったことがある	259	69	328
	期待値	228.6	99.4	
	詳しく話し合ったことがない	2,253	1,024	3,277
	期待値	2,283.4	993.6	
	合計	2,512	1,093	3,605

p 値=0.000

図2.40 [問17] ACPの状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無



ACP：アドバンス・ケア・プランニングの略で、「人生会議」ともいう。もしものときのために本人が大切にしていることや本人が望む医療や介護について自ら考え、また、周囲の信頼する人たちと話し合うこと。

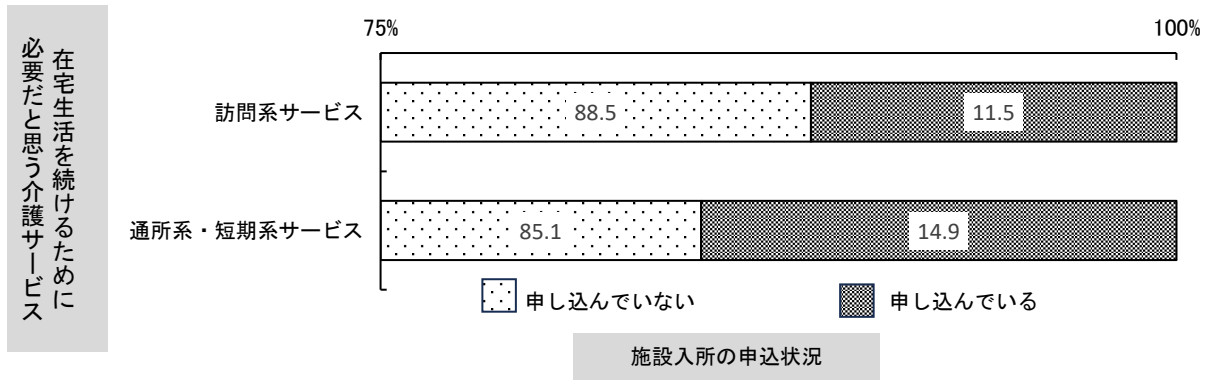
○在宅生活を続けるために必要だと思うサービスと施設入所の申込状況の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.013)、在宅生活を続けるために必要だと思うサービスで「訪問系サービス」のグループは、「通所系・短期系サービス」のグループより、施設入所の申込状況で「申し込んでいない」の割合が高くなっています。

表2.39 [問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス
×[問10] 施設入所の申込状況の分割表

		施設入所の申込状況		
		申し込んでいない	申し込んでいる	合計
在宅生活を続けるために必要だと思うサービス	訪問系サービス	817	106	923
	期待値	795.7	127.3	
	通所系・短期系サービス	1,584	278	1,862
	期待値	1605.3	256.7	
	合計	2,401	384	2,785

p 値=0.013

図2.41 [問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス×[問10] 施設入所の申込状況



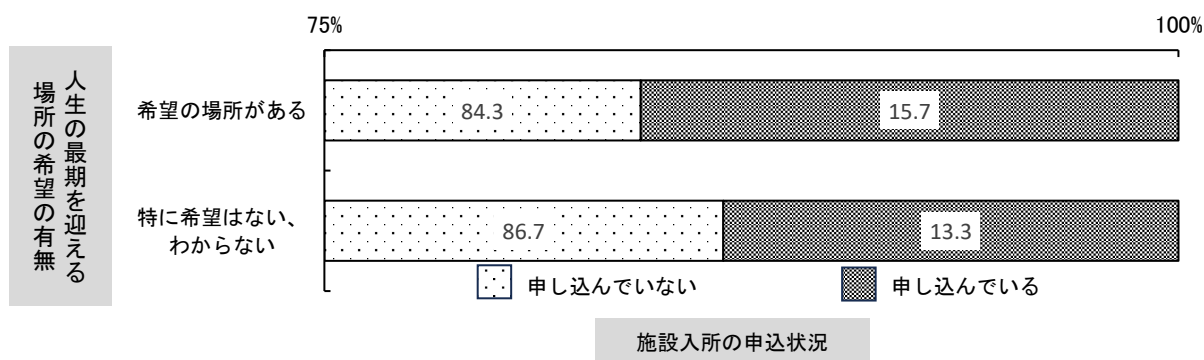
○令和2年の前回調査では、人生の最期を迎える場所の希望の有無と施設入所の申込状況の分割表をみると有意差がみられましたが（p 値=0.029）、今回調査では、有意差がみられませんでした（p 値=0.069>0.05）。

表 2.40 [問 18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無×[問 10] 施設入所の申込状況の分割表【参考】

		施設入所の申込状況		
		申し込んでいない	申し込んでいる	合計
のえ 有 無 場 所 の 最 期 を 迎 え る 希 望	希望の場所がある	1,986	371	2,357
	期待値	2,003.4	353.6	
	特に希望はない、 わからない	898	138	1,036
	期待値	880.6	155.4	
合計		2,884	509	3,393

p 値=0.069

図2.42 [問18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無×[問10] 施設入所の申込状況【参考】



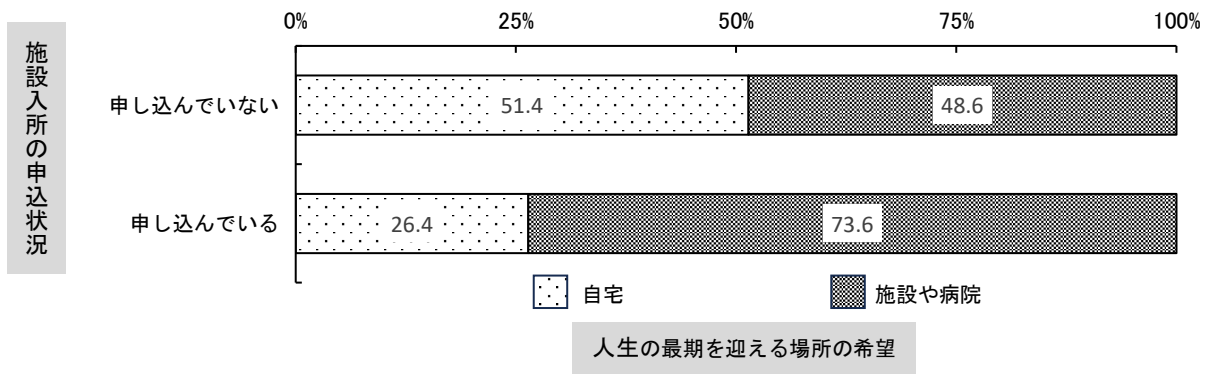
○施設入所の申込状況と人生の最期を迎える場所の希望の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、施設入所の申込状況で「申し込んでいない」グループは、「申し込んでいる」グループより、人生の最期を迎える場所の希望で「自宅」の割合が高くなっています。

表2.41 [問10] 施設入所の申込状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望の分割表

		人生の最期を迎える場所の希望		
		自宅	施設や病院	合計
施設入所の 申込状況	申し込んでいない	1,021	965	1,986
	期待値	942.9	1,043.1	
	申し込んでいる	98	273	371
	期待値	176.1	194.9	
	合計	1,119	1,238	2,357

p 値=0.000

図2.43 [問10] 施設入所の申込状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望



(2) 家族等「介護者」の就労継続

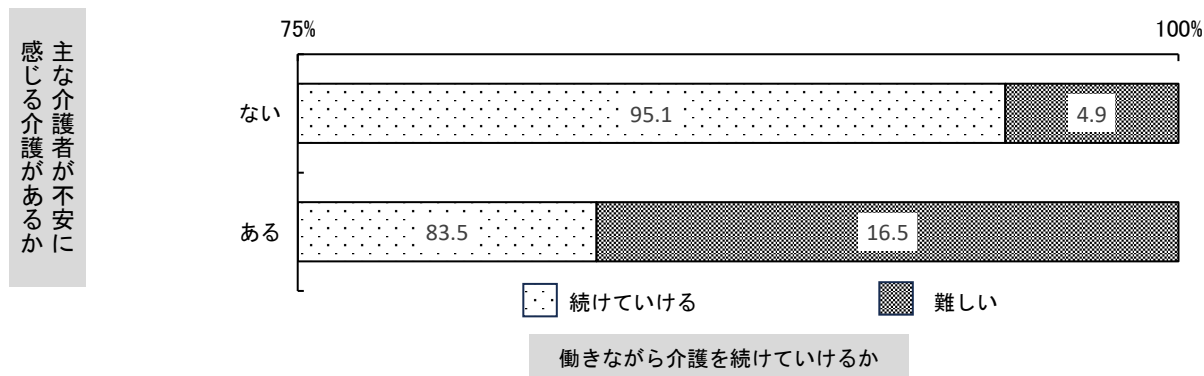
○不安を感じる介護の有無と今後も仕事と介護を両立できるかの分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.016)、主な介護者が不安を感じる介護があるかで「ない」グループは、「ある」グループより、働きながら介護を続けていけるかで「続けていける」の割合が高くなっています。

表2.42 [問15] 不安を感じる介護の有無×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるかの分割表

		働きながら介護を続けていけるか		
		続けていける	難しい	合計
主な介護者が不安を感じるか	ない	58	3	61
	期待値	51.3	9.7	
	ある	814	161	975
	期待値	820.7	154.3	
	合計	872	164	1,036

p 値=0.016

図2.44 [問15] 不安を感じる介護の有無×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか



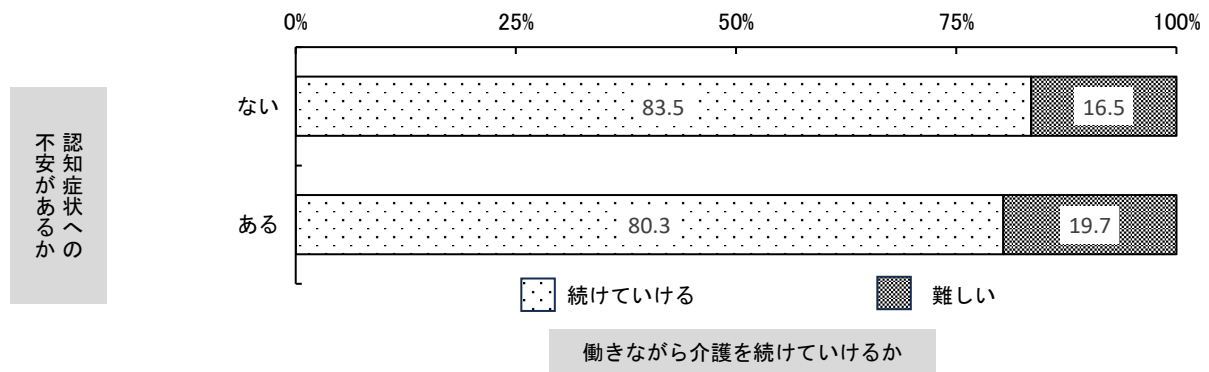
○令和2年の前回調査では、認知症状に対する不安と今後も仕事と介護を両立できるかの分割表をみると有意差がみられましたが (p 値=0.005)、今回調査では、有意差がみられませんでした (p 値=0.289>0.05)。

表2.43 [問15] 認知症状に対する不安×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるかの分割表
【参考】

		働きながら介護を続けていけるか		
		続けていける	難しい	合計
不 認 知 症 状 が あ る へ か の 不 安	ない	223	44	267
	期待値	217.7	49.3	
	ある	368	90	458
	期待値	373.3	84.7	
合計		591	134	725

p 値=0.289

図2.45 [問15] 認知症状に対する不安×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか【参考】



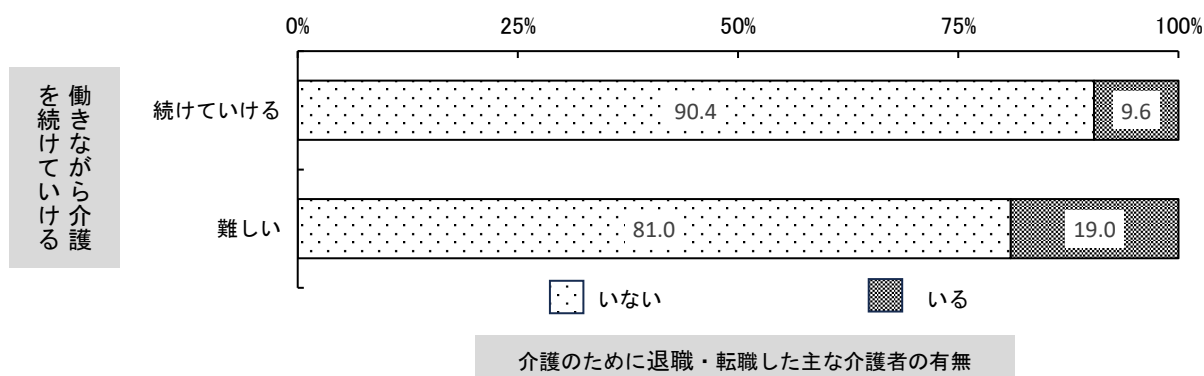
○今後も仕事と介護を両立できるかと介護離職・転職の状況の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.001)、働きながら介護を続けていけるかで「続けていける」グループは、「難しい」グループより、介護のために離職・転職した主な介護者の有無で「いない」の割合が高くなっています。

表2.44 [問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか×[問7] 介護離職・転職の状況の分割表

		介護のために退職・転職した主な介護者の有無		
		いない	いる	合計
働 き な が ら 介 護 を 続 け て い け る か	続けていける	659	70	729
	期待値	647.4	81.6	
	難しい	119	28	147
	期待値	130.6	16.4	
合計		778	98	876

p 値=0.001

図2.46 [問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか×[問7] 介護離職・転職の状況



(3) 「サービス提供体制」の確保

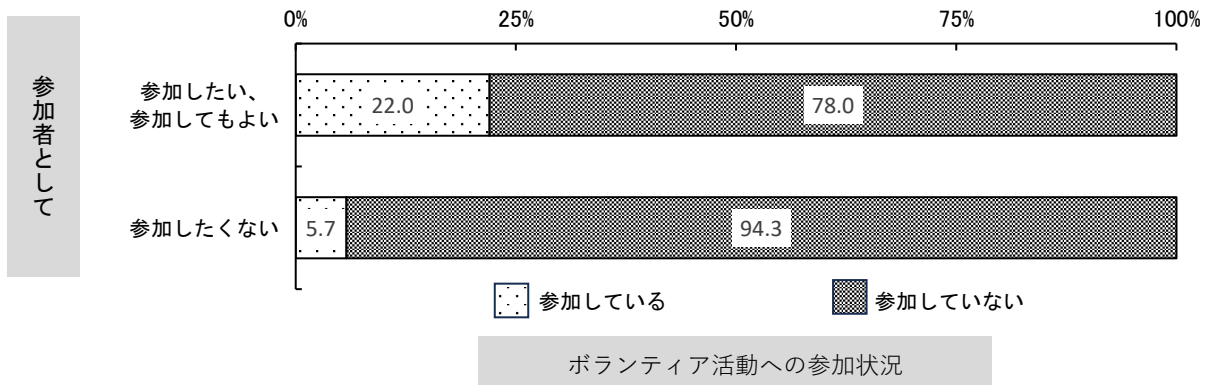
○参加者としての社会参加意向と社会参加活動（ボランティア）への参加の分割表をみると有意差がみられ（p 値=0.000）、参加者として「参加したい、参加してもよい」グループは、「参加したくない」グループより、ボランティア活動への参加状況で「参加している」割合が高くなっています。

表2.45 問5(2) 参加者としての社会参加意向
×問5(1)① 社会参加活動（ボランティア）への参加の分割表

		ボランティア活動への参加状況		
		参加している	参加していない	合計
参加者として	参加したい、参加してもよい	848	3,003	3,851
	期待値	595.8	3,255.2	
	参加したくない	149	2,444	2,593
	期待値	401.2	2,191.8	
	合計	997	5,447	6,444

p 値=0.000

図2.47 問5(2) 参加者としての社会参加意向×問5(1)① 社会参加活動（ボランティア）への参加



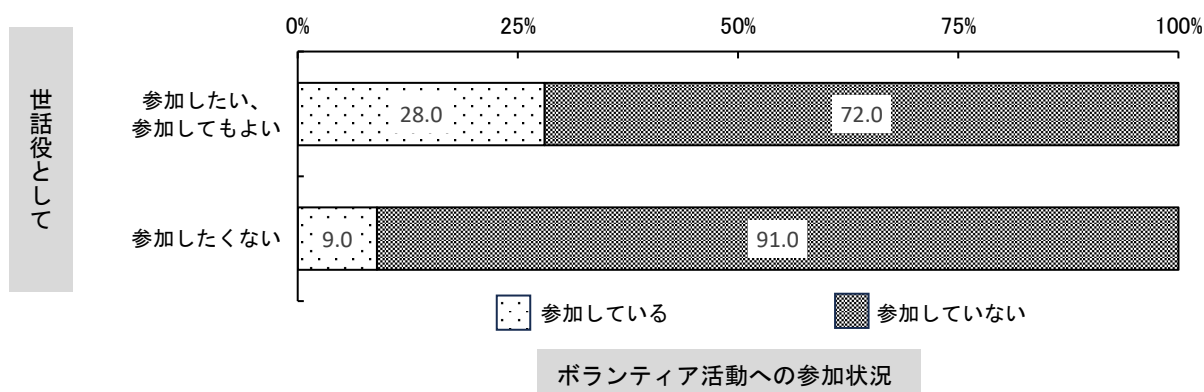
○世話役としての社会参加意向と社会参加活動（ボランティア）への参加の分割表をみると有意差がみられ（p 値=0.000）、世話役として「参加したい、参加してもよい」グループは、「参加したくない」グループより、ボランティア活動への参加状況で「参加している」割合が高くなっています。

表2.46 問5(3) 世話役としての社会参加意向
×問5(1)① 社会参加活動（ボランティア）への参加の分割表

		ボランティア活動への参加状況		
		参加している	参加していない	合計
世話役として	参加したい、参加してもよい	580	1,488	2,068
	期待値	317.6	1,750.4	
	参加したくない	373	3,764	4,137
	期待値	635.4	3,501.6	
	合計	953	5,252	6,205

p 値=0.000

図2.48 問5(3) 世話役としての社会参加意向×問5(1)① 社会参加活動（ボランティア）への参加



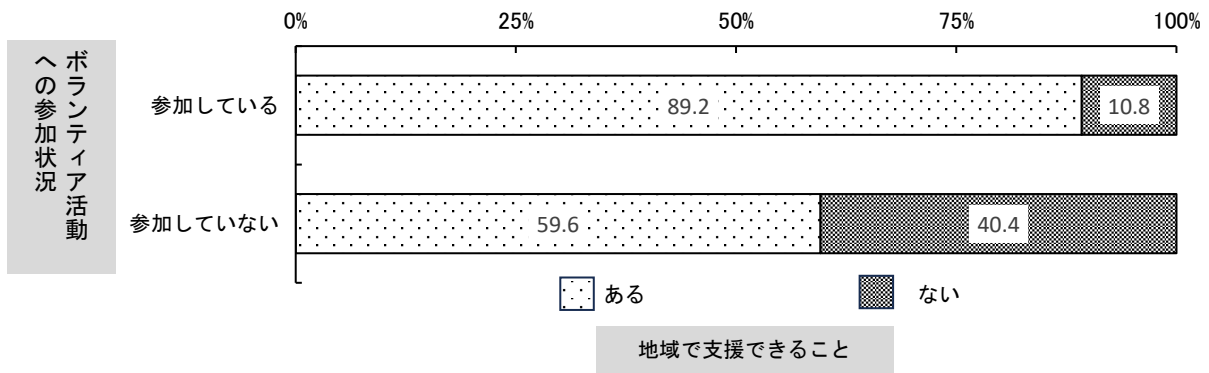
○社会参加活動（ボランティア）への参加と地域で支援できることの分割表をみると有意差がみられ（p 値=0.000）、ボランティア活動への参加状況で「参加している」グループは、「参加していない」グループより、地域で支援できることが「ある」の割合が高くなっています。

表2.47 問5(1)① 社会参加活動（ボランティア）への参加×問5(4) 地域で支援できることの分割表

		地域で支援できること		
		ある	ない	合計
ボランティアへの参加状況	参加している	1,070	129	1,199
	期待値	778.8	420.2	
	参加していない	3,241	2,197	5,438
	期待値	3,532.2	1,905.8	
	合計	4,311	2,326	6,637

p 値=0.000

図2.49 問5(1)① 社会参加活動（ボランティア）への参加×問5(4) 地域で支援できること



第3章

地区分析

第3章 地区分析

第3章は第2章で分析した「集計結果に基づくビジョンに関連した分析結果」に基づき、ビジョン達成のために関係性があると思われる項目をさらに細分化し、圏域ごとに、各地区における「地区の現状」「高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析」「要介護者の在宅生活継続に係るニーズ」をカルテ形式により指標化して分析しました。

なお、表内で「指標となる項目」及び「調査結果（％）」にアンダーラインが引いている箇所については、「調査結果（％）」の数値の低い方が順位が高く、アンダーラインを引いていない箇所については、「調査結果（％）」の数値の高い方が順位が高くなっています。

第一圏域（なでしこ）

1 「出羽地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
6,699	2,204	32.9 (30.4)	934	1,270	57.6 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,812	38	83	271	16.1 (16.1)	120	5.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.3	9	
		14.4			
	介護予防事業対象者	77.7	76.4	10	
77.4					
サービス事業対象者	5.9	5.3	12		
	5.5				
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
			35.0		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.5	12
			62.2		
		生きがいがある	61.1	64.1	6
			60.8		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	36.9	4	
		35.5			
	週二回以上外出している	81.7	82.7	13	
		79.2			
	何らかの地域活動へ参加している	66.8	67.6	11	
		64.6			
①ボランティアのグループに参加している	13.8	11.3	25		
	14.0				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	18.6	21		
	17.9				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	24.3	21		
	24.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.3	25		
	6.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第一圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.0	14
		7.1		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.3	18
		3.8		
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	37.9	8	
	33.8			
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.9	10	
	28.1			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	63.8	14
		62.6		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.7	17
		75.8		
15分以上の歩行をしている	66.8	66.1	17	
	62.7			
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	31.6	22
		30.8		
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.3	3
		25.3		
	口の渇きが気になる	25.0	21.3	4
		22.3		
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.4	23
		91.2		
	過去一年間で転倒していない	68.0	71.4	4
		68.9		
	健康への関心がある	90.1	91.4	5
		90.0		
	外出を控えている	25.9	24.6	9
		27.2		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	14.9	21
		12.9		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	82.1	2
		80.3		
	IADLの低下に該当	5.2	5.0	12
		6.2		
知的能動性の低下に該当	12.5	11.0	9	
	13.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.7	7	
	83.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.0	14	
	13.2			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.0	17	
	0.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	21.6	12	
	21.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	31.2	10
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.2	4
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	40.5	1
			44.1		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.7	6
			81.1		
幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）		61.8	58.0	25	
		61.1			
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	20.2	28
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	17.8	17
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	12.4	4
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	20.2	25
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	68.2	7
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	71.3	22
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	4.7	15
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	31.0	28
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	79.5	7
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	15.4	22
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.5	12
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
			35.0		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	11.3	25
			14.0		
		地域で支援できることがある	69.5	75.1	4
			71.3		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	30.2	13	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	10.1	調理	6.2	掃除・洗濯	16.3
買い物	14.0	ゴミ出し	11.6	外出同行	27.1
移送サービス	23.3	見守り、声かけ	18.6	通いの場	10.9
その他	2.3	特にない	30.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	32.6	36.5
声かけ	24.8	42.2
外出同行	8.5	6.6
雪かき	27.9	19.3
庭の手入れ	15.5	12.6
ゴミ出し	10.9	18.6
買物	9.3	12.6
調理	3.1	5.0
掃除	4.7	14.3
着替え	0.8	2.0
季節用品の入替	0.8	2.7
電球交換	0.8	7.0
特にない(できない)	27.1	25.6
その他	2.3	0.7

第一圏域（なでしこ）

2 「大郷地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
3,980	1,564	39.3 (30.4)	729	835	53.4 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,188	28	64	284	22.3 (16.1)	158	10.1 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第一圏域(%)		
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.0	6
		14.4		
	介護予防事業対象者	77.7	77.2	12
77.4				
サービス事業対象者	5.9	4.6	7	
	5.5			
一般高齢者の ビジョン	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
		35.0		
	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
		62.2		
	生きがいがある	61.1	61.6	15
		60.8		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	35.2	8
		35.5		
	週二回以上外出している	81.7	78.5	22
		79.2		
	何らかの地域活動へ参加している	66.8	65.0	21
		64.6		
	①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.6	7
14.0				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	17.9	23	
	17.9			
③趣味関係のグループに参加している	26.4	22.1	24	
	24.1			
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.8	21	
	6.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	4.9	28	
		7.1			
	⑥老人クラブに参加している	4.7	2.9	22	
		3.8			
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	34.5	15		
	33.8				
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	30.9	6		
	28.1				
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.5	9	
		62.6			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.5	19	
75.8					
15分以上の歩行をしている	66.8	63.2	20		
	62.7				
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	34.5	28	
		30.8			
	お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5	30.3	30	
		25.3			
	口の <u>渇きが気になる</u>	25.0	24.8	14	
		22.3			
	毎日 <u>歯磨き</u> をしている	91.9	91.9	19	
		91.2			
	過去一年間で <u>転倒</u> していない	68.0	68.7	12	
		68.9			
	健康への <u>関心</u> がある	90.1	89.9	17	
		90.0			
	外出を <u>控えている</u>	25.9	28.0	26	
		27.2			
	外出を <u>控えている</u> <u>（交通手段がない理由のみ）</u>	12.7	10.5	9	
		12.9			
月に <u>何度か以上誰かと食事</u> をする	78.2	79.8	10		
	80.3				
I A D Lの <u>低下に該当</u>	5.2	6.8	25		
	6.2				
知的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	14.3	22		
	13.0				
何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	83.1	9		
	83.8				
①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	14.7	24		
	13.2				
②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0	0.7	12		
	0.6				
③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	24.8	25		
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般 高齢者 のビ ジ ョ ン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	39.1	27
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.2	4
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.0	16
			44.1		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	79.8	15	
		81.1			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	66.0	4	
		61.1			
要 介 護 者 等 の ビ ジ ョ ン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	23.6	24
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	18.0	14
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	4.5	26
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	23.6	15
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	49.4	30
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	67.4	26
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にはない	5.1	2.2	25
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	28.1	20
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	68.4	24
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	9.7	6
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
			35.0		
ボランティアのグループに参加している		13.8	15.6	7	
		14.0			
地域で支援できることがある		69.5	76.2	3	
		71.3			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	23.6	25	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.9	調理	12.4	掃除・洗濯	19.1
買い物	14.6	ゴミ出し	15.7	外出同行	25.8
移送サービス	34.8	見守り、声かけ	19.1	通いの場	15.7
その他	6.7	特になし	18.0		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	22.5	38.8
声かけ	22.5	37.1
外出同行	3.4	7.2
雪かき	24.7	18.6
庭の手入れ	11.2	15.3
ゴミ出し	12.4	16.6
買物	5.6	14.0
調理	2.2	3.6
掃除	5.6	19.2
着替え	1.1	3.3
季節用品の入替	1.1	4.2
電球交換	1.1	9.1
特になし(できない)	31.5	23.1
その他	0.0	2.6

第一圏域（なでしこ）

3 「明治地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,988	726	36.5 (30.4)	374	352	48.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
624	7	23	72	13.1 (16.1)	21	2.9 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	11.7	25	
		14.4			
	介護予防事業対象者	77.7	78.9	19	
		77.4			
	サービス事業対象者	5.9	6.9	23	
		5.5			
一般 高齢者 の ビジ ョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.2	17
			35.0		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.8	14
			62.2		
		生きがいがある	61.1	56.7	27
			60.8		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	35.6	7
			35.5		
		週二回以上外出している	81.7	74.1	27
			79.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	62.8	26
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	13.0	19
	14.0				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	14.6	28		
	17.9				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	21.5	26		
	24.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.5	24		
	6.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.7	19
			7.1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	4.0	14
			3.8		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.0	14	
		33.8			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.5	16	
		28.1			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	59.9	26	
		62.6			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	74.5	26	
		75.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	57.9	29	
		62.7			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.8	19	
		30.8			
	お茶や汁物でむせる	25.5	20.2	2	
		25.3			
	口の渇きが気になる	25.0	17.8	1	
		22.3			
	毎日歯磨きをしている	91.9	89.5	25	
		91.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.2	22	
		68.9			
	健康への関心がある	90.1	88.3	25	
		90.0			
	外出を控えている	25.9	28.7	27	
		27.2			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	16.9	26	
		12.9			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	80.2	8	
		80.3			
	IADLの低下に該当	5.2	8.1	28	
		6.2			
知的能動性の低下に該当	12.5	14.6	26		
	13.0				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.7	19		
	83.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	15.4	27		
	13.2				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.4	8		
	0.6				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	18.2	2		
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	36.4	21
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	55.9	28
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.5	14
			44.1		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	82.6	2
			81.1		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	57.4	26
			61.1		
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	20.0	29
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	20.0	10
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	2.9	29
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.9	17
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.7	12
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	80.0	4
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	2.9	22
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	22.9	9
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	85.7	2
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	16.0	24
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.8	14
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.2	17
			35.0		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	13.0	19
			14.0		
		地域で支援できることがある	69.5	64.0	27
			71.3		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	42.9	2	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.0	調理	8.6	掃除・洗濯	20.0
買い物	17.1	ゴミ出し	14.3	外出同行	34.3
移送サービス	22.9	見守り、声かけ	22.9	通いの場	14.3
その他	5.7	特になし	28.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	28.6	27.1
声かけ	28.6	32.4
外出同行	20.0	5.3
雪かき	22.9	18.2
庭の手入れ	8.6	11.3
ゴミ出し	11.4	14.2
買物	11.4	13.0
調理	2.9	4.0
掃除	5.7	11.3
着替え	2.9	2.0
季節用品の入替	2.9	0.8
電球交換	8.6	6.9
特になし(できない)	40.0	32.0
その他	0.0	3.2

第一圏域（なでしこ）

4 「千歳地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
8,269	2,652	32.1 (30.4)	1,142	1,510	56.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
2,086	44	116	406	19.7 (16.1)	196	7.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.2	13	
		14.4			
	介護予防事業対象者	77.7	77.4	13	
		77.4			
	サービス事業対象者	5.9	5.7	14	
		5.5			
一般 高齢者 の ビジ ョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.6	22
			35.0		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.7	20
			62.2		
		生きがいがある	61.1	60.1	20
			60.8		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	34.6	11
			35.5		
		週二回以上外出している	81.7	80.5	21
			79.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	62.7	27
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.7	6
			14.0		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.8	16		
	17.9				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.0	12		
	24.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.9	20		
	6.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位		
			第一圏域(%)				
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.9	23		
			7.1				
		⑥老人クラブに参加している	4.7			5.0	11
			3.8				
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	27.4	23			
		33.8					
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	25.2	25			
		28.1					
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	60.7	25			
		62.6					
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	75.2	24			
		75.8					
	15分以上の歩行をしている	66.8	62.9	21			
		62.7					
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	26.4	4			
		30.8					
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.4	19			
		25.3					
	口の渇きが気になる	25.0	24.5	11			
		22.3					
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.8	20			
		91.2					
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.9	16			
		68.9					
	健康への関心がある	90.1	90.3	15			
		90.0					
	外出を控えている	25.9	27.7	22			
		27.2					
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	10.2	7			
		12.9					
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.2	13			
		80.3					
	IADLの低下に該当	5.2	5.3	14			
		6.2					
知的能動性の低下に該当	12.5	12.3	12				
	13.0						
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.0	12				
	83.8						
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.3	11				
	13.2						
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.3	5				
	0.6						
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	20.8	9				
	21.5						

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般 高齢者 の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	36.5	22
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.6	7
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	46.2	21
			44.1		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	80.5	13
			81.1		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.1	14
61.1					
要 介護者 等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	25.8	22
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	13.2	29
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	10.4	9
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	20.9	24
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	64.3	15
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.9	10
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.5	9
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	28.6	21
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	79.1	8
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	12.0	16
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.7	20
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.6	22
			35.0		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.7	6
			14.0		
		地域で支援できることがある	69.5	68.6	16
71.3					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	26.9	22	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.6	調理	13.7	掃除・洗濯	19.8
買い物	20.3	ゴミ出し	14.3	外出同行	26.9
移送サービス	22.5	見守り、声かけ	19.8	通いの場	16.5
その他	4.9	特になし	19.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.5	32.7
声かけ	29.1	35.8
外出同行	5.5	5.7
雪かき	30.8	17.3
庭の手入れ	13.2	9.1
ゴミ出し	11.0	15.7
買物	9.3	12.9
調理	5.5	6.6
掃除	7.7	14.2
着替え	2.7	2.5
季節用品の入替	6.6	1.9
電球交換	9.3	7.9
特になし(できない)	33.0	28.9
その他	2.2	2.5

第二圏域（大森）

1 「楯山地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
4,640	1,741	37.5 (30.4)	793	948	54.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,467	26	56	192	14.2 (16.1)	67	3.8 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	18.0	3	
		13.0			
	介護予防事業対象者	77.7	76.0	7	
80.0					
サービス事業対象者	5.9	3.6	1		
	5.1				
一般 高齢者 の ビジ ョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		30.8	29
		36.0	33.4		
		参加者としての社会参加意向がある		60.4	21
		62.2	59.3		
		生きがいがある		63.3	8
		61.1	59.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う		39.3	3
		33.4	37.9		
		週二回以上外出している		82.2	15
		81.7	76.0		
		何らかの地域活動へ参加している		65.7	19
		66.8	64.6		
		①ボランティアのグループに参加している		14.5	14
13.8	15.6				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		15.1	27		
20.2	11.6				
③趣味関係のグループに参加している		26.3	16		
26.4	22.5				
④学習・教養サークルに参加している		6.2	26		
8.0	5.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第二圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5 6.8	3.6	30
		⑥老人クラブに参加している	4.7 5.0	5.9	7
		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 39.3	36.7	10
		⑧収入のある仕事に参加している	27.5 27.0	25.7	24
	社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4 60.5	61.5	21
		椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4 72.8	75.4	23
		15分以上の歩行をしている	66.8 61.7	62.7	22
	介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0 34.4	32.5	24
お茶や汁物でむせる			25.5 27.0	23.4	6
口の渇きが気になる		25.0 26.5	24.9	15	
		毎日歯磨きをしている	91.9 89.1	92.6	14
過去一年間で転倒していない		68.0 63.0	68.3	14	
		健康への関心がある	90.1 87.7	89.3	21
外出を控えている		25.9 29.1	27.5	21	
		外出を控えている (交通手段がない理由のみ)	12.7 14.6	17.2	27
月に何度か以上誰かと食事をする		78.2 77.1	80.5	7	
		IADLの低下に該当	5.2 6.7	5.6	17
知的能動性の低下に該当		12.5 15.1	12.7	15	
		何らかの介護予防リスクに該当	84.3 86.0	80.5	4
①運動器の機能低下リスクに該当			12.5 16.1	14.8	25
		②低栄養の傾向リスクに該当	1.0 0.8	1.2	19
③口腔機能の低下リスクに該当			22.2 25.5	21.6	12

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	34.3	19
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	49.1	3
			52.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.5	8
			46.6		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.1	10
			79.1		
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.3	18	
		58.4			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.5	12
			26.4		
		訪問診療を利用している	18.2	14.7	23
			17.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	4.2	27
			6.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.3	5
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	64.2	16
			64.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.8	13
			70.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.3	11
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	24.2	12
			24.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	74.4	19
			75.4		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	16.9	25
			11.0		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.4	21
			59.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.8	29
			33.4		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.5	14
			15.6		
地域で支援できることがある		69.5	64.2	25	
		67.1			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	34.7	7	
		35.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	18.9	調理	15.8	掃除・洗濯	22.1
買い物	14.7	ゴミ出し	14.7	外出同行	27.4
移送サービス	28.4	見守り、声かけ	17.9	通いの場	10.5
その他	8.4	特になし	21.1		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	26.3	28.4
声かけ	31.6	36.7
外出同行	5.3	8.0
雪かき	24.2	15.7
庭の手入れ	7.4	11.8
ゴミ出し	10.5	15.7
買物	12.6	15.1
調理	4.2	6.5
掃除	7.4	16.3
着替え	1.1	5.3
季節用品の入替	0.0	3.6
電球交換	3.2	8.3
特になし(できない)	38.9	33.4
その他	0.0	1.8

第二圏域（大森）

2 「高瀬地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
3,174	1,351	42.6 (30.4)	586	765	56.6 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,030	23	43	255	22.1 (16.1)	169	12.5 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	9.0	30	
		13.0			
	介護予防事業対象者	77.7	81.9	28	
80.0					
サービス事業対象者	5.9	6.8	22		
	5.1				
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.7	9
			33.4		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.6	19
			59.3		
		生きがいがある	61.1	61.0	18
			59.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	40.3	2
			37.9		
		週二回以上外出している	81.7	73.9	28
			76.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	63.8	24
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	16.5	4
			15.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	10.3	29		
	11.6				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	19.4	30		
	22.5				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	5.5	28		
	5.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.7	8
			6.8		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	5.8	8
			5.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	37.7	9	
		39.3			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.1	14	
		27.0			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.9	19	
		60.5			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	70.6	30	
		72.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	61.6	24	
		61.7			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	32.3	23	
		34.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	30.0	29	
		27.0			
	口の渇きが気になる	25.0	26.1	21	
		26.5			
	毎日歯磨きをしている	91.9	88.1	27	
		89.1			
	過去一年間で転倒していない	68.0	57.1	30	
		63.0			
	健康への関心がある	90.1	88.4	23	
		87.7			
	外出を控えている	25.9	30.6	29	
		29.1			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	8.4	3	
		14.6			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.5	26	
		77.1			
	IADLの低下に該当	5.2	6.5	23	
		6.7			
知的能動性の低下に該当	12.5	17.1	30		
	15.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	89.4	29		
	86.0				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	15.5	28		
	16.1				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.6	9		
	0.8				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	25.5	27		
	25.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	39.4	28
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	55.2	26
			52.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	48.4	28
			46.6		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.6	9
			79.1		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	58.1	24
			58.4		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	23.2	25
			26.4		
		訪問診療を利用している	18.2	17.9	15
			17.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.9	15
			6.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.0	13
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	60.7	22
			64.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	69.6	23
			70.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	3.6	18
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	32.1	29
			24.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16
			75.4		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	4.9	3
			11.0		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.6	19
			59.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.7	9
			33.4		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	16.5	4
			15.6		
		地域で支援できることがある	69.5	69.4	14
			67.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	32.1	11	
		35.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	12.5	調理	8.9	掃除・洗濯	10.7
買い物	19.6	ゴミ出し	21.4	外出同行	32.1
移送サービス	28.6	見守り、声かけ	21.4	通いの場	12.5
その他	7.1	特にない	19.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	33.9	27.4
声かけ	39.3	36.8
外出同行	3.6	9.4
雪かき	26.8	17.4
庭の手入れ	10.7	16.1
ゴミ出し	7.1	15.5
買物	5.4	12.6
調理	3.6	7.7
掃除	5.4	15.5
着替え	0.0	4.2
季節用品の入替	1.8	1.9
電球交換	7.1	5.8
特にない(できない)	35.7	25.8
その他	1.8	1.9

第二圏域（大森）

3 「山寺地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,038	509	49.0 (30.4)	247	262	51.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
421	12	18	58	14.9 (16.1)	24	4.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	10.1	27	
		13.0			
	介護予防事業対象者	77.7	84.3	30	
		80.0			
サービス事業対象者		5.9	5.1	10	
		5.1			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.9	28
			33.4		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	53.4	29
			59.3		
		生きがいがある	61.1	49.4	30
			59.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.9	21
			37.9		
		週二回以上外出している	81.7	68.0	30
			76.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	63.9	22
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	16.3	5
			15.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	7.3	30		
	11.6				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	20.8	28		
	22.5				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	4.5	30		
	5.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.9	18
			6.8		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	1.7	27
			5.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	47.2	1	
		39.3			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.5	16	
		27.0			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	56.2	30	
		60.5			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	71.3	29	
		72.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	60.1	25	
		61.7			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	41.6	30	
		34.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	28.7	28	
		27.0			
	口の渇きが気になる	25.0	30.3	28	
		26.5			
	毎日歯磨きをしている	91.9	84.3	30	
		89.1			
	過去一年間で転倒していない	68.0	62.9	28	
		63.0			
	健康への関心がある	90.1	83.1	30	
		87.7			
	外出を控えている	25.9	29.2	28	
		29.1			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	21.2	30	
		14.6			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	73.6	30	
		77.1			
	IADLの低下に該当	5.2	9.0	30	
		6.7			
知的能動性の低下に該当	12.5	16.3	29		
	15.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	90.2	30		
	86.0				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	19.7	30		
	16.1				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.6	9		
	0.8				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	33.1	30		
	25.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	43.8	30
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	54.5	24
			52.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	49.4	29
			46.6		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	70.8	30
			79.1		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	53.3	30
			58.4		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	21.7	26
			26.4		
		訪問診療を利用している	18.2	26.1	2
			17.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.7	16
			6.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	17.4	29
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	78.3	2
			64.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	52.2	30
			70.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	0.0	28
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	8.7	1
			24.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	83.3	4
			75.4		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	0.0	1
			11.0		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	53.4	29
			59.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.9	28
			33.4		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	16.3	5
			15.6		
		地域で支援できることがある	69.5	68.5	17
			67.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	47.8	1	
		35.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.4	調理	8.7	掃除・洗濯	13.0
買い物	17.4	ゴミ出し	8.7	外出同行	30.4
移送サービス	8.7	見守り、声かけ	21.7	通いの場	13.0
その他	0.0	特になし	30.4		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	30.4	30.9
声かけ	21.7	35.4
外出同行	17.4	7.9
雪かき	21.7	24.2
庭の手入れ	8.7	15.2
ゴミ出し	13.0	19.1
買物	13.0	15.2
調理	8.7	4.5
掃除	13.0	18.0
着替え	4.3	0.0
季節用品の入替	8.7	2.8
電球交換	13.0	12.4
特になし(できない)	34.8	31.5
その他	4.3	1.1

第三圏域（敬寿会）

1 「鈴川地区」

(1) 地区の現状

表中（ ）は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
18,269	5,475	30.0 (30.4)	2,415	3,060	55.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
4,521	90	212	652	15.8 (16.1)	250	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位		
		第三圏域(%)				
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.1	15		
		14.1				
	介護予防事業対象者	77.7	73.4	3		
		73.4				
	サービス事業対象者	5.9	9.0	30		
		9.0				
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	34.8	20	
			34.8			
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	58.2	24	
			58.2			
		生きがいがある	61.1	59.6	21	
			59.6			
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	32.2	19	
			32.2			
		週二回以上外出している	81.7	77.4	24	
			77.4			
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	61.0	30	
			61.0			
			①ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28
				10.9		
	②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.0	14		
		21.0				
	③趣味関係のグループに参加している	26.4	22.1	24		
		22.1				
	④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.6	23		
		6.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第三圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.4	26
			6.4		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	4.5	13
			4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	27.1	24	
		27.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	23.7	27	
		23.7			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.2	6	
		66.2			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	75.8	21	
75.8					
15分以上の歩行をしている	66.8	68.1	13		
	68.1				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	31.4	21	
		31.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.3	13	
		25.3			
	口の渇きが気になる	25.0	25.3	19	
		25.3			
	毎日歯磨きをしている	91.9	90.2	24	
		90.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.9	10	
		68.9			
	健康への関心がある	90.1	90.7	13	
		90.7			
	外出を控えている	25.9	27.7	22	
		27.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	7.7	1	
		7.7			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	81.9	4	
		81.9			
IADLの低下に該当	5.2	6.6	24		
	6.6				
知的能動性の低下に該当	12.5	15.2	27		
	15.2				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	83.4	11		
	83.4				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.5	17		
	12.5				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	2.9	30		
	2.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	23.4	21		
	23.4				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第三圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	34.6	20
			34.6		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.9	16
			52.9		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.7	19
			45.7		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	75.5	28
			75.5		
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	60.0	22	
		60.0			
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	27.2	19
			27.2		
		訪問診療を利用している	18.2	12.6	30
			12.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.7	16
			8.7		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.5	19
			22.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	62.9	20
			62.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	72.2	20
			72.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	4.5	16
			4.5		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	24.3	13
			24.3		
		仕事と介護を両立できる	74.3	73.0	20
			73.0		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	10.2	9
			10.2		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	58.2	24
			58.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	34.8	20
			34.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28
			10.9		
		地域で支援できることがある	69.5	62.0	29
62.0					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.1	17	
		28.1			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.8	調理	15.9	掃除・洗濯	23.7
買い物	20.7	ゴミ出し	14.1	外出同行	32.3
移送サービス	28.4	見守り、声かけ	22.8	通いの場	17.7
その他	6.9	特になし	21.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	29.6	24.7
声かけ	29.6	33.5
外出同行	7.2	6.4
雪かき	35.3	19.4
庭の手入れ	11.4	11.2
ゴミ出し	9.3	18.4
買物	8.4	12.8
調理	5.4	6.1
掃除	8.4	14.9
着替え	3.3	2.9
季節用品の入替	3.6	4.3
電球交換	7.2	8.5
特になし(できない)	29.9	34.3
その他	1.5	2.1

第四圏域（たきやま）

1 「滝山地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
23,155	6,215	26.8 (30.4)	3,048	3,167	51.0 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
5,216	116	208	675	14.2 (16.1)	258	4.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第四圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.5	19	
		13.5			
	介護予防事業対象者	77.7	81.5	27	
		81.5			
	サービス事業対象者	5.9	3.7	2	
		3.7			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.7	5
			39.7		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	68.3	2
			68.3		
		生きがいがある	61.1	63.1	10
			63.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.2	12
			33.2		
		週二回以上外出している	81.7	84.3	9
			84.3		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	71.8	4
			71.8		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	14.5	14
			14.5		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	24.6	4		
	24.6				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	31.1	3		
	31.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	11.1	3		
	11.1				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第四圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	8.9	15
			8.9		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	4.6	12
			4.6		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	25.5	27	
		25.5			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.3	13	
		28.3			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	64.9	12	
		64.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	81.5	4	
		81.5			
15分以上の歩行をしている	66.8	72.0	5		
	72.0				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.2	14	
		30.2			
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.5	21	
		26.5			
	口の渇きが気になる	25.0	25.2	18	
		25.2			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.2	6	
		93.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	69.5	7	
		69.5			
	健康への関心がある	90.1	94.2	2	
		94.2			
	外出を控えている	25.9	22.8	5	
		22.8			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	16.2	25	
		16.2			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.0	22	
		76.0			
IADLの低下に該当	5.2	1.5	1		
	1.5				
知的能動性の低下に該当	12.5	10.5	7		
	10.5				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.2	23		
	86.2				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.5	5		
	10.5				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.3	5		
	0.3				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.2	15		
	22.2				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第四圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	30.2	6
			30.2		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.5	20
			53.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.7	9
			43.7		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	80.6	11
			80.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	64.2	7
			64.2		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.4	14
			29.4		
		訪問診療を利用している	18.2	25.9	3
			25.9		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.4	13
			9.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	21.2	22
			21.2		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	70.0	5
			70.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.8	11
			76.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.5	5
			6.5		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	27.1	18
			27.1		
		仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16
			75.0		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	10.5	10
			10.5		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	68.3	2
			68.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.7	5
			39.7		
ボランティアのグループに参加している		13.8	14.5	14	
		14.5			
地域で支援できることがある		69.5	76.9	2	
		76.9			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	35.0	6	
		35.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.6	調理	16.2	掃除・洗濯	18.5
買い物	17.9	ゴミ出し	14.4	外出同行	27.9
移送サービス	32.4	見守り、声かけ	21.8	通いの場	14.1
その他	7.4	特になし	19.7		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	26.5	35.4
声かけ	23.8	42.5
外出同行	6.2	7.1
雪かき	28.8	17.5
庭の手入れ	7.6	12.6
ゴミ出し	9.4	17.5
買物	7.6	15.4
調理	2.1	8.0
掃除	3.5	12.6
着替え	1.2	1.5
季節用品の入替	1.5	1.8
電球交換	4.4	7.1
特になし(できない)	32.9	24.9
その他	2.4	2.5

第五圏域（ふれあい）

1 「第六地区」

(1) 地区の現状

表中（ ）は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
13,403	3,956	29.5 (30.4)	1,762	2,194	55.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
3,219	83	154	500	16.5 (16.1)	205	5.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第五圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	19.4	1	
		19.4			
	介護予防事業対象者	77.7	71.3	1	
71.3					
サービス事業対象者	5.9	6.5	20		
	6.5				
一般 高齢者 の ビジ ョ ン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		32.6	24
		36.0	32.6		
		参加者としての社会参加意向がある		58.1	25
		62.2	58.1		
		生きがいがある		59.2	23
		61.1	59.2		
		週に何度か以上友人・知人と会う		28.2	30
		33.4	28.2		
		週二回以上外出している		86.2	4
		81.7	86.2		
		何らかの地域活動へ参加している		63.9	22
		66.8	63.9		
		①ボランティアのグループに参加している		14.7	12
13.8	14.7				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		22.6	7		
20.2	22.6				
③趣味関係のグループに参加している		28.4	10		
26.4	28.4				
④学習・教養サークルに参加している		10.0	7		
8.0	10.0				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第五圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.4	11
			9.4		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	3.5	
			3.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	23.2	29	
		23.2			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	21.4	29	
		21.4			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.3	5	
		66.3			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.1	15	
		77.1			
	15分以上の歩行をしている	66.8	69.8	8	
		69.8			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	24.3	1	
		24.3			
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.5	7	
		23.5			
	口の渇きが気になる	25.0	23.8	7	
		23.8			
	毎日歯磨きをしている	91.9	89.1	26	
		89.1			
	過去一年間で転倒していない	68.0	70.4	6	
		70.4			
	健康への関心がある	90.1	90.0	16	
		90.0			
	外出を控えている	25.9	24.9	10	
		24.9			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	9.4	4	
		9.4			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.4	27	
		75.4			
	IADLの低下に該当	5.2	5.6	17	
		5.6			
知的能動性の低下に該当	12.5	9.7	3		
	9.7				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	79.1	2		
	79.1				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.3	4		
	10.3				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.9	15		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	18.2	2		
	18.2				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第五圏域(%)			
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	28.7	3
			28.7		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	44.0	1
			44.0		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.7	9
			43.7		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	78.6	17
			78.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.7	11
			62.7		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.6	10
			29.6		
		訪問診療を利用している	18.2	20.2	8
			20.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	12.3	5
			12.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.9	17
			22.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.6	13
			65.6		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.5	15
			75.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	8.3	1
			8.3		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	27.3	19
			27.3		
		仕事と介護を両立できる	74.3	79.1	8
			79.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.6	14
			11.6		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	58.1	25
			58.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.6	24
			32.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.7	12
			14.7		
		地域で支援できることがある	69.5	64.2	25
			64.2		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	25.3	24	
		25.3			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.6	調理	14.6	掃除・洗濯	21.3
買い物	20.6	ゴミ出し	14.6	外出同行	27.3
移送サービス	24.1	見守り、声かけ	23.3	通いの場	13.4
その他	7.1	特になし	20.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	25.7	26.7
声かけ	23.3	33.7
外出同行	7.5	6.2
雪かき	27.3	17.6
庭の手入れ	6.3	8.8
ゴミ出し	8.7	20.2
買物	4.3	12.9
調理	4.0	4.4
掃除	4.7	11.1
着替え	0.4	2.1
季節用品の入替	2.0	2.1
電球交換	7.1	8.2
特になし(できない)	38.3	34.3
その他	1.2	4.1

第六圏域（山形西部）

1 「南山形地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
10,007		2,514		25.1 (30.4)	1,246	1,268	50.4 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
2,111	31	81	291	14.8 (16.1)	150	6.0 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.0	10	
		12.9			
	介護予防事業対象者	77.7	78.0	15	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	4.6	7	
		5.1			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.5	13
			35.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.9	8
			61.1		
		生きがいがある	61.1	61.1	16
			61.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	35.1	9
			35.4		
		週二回以上外出している	81.7	81.8	16
			79.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	70.8	5
			68.9		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	11.0	27
			14.3		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	20.1	15		
	18.4				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	23.3	22		
	24.3				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.2	16		
	8.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第六圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.7	8
		10.4		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	5.6	10
		4.0		
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	40.2	6	
	41.1			
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	29.2	9	
	30.3			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	63.0	15
		62.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	75.6	22
76.0				
15分以上の歩行をしている	66.8	69.4	10	
	62.5			
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.2	10
		31.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	24.9	11
		25.7		
	口の渇きが気になる	25.0	26.5	22
		24.4		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.5	15
		90.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	69.2	9
		67.6		
	健康への関心がある	90.1	91.2	6
		88.6		
	外出を控えている	25.9	24.1	8
		24.7		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	17.8	28
		15.2		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.9	23
78.4				
I A D Lの低下に該当	5.2	5.4	15	
	6.5			
知的能動性の低下に該当	12.5	9.9	4	
	12.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.8	8	
	85.5			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.0	8	
	13.0			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1	
	0.9			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	21.2	11	
	21.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.2	13
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.0	11
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.4	7
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	78.6	17
			79.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	66.1	2
			60.7		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	24.6	23
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	15.6	22
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	10.7	8
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	18.0	28
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	60.7	22
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	73.0	18
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.7	8
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	19.7	4
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	66.7	26
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.0	11
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.9	8
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.5	13
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	11.0	27
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	74.5	5
			72.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	29.5	15	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.4	調理	13.1	掃除・洗濯	18.9
買い物	13.9	ゴミ出し	18.9	外出同行	29.5
移送サービス	26.2	見守り、声かけ	22.1	通いの場	18.0
その他	5.7	特になし	17.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.9	32.2
声かけ	31.1	42.1
外出同行	4.9	8.3
雪かき	27.0	16.9
庭の手入れ	4.9	14.2
ゴミ出し	11.5	21.2
買物	6.6	15.3
調理	5.7	6.7
掃除	5.7	19.8
着替え	1.6	3.2
季節用品の入替	2.5	3.8
電球交換	1.6	9.1
特になし(できない)	27.9	23.9
その他	2.5	2.7

第六圏域（山形西部）

2 「本沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
2,774		1,157		41.7 (30.4)	557	600	51.9 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
917	24	35	181	18.7 (16.1)	107	9.2 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位		
		第六圏域(%)				
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	10.1	27		
		12.9				
	介護予防事業対象者	77.7	83.7	29		
		80.0				
	サービス事業対象者	5.9	4.3	4		
		5.1				
一般 高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		37.0	10	
		36.0	35.6			
		参加者としての社会参加意向がある		65.4	6	
		62.2	61.1			
		生きがいがある		65.0	4	
		61.1	61.1			
		週に何度か以上友人・知人と会う		32.7	16	
		33.4	35.4			
		週二回以上外出している		78.2	23	
		81.7	79.0			
		何らかの地域活動へ参加している		72.0	3	
		66.8	68.9			
		①ボランティアのグループに参加している		13.8	17.1	2
				14.3		
		②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		20.2	17.1	25
18.4						
③趣味関係のグループに参加している		26.4	26.8	15		
		24.3				
④学習・教養サークルに参加している		8.0	8.9	11		
		8.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	15.6	1
			10.4		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	1.9	25
			4.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	43.2	3	
		41.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	31.1	5	
		30.3			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	62.3	18	
		62.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.7	17	
		76.0			
	15分以上の歩行をしている	66.8	62.3	23	
		62.5			
介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.0	12	
		31.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.1	18	
		25.7			
	口の渇きが気になる	25.0	18.7	2	
		24.4			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.4	5	
		90.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	63.0	27	
		67.6			
	健康への関心がある	90.1	89.5	18	
		88.6			
	外出を控えている	25.9	27.2	19	
		24.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.9	15	
		15.2			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	80.2	8	
		78.4			
	IADLの低下に該当	5.2	7.0	26	
		6.5			
知的能動性の低下に該当	12.5	10.9	8		
	12.0				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	88.7	28		
	85.5				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.2	19		
	13.0				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.9	27		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	19.1	5		
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	33.9	17
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	57.2	30
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.4	5
			44.2		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	82.9	1	
		79.7			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.9	16	
		60.7			
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	19.6	30
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	13.7	27
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.8	10
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	7.8	30
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	51.0	28
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	66.7	27
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	3.9	17
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	23.5	10
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	78.9	10
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	8.6	5
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.4	6
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.0	10
			35.6		
ボランティアのグループに参加している		13.8	17.1	2	
		14.3			
地域で支援できることがある		69.5	72.4	10	
		72.7			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	23.5	26	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	11.8	調理	11.8	掃除・洗濯	15.7
買い物	9.8	ゴミ出し	9.8	外出同行	19.6
移送サービス	7.8	見守り、声かけ	13.7	通いの場	13.7
その他	13.7	特になし	33.3		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	37.3	34.6
声かけ	25.5	38.1
外出同行	2.0	10.1
雪かき	23.5	17.9
庭の手入れ	7.8	12.1
ゴミ出し	5.9	14.0
買物	9.8	17.9
調理	0.0	7.4
掃除	0.0	11.7
着替え	0.0	2.7
季節用品の入替	0.0	2.7
電球交換	3.9	9.7
特になし(できない)	25.5	28.0
その他	2.0	1.9

第六圏域（山形西部）

3 「大曾根地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,249	539	43.2 (30.4)	254	285	52.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
424	12	20	83	19.1 (16.1)	44	8.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第六圏域(%)		
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.2	21
		12.9		
	介護予防事業対象者	77.7	80.2	22
		80.0		
サービス事業対象者		5.9	6.0	16
		5.1		
一般高齢者の ビジョン	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	29.1	30
		35.6		
	参加者としての社会参加意向がある	62.2	51.1	30
		61.1		
	生きがいがある	61.1	62.1	13
		61.1		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.8	23
		35.4		
	週二回以上外出している	81.7	76.9	25
		79.0		
	何らかの地域活動へ参加している	66.8	62.6	28
		68.9		
	①ボランティアのグループに参加している	13.8	12.1	23
		14.3		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	18.1	22	
	18.4			
③趣味関係のグループに参加している	26.4	20.9	27	
	24.3			
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.1	18	
	8.6			

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5 10.4	4.9	28
		⑥老人クラブに参加している	4.7 4.0	1.6	29
		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 41.1	40.7	5
		⑧収入のある仕事に参加している	27.5 30.3	30.8	7
	社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4 62.9	61.0	24
		椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4 76.0	72.5	28
		15分以上の歩行をしている	66.8 62.5	59.9	27
	介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0 31.4	36.8	29
お茶や汁物でむせる		25.5 25.7	24.7	10	
口の渇きが気になる		25.0 24.4	26.9	23	
毎日歯磨きをしている		91.9 90.5	84.6	29	
過去一年間で転倒していない		68.0 67.6	71.4	4	
健康への関心がある		90.1 88.6	85.2	29	
外出を控えている		25.9 24.7	26.9	18	
外出を控えている （交通手段がない理由のみ）		12.7 15.2	10.2	7	
月に何度か以上誰かと食事をする		78.2 78.4	79.1	14	
IADLの低下に該当		5.2 6.5	7.7	27	
知的能動性の低下に該当		12.5 12.0	14.3	22	
何らかの介護予防リスクに該当		84.3 85.5	86.7	25	
①運動器の機能低下リスクに該当		12.5 13.0	17.6	29	
②低栄養の傾向リスクに該当		1.0 0.9	2.2	28	
③口腔機能の低下リスクに該当		22.2 21.5	20.9	10	

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	37.4	23
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.5	6
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.8	25
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	75.8	25
			79.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	54.3	29
			60.7		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	27.8	18
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	27.8	1
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	11.1	7
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.2	20
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	50.0	29
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	83.3	2
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	0.0	28
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	16.7	2
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	77.8	12
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	15.4	22
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	51.1	30
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	29.1	30
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	12.1	23
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	65.9	23
			72.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.8	19	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	22.2	調理	11.1	掃除・洗濯	16.7
買い物	0.0	ゴミ出し	11.1	外出同行	27.8
移送サービス	16.7	見守り、声かけ	22.2	通いの場	11.1
その他	16.7	特になし	11.1		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	33.3	29.7
声かけ	38.9	38.5
外出同行	0.0	8.2
雪かき	27.8	17.0
庭の手入れ	16.7	12.6
ゴミ出し	5.6	13.2
買物	5.6	13.7
調理	0.0	6.6
掃除	0.0	12.1
着替え	0.0	2.2
季節用品の入替	5.6	2.2
電球交換	0.0	9.9
特になし(できない)	22.2	29.7
その他	0.0	2.7

第六圏域（山形西部）

4 「西山形地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
1,914		872		45.6 (30.4)	388	484	55.5 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
669	24	38	141	20.5 (16.1)	84	9.6 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.0	10	
		12.9			
	介護予防事業対象者	77.7	78.1	16	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	5.2	11	
		5.1			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.8	3
			35.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
			61.1		
		生きがいがある	61.1	63.5	7
			61.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	36.5	5
			35.4		
		週二回以上外出している	81.7	82.4	14
			79.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	69.6	7
			68.9		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	18.5	1
			14.3		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.3	19		
	18.4				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	27.0	13		
	24.3				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.7	4		
	8.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.3	22	
		10.4			
	⑥老人クラブに参加している	4.7	0.9	30	
		4.0			
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	45.1	2	
		41.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	32.6	2	
		30.3			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.5	3	
		62.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	78.5	10	
		76.0			
	15分以上の歩行をしている	66.8	60.1	25	
		62.5			
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	31.3	20	
		31.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.8	14	
		25.7			
	口の渇きが気になる	25.0	20.6	3	
		24.4			
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.7	12	
		90.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.4	20	
		67.6			
	健康への関心がある	90.1	88.0	26	
		88.6			
	外出を控えている	25.9	20.2	1	
		24.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	14.9	21	
		15.2			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	81.5	5	
		78.4			
	IADLの低下に該当	5.2	5.2	13	
		6.5			
知的能動性の低下に該当	12.5	13.3	19		
	12.0				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.6	14		
	85.5				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.2	9		
	13.0				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	20.6	8		
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	27.5	1
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	51.5	9
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.6	15
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	82.0	3
			79.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	59.5	23
			60.7		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	30.8	9
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	17.9	15
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	5.1	24
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.6	10
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	76.9	3
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	69.2	24
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	2.6	23
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.8	25
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	19.2	27
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.8	3
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	18.5	1
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	79.4	1
			72.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	38.5	4	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.9	調理	17.9	掃除・洗濯	25.6
買い物	28.2	ゴミ出し	17.9	外出同行	38.5
移送サービス	28.2	見守り、声かけ	20.5	通いの場	20.5
その他	0.0	特になし	17.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	30.8	41.2
声かけ	33.3	47.2
外出同行	10.3	13.3
雪かき	25.6	23.6
庭の手入れ	7.7	17.2
ゴミ出し	10.3	25.3
買物	2.6	19.7
調理	7.7	7.7
掃除	7.7	18.5
着替え	5.1	3.0
季節用品の入替	5.1	3.4
電球交換	10.3	9.0
特になし(できない)	33.3	21.5
その他	0.0	2.1

第六圏域（山形西部）

5 「村木沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,687	649	38.5 (30.4)	315	334	51.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
533	8	26	82	16.6 (16.1)	37	5.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	10.1	27	
		12.9			
	介護予防事業対象者	77.7	80.7	24	
	サービス事業対象者	5.9	6.1	18	
		5.1			
一般 高齢者 の ビジ ョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.5	25
			35.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	57.0	26
			61.1		
		生きがいがある	61.1	53.5	29
			61.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	41.7	1
			35.4		
		週二回以上外出している	81.7	73.7	29
			79.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.5	14
			68.9		
			①ボランティアのグループに参加している	13.8	14.0
		14.3			
	②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	16.2	26	
		18.4			
	③趣味関係のグループに参加している	26.4	22.8	23	
		24.3			
	④学習・教養サークルに参加している	8.0	9.2	10	
		8.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	13.6	2
			10.4		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	8.8	3
			4.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.4	11	
		41.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.5	11	
		30.3			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.4	23	
		62.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.3	20	
		76.0			
	15分以上の歩行をしている	66.8	55.7	30	
		62.5			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	34.2	27	
		31.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	27.2	25	
		25.7			
	口の渇きが気になる	25.0	29.4	27	
		24.4			
	毎日歯磨きをしている	91.9	86.4	28	
		90.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.5	18	
		67.6			
	健康への関心がある	90.1	86.8	28	
		88.6			
	外出を控えている	25.9	25.9	14	
		24.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	18.6	29	
		15.2			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.8	19	
		78.4			
	IADLの低下に該当	5.2	8.3	29	
		6.5			
知的能動性の低下に該当	12.5	13.6	20		
	12.0				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.1	22		
	85.5				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	14.0	22		
	13.0				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.9	15		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	26.3	29		
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	39.9	29
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.9	23
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.3	13
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	78.5	19
			79.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	56.8	28
			60.7		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	33.3	4
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	25.9	3
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	18.5	2
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.2	20
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	85.2	1
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	63.0	29
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	0.0	28
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	18.5	3
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	66.7	26
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	23.8	29
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	57.0	26
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.5	25
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.0	16
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	68.4	18
			72.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	33.3	8	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	25.9	調理	22.2	掃除・洗濯	22.2
買い物	14.8	ゴミ出し	18.5	外出同行	29.6
移送サービス	37.0	見守り、声かけ	33.3	通いの場	18.5
その他	3.7	特になし	18.5		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	44.4	32.5
声かけ	37.0	40.4
外出同行	7.4	9.2
雪かき	25.9	20.2
庭の手入れ	3.7	16.2
ゴミ出し	7.4	15.8
買い物	7.4	11.4
調理	11.1	3.1
掃除	7.4	11.4
着替え	0.0	3.5
季節用品の入替	0.0	2.2
電球交換	3.7	10.5
特になし(できない)	22.2	29.4
その他	0.0	2.2

第七圏域（さくら）

1 「第一地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
4,947	1,609	32.5 (30.4)	784	825	51.3 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,295	19	67	228	18.3 (16.1)	112	7.0 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第七圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.0	6	
		14.9			
	介護予防事業対象者	77.7	74.0	5	
		76.6			
	サービス事業対象者	5.9	7.6	26	
		6.8			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.9	4
			37.3		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.6	5
			63.7		
		生きがいがある	61.1	61.1	16
			60.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	32.6	17
			32.5		
		週二回以上外出している	81.7	91.3	1
			88.5		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.3	16
			66.1		
			①ボランティアのグループに参加している	13.8	14.6
		12.6			
	②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	27.1	2	
		23.9			
	③趣味関係のグループに参加している	26.4	31.6	2	
		29.1			
	④学習・教養サークルに参加している	8.0	12.5	1	
		9.0			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第七圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.6	24
			7.1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	1.7	27
			2.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	29.9	21	
		31.0			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.5	11	
		27.9			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	67.7	1	
		66.2			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	84.0	1	
		82.7			
	15分以上の歩行をしている	66.8	81.9	1	
		77.4			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	24.7	2	
		26.0			
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.3	3	
		24.7			
	口の渇きが気になる	25.0	24.7	12	
		23.4			
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.7	21	
		92.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	69.4	8	
		72.2			
	健康への関心がある	90.1	92.7	3	
		91.8			
	外出を控えている	25.9	21.2	2	
		24.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	13.1	18	
		11.8			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.5	12	
		78.2			
	IADLの低下に該当	5.2	3.8	7	
		3.9			
知的能動性の低下に該当	12.5	8.0	1		
	10.7				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.2	6		
	84.1				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	8.0	1		
	8.7				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.7	12		
	0.5				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	18.8	4		
	19.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第七圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	28.5	2
			30.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.5	20
			53.2		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	46.9	23
			47.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	80.6	11
			78.4		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.1	14
			62.4		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	37.4	2
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	23.1	6
			20.7		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	7.7	20
			8.0		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	23.1	16
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.0	10
			68.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.8	13
			78.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	1.1	27
			4.7		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.8	25
			24.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	72.2	22
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.1	12
			13.5		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.6	5
			63.7		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.9	4
			37.3		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.6	13
			12.6		
		地域で支援できることがある	69.5	72.9	9
			69.8		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	20.9	28	
		25.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思ふ支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	24.2	調理	18.7	掃除・洗濯	27.5
買い物	27.5	ゴミ出し	27.5	外出同行	37.4
移送サービス	30.8	見守り、声かけ	23.1	通いの場	15.4
その他	11.0	特になし	15.4		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	25.3	35.4
声かけ	27.5	43.1
外出同行	7.7	9.4
雪かき	15.4	14.9
庭の手入れ	7.7	5.2
ゴミ出し	16.5	19.4
買物	12.1	13.9
調理	1.1	6.9
掃除	8.8	14.2
着替え	1.1	2.1
季節用品の入替	4.4	0.7
電球交換	7.7	9.0
特になし(できない)	24.2	29.5
その他	8.8	2.8

第七圏域（さくら）

2 「第二地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
9,699		2,811		29.0 (30.4)	1,400	1,411	50.2 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
2,323	30	113	345	16.3 (16.1)	129	4.6 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第七圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.9	17	
		14.9			
	介護予防事業対象者	77.7	78.9	19	
		76.6			
	サービス事業対象者	5.9	6.0	16	
		6.8			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18
			37.3		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.9	18
			63.7		
		生きがいがある	61.1	60.4	19
			60.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	32.3	18
			32.5		
		週二回以上外出している	81.7	86.1	5
			88.5		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	65.9	17
			66.1		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28
			12.6		
		②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.1	12
23.9					
③趣味関係のグループに参加している	26.4	26.9	14		
	29.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.0	27		
	9.0				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第七圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.6	20
		7.1		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.9	15
		2.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	32.0	17
		31.0		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.5	16
		27.9		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.0	11
		66.2		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	81.6	3
		82.7		
	15分以上の歩行をしている	66.8	73.4	2
		77.4		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	27.2	6
		26.0		
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.0	17
		24.7		
	口の渇きが気になる	25.0	22.4	5
		23.4		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.7	12
		92.2		
	過去一年間で転倒していない	68.0	74.6	1
		72.2		
	健康への関心がある	90.1	90.9	12
		91.8		
	外出を控えている	25.9	27.8	24
		24.7		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	10.9	12
		11.8		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	77.0	18
		78.2		
	IADLの低下に該当	5.2	3.9	8
		3.9		
知的能動性の低下に該当	12.5	13.0	16	
	10.7			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.8	20	
	84.1			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	9.4	2	
	8.7			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.3	5	
	0.5			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	20.2	7	
	19.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第七圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.0	12
			30.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.9	16
			53.2		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.4	24
			47.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	76.4	23
			78.4		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.7	11
			62.4		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.8	16
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	19.6	11
			20.7		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.2	19
			8.0		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.5	11
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	69.0	6
			68.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	79.3	5
			78.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.5	5
			4.7		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	20.7	5
			24.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	77.6	13
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	14.5	21
			13.5		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.9	18
			63.7		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18
			37.3		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28
			12.6		
		地域で支援できることがある	69.5	67.1	21
			69.8		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.7	20	
		25.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	21.2	調理	16.3	掃除・洗濯	25.5
買い物	21.7	ゴミ出し	20.1	外出同行	28.3
移送サービス	31.5	見守り、声かけ	23.9	通いの場	14.7
その他	5.4	特になし	23.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.2	29.0
声かけ	25.5	37.2
外出同行	8.2	10.0
雪かき	30.4	14.5
庭の手入れ	11.4	10.9
ゴミ出し	13.6	18.7
買物	8.2	14.5
調理	5.4	7.3
掃除	7.6	15.7
着替え	2.2	2.7
季節用品の入替	1.6	3.0
電球交換	7.1	8.8
特になし(できない)	29.9	32.3
その他	1.6	4.2

第八圏域（かがやき）

1 「第三地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
7,902		2,561		32.4 (30.4)	1,160	1,401	54.7 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
2,100	53	109	299	15.9 (16.1)	102	4.0 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第八圏域(%)		
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.6	18
		14.8		
	介護予防事業対象者	77.7	78.9	19
76.7				
サービス事業対象者	5.9	6.5	20	
	6.3			
一般 高齢者 の ビジ ョ ン	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.0	10
		40.6		
	参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.3	13
		66.0		
	生きがいがある	61.1	57.1	26
		59.5		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	32.8	15
		31.4		
	週二回以上外出している	81.7	84.4	8
		85.9		
	何らかの地域活動へ参加している	66.8	70.3	6
		70.5		
	①ボランティアのグループに参加している	13.8	12.7	21
12.9				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.5	18	
	22.0			
③趣味関係のグループに参加している	26.4	26.3	16	
	28.6			
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.8	13	
	8.4			

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第八圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	10.7	5
			8.3		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	8.4	
			4.7		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	40.9		
		33.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.3		
		30.1			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.6	8	
		65.1			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.6		
		78.7			
15分以上の歩行をしている	66.8	66.2			
	68.7				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	27.6	7	
		29.8			
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.9	23	
		26.0			
	口の渇きが気になる	25.0	25.0	16	
		26.9			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.2	6	
		92.8			
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.8	11	
		67.2			
	健康への関心がある	90.1	91.2	6	
		90.1			
	外出を控えている	25.9	24.0	7	
		24.1			
	外出を控えている (交通手段がない理由のみ)	12.7	8.1	2	
		11.0			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.0	28	
		79.1			
	IADLの低下に該当	5.2	3.2	5	
		3.8			
知的能動性の低下に該当	12.5	12.3	12		
	12.8				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.4	24		
	83.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.4	12		
	11.4				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.3	21		
	1.6				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.4	17		
	23.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第八圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	30.8	8
			30.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.6	14
			51.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.1	17
			43.9		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.8	4
			80.5		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	63.5	9
			64.6		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	35.3	3
			32.0		
		訪問診療を利用している	18.2	20.2	8
			19.8		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.8	10
			11.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	27.7	4
			25.8		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	63.6	19
			63.2		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	78.0	8
			74.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特でない	5.1	5.2	12
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	20.8	6
			23.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	81.3	6
			79.9		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	9.8	7
			10.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.3	13
			66.0		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.0	10
			40.6		
ボランティアのグループに参加している		13.8	12.7	21	
		12.9			
地域で支援できることがある		69.5	74.0	7	
		71.7			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	30.1	14	
		26.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	18.5	調理	14.5	掃除・洗濯	26.6
買い物	24.3	ゴミ出し	21.4	外出同行	32.4
移送サービス	30.6	見守り、声かけ	24.3	通いの場	13.9
その他	6.9	特になし	16.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	31.2	33.1
声かけ	32.4	38.3
外出同行	6.4	8.1
雪かき	32.4	15.9
庭の手入れ	8.7	8.4
ゴミ出し	13.3	17.5
買物	8.7	14.3
調理	2.9	6.8
掃除	9.2	14.6
着替え	1.2	2.9
季節用品の入替	2.3	1.6
電球交換	9.2	8.4
特になし(できない)	26.0	27.3
その他	2.3	2.9

第八圏域（かがやき）

2 「第四地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
5,592		2,094		37.4 (30.4)	857	1,237	59.1 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
1,594	40	99	361	22.0 (16.1)	214	10.2 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第八圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.1	15	
		14.8			
	介護予防事業対象者	77.7	77.1	11	
		76.7			
	サービス事業対象者	5.9	7.0	24	
		6.3			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	46.5	1
			40.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	72.2	1
			66.0		
		生きがいがある	61.1	66.2	2
			59.5		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.3	25
			31.4		
		週二回以上外出している	81.7	87.3	3
			85.9		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	73.6	2
			70.5		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.1	9
	12.9				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	25.4	3		
	22.0				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	34.2	1		
	28.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.2	6		
	8.4				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第八圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.4	21
		8.3		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	19
		4.7		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.3	12
		33.1		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	31.7	3
		30.1		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	63.0	15
		65.1		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	79.6	8
		78.7		
	15分以上の歩行をしている	66.8	72.9	3
		68.7		
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.2	10
		29.8		
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.4	19
		26.0		
	口の渇きが気になる	25.0	30.3	28
		26.9		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.3	18
		92.8		
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.3	14
		67.2		
	健康への関心がある	90.1	88.4	23
		90.1		
	外出を控えている	25.9	21.8	3
		24.1		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	16.1	24
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	80.6	6
		79.1		
	IADLの低下に該当	5.2	4.2	10
		3.8		
知的能動性の低下に該当	12.5	11.6	10	
	12.8			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.7	15	
	83.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.9	7	
	11.4			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.8	25	
	1.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	24.3	24	
	23.6			

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第八圏域(%)			
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	30.3	7
			30.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	54.6	25
			51.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.3	3
			43.9		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	77.8	20
			80.5		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	66.1	2
			64.6		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	33.3	4
			32.0		
		訪問診療を利用している	18.2	15.8	21
			19.8		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	6.1	22
			11.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.3	5
			25.8		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.8	11
			63.2		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	71.9	21
			74.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	3.5	19
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	25.4	15
			23.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	72.7	21
			79.9		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	8.2	4
			10.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	72.2	1
			66.0		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	46.5	1
			40.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.1	9
			12.9		
		地域で支援できることがある	69.5	73.2	8
			71.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.2	21	
		26.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	14.0	調理	17.5	掃除・洗濯	28.1
買い物	21.9	ゴミ出し	19.3	外出同行	28.9
移送サービス	28.1	見守り、声かけ	23.7	通いの場	19.3
その他	7.9	特にない	17.5		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	24.6	35.2
声かけ	26.3	44.4
外出同行	7.9	12.3
雪かき	26.3	16.9
庭の手入れ	10.5	8.5
ゴミ出し	11.4	20.8
買物	5.3	15.8
調理	6.1	7.0
掃除	7.9	15.1
着替え	2.6	1.8
季節用品の入替	1.8	3.9
電球交換	7.0	7.0
特にない(できない)	36.0	28.5
その他	0.0	3.9

第八圏域（かがやき）

3 「第九地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
7,505	1,430	19.1 (30.4)	727	703	49.2 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,180	15	33	202	16.4 (16.1)	115	8.0 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第八圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.9	4	
		14.8			
	介護予防事業対象者	77.7	73.7	4	
		76.7			
	サービス事業対象者	5.9	5.4	13	
		6.3			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
			40.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.6	15
			66.0		
		生きがいがある	61.1	55.4	28
			59.5		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.9	21
			31.4		
		週二回以上外出している	81.7	86.0	6
			85.9		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	67.2	12
			70.5		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	10.8	30
	12.9				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.2	11		
	22.0				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	25.5	19		
	28.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.2	16		
	8.4				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第八圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.5	25
		8.3		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	2.2	23
		4.7		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	21.2	30
		33.1		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	31.7	3
		30.1		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.5	3
		65.1		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	79.1	9
		78.7		
	15分以上の歩行をしている	66.8	67.3	14
		68.7		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	33.8	26
		29.8		
	お茶や汁物でむせる	25.5	24.5	9
		26.0		
	口の渇きが気になる	25.0	25.5	20
		26.9		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.8	11
		92.8		
	過去一年間で転倒していない	68.0	64.4	26
		67.2		
	健康への関心がある	90.1	90.6	14
		90.1		
	外出を控えている	25.9	26.6	16
		24.1		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	9.5	5
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	82.0	3
		79.1		
	IADLの低下に該当	5.2	4.0	9
		3.8		
知的能動性の低下に該当	12.5	14.4	24	
	12.8			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	79.8	3	
	83.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.9	13	
	11.4			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.8	25	
	1.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	24.1	23	
	23.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第八圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	29.9	5
			30.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	46.0	2
			51.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.2	12
			43.9		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.7	6
			80.5		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	64.2	7
			64.6		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	21.2	27
			32.0		
		訪問診療を利用している	18.2	25.8	5
			19.8		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	24.2	1
			11.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	19.7	26
			25.8		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	57.6	25
			63.2		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	68.2	25
			74.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	1.5	26
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	28.8	22
			23.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	88.5	1
			79.9		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	20.0	28
			10.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.6	15
			66.0		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
			40.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	10.8	30
			12.9		
		地域で支援できることがある	69.5	67.6	20
			71.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	16.7	30	
		26.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	13.6	調理	9.1	掃除・洗濯	12.1
買い物	16.7	ゴミ出し	16.7	外出同行	34.8
移送サービス	31.8	見守り、声かけ	22.7	通いの場	9.1
その他	6.1	特にない	16.7		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	21.2	33.5
声かけ	21.2	37.8
外出同行	9.1	9.7
雪かき	22.7	12.9
庭の手入れ	4.5	11.2
ゴミ出し	7.6	19.1
買物	4.5	16.2
調理	1.5	8.3
掃除	1.5	16.5
着替え	1.5	4.7
季節用品の入替	3.0	4.3
電球交換	6.1	7.6
特にない(できない)	31.8	28.8
その他	1.5	2.2

第九圏域（霞城北部）

1 「第七地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
15,257	4,502	29.5 (30.4)	2,054	2,448	54.4 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
3,779	82	156	485	14.2 (16.1)	190	4.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第九圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.2	13	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	76.0	7	
	サービス事業対象者	5.9	8.4	29	
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
			38.5		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.8	9
			64.8		
		生きがいがある	61.1	59.5	22
			59.5		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.0	14
			33.0		
		週二回以上外出している	81.7	83.2	12
			83.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.4	15
			66.4		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	12.6	22
	12.6				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	24.3	6		
	24.3				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	29.9	5		
	29.9				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.3	15		
	7.3				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第九圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.5	10
			9.5		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	10.1	1
			10.1		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	33.2	16	
		33.2			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	24.9	26	
		24.9			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.5	21	
		61.5			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	74.9	25	
	74.9				
15分以上の歩行をしている	66.8	68.2	12		
	68.2				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.4	15	
		30.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	24.0	8	
		24.0			
	口の渇きが気になる	25.0	30.4	30	
		30.4			
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.5	15	
		92.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.0	23	
		67.0			
	健康への関心がある	90.1	91.1	8	
		91.1			
	外出を控えている	25.9	26.8	17	
		26.8			
	外出を控えている (交通手段がない理由のみ)	12.7	11.5	13	
		11.5			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	78.2	15	
		78.2			
IADLの低下に該当	5.2	6.4	22		
	6.4				
知的能動性の低下に該当	12.5	15.4	28		
	15.4				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.2	16		
	85.2				
①運動器の機能低下リスクに該当		12.5	15.1	26	
		15.1			
②低栄養の傾向リスクに該当		1.0	2.2	28	
		2.2			
③口腔機能の低下リスクに該当		22.2	22.6	19	
		22.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第九圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	38.3	24
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.4	19
			53.4		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	46.6	22
			46.6		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	75.7	26	
		75.7			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	64.8	6	
		64.8			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	30.9	8
			30.9		
		訪問診療を利用している	18.2	18.5	13
			18.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	4.2	27
			4.2		
	在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.1	12	
		25.1			
	人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	61.4	21	
		61.4			
	適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	78.8	6	
		78.8			
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.0	14
			5.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	29.3	23
			29.3		
		仕事と介護を両立できる	74.3	78.4	11
			78.4		
	介護を理由に離職・転職した	11.8	11.7	15	
		11.7			
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.8	9
			64.8		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
			38.5		
ボランティアのグループに参加している		13.8	12.6	22	
		12.6			
地域で支援できることがある	69.5	69.6	13		
	69.6				
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.6	16	
		28.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.5	調理	14.7	掃除・洗濯	17.8
買い物	17.8	ゴミ出し	18.9	外出同行	32.8
移送サービス	34.0	見守り、声かけ	21.6	通いの場	18.1
その他	3.5	特にない	23.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	32.0	33.5
声かけ	26.3	35.8
外出同行	5.8	5.9
雪かき	34.7	15.6
庭の手入れ	8.9	8.4
ゴミ出し	12.0	16.8
買物	5.4	12.8
調理	3.9	5.0
掃除	5.8	14.0
着替え	0.8	2.8
季節用品の入替	1.5	3.4
電球交換	5.4	9.2
特にない(できない)	33.2	31.8
その他	2.7	1.7

第十圏域（霞城西部）

1 「第十地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
10,136	2,954	29.1 (30.4)	1,311	1,643	55.6 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
2,388	71	126	369	16.8 (16.1)	150	5.1 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	11.9	24	
		12.8			
	介護予防事業対象者	77.7	80.9	26	
		79.2			
	サービス事業対象者	5.9	6.1	18	
		6.0			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		32.4	26
		36.0	33.8		
		参加者としての社会参加意向がある		59.7	23
		62.2	58.6		
		生きがいがある		64.8	5
		61.1	61.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う		30.7	24
		33.4	30.1		
		週二回以上外出している		88.4	2
		81.7	81.5		
		何らかの地域活動へ参加している		65.8	18
		66.8	64.7		
		①ボランティアのグループに参加している		15.0	10
		13.8	13.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		21.8	10		
20.2	19.7				
③趣味関係のグループに参加している		28.7	8		
26.4	24.8				
④学習・教養サークルに参加している		9.6	8		
8.0	7.3				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.9	7
		10.7		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	8.2	5
		6.9		
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	25.9	26	
	29.6			
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	25.9	23	
	24.5			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.5	9
		62.0		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	79.9	7
77.1				
15分以上の歩行をしている	66.8	69.6	9	
	64.6			
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.0	12
		28.5		
	お茶や汁物でむせる	25.5	27.0	24
		26.8		
	口の渇きが気になる	25.0	23.9	8
		25.6		
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.2	6
		92.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	66.2	24
		65.5		
	健康への関心がある	90.1	89.4	20
		89.4		
	外出を控えている	25.9	23.9	6
		25.9		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.9	15
		12.9		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	73.7	29
		75.6		
IADLの低下に該当	5.2	4.4	11	
	5.4			
知的能動性の低下に該当	12.5	10.2	5	
	11.1			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	87.3	27	
	85.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.3	16	
	13.4			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.7	23	
	0.9			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	25.6	28	
	23.1			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	31.1	9
			36.0		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	55.3	27
			54.6		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.8	25
			45.0		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	77.8	20
			77.2		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	67.0	1
63.1					
要介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.6	10
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	14.2	25
			14.4		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	13.0	3
			12.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	24.1	14
			24.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	56.2	26
			56.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.3	16
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	7.4	2
			6.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	23.5	10
			24.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	76.3	15
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	3.4	2
			9.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	59.7	23
			58.6		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.4	26
			33.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	10
			13.6		
		地域で支援できることがある	69.5	66.2	22
67.4					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	21.6	27	
		21.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思ふ支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.4	調理	13.6	掃除・洗濯	19.8
買い物	19.8	ゴミ出し	23.5	外出同行	29.0
移送サービス	29.0	見守り、声かけ	19.8	通いの場	14.2
その他	4.9	特にない	19.1		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	32.1	28.3
声かけ	27.2	31.7
外出同行	6.8	7.2
雪かき	32.7	17.4
庭の手入れ	9.9	8.5
ゴミ出し	15.4	19.5
買物	11.1	10.6
調理	4.9	7.2
掃除	6.2	13.7
着替え	2.5	1.4
季節用品の入替	4.3	1.4
電球交換	4.9	6.1
特にない(できない)	28.4	35.2
その他	3.1	3.1

第十圏域（霞城西部）

2 「飯塚地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
3,146		1,121		35.6 (30.4)	472	649	57.9 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
917	15	44	145	16.9 (16.1)	59	5.3 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.7	12	
		12.8			
	介護予防事業対象者	77.7	76.3	9	
		79.2			
	サービス事業対象者	5.9	7.2	25	
		6.0			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	34.2	21
			33.8		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	56.1	27
			58.6		
		生きがいがある	61.1	57.6	25
			61.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	29.9	28
			30.1		
		週二回以上外出している	81.7	80.6	20
			81.5		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.6	13
			64.7		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	13.7	18
			13.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	17.6	24		
	19.7				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	24.8	20		
	24.8				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	5.4	29		
	7.3				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	11.2	4
			10.7		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	9.7	2
			6.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	31.7	18	
		29.6			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	26.6	22	
		24.5			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	57.9	29	
		62.0			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	74.1	27	
		77.1			
	15分以上の歩行をしている	66.8	59.7	28	
		64.6			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.1	8	
		28.5			
	お茶や汁物でむせる	25.5	27.3	26	
		26.8			
	口の渇きが気になる	25.0	28.1	26	
		25.6			
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.4	17	
		92.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	62.9	28	
		65.5			
	健康への関心がある	90.1	87.4	27	
		89.4			
	外出を控えている	25.9	26.3	15	
		25.9			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.3	14	
		12.9			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	77.3	17	
		75.6			
	IADLの低下に該当	5.2	6.1	21	
		5.4			
知的能動性の低下に該当	12.5	14.4	24		
	11.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.1	13		
	85.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	14.4	23		
	13.4				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	23.4	21		
	23.1				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	38.8	25
			36.0		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.5	13
			54.6		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.7	19
			45.0		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	79.9	14
			77.2		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	60.9	21
			63.1		
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	33.3	4
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	14.0	26
			14.4		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	12.3	5
			12.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.3	5
			24.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	57.9	24
			56.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	66.7	27
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	7.0	3
			6.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	22.8	8
			24.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	85.0	3
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	17.1	26
			9.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	56.1	27
			58.6		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	34.2	21
			33.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	13.7	18
			13.6		
		地域で支援できることがある	69.5	72.3	11
			67.4		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	19.3	29	
		21.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.8	調理	14.0	掃除・洗濯	21.1
買い物	28.1	ゴミ出し	28.1	外出同行	33.3
移送サービス	24.6	見守り、声かけ	26.3	通いの場	14.0
その他	5.3	特になし	15.8		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	28.1	30.9
声かけ	29.8	37.8
外出同行	5.3	6.8
雪かき	33.3	20.1
庭の手入れ	8.8	12.9
ゴミ出し	14.0	18.0
買物	5.3	14.4
調理	5.3	5.4
掃除	5.3	18.7
着替え	1.8	2.9
季節用品の入替	3.5	1.1
電球交換	8.8	10.1
特になし(できない)	28.1	26.3
その他	1.8	2.2

第十圏域（霞城西部）

3 「樺沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,996	763	38.2 (30.4)	321	442	57.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
653	11	25	74	13.0 (16.1)	28	3.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	11.7	25	
		12.8			
	介護予防事業対象者	77.7	80.4	23	
		79.2			
	サービス事業対象者	5.9	4.6	7	
		6.0			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18
			33.8		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.0	22
			58.6		
		生きがいがある	61.1	61.7	14
			61.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	29.6	29
			30.1		
		週二回以上外出している	81.7	74.2	26
			81.5		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	61.3	29
			64.7		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	11.7	24
			13.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.6	17		
	19.7				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	20.0	29		
	24.8				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.7	22		
	7.3				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	11.3	3
			10.7		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	2.1	24
			6.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	31.7	18	
		29.6			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	20.4	30	
		24.5			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	62.5	17	
		62.0			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.1	15	
		77.1			
	15分以上の歩行をしている	66.8	64.2	18	
		64.6			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	27.1	5	
		28.5			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.8	14	
		26.8			
	口の渇きが気になる	25.0	25.0	16	
		25.6			
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.7	21	
		92.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.5	18	
		65.5			
	健康への関心がある	90.1	91.7	4	
		89.4			
	外出を控えている	25.9	27.9	25	
		25.9			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	13.4	19	
		12.9			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.8	24	
		75.6			
	IADLの低下に該当	5.2	5.8	19	
		5.4			
知的能動性の低下に該当	12.5	8.3	2		
	11.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.8	20		
	85.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.8	21		
	13.4				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.8	14		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	19.6	6		
	23.1				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	38.8	25
			36.0		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	56.3	29
			54.6		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	40.8	2
			45.0		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	73.3	29	
		77.2			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.0	20	
		63.1			
要介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	38.7	1
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	16.1	20
			14.4		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.7	12
			12.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	19.4	27
			24.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	54.8	27
			56.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	77.4	9
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	3.2	21
			6.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	35.5	30
			24.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	60.0	30
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	25.0	30
			9.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.0	22
			58.6		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18
			33.8		
ボランティアのグループに参加している		13.8	11.7	24	
		13.6			
地域で支援できることがある		69.5	63.3	28	
		67.4			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	25.8	23	
		21.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	19.4	調理	16.1	掃除・洗濯	19.4
買い物	6.5	ゴミ出し	12.9	外出同行	22.6
移送サービス	19.4	見守り、声かけ	29.0	通いの場	6.5
その他	6.5	特になし	22.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいこと の割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	25.8	28.8
声かけ	25.8	38.8
外出同行	3.2	6.3
雪かき	19.4	15.0
庭の手入れ	3.2	9.2
ゴミ出し	0.0	15.8
買物	0.0	12.5
調理	0.0	4.2
掃除	0.0	14.2
着替え	0.0	2.5
季節用品の入替	0.0	1.3
電球交換	0.0	8.3
特になし(できない)	35.5	32.1
その他	6.5	0.8

第十一圏域（蔵王）

1 「蔵王地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
16,469	5,228	31.7 (30.4)	2,505	2,723	52.1 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
4,313	129	159	627	15.0 (16.1)	296	5.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	18.6	2	
		18.6			
	介護予防事業対象者	77.7	74.1	6	
		74.1			
	サービス事業対象者	5.9	3.8	3	
		3.8			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.8	8
			37.8		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.2	10
			64.2		
		生きがいがある	61.1	63.1	10
			63.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.1	13
			33.1		
		週二回以上外出している	81.7	83.7	11
			83.7		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	68.6	8
			68.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	12.8	20
			12.8		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	22.1	8		
	22.1				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	29.7	6		
	29.7				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.0	19		
	7.0				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十一圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	8.7	16
			8.7		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	19
			3.2		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	27.6	22	
		27.6			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	29.7	8	
		29.7			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.0	7	
		66.0			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	82.0	2	
	82.0				
15分以上の歩行をしている	66.8	71.2	7		
	71.2				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	24.7	2	
		24.7			
	お茶や汁物でむせる	25.5	19.8	1	
		19.8			
	口の渇きが気になる	25.0	24.7	12	
		24.7			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.0	9	
		93.0			
	過去一年間で転倒していない	68.0	72.7	2	
		72.7			
	健康への関心がある	90.1	89.0	22	
		89.0			
	外出を控えている	25.9	21.8	3	
		21.8			
	外出を控えている (交通手段がない理由のみ)	12.7	10.7	11	
		10.7			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	82.3	1	
		82.3			
	IADLの低下に該当	5.2	3.2	5	
		3.2			
知的能動性の低下に該当	12.5	11.9	11		
	11.9				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	78.8	1		
	78.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	9.9	3		
	9.9				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.2	19		
	1.2				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	17.7	1		
	17.7				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十一圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	29.1	4
			29.1		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.3	12
			52.3		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.4	5
			42.4		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.7	6
			81.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.8	10
			62.8		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	26.6	20
			26.6		
		訪問診療を利用している	18.2	18.9	12
			18.9		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	7.6	21
			7.6		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.9	9
			25.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.1	9
			67.1		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.7	12
			76.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.6	4
			6.6		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	25.9	16
			25.9		
		仕事と介護を両立できる	74.3	70.3	23
			70.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	12.1	17
			12.1		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.2	10
			64.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.8	8
			37.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	12.8	20
			12.8		
		地域で支援できることがある	69.5	74.1	6
			74.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	35.2	5	
		35.2			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.6	調理	15.3	掃除・洗濯	20.6
買い物	18.3	ゴミ出し	15.0	外出同行	27.9
移送サービス	27.2	見守り、声かけ	21.3	通いの場	12.6
その他	6.3	特になし	23.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.2	32.0
声かけ	26.6	41.0
外出同行	4.0	9.9
雪かき	31.2	17.2
庭の手入れ	12.6	15.1
ゴミ出し	8.0	18.9
買物	6.0	14.2
調理	3.7	7.3
掃除	5.6	16.9
着替え	1.0	3.5
季節用品の入替	3.7	4.1
電球交換	7.3	8.7
特になし(できない)	31.9	25.9
その他	2.0	2.6

第十二圏域（愛らんど）

1 「第五地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
7,807	2,138	27.4 (30.4)	959	1,179	55.1 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,779	30	83	246	15.4 (16.1)	98	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	12.6	22	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	77.7	14	
		77.2			
サービス事業対象者		5.9	8.3	27	
		7.0			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.9	12
			36.9		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.1	11
			65.2		
		生きがいがある	61.1	66.1	3
			65.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	34.9	10
			33.7		
		週二回以上外出している	81.7	81.1	19
			82.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	68.5	9
			70.0		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.6	7
			15.7		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	27.2	1		
	24.3				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	29.6	7		
	29.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	12.0	2		
	10.7				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十二圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	8.3	17
			7.9		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	3.7	16
			4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.2	13	
		35.5			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.2	20	
		29.4			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	59.1	28	
		63.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.4	13	
		78.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	71.4	6	
		70.2			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	32.6	25	
		30.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.9	16	
		25.2			
	口の渇きが気になる	25.0	22.9	6	
		24.8			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.0	9	
		94.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.4	13	
		67.3			
	健康への関心がある	90.1	91.0	11	
		92.1			
	外出を控えている	25.9	30.9	30	
		27.8			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	9.7	6	
		11.0			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.7	25	
		76.5			
	IADLの低下に該当	5.2	6.0	20	
		3.9			
知的能動性の低下に該当	12.5	10.3	6		
	11.9				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.8	26		
	84.7				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.3	20		
	11.7				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.7	23		
	1.4				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	24.9	26		
	23.0				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	33.9	17
			33.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	51.2	8
			52.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.5	18
			48.3		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	77.4	22
			78.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.2	13
			63.0		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	31.5	7
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	17.7	18
			15.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	5.6	23
			4.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	29.0	3
			29.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	63.7	18
			66.7		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	78.2	7
			82.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.5	5
			4.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.6	24
			29.2		
		仕事と介護を両立できる	74.3	82.6	5
			73.7		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	14.4	20
			13.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.1	11
			65.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.9	12
			36.9		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.6	7
			15.7		
		地域で支援できることがある	69.5	68.1	19
			69.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	32.3	10	
		34.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	24.2	調理	17.7	掃除・洗濯	29.8
買い物	24.2	ゴミ出し	22.6	外出同行	29.0
移送サービス	31.5	見守り、声かけ	30.6	通いの場	21.0
その他	8.9	特になし	14.5		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	31.5	32.2
声かけ	32.3	37.5
外出同行	4.8	6.0
雪かき	31.5	14.6
庭の手入れ	8.1	8.0
ゴミ出し	12.1	17.9
買物	5.6	9.6
調理	4.0	5.0
掃除	5.6	10.3
着替え	0.0	2.0
季節用品の入替	2.4	1.7
電球交換	3.2	5.6
特になし(できない)	36.3	31.9
その他	1.6	2.3

第十二圏域（愛らんど）

2 「第八地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
9,754	2,507	25.7 (30.4)	1,185	1,322	52.7 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
2,110	66	73	258	13.2 (16.1)	115	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.6	5	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	73.2	2	
		77.2			
	サービス事業対象者	5.9	8.3	27	
		7.0			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.2	23
			36.9		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.2	7
			65.2		
		生きがいがある	61.1	63.3	8
			65.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.0	27
			33.7		
		週二回以上外出している	81.7	84.0	10
			82.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	68.1	10
			70.0		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	10
			15.7		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.1	12		
	24.3				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	31.0	4		
	29.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.5	5		
	10.7				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十二圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	5.1	27
		7.9		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	1.9	25
		4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	31.6	20
		35.5		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.1	14
		29.4		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	67.7	1
		63.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	81.2	5
		78.8		
	15分以上の歩行をしている	66.8	72.5	4
		70.2		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.1	8
		30.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.3	3
		25.2		
	口の渇きが気になる	25.0	27.5	25
		24.8		
	毎日歯磨きをしている	91.9	96.8	1
		94.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.7	17
		67.3		
	健康への関心がある	90.1	91.1	8
		92.1		
	外出を控えている	25.9	27.2	19
		27.8		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.9	15
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.4	21
		76.5		
	IADLの低下に該当	5.2	2.9	2
		3.9		
知的能動性の低下に該当	12.5	13.1	17	
	11.9			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.1	5	
	84.7			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.2	9	
	11.7			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.6	22	
	1.4			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	21.7	14	
	23.0			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	33.5	16
			33.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	51.8	10
			52.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.9	27
			48.3		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.8	4
			78.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.1	19
			63.0		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	26.5	21
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	14.5	24
			15.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	5.1	24
			4.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	29.1	2
			29.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.5	8
			66.7		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	82.1	3
			82.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	2.6	23
			4.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.8	25
			29.2		
		仕事と介護を両立できる	74.3	63.0	29
			73.7		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	13.3	18
			13.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.2	7
			65.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.2	23
			36.9		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	10
			15.7		
		地域で支援できることがある	69.5	70.3	12
			69.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	32.5	9	
		34.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	13.7	調理	12.0	掃除・洗濯	22.2
買い物	21.4	ゴミ出し	19.7	外出同行	32.5
移送サービス	20.5	見守り、声かけ	19.7	通いの場	12.8
その他	13.7	特にない	12.8		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	23.1	29.4
声かけ	19.7	34.2
外出同行	7.7	6.1
雪かき	32.5	18.5
庭の手入れ	13.7	14.4
ゴミ出し	13.7	23.6
買物	11.1	13.1
調理	6.8	6.1
掃除	9.4	18.5
着替え	0.0	3.2
季節用品の入替	1.7	3.2
電球交換	10.3	9.3
特にない(できない)	33.3	29.7
その他	2.6	3.2

第十二圏域（愛らんど）

3 「東沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
4,644	1,659	35.7 (30.4)	821	838	50.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,369	11	56	223	16.8 (16.1)	122	7.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.3	20	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	80.7	24	
		77.2			
	サービス事業対象者	5.9	4.3	4	
		7.0			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.9	2
			36.9		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.4	3
			65.2		
		生きがいがある	61.1	67.8	1
			65.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	36.2	6
			33.7		
		週二回以上外出している	81.7	81.4	18
			82.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	73.7	1
			70.0		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	16.6	3
			15.7		
		②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	24.6	4
			24.3		
		③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.2	11
			29.6		
④学習・教養サークルに参加している	8.0	9.6	8		
	10.7				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十二圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	10.3	6
		7.9		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	8.0	6
		4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	38.9	7
		35.5		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	32.9	1
		29.4		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	64.8	13
		63.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.7	11
		78.8		
	15分以上の歩行をしている	66.8	66.4	15
		70.2		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.6	18
		30.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.6	22
		25.2		
	口の渇きが気になる	25.0	23.9	8
		24.8		
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.7	3
		94.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	65.8	25
		67.3		
	健康への関心がある	90.1	94.4	1
		92.1		
	外出を控えている	25.9	25.2	12
		27.8		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	10.5	9
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	77.4	16
		76.5		
	IADLの低下に該当	5.2	3.0	3
		3.9		
知的能動性の低下に該当	12.5	12.3	12	
	11.9			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.4	18	
	84.7			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.6	6	
	11.7			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.0	17	
	1.4			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.3	16	
	23.0			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.9	15
			33.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.5	20
			52.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	51.5	30
			48.3		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	76.4	23
			78.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	65.8	5
			63.0		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.4	17
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	13.5	28
			15.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	1.4	30
			4.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	31.1	1
			29.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	70.3	4
			66.7		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	90.5	1
			82.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	5.4	10
			4.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	24.3	13
			29.2		
		仕事と介護を両立できる	74.3	76.9	14
			73.7		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.3	13
			13.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.4	3
			65.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.9	2
			36.9		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	16.6	3
			15.7		
		地域で支援できることがある	69.5	68.8	15
			69.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	39.2	3	
		34.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.3	調理	9.5	掃除・洗濯	14.9
買い物	12.2	ゴミ出し	10.8	外出同行	24.3
移送サービス	23.0	見守り、声かけ	23.0	通いの場	14.9
その他	12.2	特になし	27.0		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	31.1	34.9
声かけ	31.1	38.2
外出同行	8.1	11.0
雪かき	27.0	20.3
庭の手入れ	5.4	14.0
ゴミ出し	9.5	14.3
買物	5.4	11.6
調理	4.1	7.6
掃除	5.4	17.3
着替え	2.7	2.3
季節用品の入替	1.4	3.7
電球交換	2.7	11.6
特になし(できない)	36.5	27.9
その他	2.7	3.0

第十三圏域（南沼原）

1 「南沼原地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
17,628	5,012	28.4 (30.4)	2,310	2,702	53.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
4,072	80	130	730	17.2 (16.1)	435	8.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十三圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	12.1	23	
		12.1			
	介護予防事業対象者	77.7	78.7	18	
		78.7			
	サービス事業対象者	5.9	5.7	14	
		5.7			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	31.7	27
			31.7		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	54.9	28
			54.9		
		生きがいがある	61.1	62.5	12
			62.5		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	31.4	20
			31.4		
		週二回以上外出している	81.7	81.6	17
			81.6		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	63.7	25
			63.7		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	11.1	26
	11.1				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.0	20		
	19.0				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.6	9		
	28.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.9	12		
	7.9				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十三圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.2	12
		9.2		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	19
		3.2		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	26.3	25
		26.3		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	21.9	28
		21.9		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	59.7	27
		59.7		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	80.3	6
		80.3		
15分以上の歩行をしている	66.8	68.6	11	
	68.6			
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.5	17
		30.5		
	お茶や汁物でむせる	25.5	28.6	27
		28.6		
	口の渇きが気になる	25.0	27.3	24
		27.3		
	毎日歯磨きをしている	91.9	94.3	2
		94.3		
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.3	21
		67.3		
	健康への関心がある	90.1	91.1	8
		91.1		
	外出を控えている	25.9	25.1	11
		25.1		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	13.9	20
		13.9		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.5	20
		76.5		
	I A D Lの低下に該当	5.2	5.4	15
		5.4		
知的能動性の低下に該当	12.5	14.0	21	
	14.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.3	17	
	85.3			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.1	15	
	12.1			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.6	9	
	0.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.5	18	
	22.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十三圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.7	14
			32.7		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.7	15
			52.7		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.8	11
			43.8		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	75.6	27	
		75.6			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	56.9	27	
		56.9			
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.5	12
			29.5		
		訪問診療を利用している	18.2	20.5	7
			20.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.3	18
			8.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.0	8
			26.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	63.8	17
			63.8		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.2	17
			75.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.1	13
			5.1		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	26.0	17
			26.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	67.3	25
			67.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	14.3	19
			14.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	54.9	28
			54.9		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	31.7	27
			31.7		
ボランティアのグループに参加している		13.8	11.1	26	
		11.1			
地域で支援できることがある		69.5	61.9	30	
		61.9			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	31.1	12	
		31.1			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.9	調理	20.1	掃除・洗濯	21.7
買い物	20.5	ゴミ出し	23.2	外出同行	32.7
移送サービス	33.9	見守り、声かけ	28.3	通いの場	17.7
その他	7.1	特にない	19.7		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	33.5	29.2
声かけ	32.3	32.7
外出同行	7.9	6.0
雪かき	31.5	13.3
庭の手入れ	12.2	7.3
ゴミ出し	14.2	14.0
買物	11.4	11.7
調理	4.7	5.4
掃除	5.5	14.0
着替え	3.5	2.2
季節用品の入替	3.5	3.2
電球交換	5.5	7.0
特にない(できない)	29.9	37.8
その他	2.0	3.2

第十四圏域（金井）

1 「金井地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
15,648		4,546		29.1 (30.4)	2,216	2,330	51.3 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
3,846	91	134	475	13.4 (16.1)	201	4.4 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十四圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.9	8	
	介護予防事業対象者	77.7			
	サービス事業対象者	5.9	4.5	6	
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
		参加者としての社会参加意向がある	62.2		
		生きがいがある	61.1	57.7	24
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4		
		週二回以上外出している	81.7	85.2	7
		何らかの地域活動へ参加している	66.8		
	①ボランティアのグループに参加している	13.8	13.9	17	
		②スポーツ関係のグループやクラブに参加している			20.2
		③趣味関係のグループに参加している	26.4	25.6	18
		④学習・教養サークルに参加している	8.0		
			7.4	7.4	14

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十四圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.1	13
			9.1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	5.7	9
			5.7		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	24.1	28	
		24.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	26.7	21	
		26.7			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.9	19	
		61.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.3	14	
77.3					
15分以上の歩行をしている	66.8	63.6	19		
	63.6				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.4	15	
		30.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.0	12	
		25.0			
	口の渇きが気になる	25.0	23.9	8	
		23.9			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.5	4	
		93.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	72.4	3	
		72.4			
	健康への関心がある	90.1	89.5	18	
		89.5			
	外出を控えている	25.9	25.3	13	
		25.3			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	15.7	23	
		15.7			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.8	10	
		79.8			
IADLの低下に該当	5.2	3.1	4		
	3.1				
知的能動性の低下に該当	12.5	13.1	17		
	13.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	83.2	10		
	83.2				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.1	18		
	13.1				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1		
	0.0				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.7	20		
	22.7				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十四圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	31.3	11
			31.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.1	18
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.3	3
			42.3		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	79.5	16	
		79.5			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.5	17	
		61.5			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.9	15
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	16.7	19
			16.7		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.3	14
			9.3		
	在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	21.1	23	
		21.1			
	人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.4	14	
		65.4			
	適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	72.4	19	
		72.4			
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	3.3	20
			3.3		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	22.0	7
			22.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	65.4	28
			65.4		
	介護を理由に離職・転職した	11.8	9.8	7	
		9.8			
『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.2	4	
		66.2			
	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14	
		35.5			
	ボランティアのグループに参加している	13.8	13.9	17	
		13.9			
地域で支援できることがある	69.5	65.6	24		
	65.6				
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.0	18	
		28.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.9	調理	17.5	掃除・洗濯	22.0
買い物	21.5	ゴミ出し	17.9	外出同行	29.7
移送サービス	29.3	見守り、声かけ	19.5	通いの場	11.8
その他	4.1	特になし	16.3		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	28.9	29.8
声かけ	26.4	31.5
外出同行	8.5	5.4
雪かき	31.7	15.6
庭の手入れ	11.4	12.2
ゴミ出し	11.0	13.1
買い物	8.9	11.9
調理	4.5	2.6
掃除	6.1	15.6
着替え	0.8	2.6
季節用品の入替	2.8	2.6
電球交換	5.3	9.4
特になし(できない)	29.7	31.8
その他	2.4	2.3

第4章

高齢者の健康と生活状況調査結果
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果)

第4章 高齢者の健康と生活状況調査結果 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果）

1 あなたのご家族や生活状況について

（1）家族構成及び日中独居者の状況

○家族構成をみると、一般高齢者は「息子・娘との2世帯」（35.3%）、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（31.1%）、事業対象者は「息子・娘との2世帯」（38.4%）、「1人暮らし」（34.8%）、要支援者は「息子・娘との2世帯」（37.8%）、「1人暮らし」（30.8%）となっています。

○日中独居の有無をみると、一般高齢者は「よくある」「たまにある」をあわせると68.9%、事業対象者は70.8%、要支援者は73.3%となっています。

図4.1 家族構成<問1-(1)>

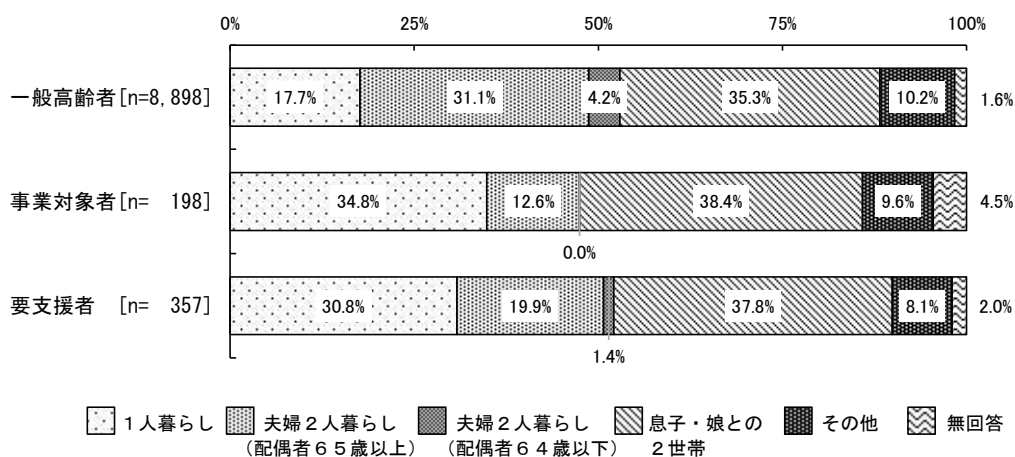
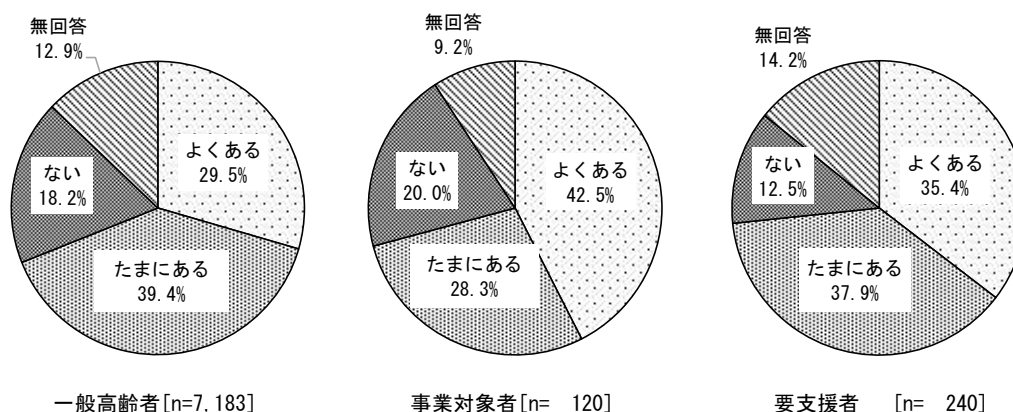


図4.2 日中独居の有無<問1-(1).①>



(2) 日常生活における介護（介助）者の有無

- 普段の生活における介護・介助の状況をみると、一般高齢者・事業対象者は「介護・介助は必要ない」（86.6%・45.5%）が最も高くなっています。
- 要支援者は「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（52.9%）が最も高くなっています。
- 一般高齢者で介護を受けていると回答した方の介護・介助をしている人を見ると、「配偶者（夫・妻）」（39.2%）が最も高く、次いで「娘」（34.0%）、「息子」（25.2%）となっています。
- 事業対象者と要支援者では「介護サービスのヘルパー」（41.2%・34.9%）が最も高くなっています。

図4.3 普段の生活で介護・介助が必要か<問1-(2)>

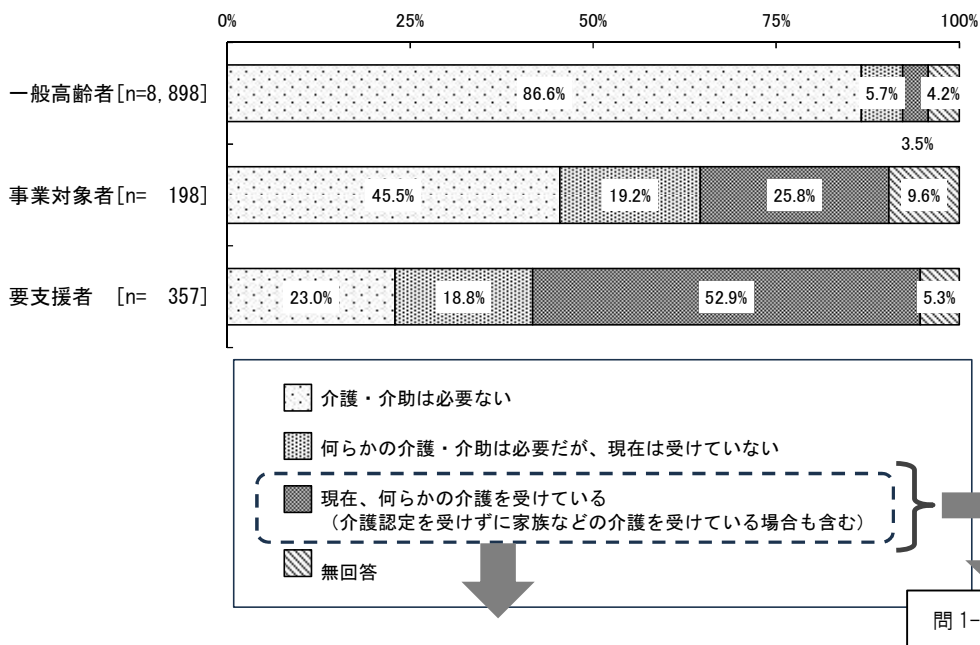
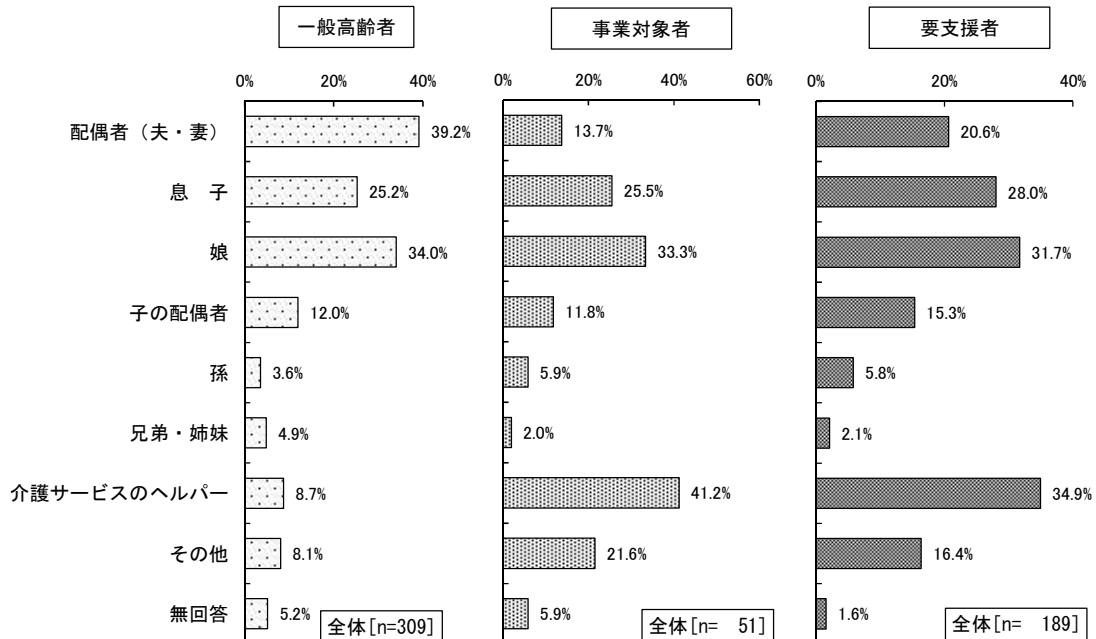
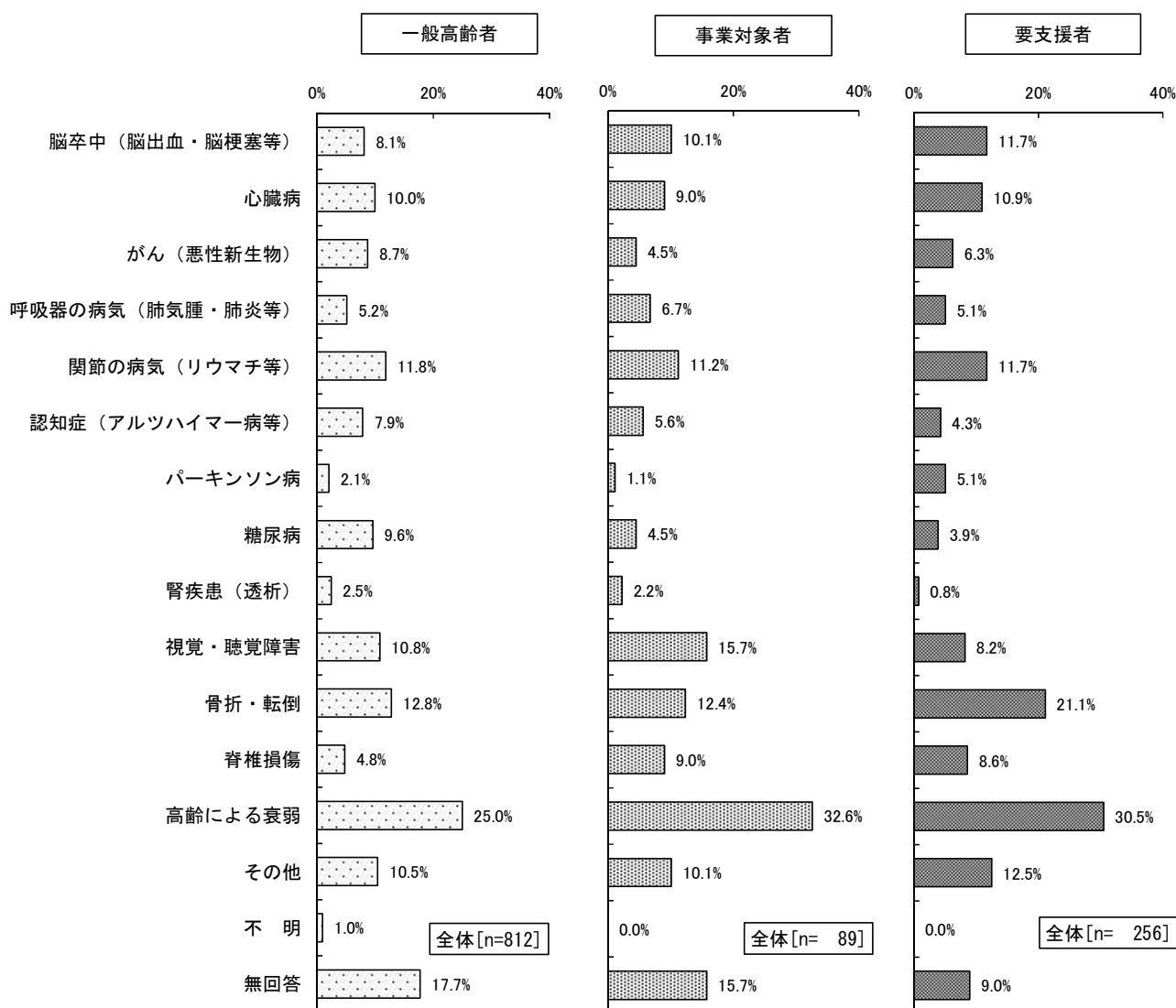


図4.4 介護・介助をしてもらっている人<問1-(2). ②>



○介護・介助が必要になった主な原因では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「高齢による衰弱」（25.0%・32.6%・30.5%）が最も高くなっています。次いで一般高齢者・要支援者は「骨折・転倒」（12.8%・21.1%）、事業対象者は「視覚・聴覚障害」（15.7%）となっています。

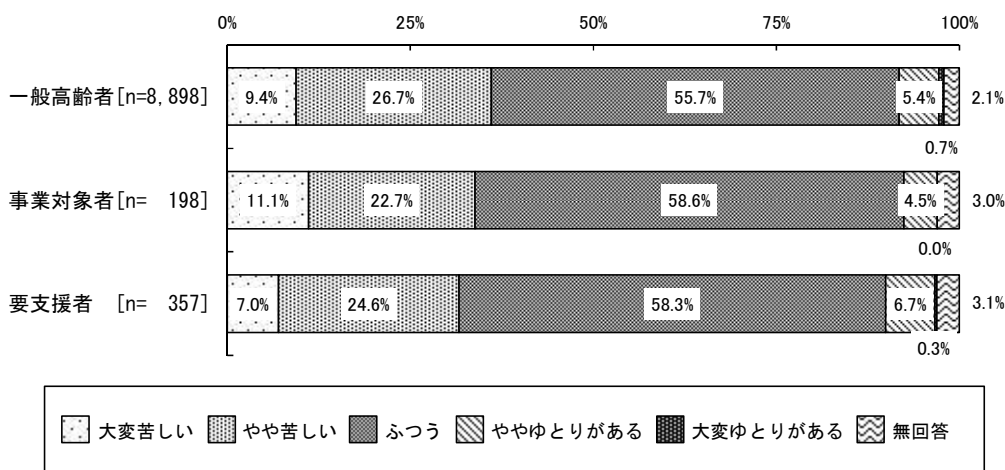
図4.5 介護・介助が必要になった主な原因<問1-(2). ①>



(3) 現在の経済状況

○現在の暮らしの経済的状況をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「ふつう」(55.7%・58.6%・58.3%)が最も高く、次いで「やや苦しい」(26.7%・22.7%・24.6%)となっています。

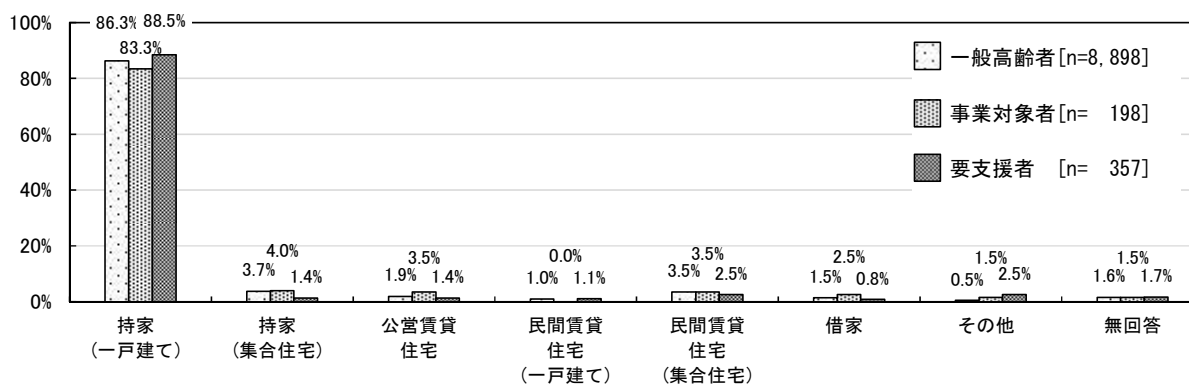
図4.6 現在の暮らしの状況を経済的にみて<問1-(3)>



(4) 現在の住居環境

○現在暮らしている家の状況では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「㊤持家（一戸建て）」(86.3%・83.3%・88.5%)が最も高くなっています。

図4.7 現在の暮らしている家の状況<問1-(4)>



2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかでは、一般高齢者は「できない」が14.6%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は「できない」が半数を超えており、前者を大きく上回っています。
- 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、一般高齢者は「できない」が9.9%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- 一方、要支援者は「できない」が52.1%となっており、前者を大きく上回っています。

図4.8 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか<問2-(1)>

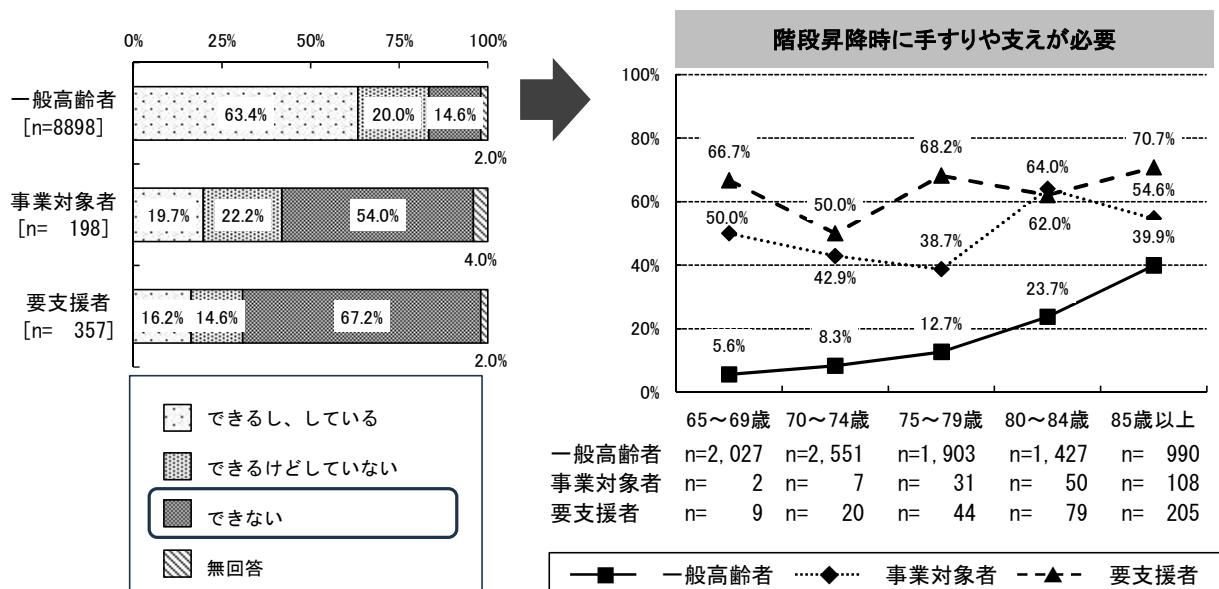
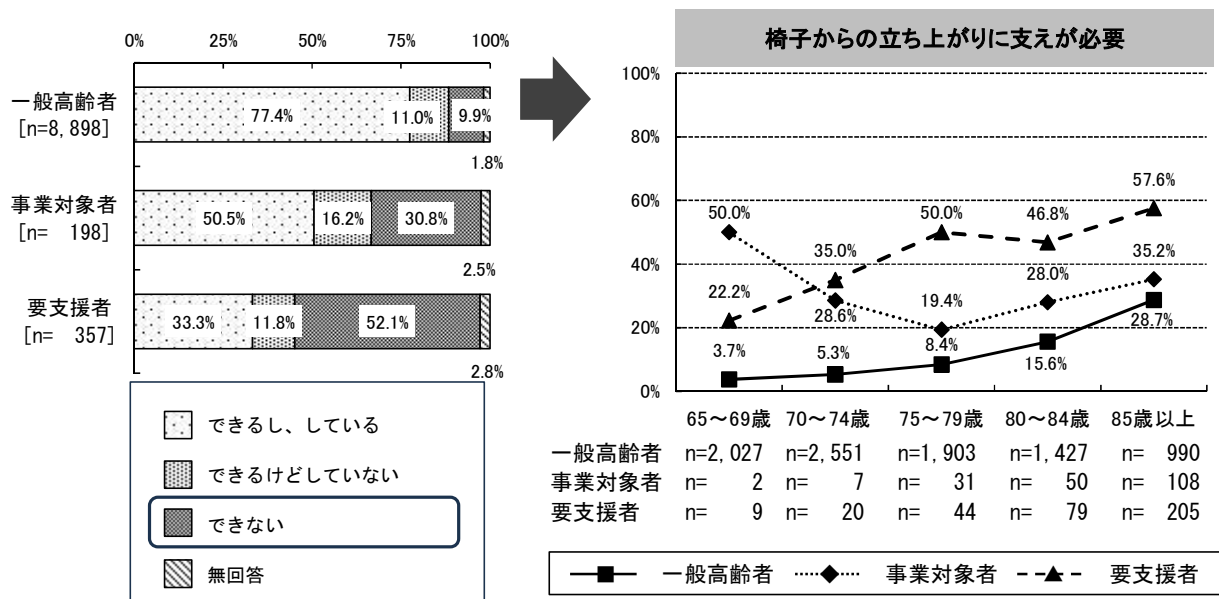


図4.9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか<問2-(2)>



- 15分位続けて歩くことができるかでは、一般高齢者は「できない」が8.1%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- 一方、要支援者は「できない」が48.5%となっており、前者を大きく上回っています。
- 過去1年間に転んだ経験の有無では、一般高齢者は「何度もある」(7.3%)と「1度ある」(23.7%)を合わせた31.0%が転んだ経験があると答えています。
- 一方、要支援者は「何度もある」(25.2%)と「1度ある」(33.6%)を合わせた58.8%が転倒経験者となっており、前者を上回っています。

図4.10 15分位続けて歩くことができるか<問2-(3)>

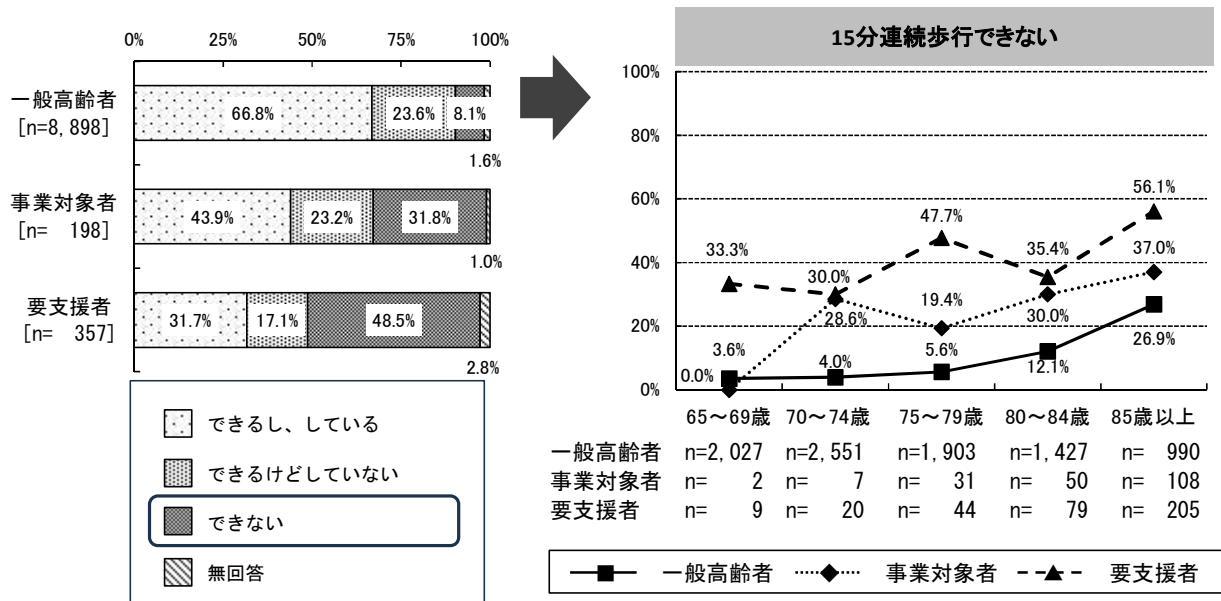
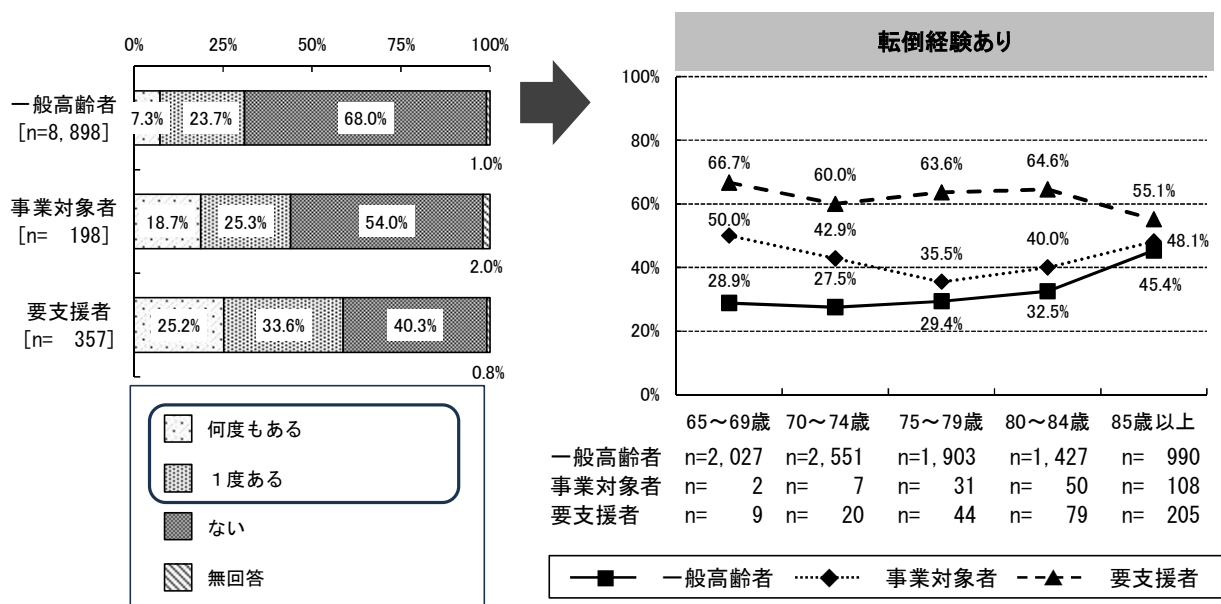


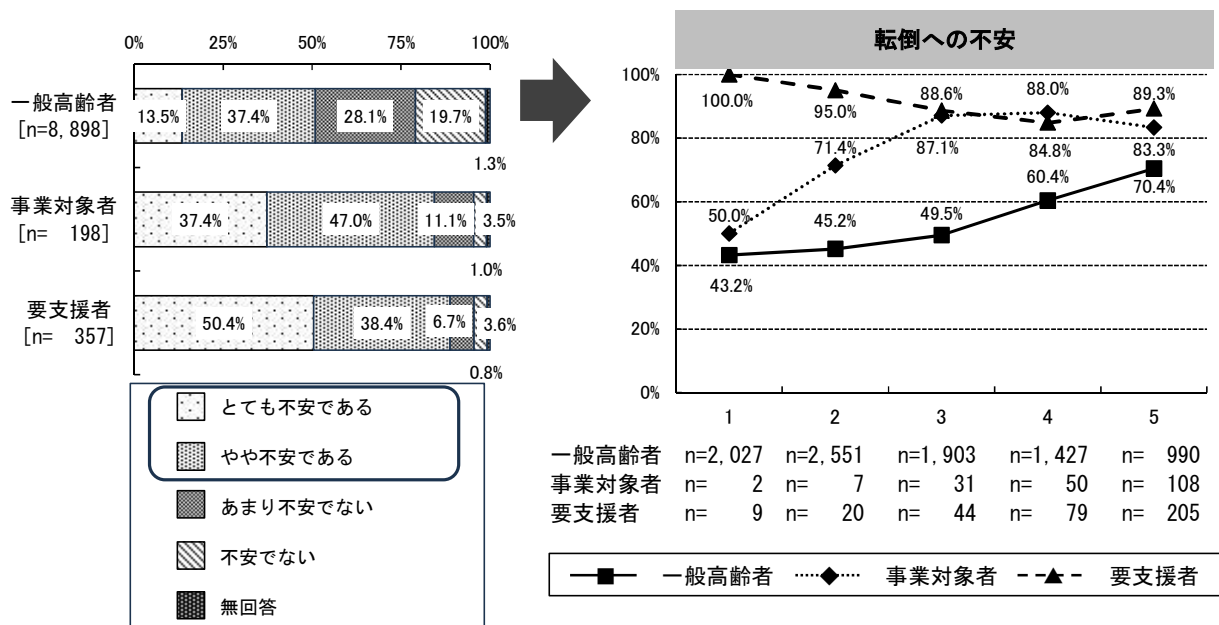
図4.11 過去1年間に転んだ経験の有無<問2-(4)>



○転倒に対する不安の有無では、一般高齢者は「とても不安である」（13.5%）と「やや不安である」（37.4%）を合わせた50.9%で不安があり、その該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○一方、事業対象者・要支援者いずれも「とても不安である」（37.4%・50.4%）と「やや不安である」（47.0%・38.4%）を合わせると8割以上となっています。

図4.12 転倒に対して不安はあるか<問2-(5)>

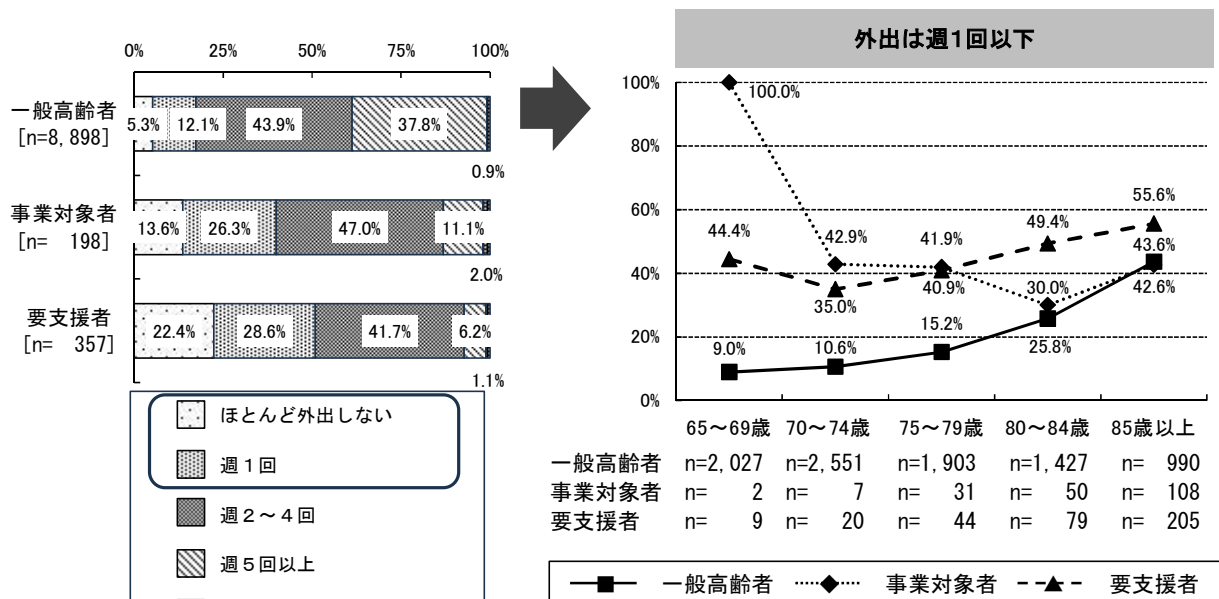


(2) 外出の状況

○週に1回以上の外出の有無では、一般高齢者は「ほとんど外出しない」（5.3%）と「週1回」（12.1%）を合わせた17.4%が外出は週1回以下となっており、その該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

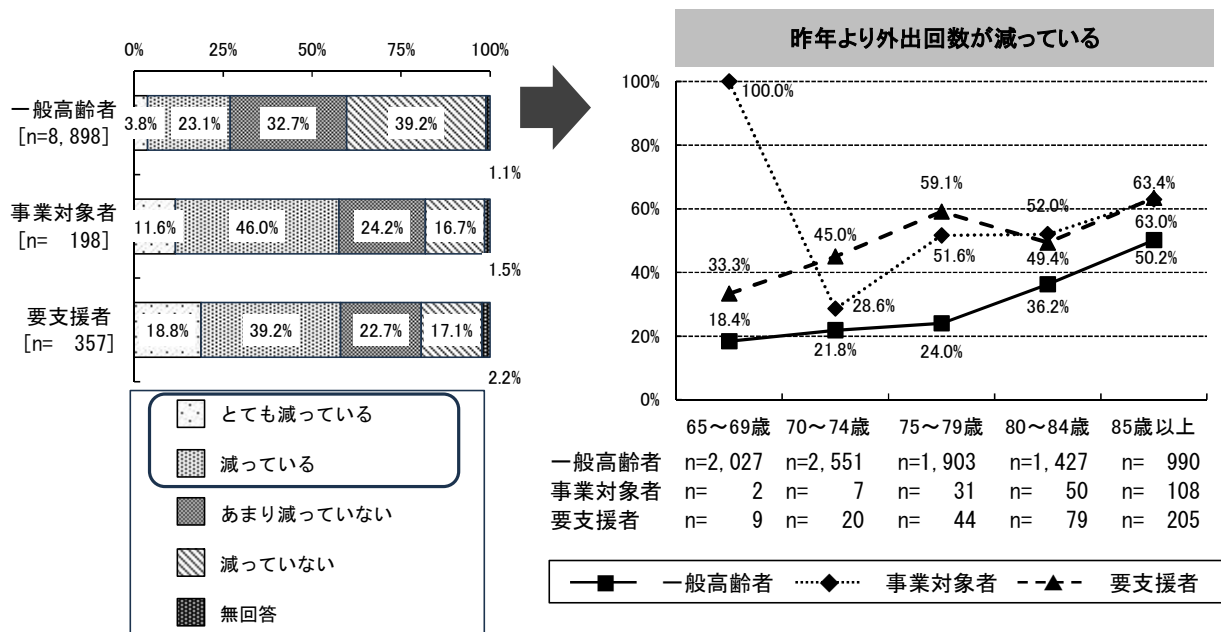
○一方、事業対象者・要支援者ともに「ほとんど外出しない」（13.6%・22.4%）と「週1回」（26.3%・28.6%）を合わせると3割以上となっており、前者を上回っています。

図4.13 週に1回以上は外出しているか<問2-(6)>



- 昨年と比べた外出の頻度では、一般高齢者は「とても減っている」(3.8%)と「減っている」(23.1%)を合わせた26.9%が昨年より外出が減っており、その該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者ともに「とても減っている」(11.6%・18.8%)と「減っている」(46.0%・39.2%)を合わせると5割以上となっており、前者を上回っています。

図4.14 昨年と比べた外出の頻度<問2-(7)>



- 外出を控えているかをみると、一般高齢者は「はい」が25.9%います。
- 一方、事業対象者・要支援者は「はい」が57.1%・65.5%で、前者と比べ31.2^{ポイント}・39.6^{ポイント}高くなっています。
- 外出を控えている理由では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「足腰などの痛み」(38.2%・60.2%・67.5%)が最も高く、次いで一般高齢者が「外での楽しみがない」(18.8%)、事業対象者・要支援者が「交通手段がない」(27.4%・28.6%)となっています。

図4.15 外出を控えているか<問2-(8)>

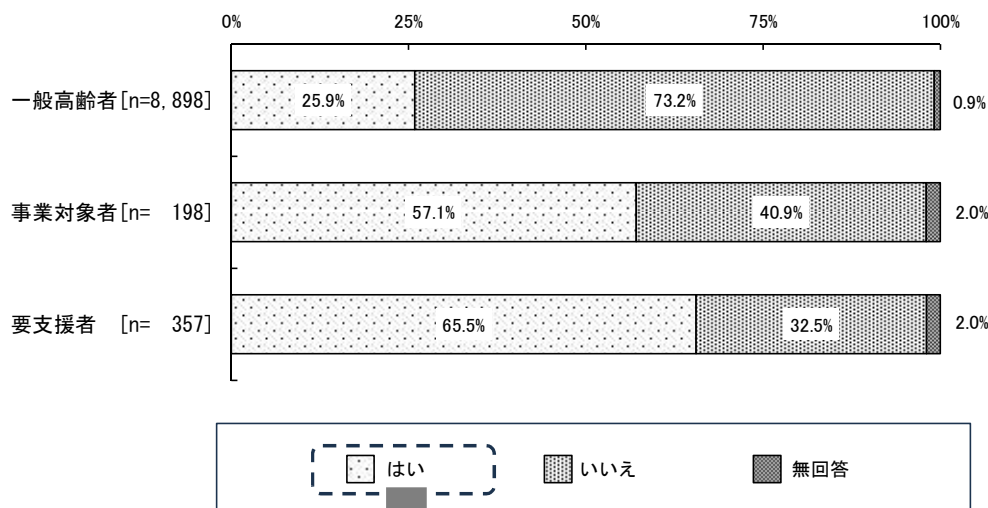
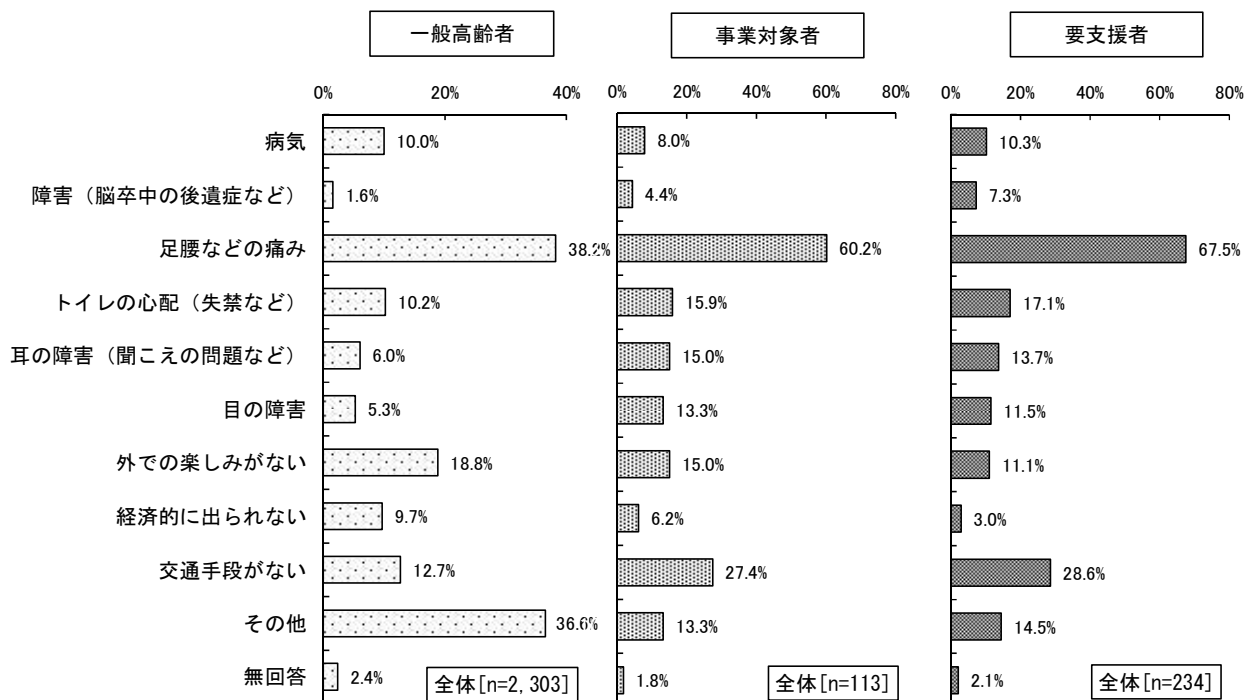


図4.16 外出を控えている理由<問2-(8).①>

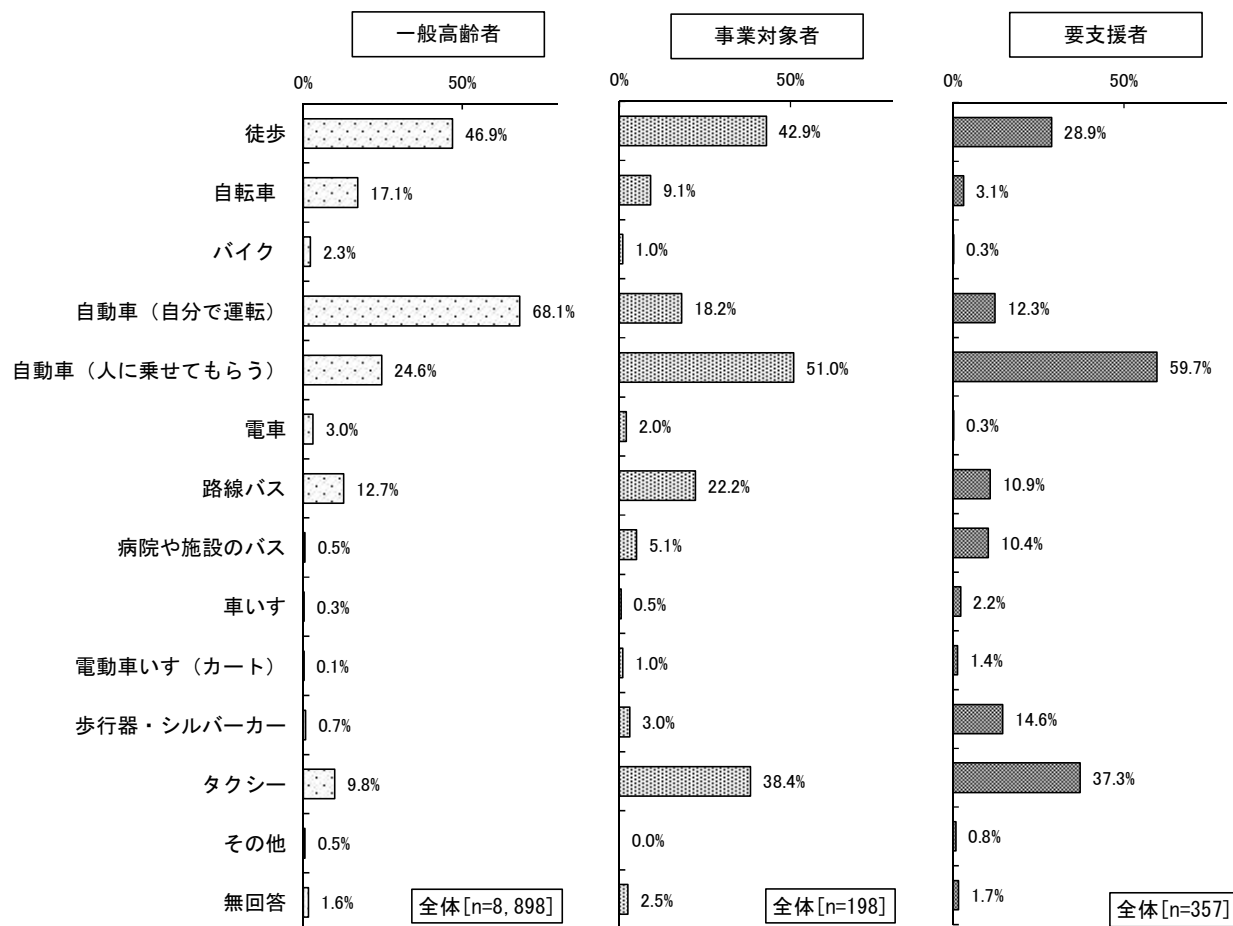


○外出する際の移動手段では、一般高齢者は「自動車（自分で運転）」(68.1%)が最も高く、次いで「徒歩」(46.9%)となっています。

○一方、事業対象者と要支援者では「自動車（人に乗せてもらう）」(51.0%・59.7%)が最も高くなっています。

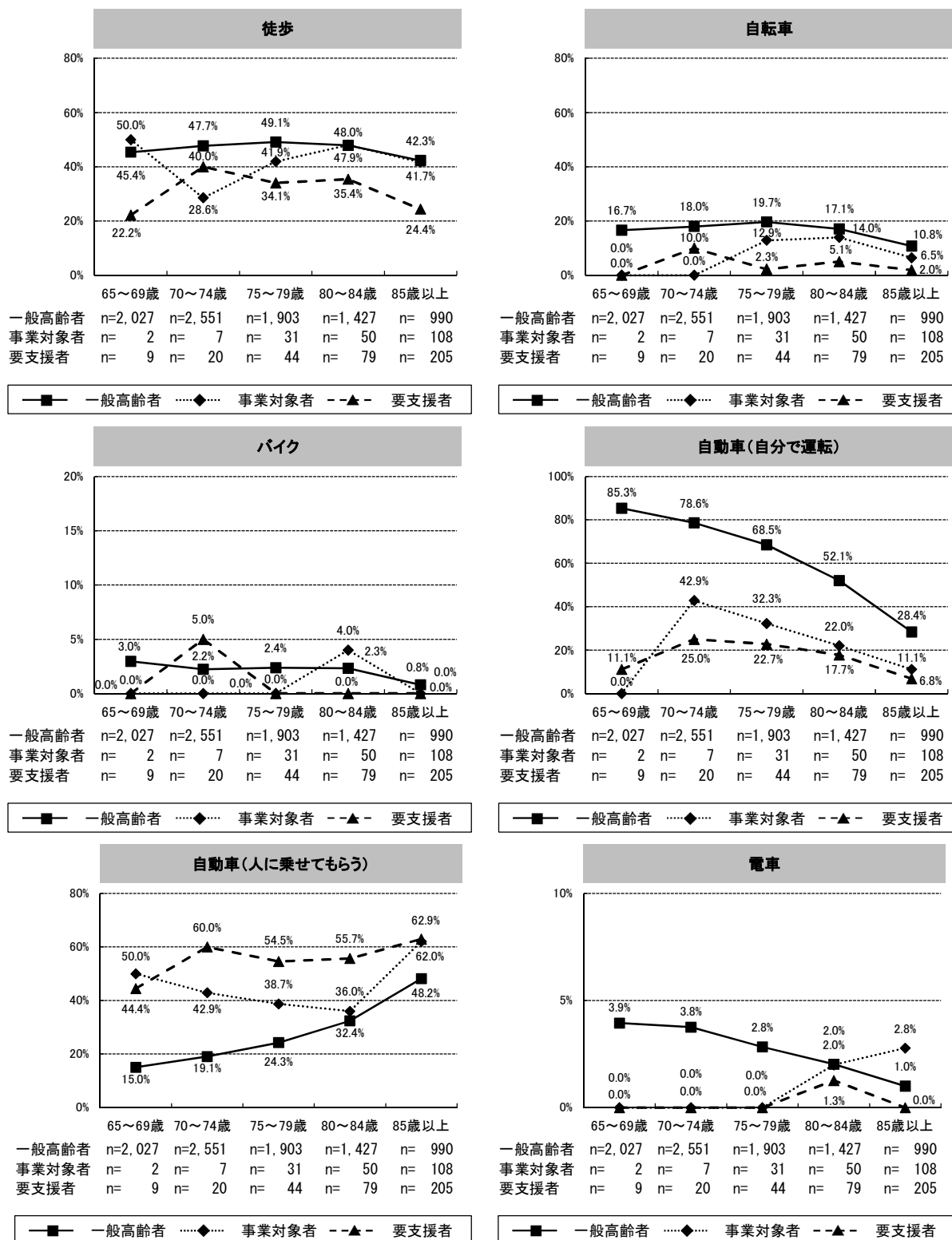
○次いで、事業対象者では「徒歩」(42.9%)が、要支援者では「タクシー」(37.3%)となっています。

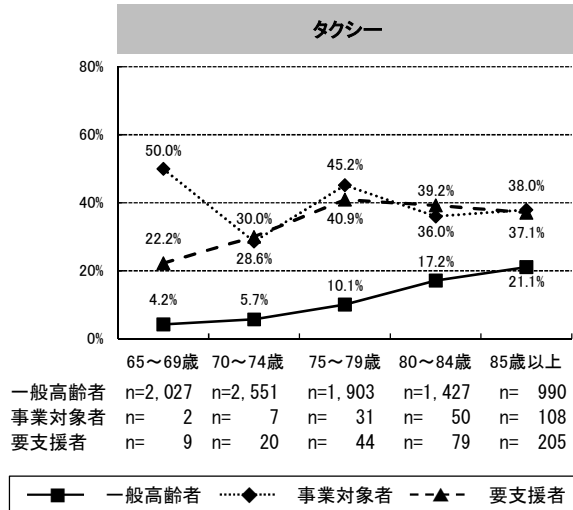
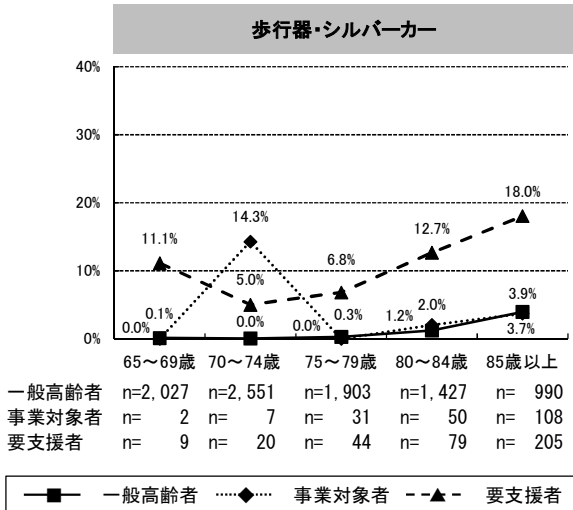
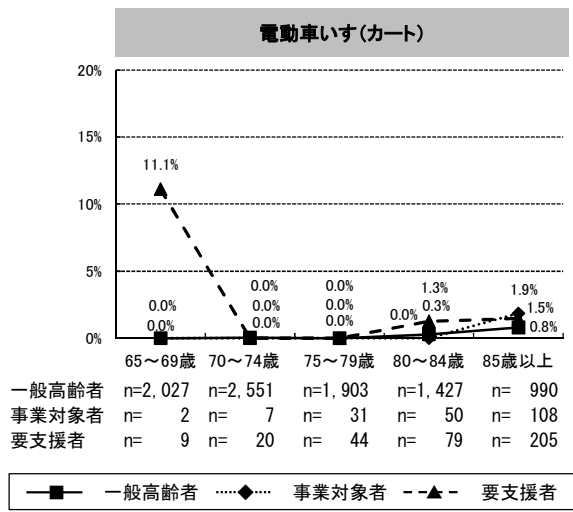
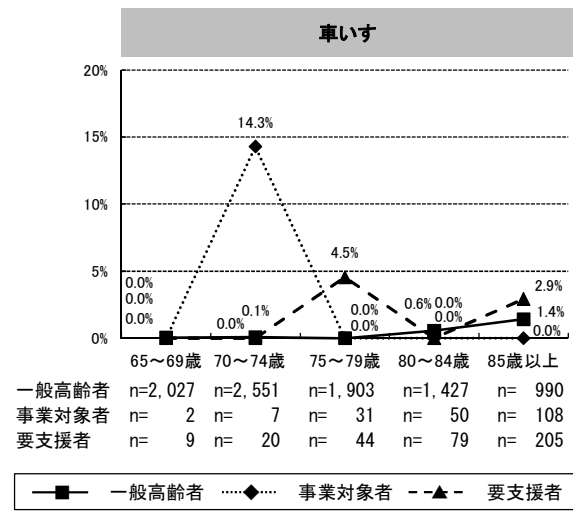
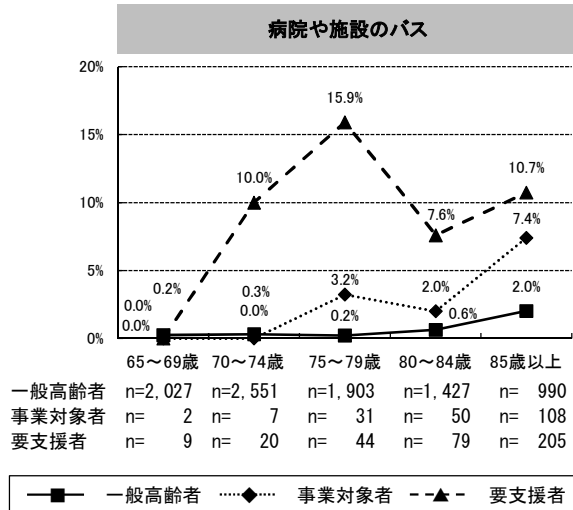
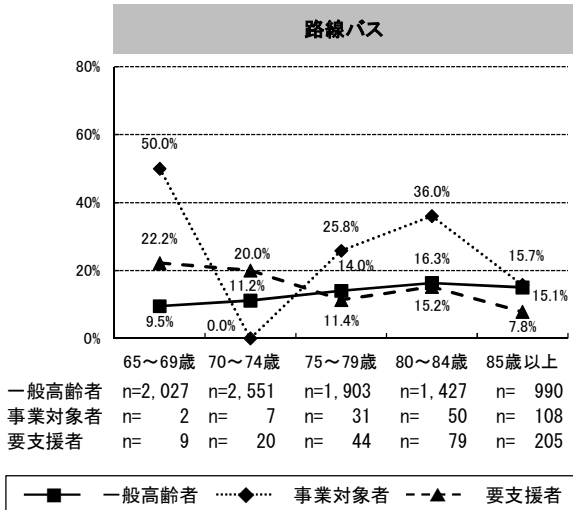
図4.17 外出する際の移動手段<問2-(9)>



- 一般高齢者の外出する際の移動手段をそれぞれ年齢階級別にみると、「徒歩」は5割以下で推移しています。
- 「自動車（自分で運転）」では加齢とともに利用割合が低くなり、80～84歳で約5割となり、加齢とともに大きく低下します。
- 一方、「自動車（人に乗せてもらう）」では、加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。

図4.18 年齢階級別移動手段＜問2-(9)＞





3 食べることについて

(1) 現在の肥満（BMI）状況

○高齢者の肥満状況をBMI指数で見ると、一般高齢者は「やせ（18.5未満）」は6.3%で、該当者を年齢階級別にみると85歳以上では9.3%となっています。事業対象者は11.1%、要支援者は10.9%となっています。

○6か月間で2～3kg以上の体重減少があった一般高齢者は10.2%となり、事業対象者は13.1%、要支援者は21.6%となっています。

図4.19 BMI <問3-(1)>

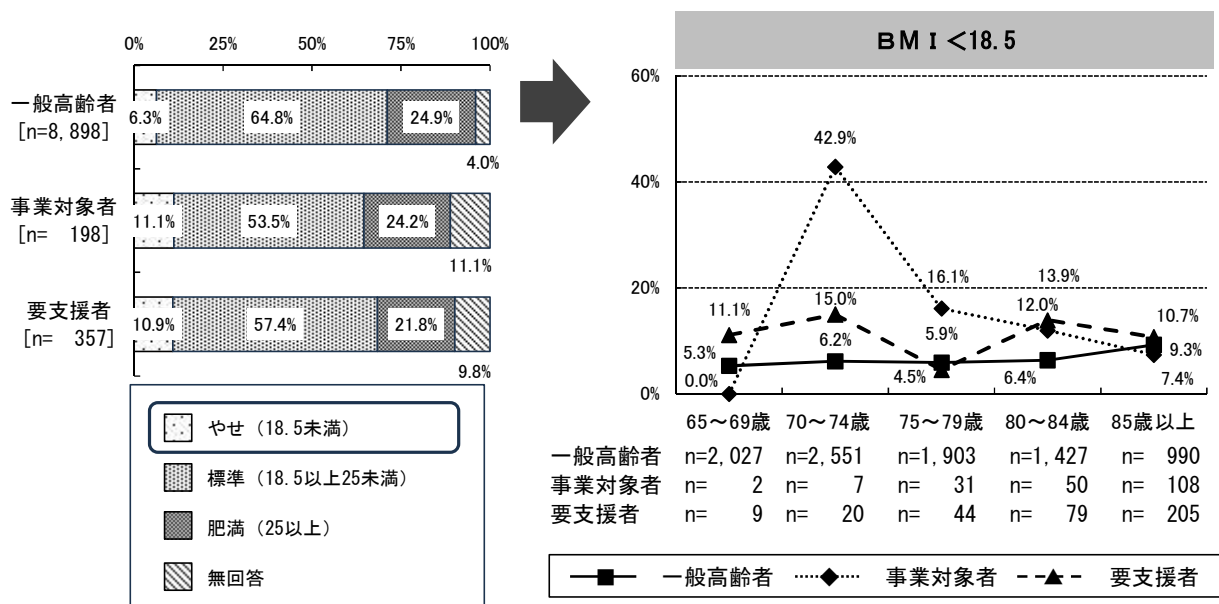
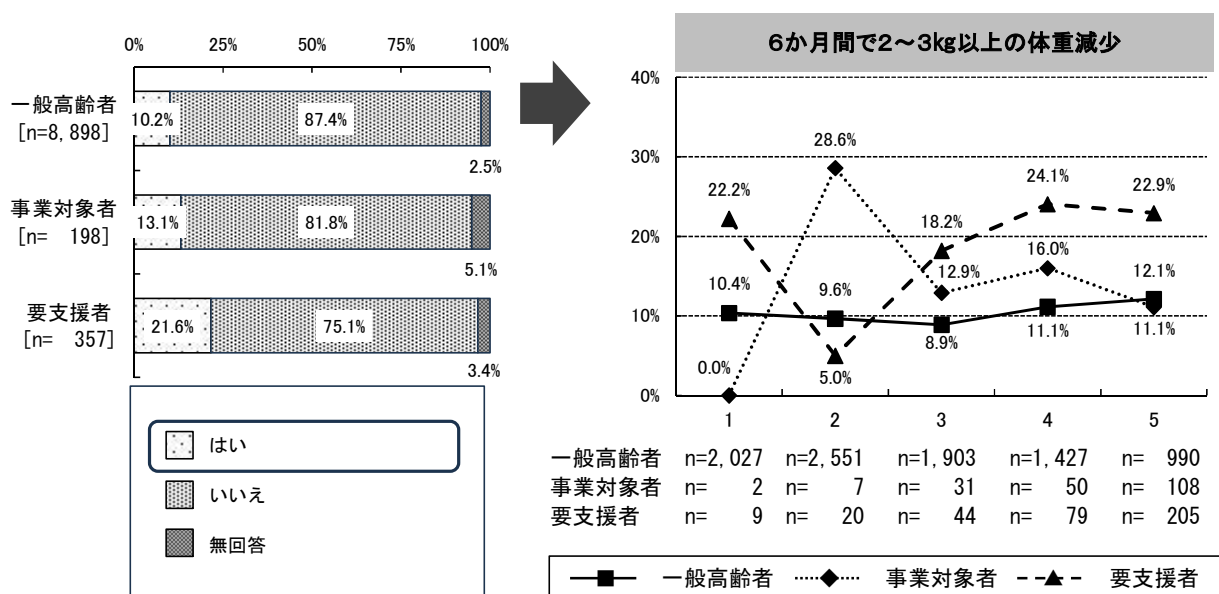


図4.20 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか<問3-(7)>



(2) 歯・口腔の状況

- 歯の数と入れ歯の利用状況をみると、一般高齢者は「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(14.6%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(32.7%)を合わせて47.3%となっています。
- 事業対象者は「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(11.6%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(41.9%)を合わせて53.5%となっています。
- 要支援者は「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(17.1%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(42.9%)を合わせて60.0%となっています。
- 毎日入れ歯の手入れをしている方は、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも8割以上となっています。

図4.21 歯の数と入れ歯の利用状況<問3-(6)>

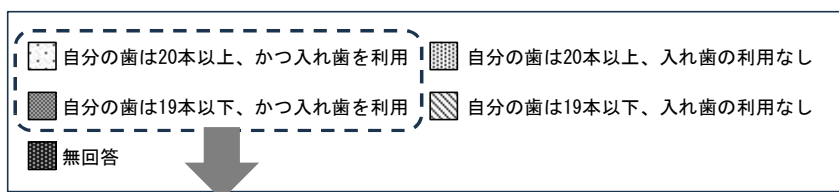
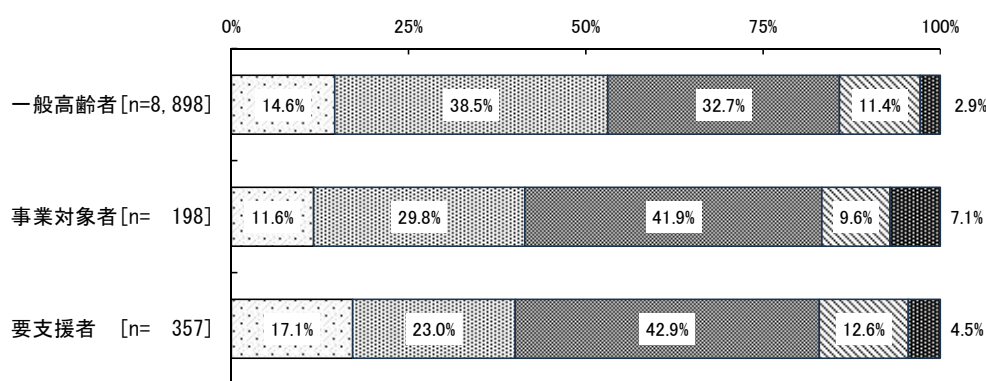
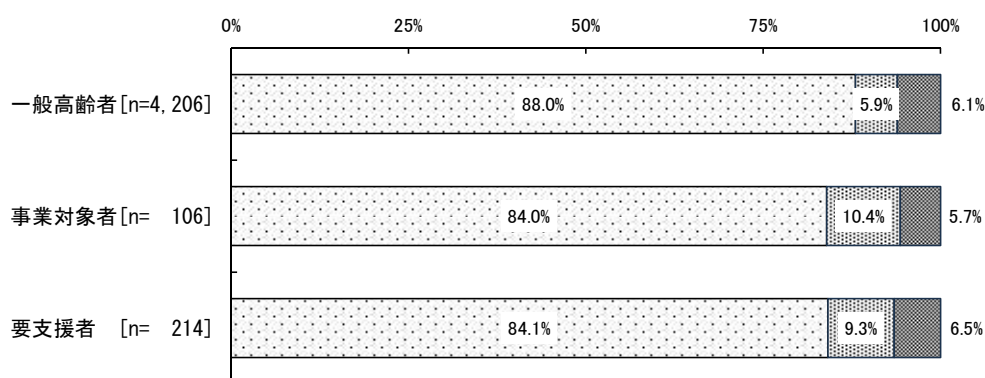


図4.22 毎日入れ歯の手入れをしているか<問3-(6).②>



○噛み合わせが良い一般高齢者は78.9%、事業対象者は75.3%、要支援者は69.7%となっています。

○歯磨きを毎日している一般高齢者は91.9%、事業対象者は84.8%、要支援者は86.3%となっています。

図4.23 噛み合わせは良いか<問3-(6).①>

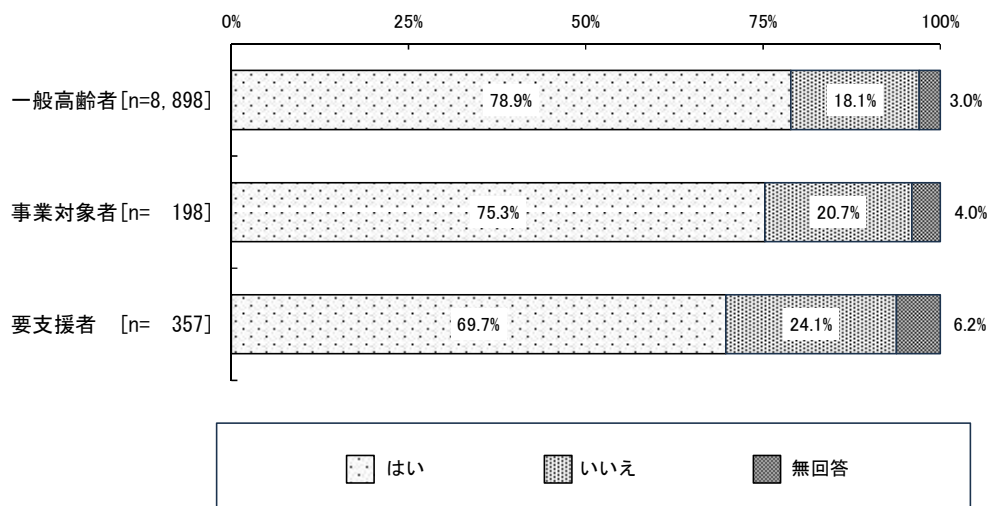
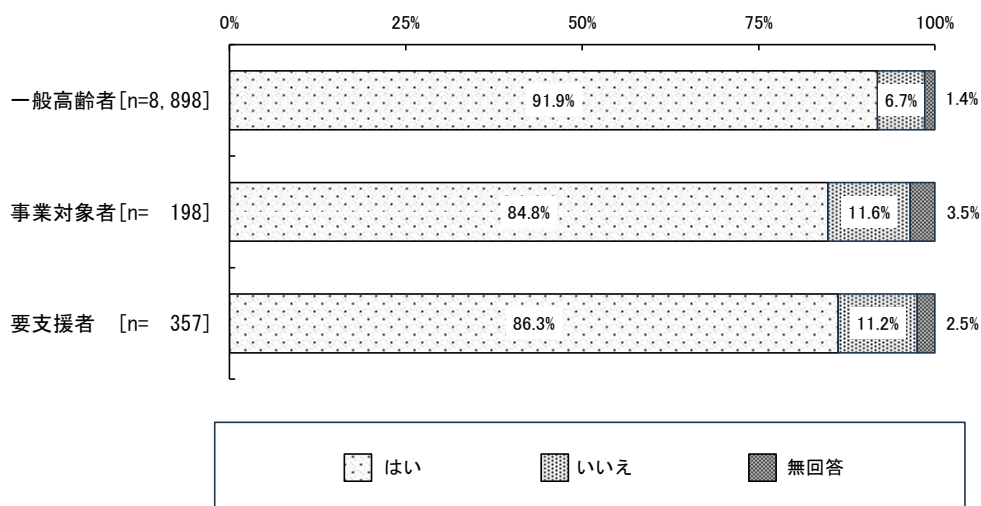


図4.24 歯磨きを毎日しているか<問3-(5)>



- 半年前に比べて固いものが食べにくくなった一般高齢者は 30.0%で、85 歳以上では約 5 割となっています。
- 事業対象者・要支援者では固いものが食べにくくなった方が 47.0%・48.7%と半数近くになっています。
- お茶や汁物等でむせることがある一般高齢者は 25.5%で、年齢階級別にみるとほぼ横ばいとなっています。
- 事業対象者・要支援者ではむせることがある方は 33.8%・39.8%となっています。

図4.25 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか<問3-(2)>

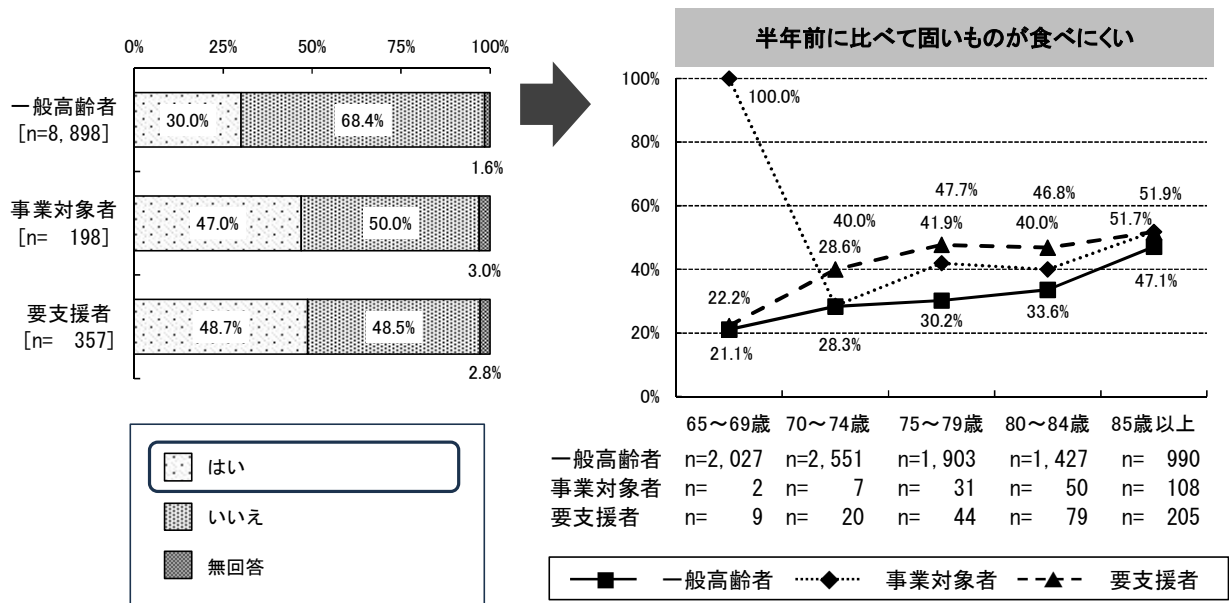
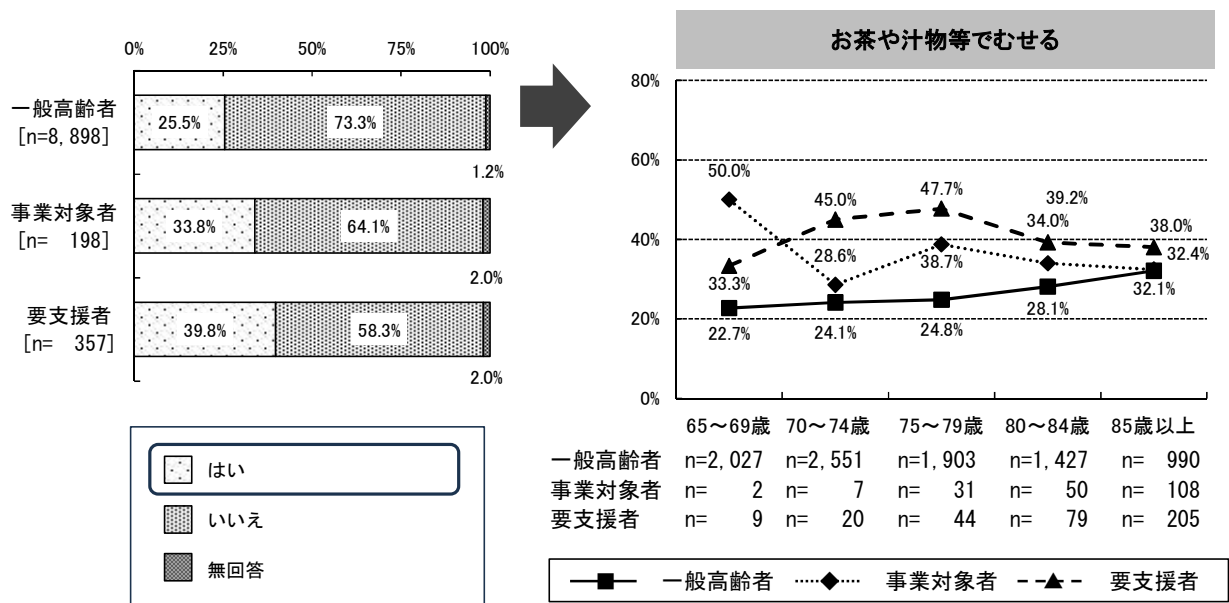
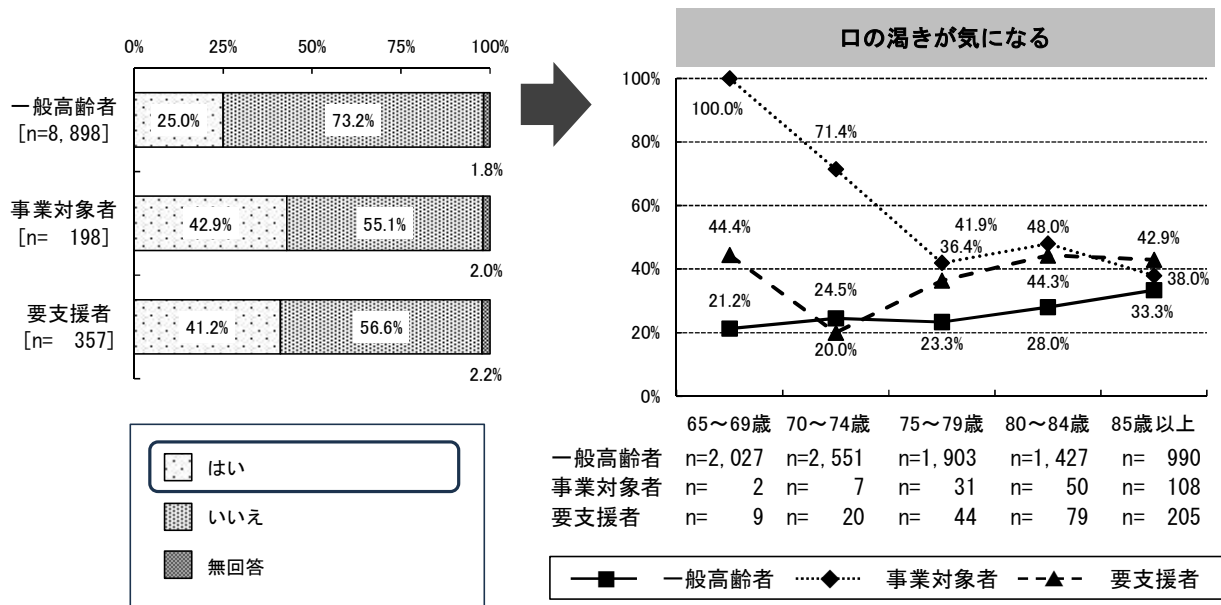


図4.26 お茶や汁物等でむせることがあるか<問3-(3)>



- 口の渇きが気になる一般高齢者は 25.0%で、各年齢階級で2～3割台となっています。
- 事業対象者・要支援者では気になる方が 42.9%・41.2%で、4割強の方が気になるという回答しています。

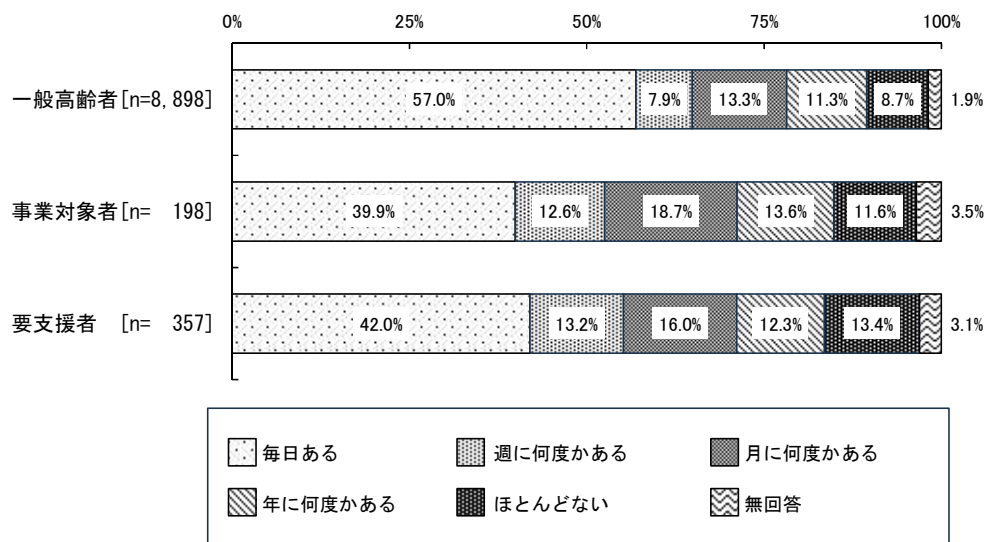
図4.27 口の渇きが気になるか<問3-(4)>



(3) 食事の状況

- どなたかと食事をともしめる機会の有無をみると、一般高齢者は「毎日ある」(57.0%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(13.3%)、「年に何度かある」(11.3%)となっています。
- 事業対象者は「毎日ある」(39.9%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(18.7%)、「年に何度かある」(13.6%)となっています。
- 要支援者は「毎日ある」(42.0%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(16.0%)、「ほとんどない」(13.4%)となっています。

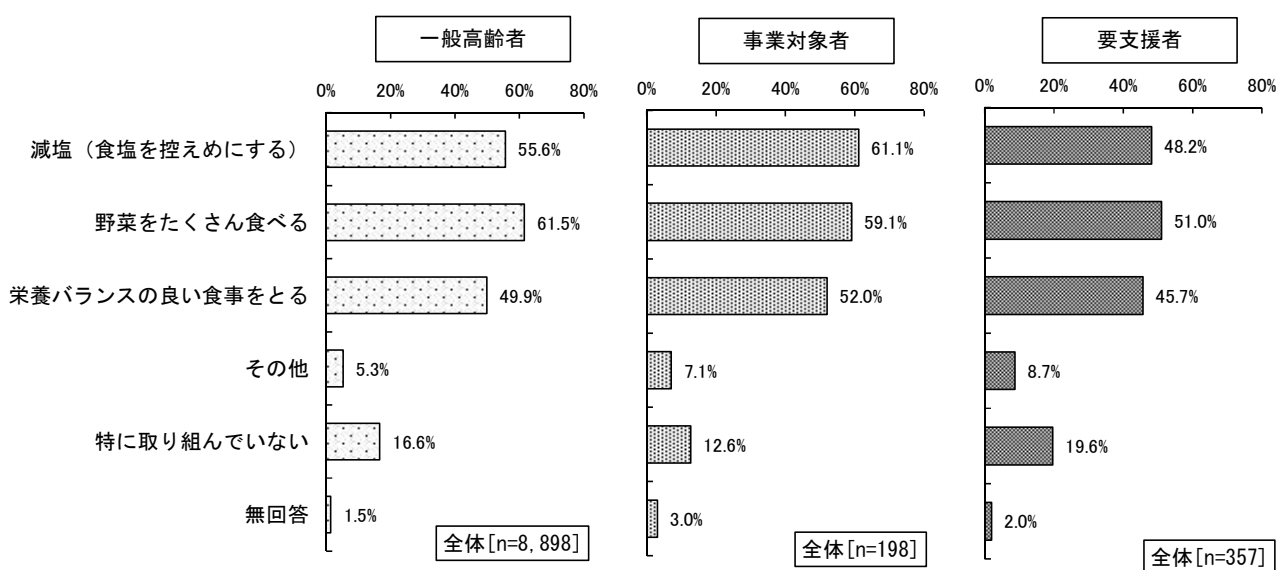
図4.28 どなたかと食事をともしめる機会<問3-(8)>



(4) 毎日の食事で取り組んでいること

- 毎日の食事で取り組んでいることをみると、一般高齢者は「野菜をたくさん食べる」(61.5%)が最も高く、次いで「減塩(食塩を控えめにする)」(55.6%)、「栄養バランスの良い食事をとる」(49.9%)となっています。
- 事業対象者は「減塩(食塩を控えめにする)」(61.1%)が最も高く、次いで「野菜をたくさん食べる」(59.1%)、「栄養バランスの良い食事をとる」(52.0%)となっています。
- 要支援者は「野菜をたくさん食べる」(51.0%)が最も高く、次いで「減塩(食塩を控えめにする)」(48.2%)、「栄養バランスの良い食事をとる」(45.7%)となっています。

図 4.29 毎日の食事で取り組んでいること<問 3-(9)>



4 毎日の生活について

(1) IADL（手段的自立度）の状況

- バスや電車を使って1人で外出しているかをみると、一般高齢者は「できない」が6.6%で、該当者を年齢階級別にみると85歳以上で割合が大きく上昇します。
- 一方、事業対象者・要支援者は「できない」が30.3%・53.2%となっており、前者を大きく上回っています。
- 1人での外出が困難な理由は、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「体力的に難しい」(58.3%・73.3%・80.5%)が最も高くなっています。

図4.29 バスや電車を使って1人で外出しているか<問4-(4)>

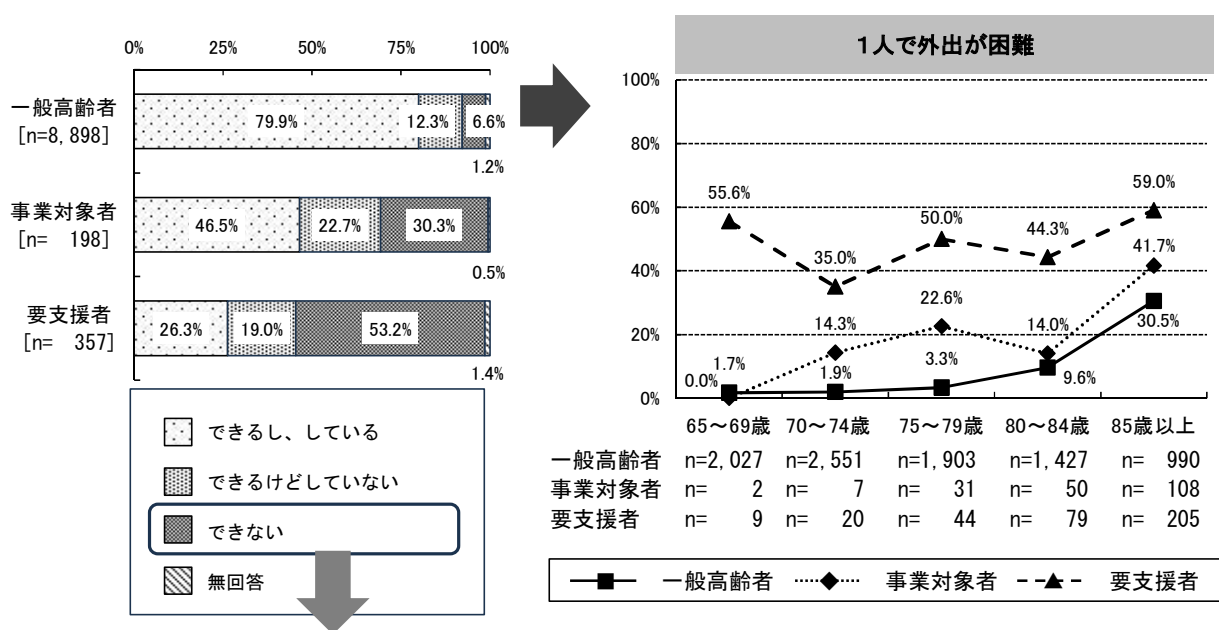
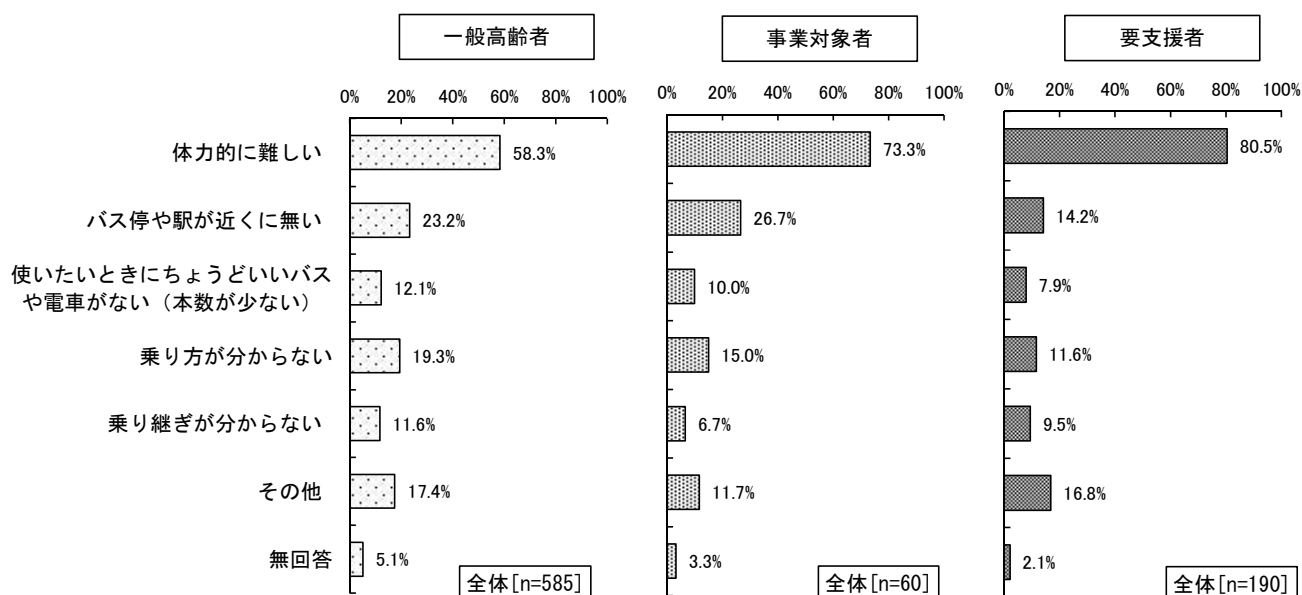


図4.30 1人での外出が困難な理由<問4-(4).①>



- 自分で食品・日用品の買物をしているかでは、一般高齢者は「できない」が3.9%で、該当者を年齢階級別にみると85歳以上で割合が大きく上昇します。
- 一方、事業対象者・要支援者は「できない」が24.2%・38.7%となっており、前者を大きく上回っています。
- 食品や日用品の買物ができない理由をみると一般高齢者・要支援者は「買った物を持って帰るのが難しい」(39.9%・50.0%)、事業対象者は「店が近くにない」(39.6%)が最も高くなっています。

図4.31 自分で食品・日用品の買物をしているか<問4-(5)>

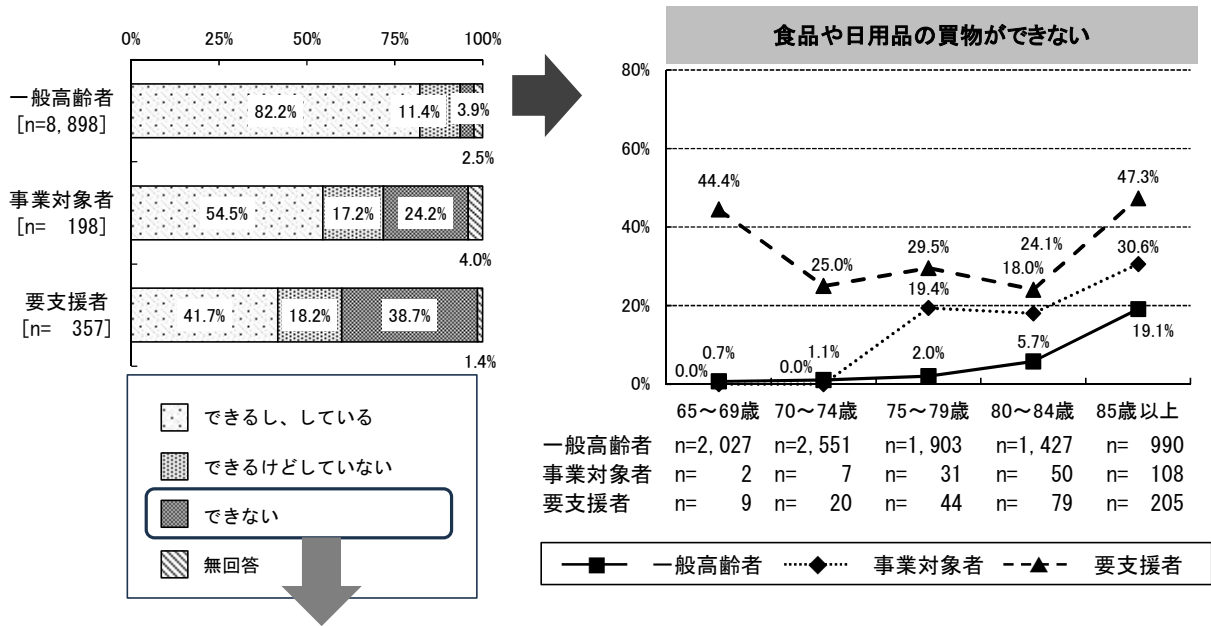
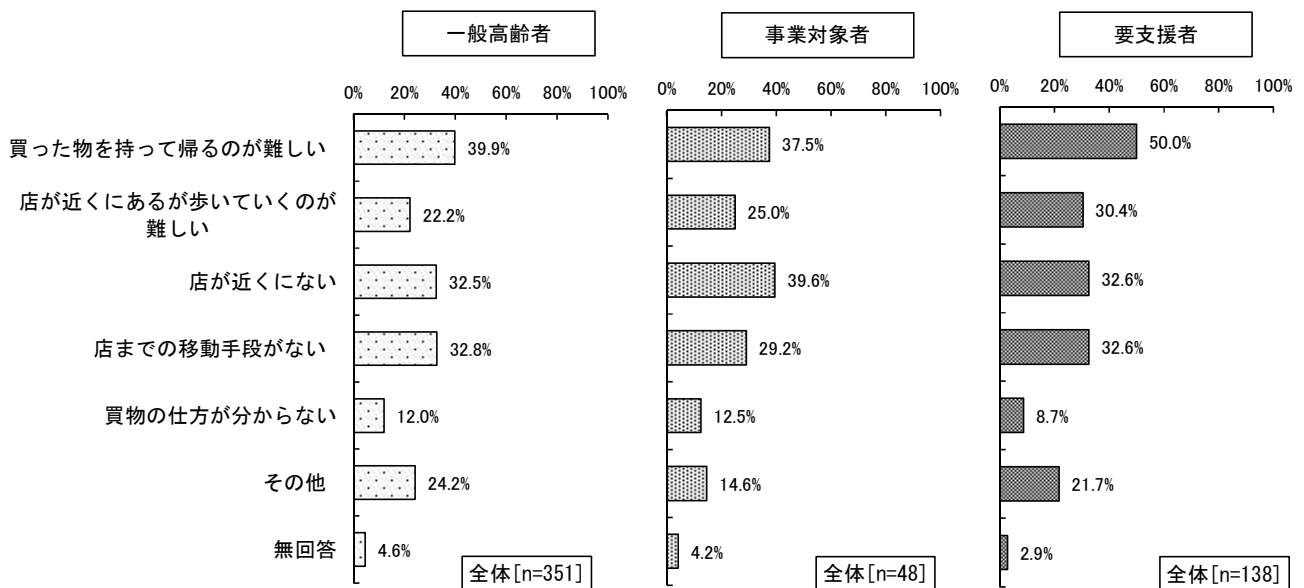
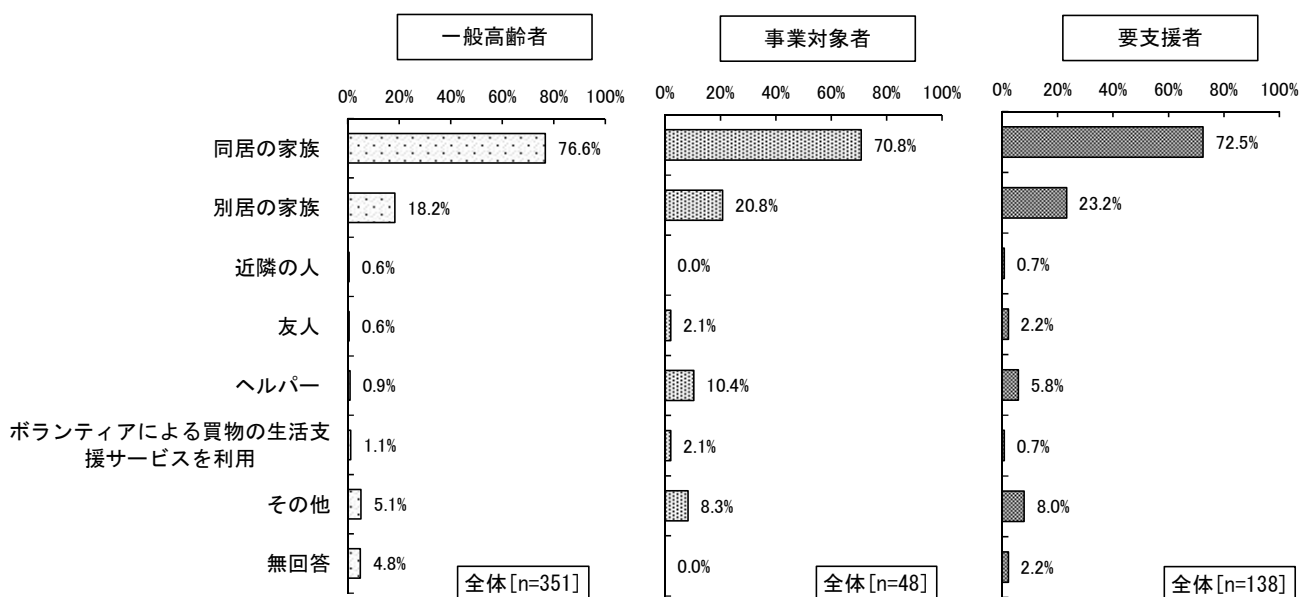


図4.32 食品や日用品の買物ができない理由<問4-(5).①>



○主に食品・日用品の買い物をする人をみると一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」（76.6％・70.8％・72.5％）となっています。

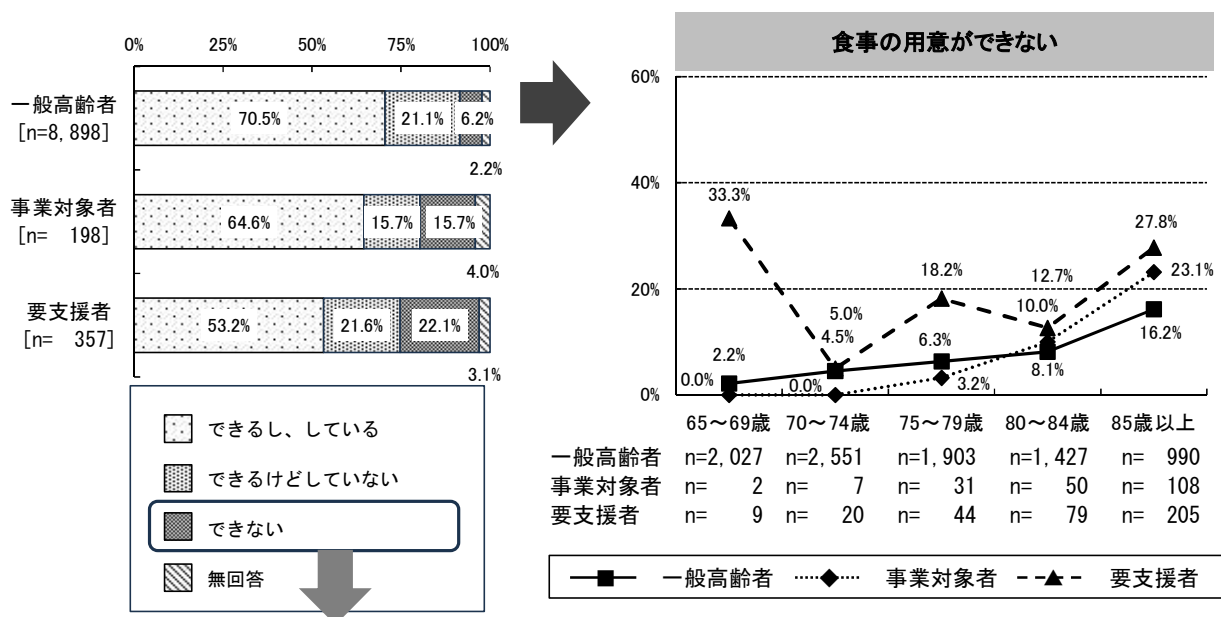
図4.33 主に食品・日用品の買物をする人<問4-(5).②>



○自分で食事の用意をしているかでは、一般高齢者は「できない」が6.2％で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。

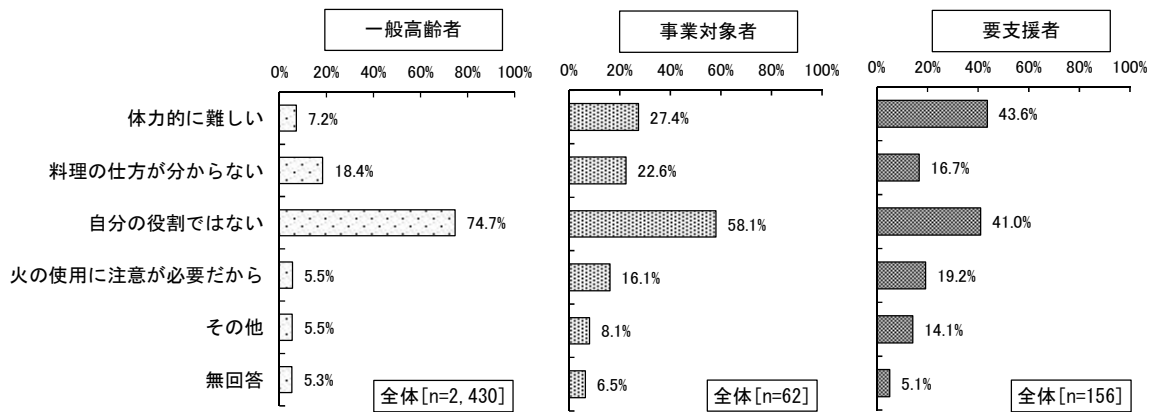
○一方、事業対象者・要支援者は「できない」が15.7％・22.1％となっており、前者を大きく上回っています。

図4.34 自分で食事の用意をしているか<問4-(6)>



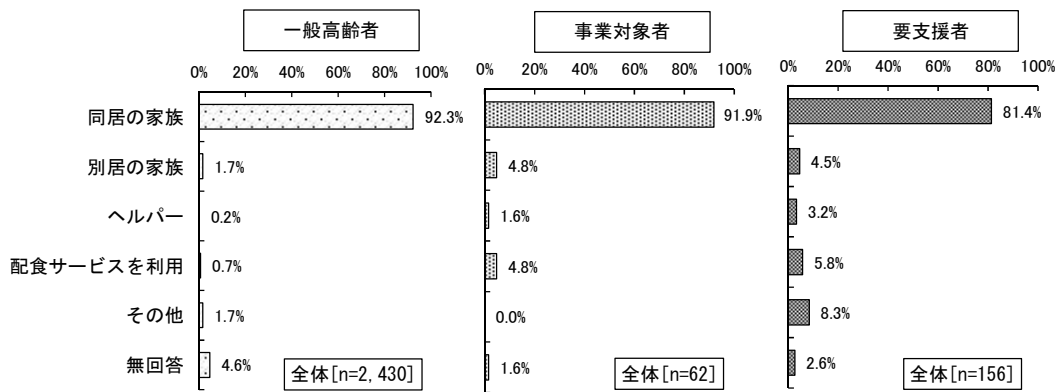
○食事の用意ができない理由をみると一般高齢者・事業対象者は「自分の役割ではない」（74.7％・58.1％）、事業対象者は「体力的に難しい」（43.6％）となっています。

図4.35 食事の用意ができない理由<問4-(6).①>



○主に食事の用意をする人をみると一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」(92.3%・91.9%・81.4%)となっています。

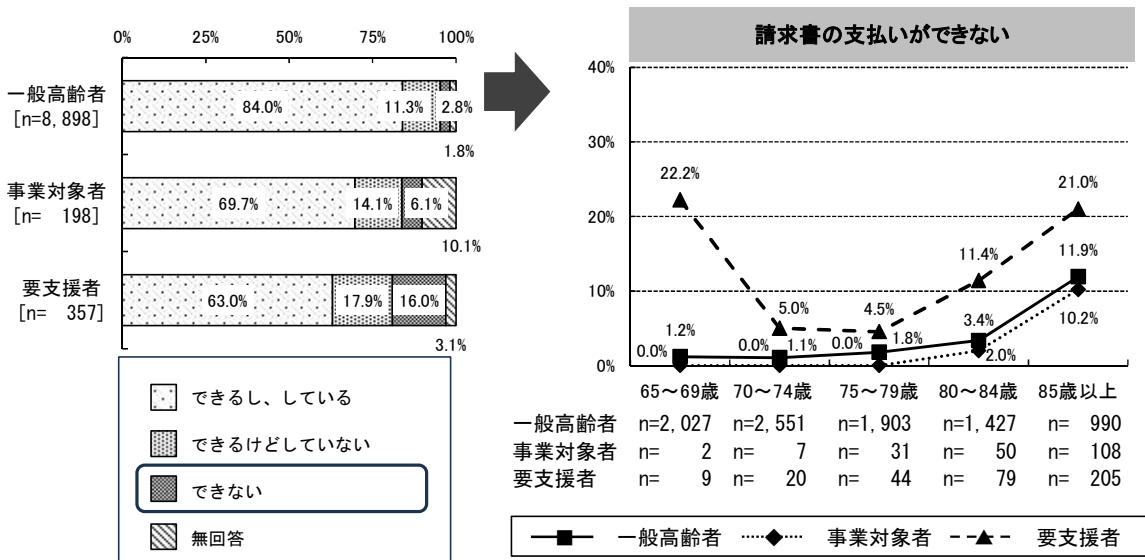
図4.36 主に食事の用意をする人<問4-(6).②>



○自分で請求書の支払いをしているかでは、一般高齢者は「できない」が2.8%で、該当者を年齢階級別にみると85歳以上で割合が上昇します。

○一方、事業対象者・要支援者は「できない」が6.1%・16.0%となっており、前者を大きく上回っています。

図4.37 自分で請求書の支払いをしているか<問4-(7)>



- 自分で預貯金の出し入れをしているかでは、一般高齢者は「できない」が3.3%で、該当者を年齢階級別にみると85歳以上で割合が上昇します。
- 一方、事業対象者・要支援者は「できない」が10.1%・20.7%となっており、前者を大きく上回っています。
- 預貯金の出し入れができない理由をみると一般高齢者・事業対象者は「預貯金の出し入れ方が分からない」（47.6%・55.0%）、要支援者は「体力的に難しい」（59.5%）となっています。
- 主に預貯金の出し入れをする人をみると一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」（86.1%・80.0%・74.3%）となっています。

図4.38 自分で預貯金の出し入れをしているか<問4-(8)>

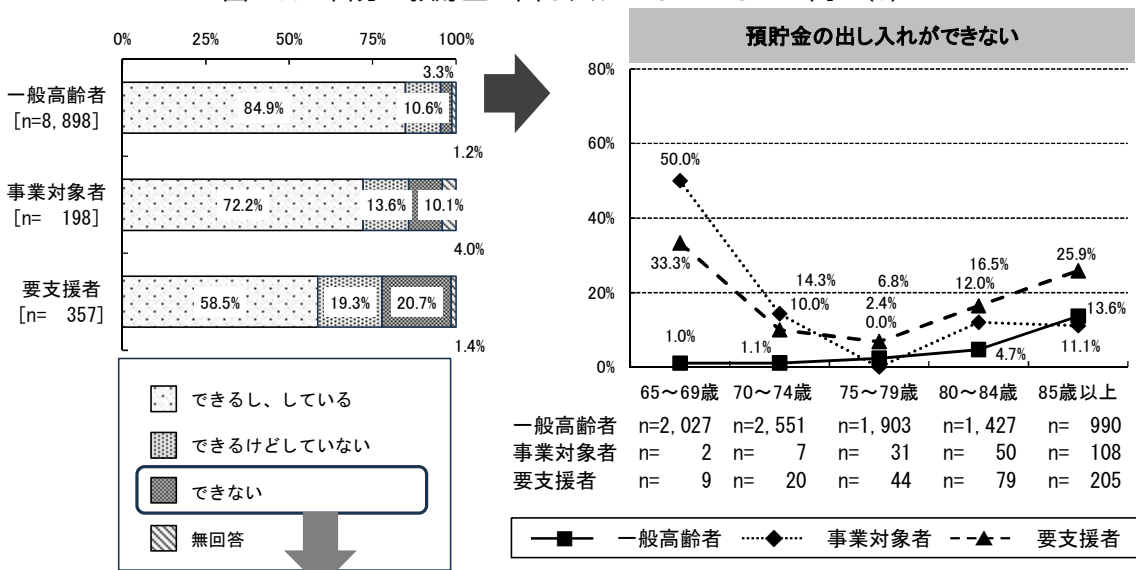


図4.39 預貯金の出し入れができない理由<問4-(8).①>

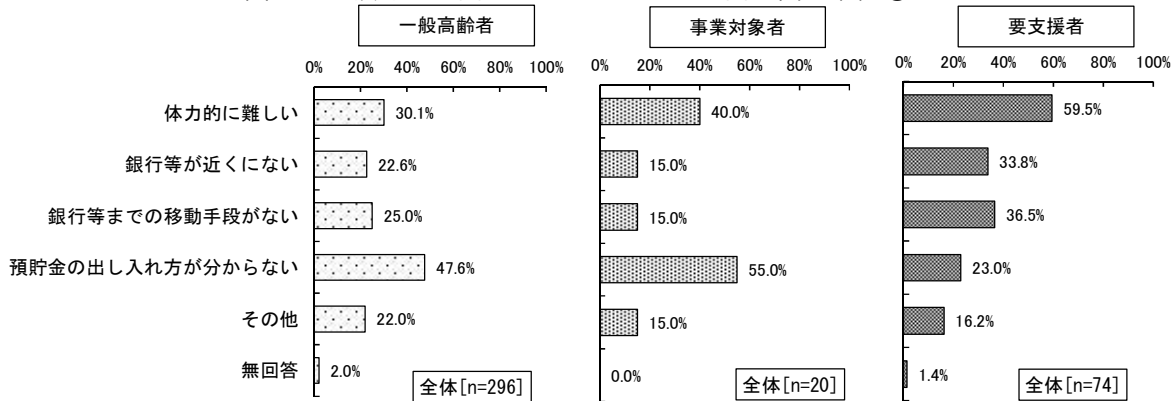
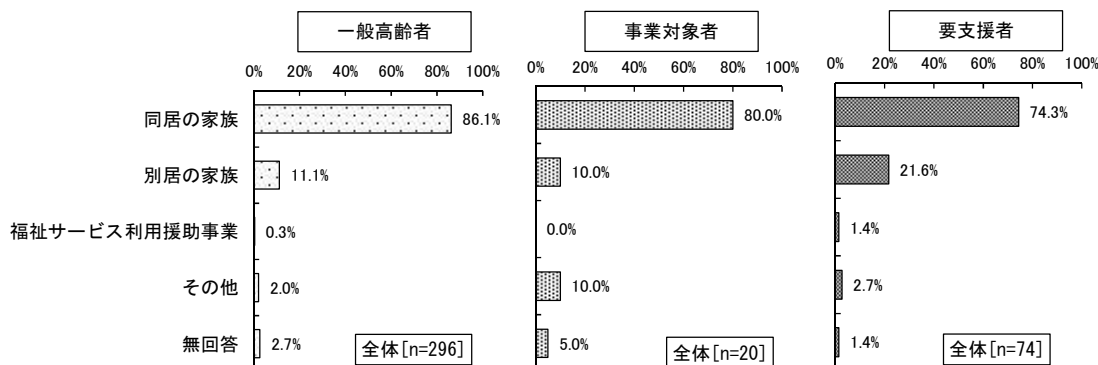


図4.40 主に預貯金の出し入れをする人<問4-(8).②>

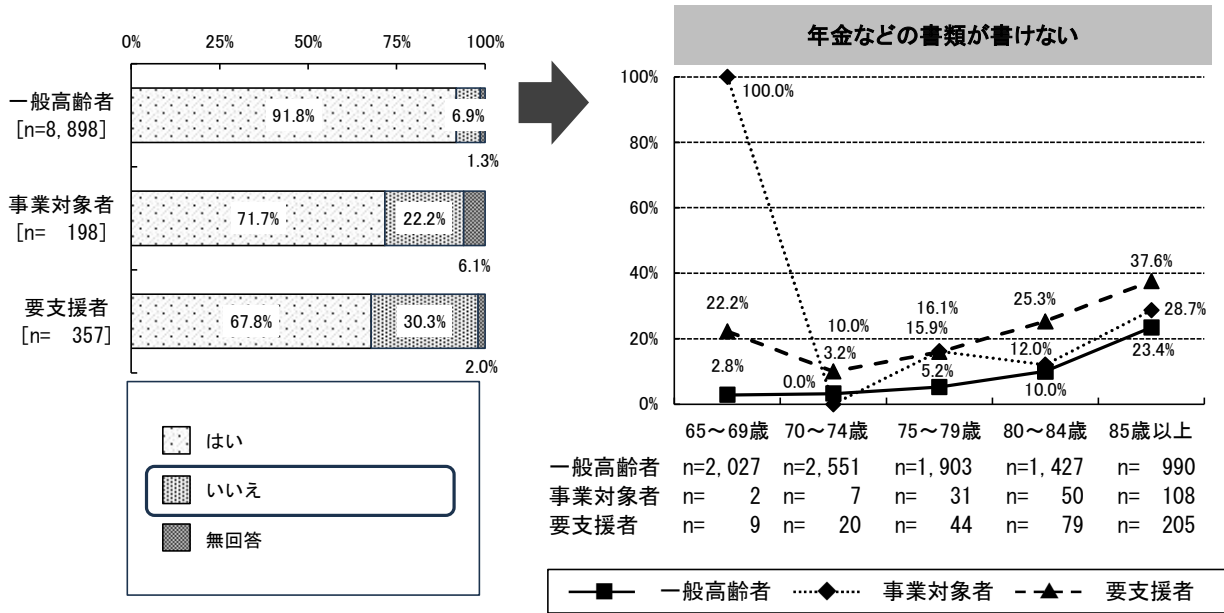


(2) 社会参加（知的能動性）の状況

○年金などの書類が書けるかでは、一般高齢者は「いいえ」が6.9%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が22.2%・30.3%となっており、前者を上回っています。

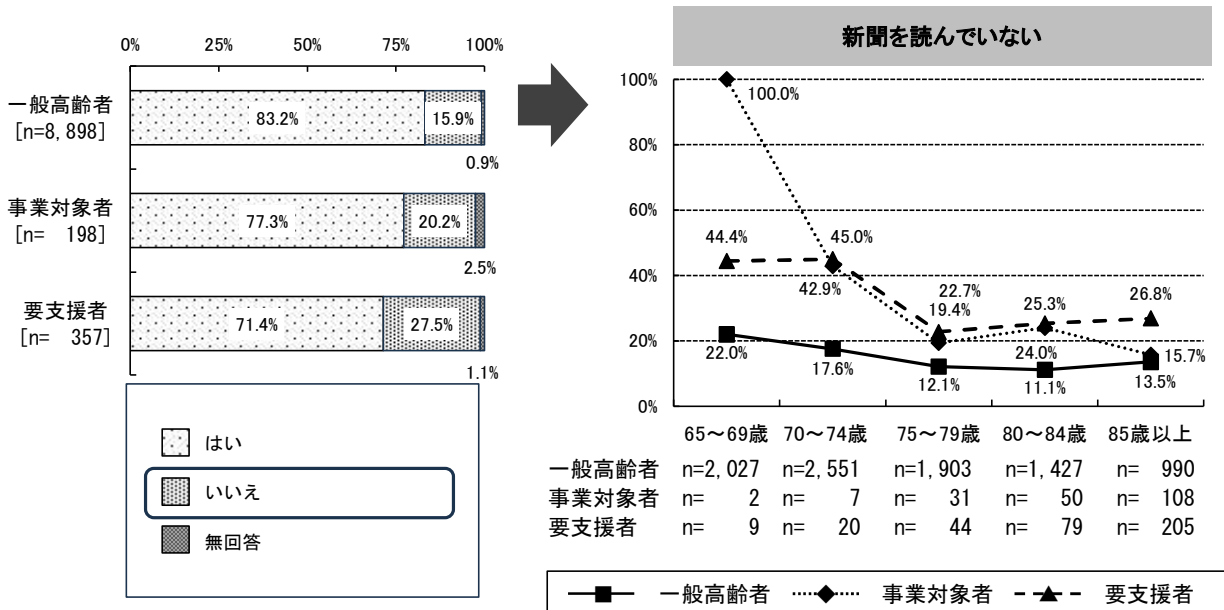
図4.42 年金などの書類が書けるか<問4-(9)>



○新聞を読んでいるかでは、一般高齢者は「いいえ」が15.9%で、該当者を年齢階級別にみるとほぼ横ばいとなっています。

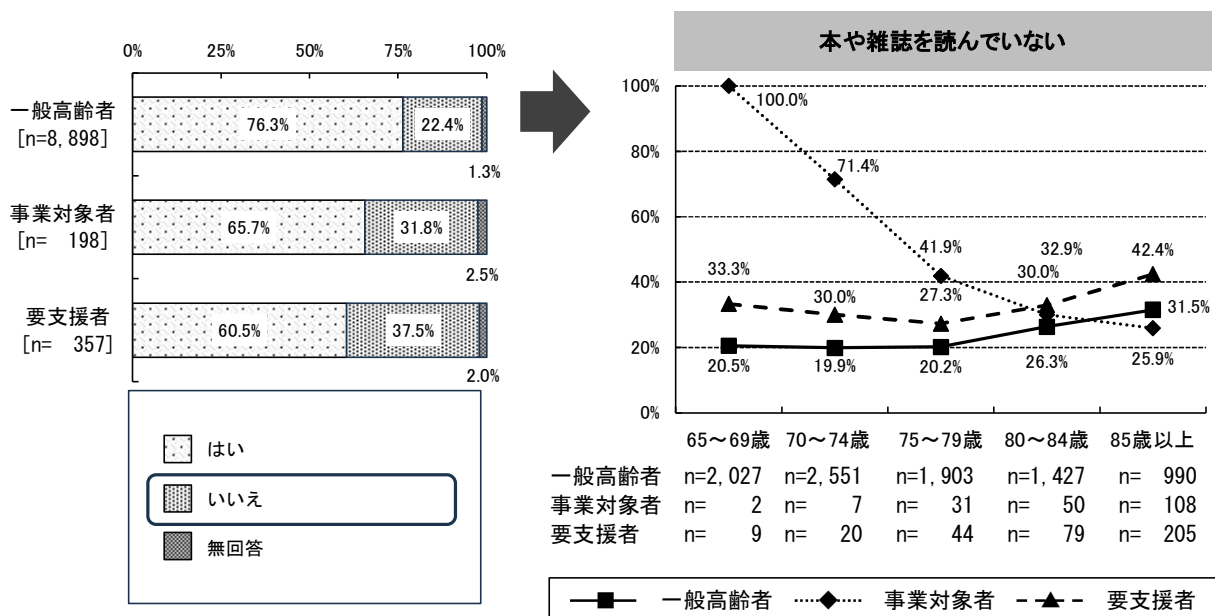
○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が20.2%・27.5%となっており、前者を上回っています。

図4.43 新聞を読んでいるか<問4-(10)>



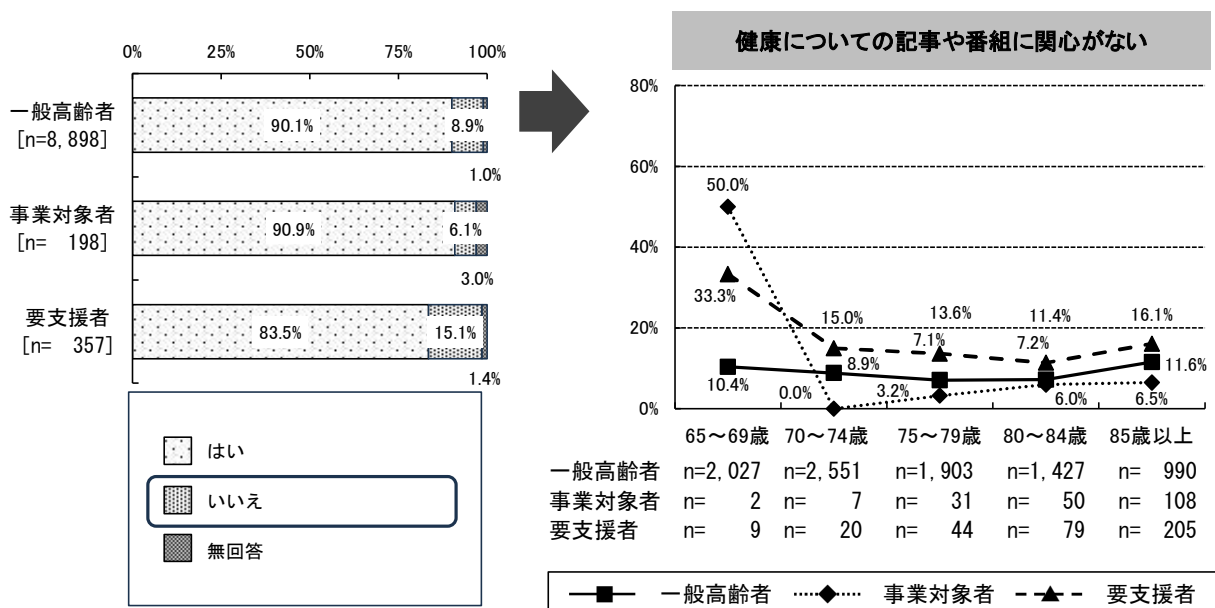
- 本や雑誌を読んでいるかをみると、一般高齢者は「いいえ」が22.4%で、その該当者を年齢階級別にみると加齢とともにわずかながら割合が高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が31.8%・37.5%となっており、前者を上回っています。

図4.44 本や雑誌を読んでいるか<問4-(11)>



- 健康についての記事や番組に関心があるかでは、一般高齢者は「いいえ」が8.9%、その該当者を年齢階級別にみると全ての年齢階級で関心が低い状況です。
- 一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が6.1%・15.1%となっており、要支援者は前者を上回っています。

図4.45 健康についての記事や番組に関心があるか<問4-(12)>

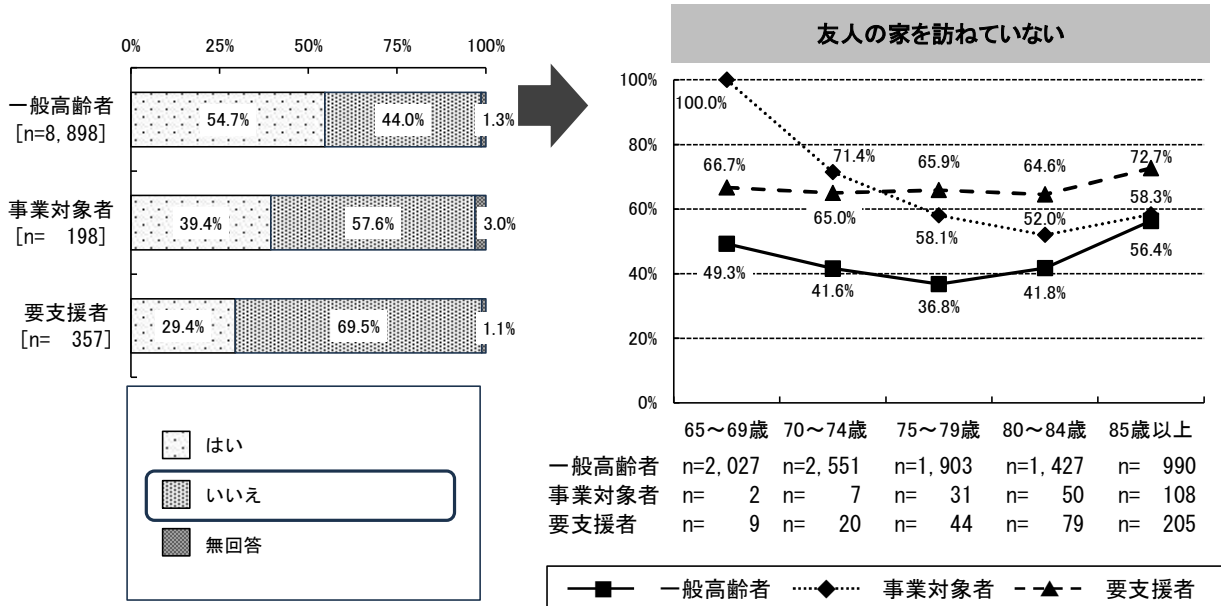


(3) 社会参加（社会的役割）の状況

○友人の家を訪ねているかでは、一般高齢者は「いいえ」が44.0%となっています。

○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が57.6%・69.5%となっており、前者を上回っています。

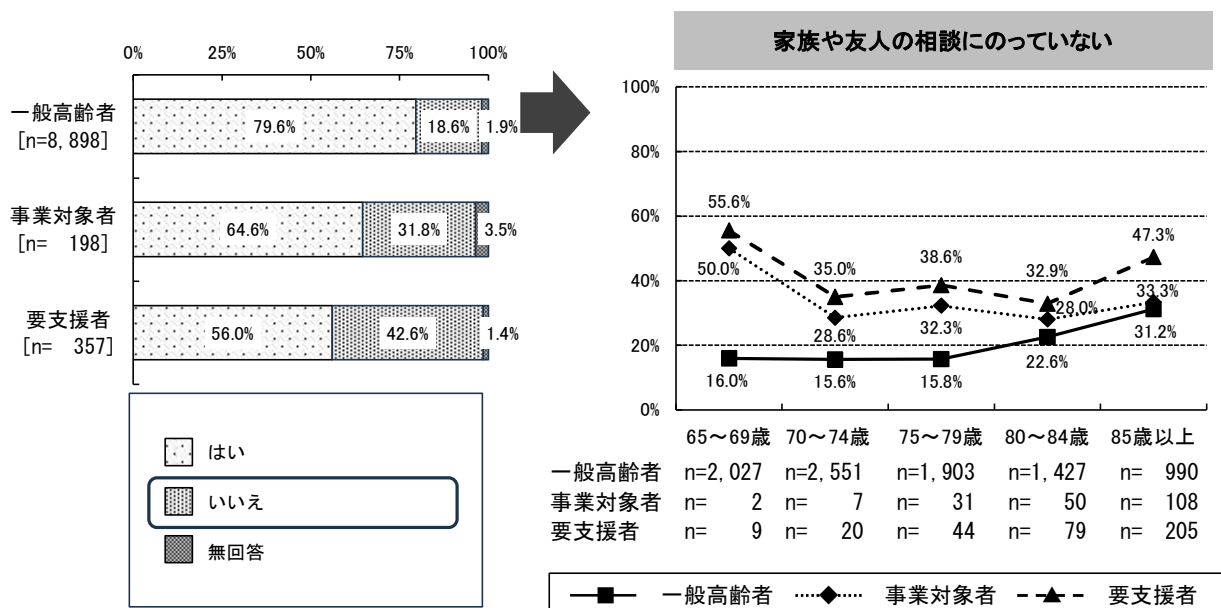
図4.46 友人の家を訪ねているか<問4-(13)>



○家族や友人の相談にのっているかでは、一般高齢者は「いいえ」が18.6%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

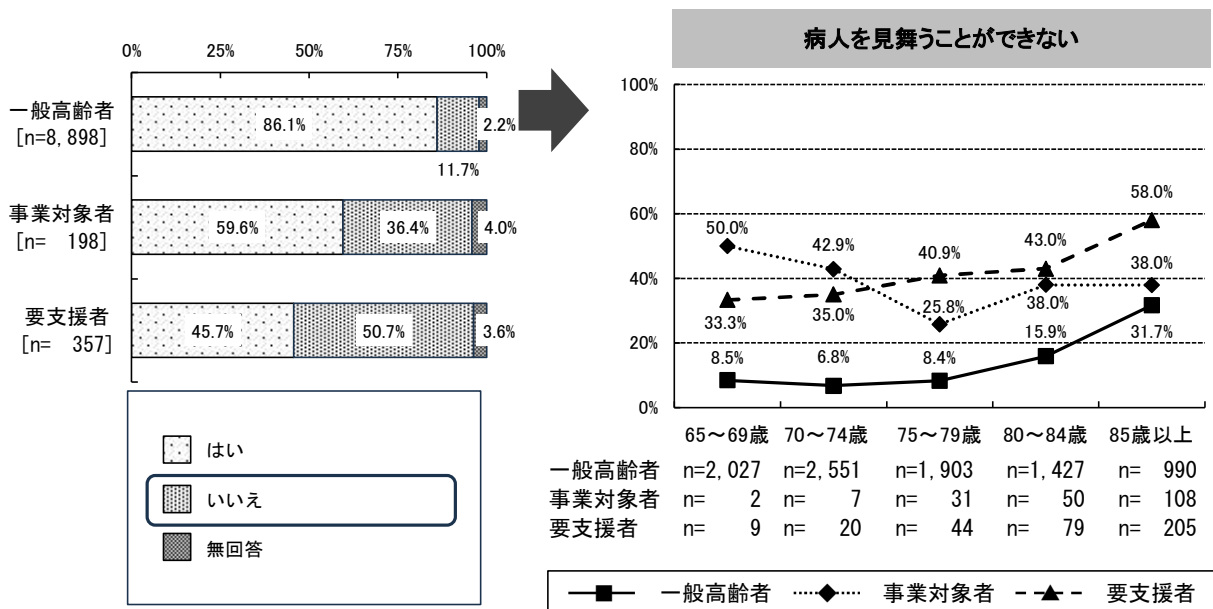
○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が31.8%・42.6%となっており、前者を上回っています。

図4.47 家族や友人の相談にのっているか<問4-(14)>



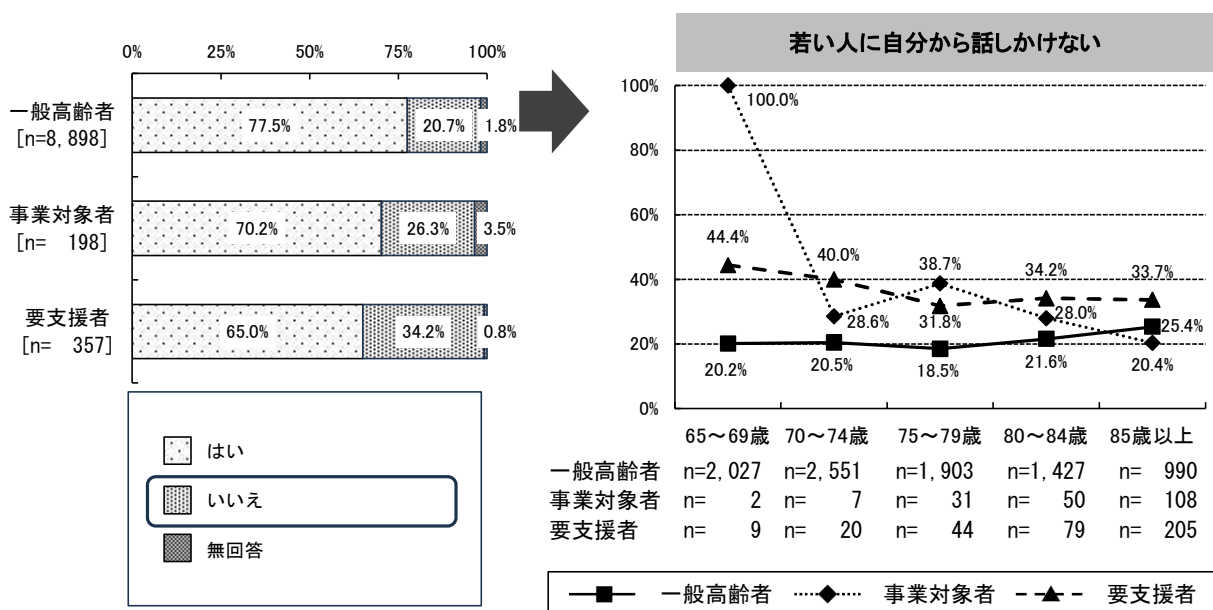
- 病人を見舞うことができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 11.7%で、該当者を年齢階級別にみると 80 歳以上で割合が高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 36.4%・50.7%となっており、前者を大きく上回っています。

図4.48 病人を見舞うことができるか<問4-(15)>



- 若い人に自分から話しかけることはあるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 20.7%で、該当者を年齢階級別にみるとほぼ横ばいとなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 26.3%・34.2%となっており、前者を上回っています。

図4.49 若い人に自分から話しかけることはあるか<問4-(16)>



(4) 生きがいについて

○趣味の有無では、一般高齢者は74.0%、事業対象者は60.1%、要支援者は53.2%が「ある」と回答しています。

○生きがいの有無では、一般高齢者は61.1%、事業対象者は50.0%、要支援者は45.9%が「ある」と回答しています。また、要支援者の48.5%が「思いつかない」と回答しています。

図4.50 趣味はあるか<問4-(17)>

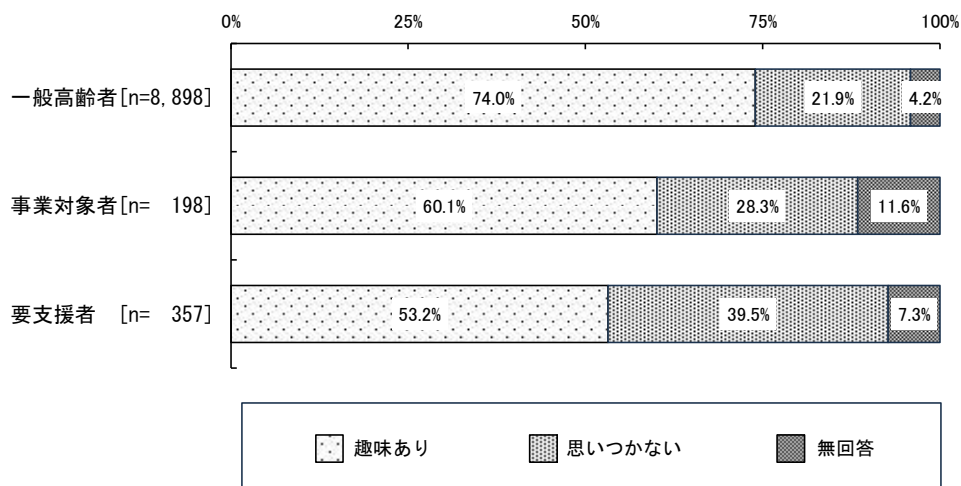
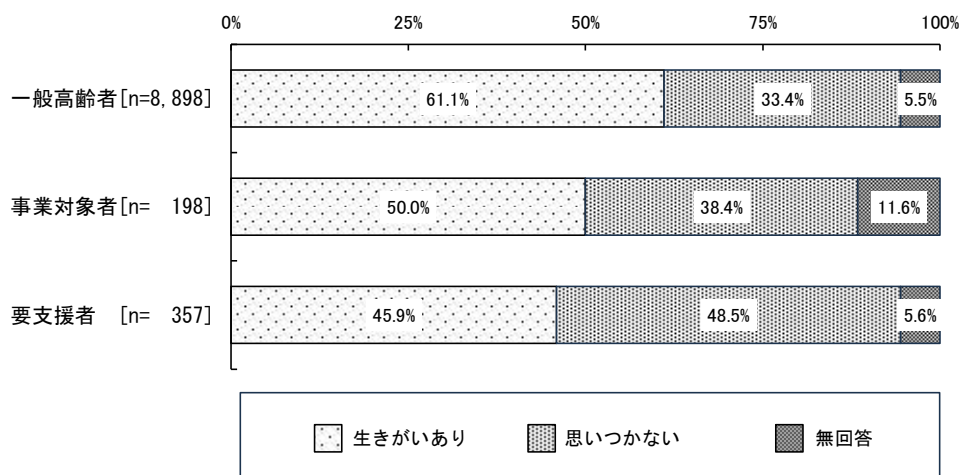


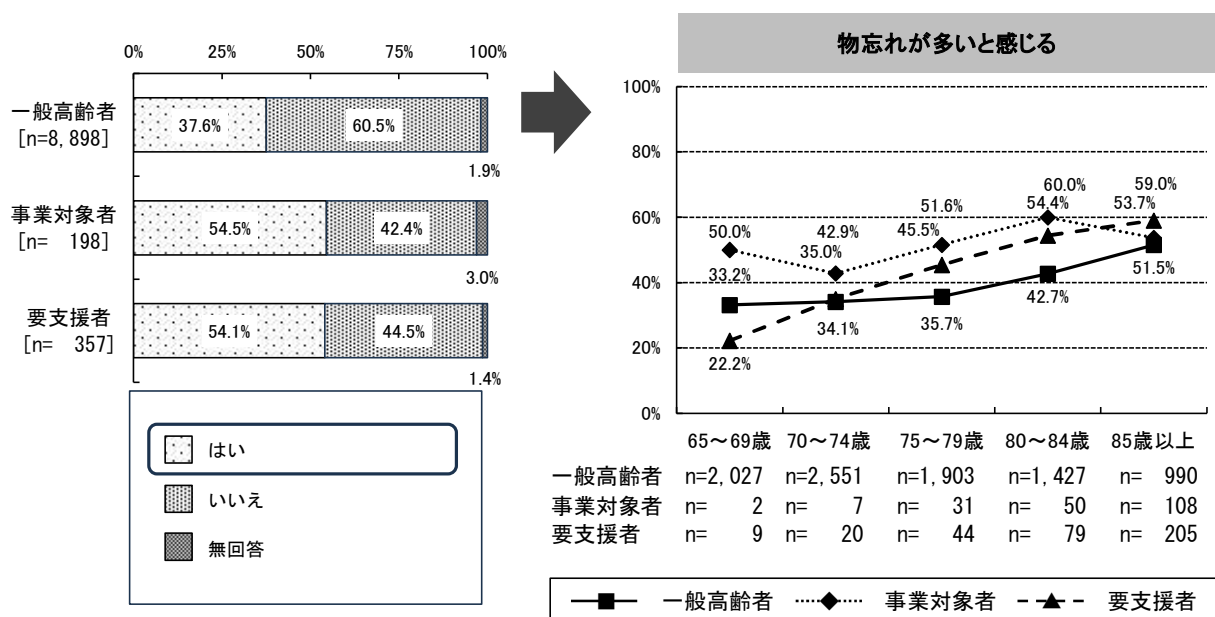
図4.51 生きがいはあるか<問4-(18)>



(5) 物忘れの状況

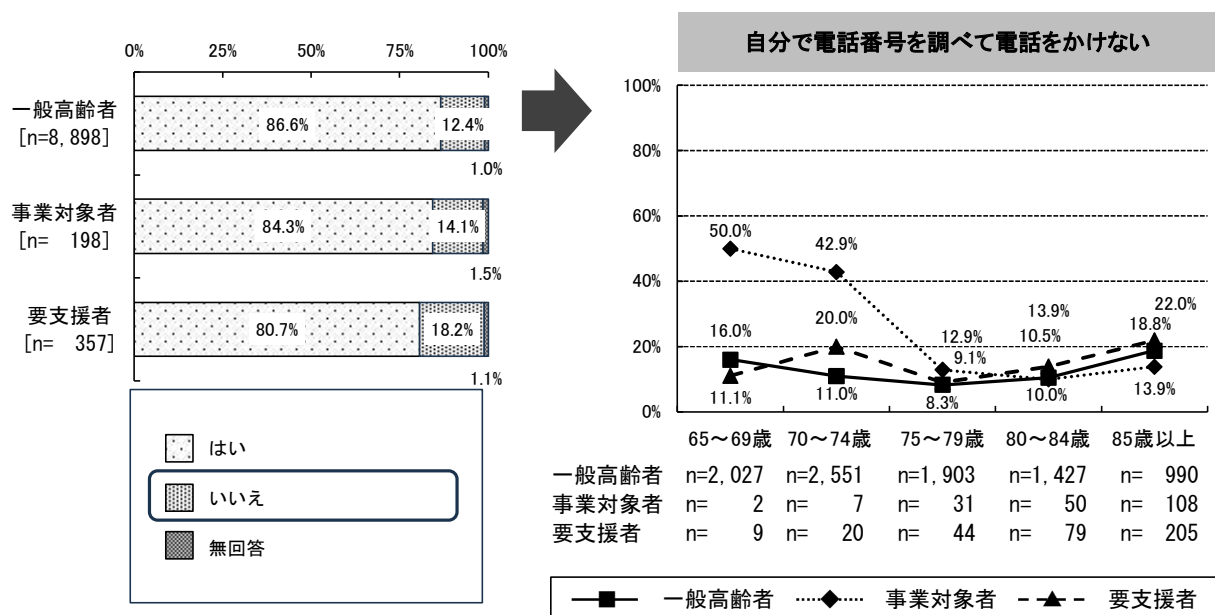
- 物忘れが多いと感じるかでは、一般高齢者は 37.6%が感じており、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は 54.5%・54.1%と半数以上の方が感じており、前者を上回っています。

図4.52 物忘れが多いと感じるか<問4-(1)>



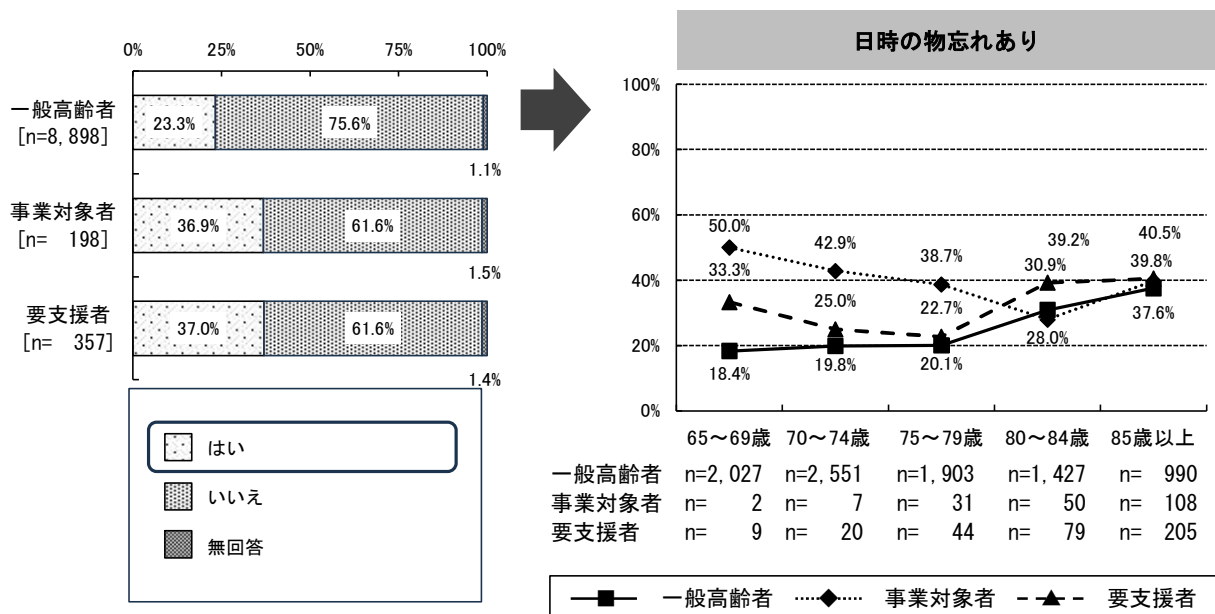
- 自分で電話番号を調べて電話をかけるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 12.4%で、該当者を年齢階級別にみると 85歳以上で割合がやや高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 14.1%・18.2%となっており、前者をわずかに上回っています。

図4.53 自分で電話番号を調べて電話をかけるか<問4-(2)>



- 今日が何月何日かわからない時があるかでは、一般高齢者は「はい」が 23.3%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は 36.9%・37.0%で、前者を上回っています。

図4.54 今日が何月何日かわからない時があるか<問4-(3)>



(6) その他の生活状況

- 雪かきができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が17.9%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は58.1%・73.4%で、前者を大きく上回っています。
- 主に雪かきをする人をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」(74.7%・64.3%・61.8%)となっています。

図4.55 雪かきができるか<問4-(19)>

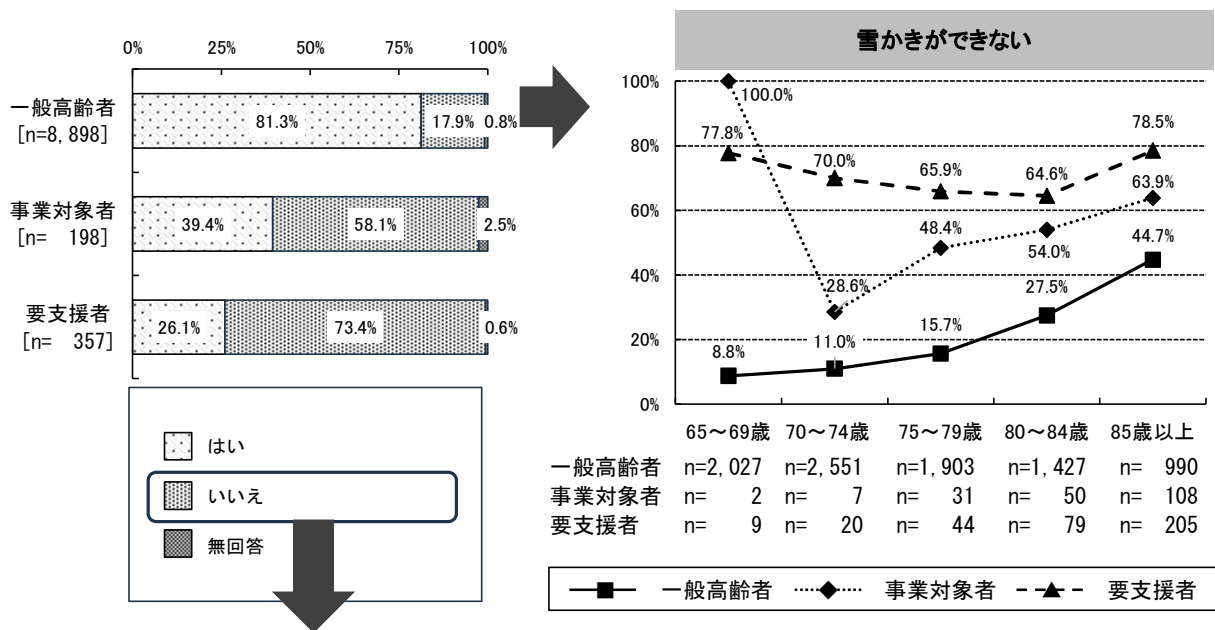
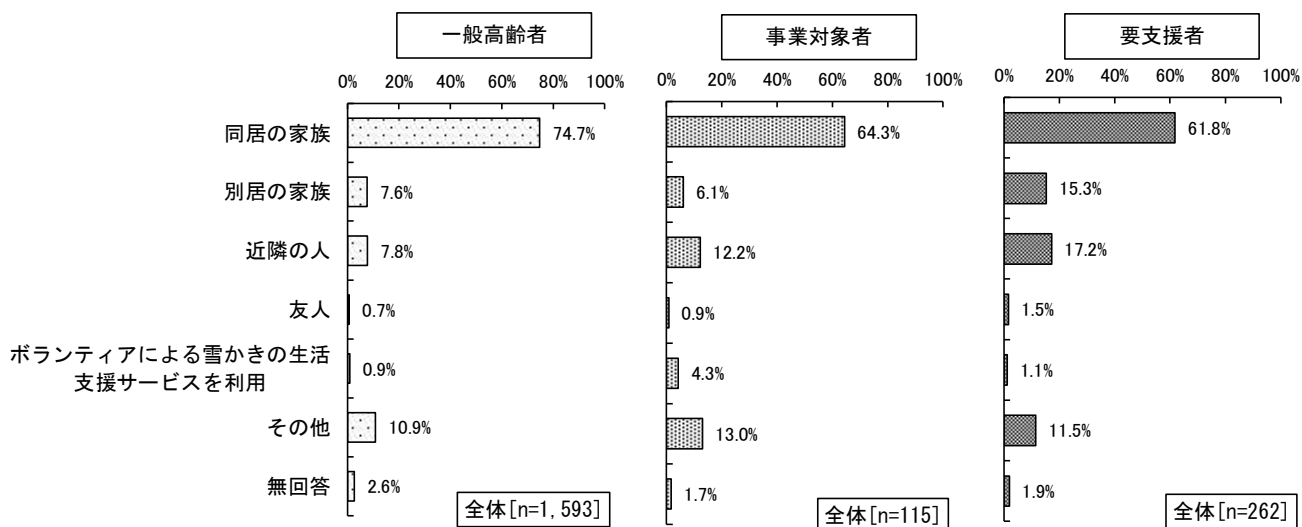


図4.56 主に雪かきをする人<問4-(19).①>



- ゴミ出しができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 14.5%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は 36.9%・58.3%で、前者を大きく上回っています。
- 主にゴミ出しをする人をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」(94.2%・87.7%・78.4%)となっています。

図4.57 ゴミ出しができるか<問4-(20)>

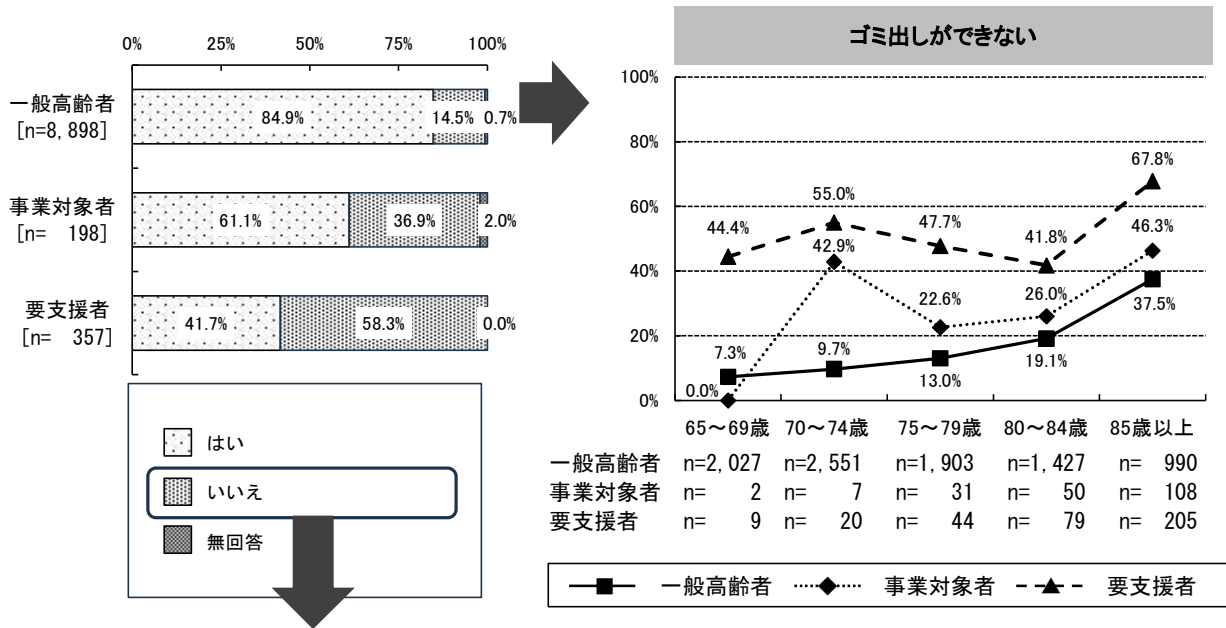
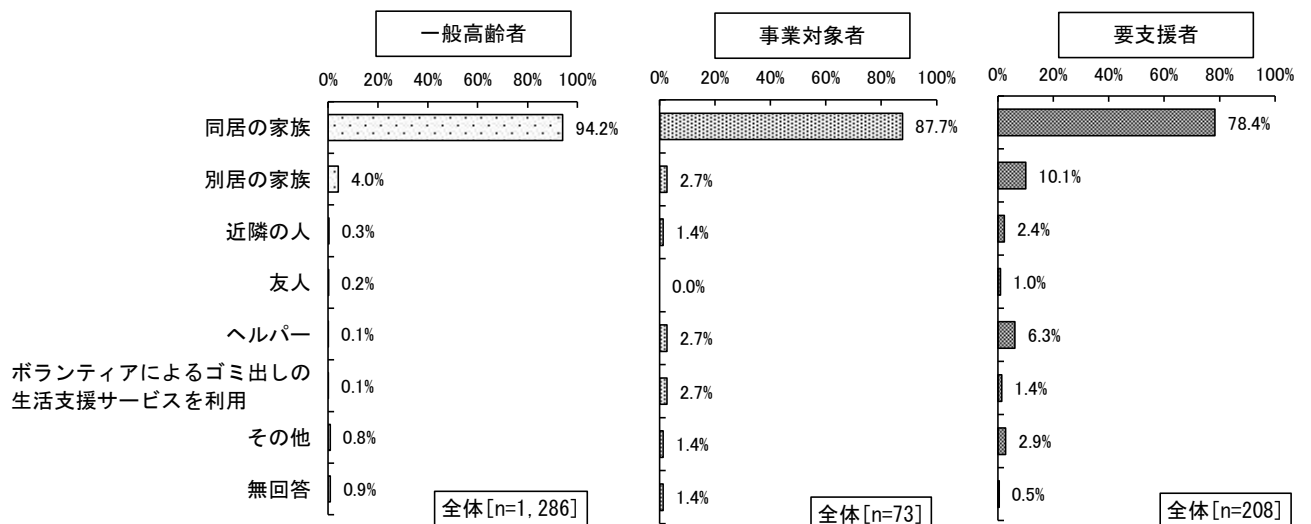


図4.58 主にゴミ出しをする人<問4-(20).①>



- 掃除ができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が9.4%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- 一方、事業対象者・要支援者は26.3%・42.6%で、前者を大きく上回っています。
- 主に掃除をする人をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」（88.5%・67.3%・65.8%）が最も高くとなっています。
- 事業対象者・要支援者では「ヘルパー」（25.0%・21.1%）も高くなっています。

図4.59 掃除ができるか<問4-(21)>

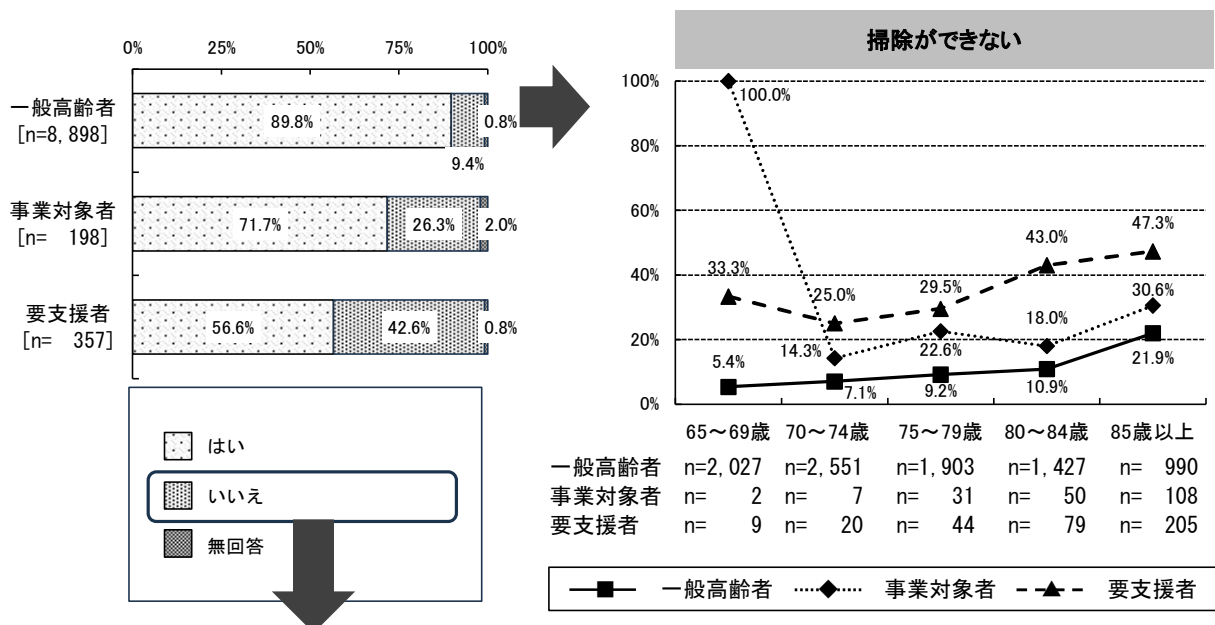
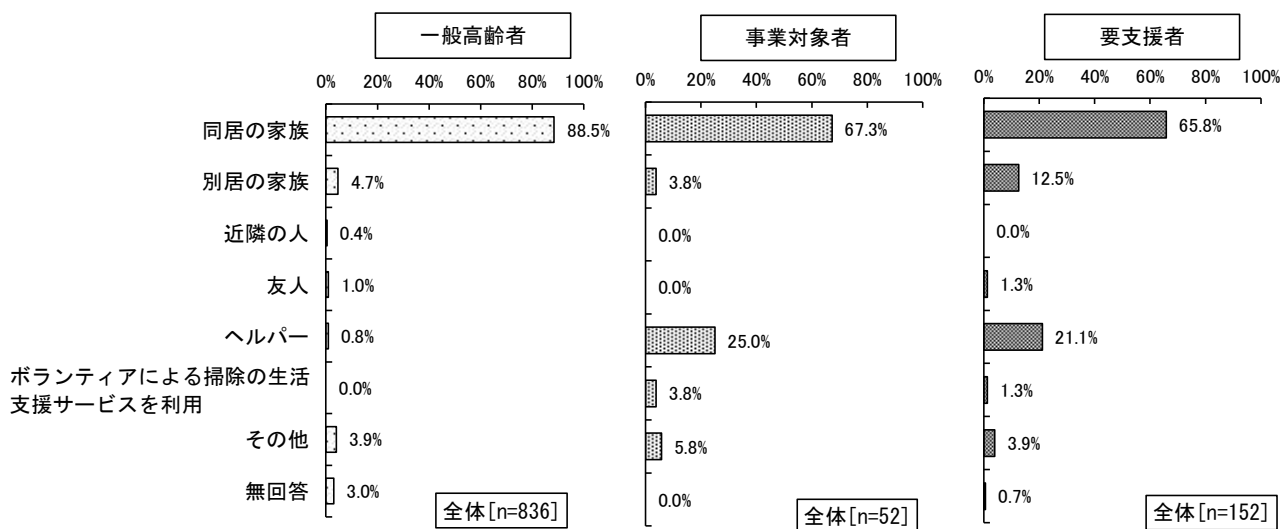


図4.60 主に掃除をする人<問4-(21).①>



○インターネットの利用有無では、一般高齢者は51.3%、事業対象者は15.2%、要支援者は17.1%が「利用している」と回答しています。

○インターネットの利用目的では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「情報検索」(83.5%・50.0%・65.6%)、「LINE (ライン) の利用」(71.7%・53.3%・60.7%)、「電子メールの送受信」(61.5%・33.3%・50.8%)、が高くなっています。

図4.61 インターネットの利用有無<問4-(22)>

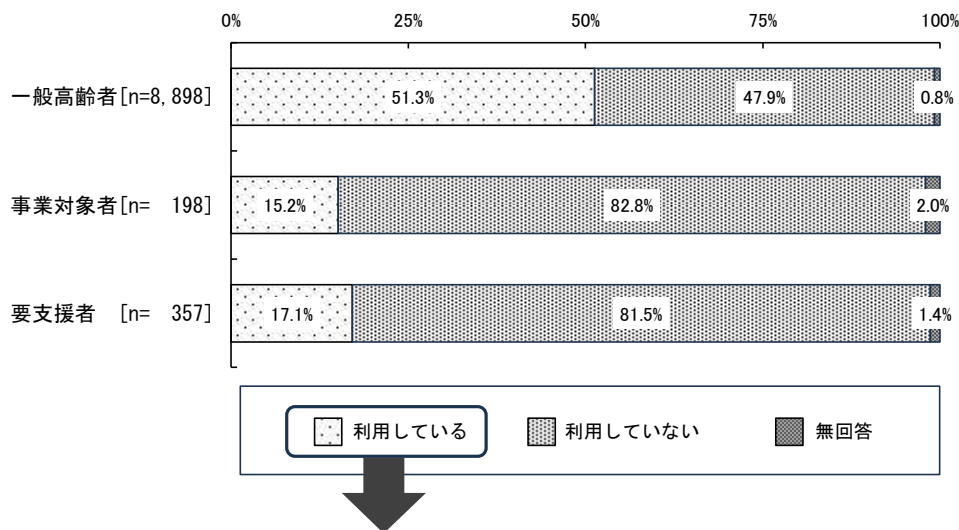
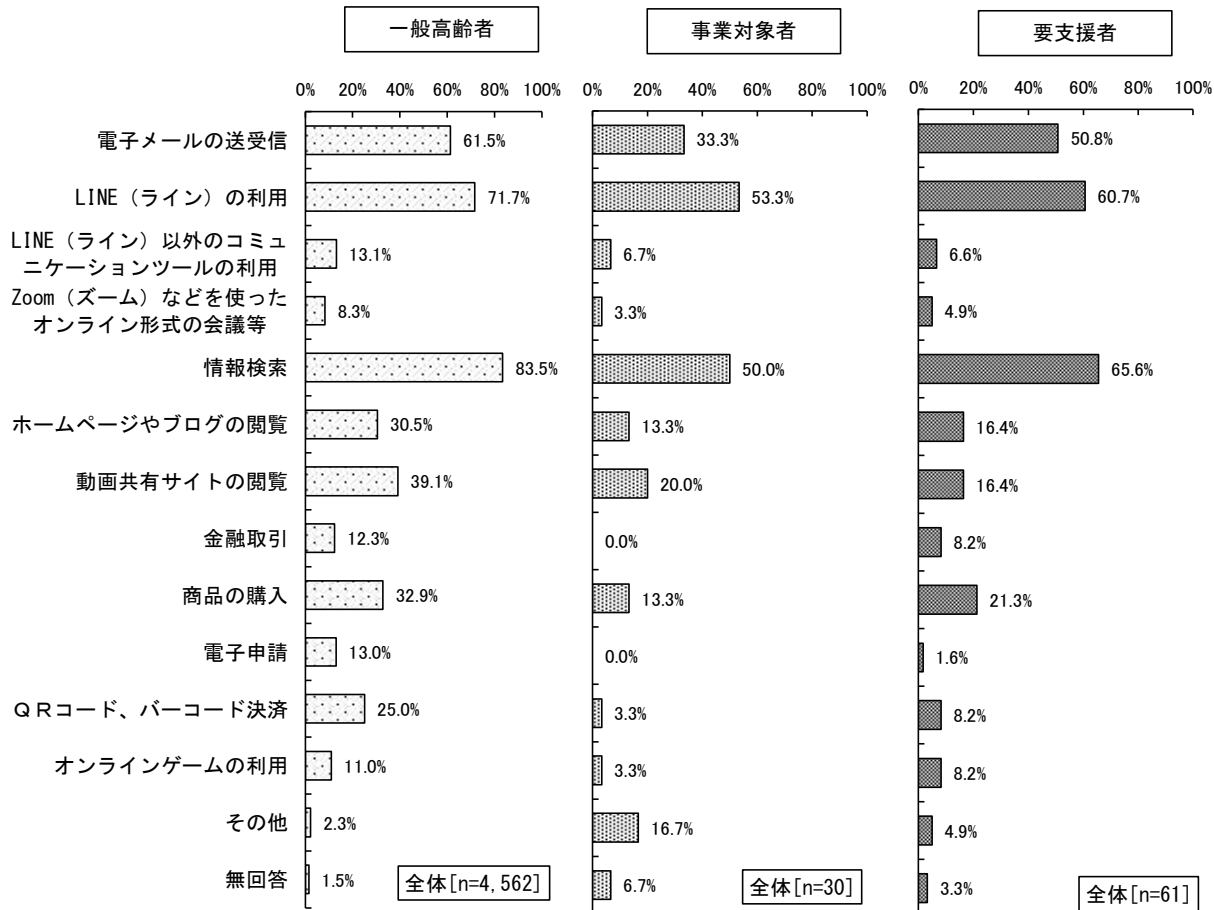


図4.62 インターネットの利用目的<問4-(22).①>



○自動車の運転免許証保持の有無では、一般高齢者は73.8%、事業対象者は23.7%、要支援者は18.2%が「持っている」と回答しています。

○免許返納をした場合の困りごとをみると、一般高齢者は「食品や日用品の買物」（85.7%）が最も高く、次いで「病院への通院」（79.3%）、「友人・親戚等との交流」（68.0%）となっており、事業対象者は「食品や日用品の買物」（85.1%）が最も高く、次いで「病院への通院」（78.7%）、「衣料品などの買物」（66.0%）となっています。要支援者は「食品や日用品の買物」「病院への通院」（各80.0%）が最も高く、次いで「金融機関の手続き」（55.4%）となっています。

図4.63 自動車の運転免許証保持の有無<問4-(23)>

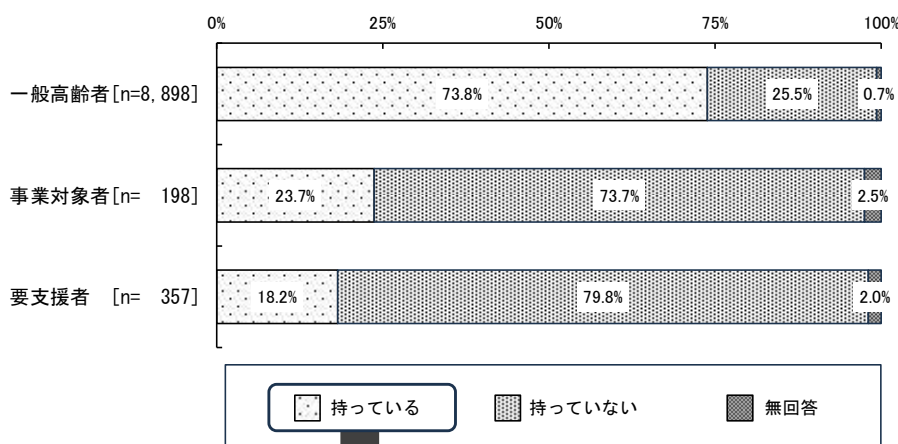
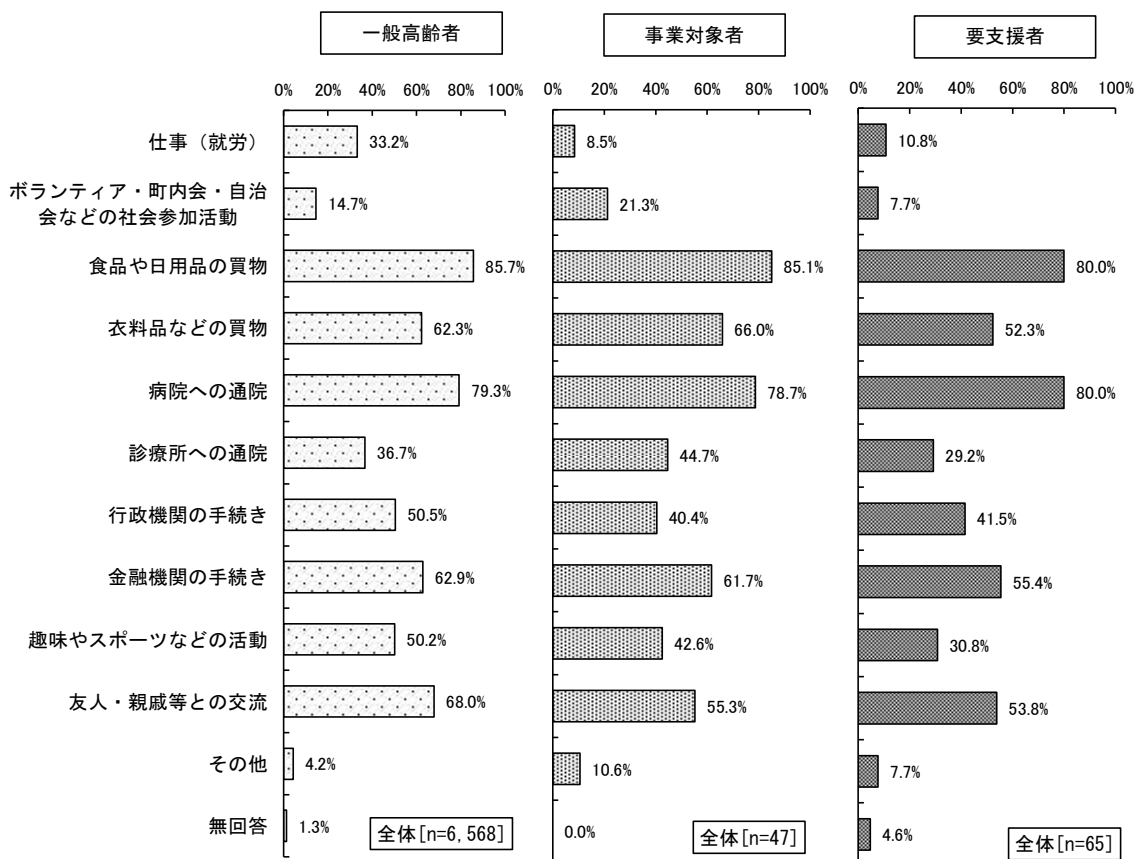


図4.64 免許返納をした場合の困りごと<問4-(23).①>



5 地域での活動について

(1) グループ活動等の状況

○グループ等への参加頻度をみると、週1回以上の参加または就労している一般高齢者は「⑧収入のある仕事」(22.5%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(12.8%)、「③趣味関係のグループ」(9.5%)となっています。また、参加していない理由は「参加する意思が無い」(42.4%)が最も高くなっています。

図4.65 グループ等への参加頻度【一般高齢者】<問5-(1)>

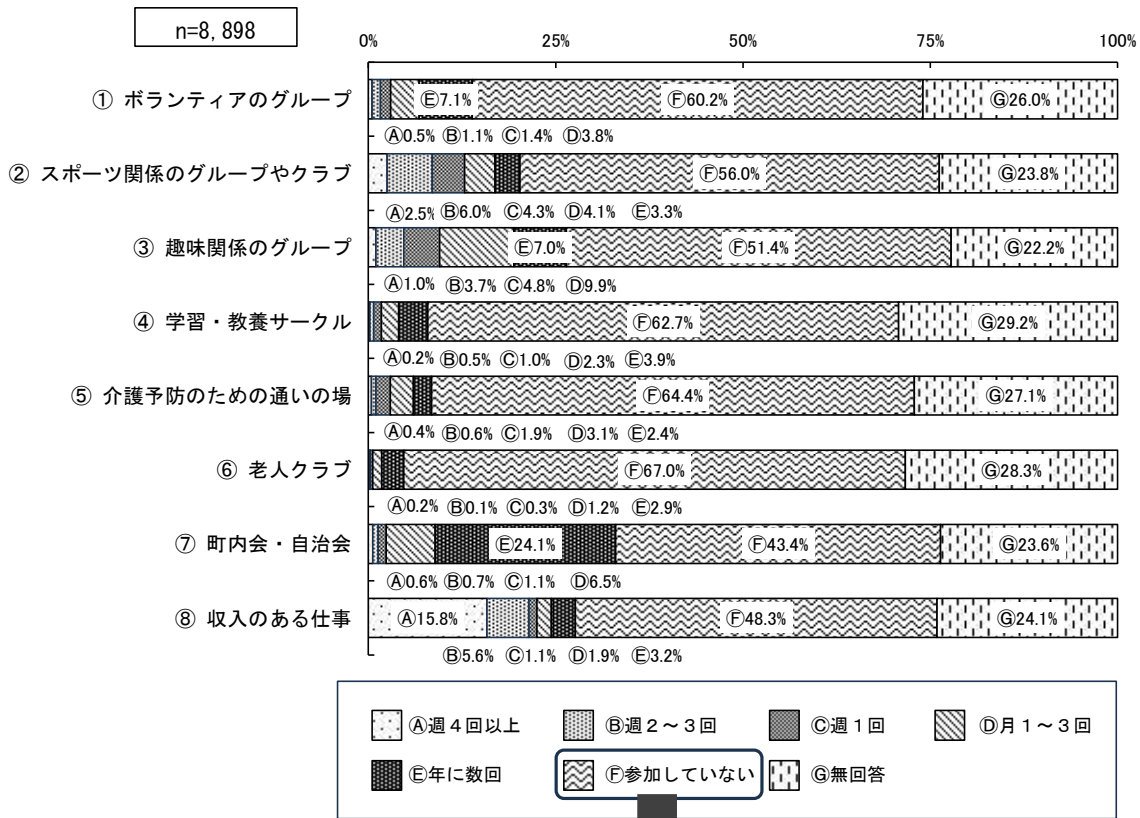
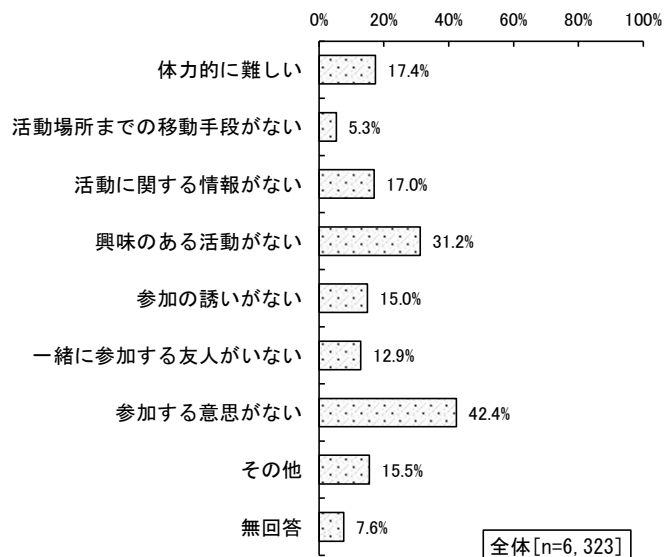


図4.66 参加していない理由【一般高齢者】<問5-(1).①>



○グループ等への参加頻度をみると、週1回以上の参加または就労している事業対象者は「⑤介護予防のための通いの場」(29.8%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(8.0%)、「③趣味関係のグループ」(4.5%)となっています。また、参加していない理由は「体力的に難しい」(47.7%)となっています。

図4.67 グループ等への参加頻度【事業対象者】 <問5-(1)>

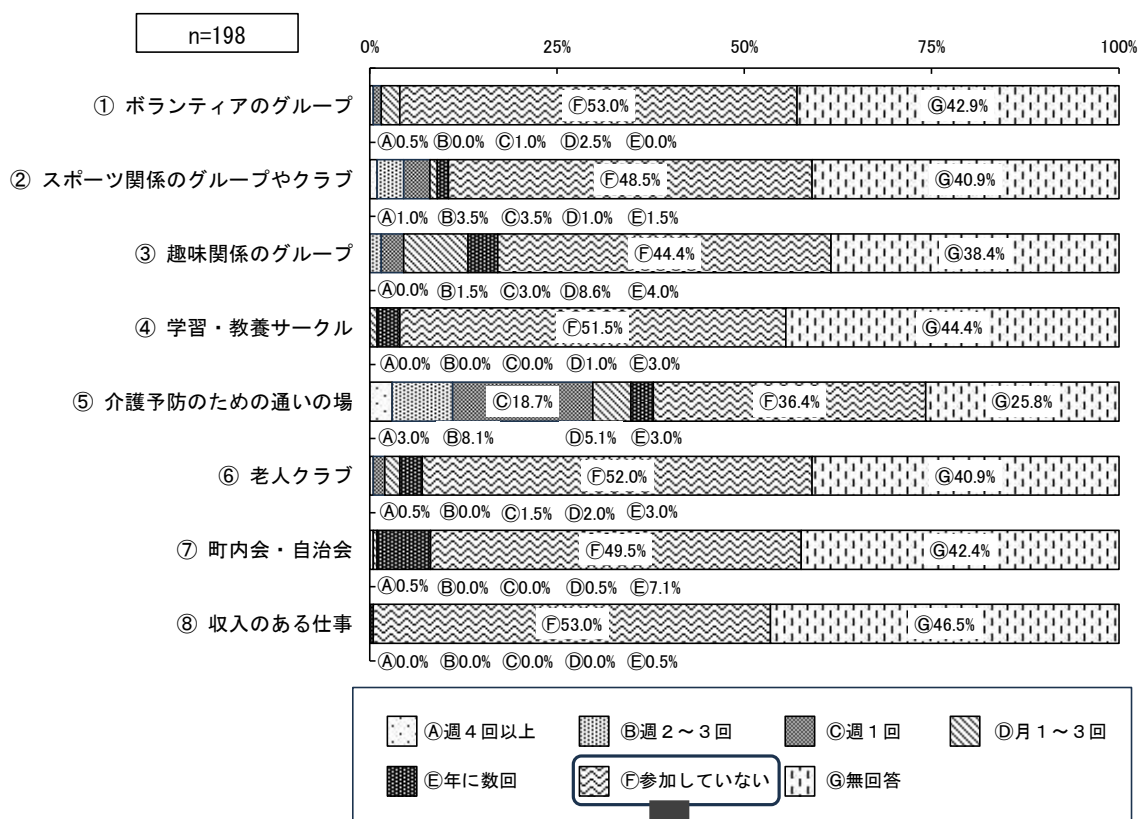
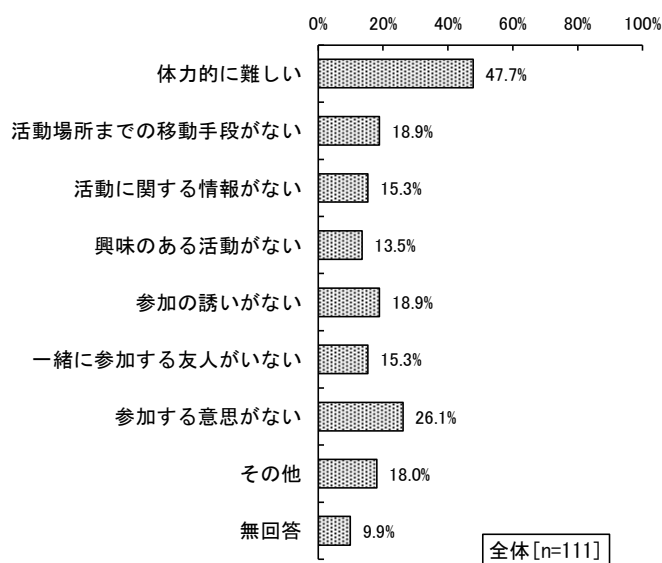


図4.68 参加していない理由【事業対象者】 <問5-(1). ①>



○グループ等への参加頻度をみると、週1回以上の参加または就労している要支援者は「⑤介護予防のための通いの場」(19.1%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(4.4%)、「③趣味関係のグループ」(3.1%)となっています。また、参加していない理由は「体力的に難しい」(71.5%)となっています。

図4.69 グループ等への参加頻度【要支援者】<問5-(1)>

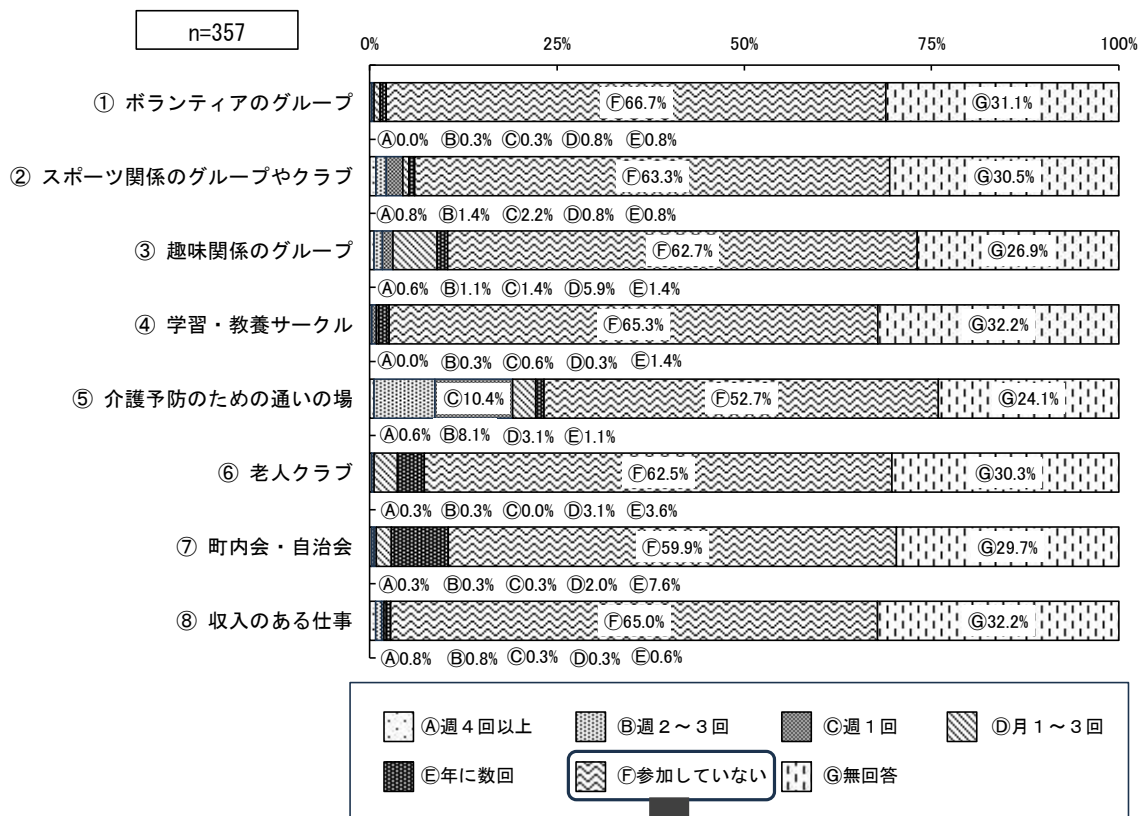
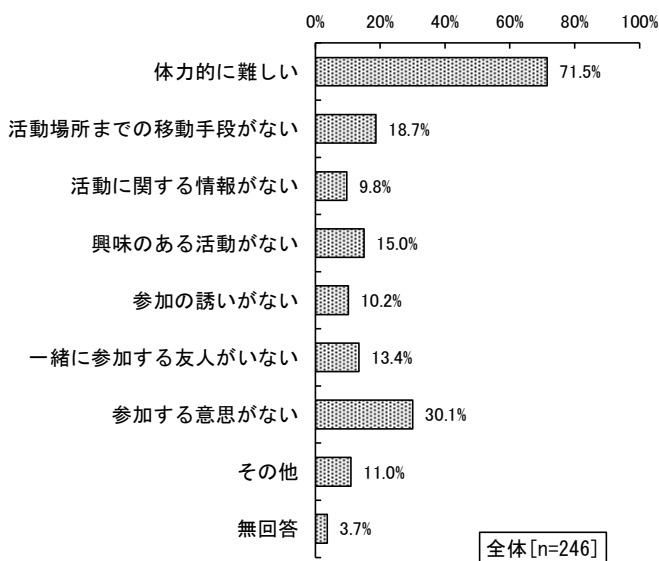


図4.70 参加していない理由【要支援者】<問5-(1).①>



（2）地域づくりに対する参加意向

- 参加者としてグループ活動等に参加してみたいかでは、一般高齢者は「是非参加したい」（8.1%）と「参加してもよい」（48.0%）を合わせた56.1%が参加の意向です。
- 一方、事業対象者・要支援者は「是非参加したい」（11.6%・8.1%）と「参加してもよい」（38.9%・32.5%）を合わせた50.5%・40.6%となり、前者と比べて下回っています。
- 参加者としてグループ活動等に参加していない理由は、一般高齢者は「興味ある活動が無い」（39.7%）、事業対象者・要支援者は「体力的に難しい」（43.2%・61.9%）が最も高くなっています。

図4.71 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか<問5-(2)>

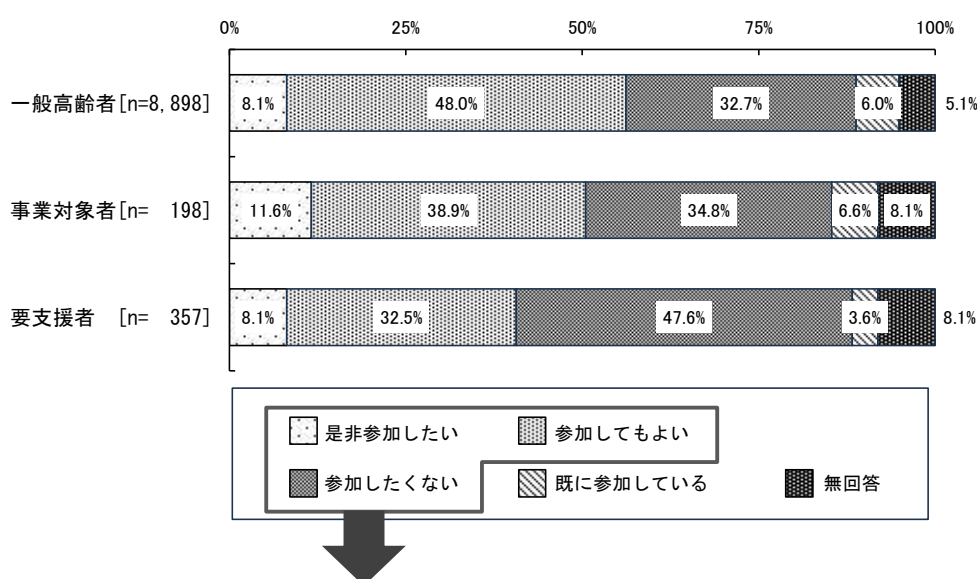
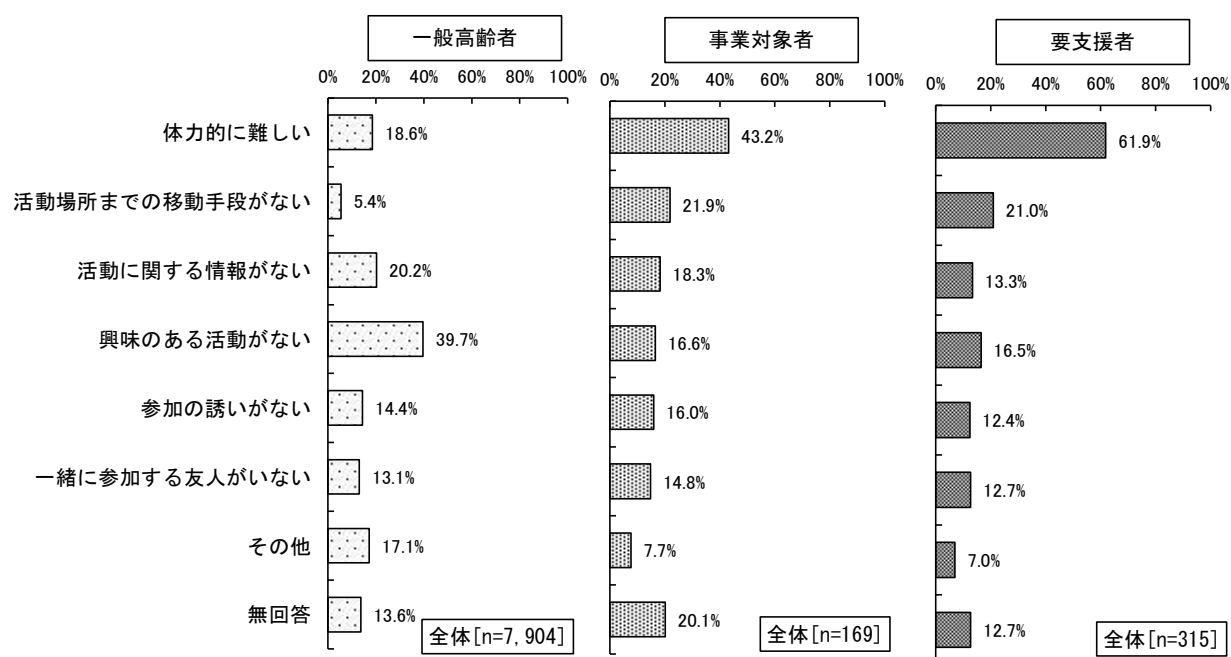


図4.72 参加者としてグループ活動等に参加していない理由<問5-(2).①>



○企画・運営（お世話役）としてグループ活動等に参加してみたいかでは、一般高齢者は「是非参加したい」（3.0%）と「参加してもよい」（28.3%）を合わせた31.3%が参加の意向です。

○一方、事業対象者・要支援者は「是非参加したい」（2.5%・2.5%）と「参加してもよい」（18.2%・16.2%）を合わせて20.7%・18.7%となり、前者と比べて下回っています。

○企画・運営（お世話役）として参加していない理由をみると、一般高齢者は「興味ある活動がない」（37.2%）、事業対象者・要支援者は「体力的に難しい」（63.4%・71.7%）となっています。

図4.73 企画・運営（お世話役）としてグループ活動等に参加してみたいか<問5-(3)>

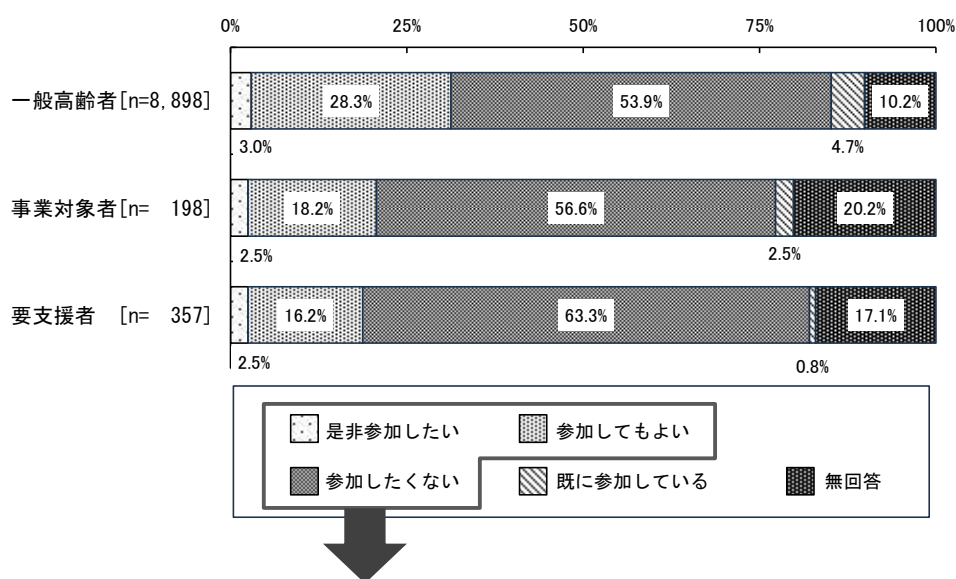
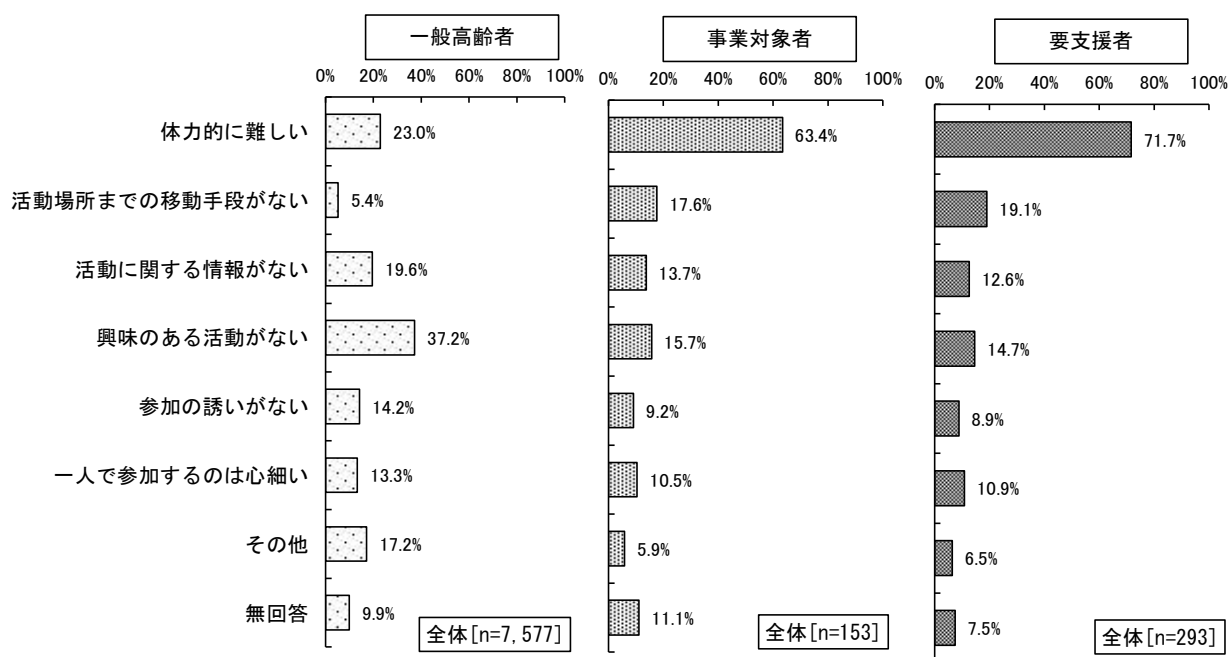


図4.74 企画・運営（お世話役）として参加していない理由<問5-(3).①>



○地域でできると思う支援では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「声かけ」（37.6%・17.2%・13.2%）が最も高く、次いで「見守り」（31.7%・10.6%・7.8%）となっています。

○地域で支援できない理由をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「体力的に難しい」（57.7%・94.0%・94.3%）となっています。

図4.75 地域でできると思う支援<問5-(4)>

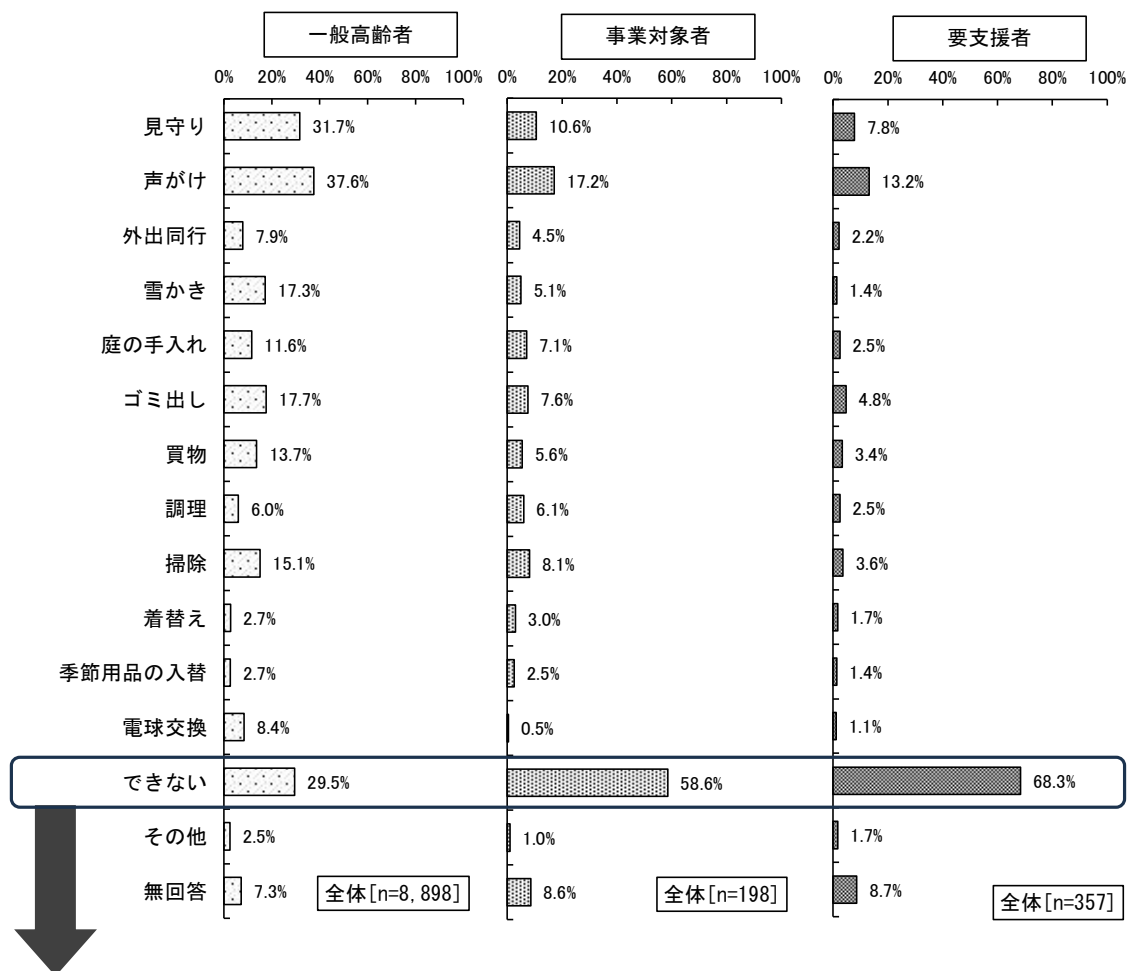
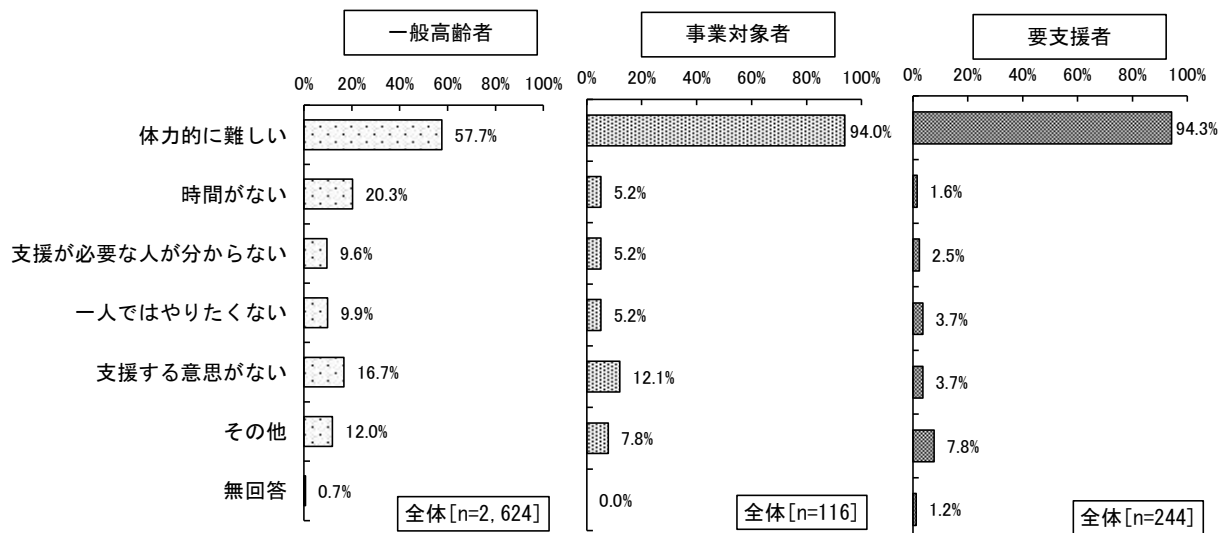


図4.76 地域で支援できない理由<問5-(4).①>



6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

- 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をみると、一般高齢者は「配偶者」（52.8％）が最も高く、次いで「友人」（43.1％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（34.4％）、「別居の子ども」（34.0％）、「同居の子ども」（24.7％）となっています。
- 一方、事業対象者は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（38.4％）が最も高く、次いで「別居の子ども」（37.9％）、「友人」（36.4％）、要支援者は「別居の子ども」（37.5％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（33.1％）、「友人」（32.8％）となっています。
- 反対に心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人では、一般高齢者は「配偶者」（50.8％）が最も高く、次いで「友人」（43.9％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（37.7％）、「別居の子ども」（34.2％）となっています。
- 一方、事業対象者は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（35.4％）が最も高く、次いで「友人」（33.3％）、要支援者は「友人」（32.8％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（29.7％）となっています。

図4.77 心配事や愚痴（ぐち）
を聞いてくれる人<問6-(1)>

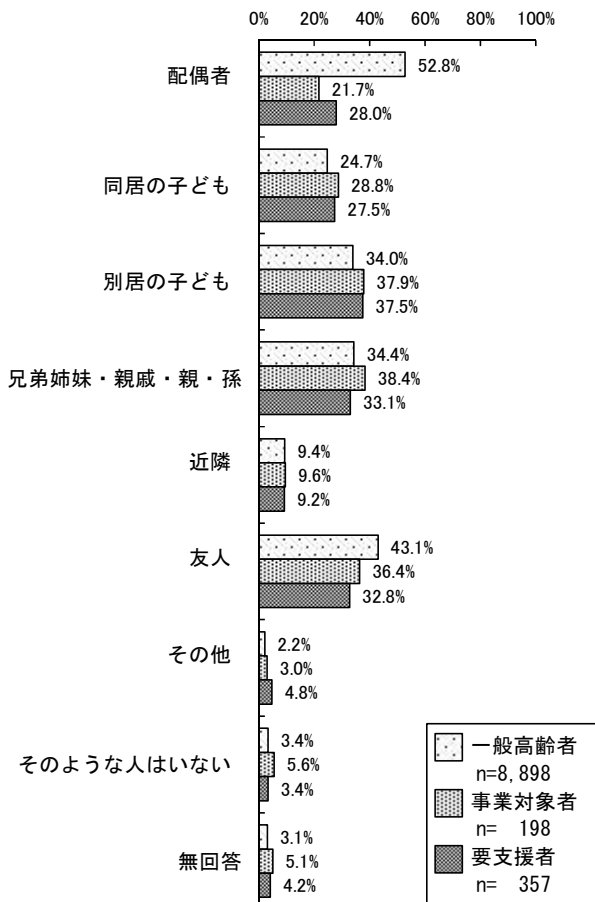
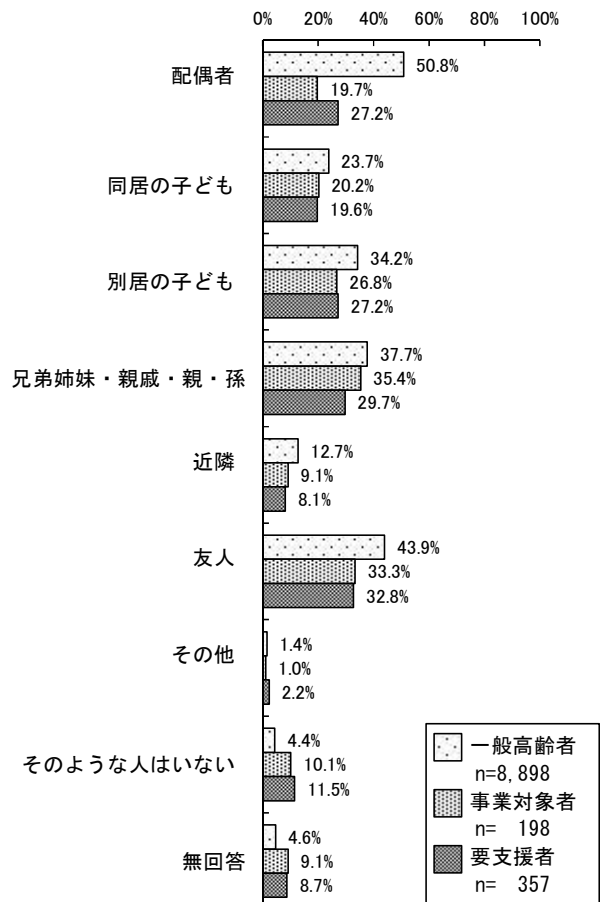


図4.78 心配事や愚痴（ぐち）
を聞いてあげる人<問6-(2)>



- 病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人では、一般高齢者は「配偶者」（57.1%）が最も高く、次いで「同居の子ども」（34.7%）、「別居の子ども」（31.4%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（18.2%）となっています。
- 一方、事業対象者・要支援者ではいずれも、「同居の子ども」（41.4%・38.4%）が最も高く、次いで「別居の子ども」（33.3%・33.9%）、「配偶者」（23.2%・30.0%）となっています。
- 反対に看病や世話をしてあげる人は、一般高齢者では「配偶者」（59.4%）が最も高く、次いで「同居の子ども」（31.0%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（27.2%）となっています。
- 一方、事業対象者は「同居の子ども」（22.7%）が最も高く、次いで「配偶者」（22.2%）、要支援者では「配偶者」（28.0%）が最も高く、次いで「同居の子ども」（18.5%）となっています。ただし、「そのような人はいない」（34.3%・29.4%）と回答した方も多くなっています。

図4.79 病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人<問6-(3)>

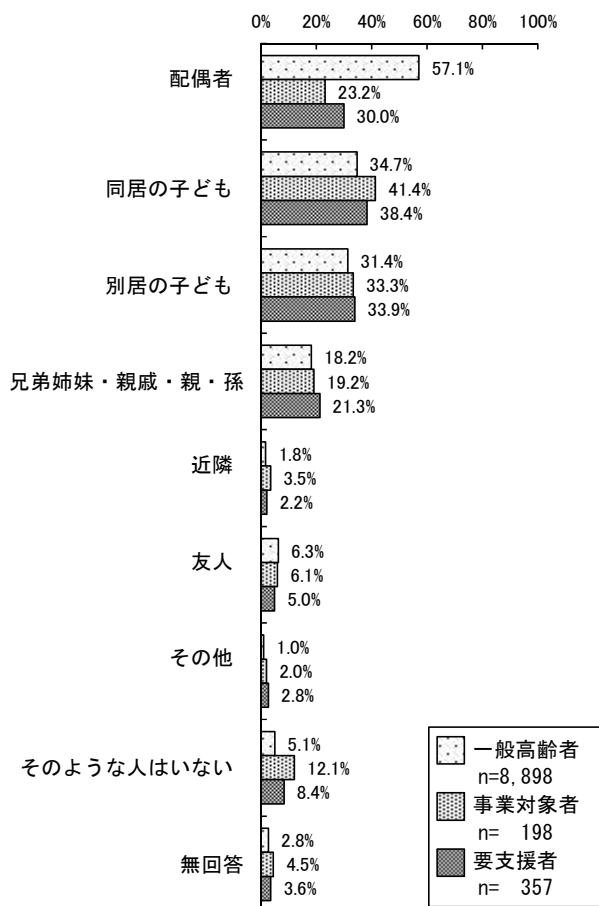
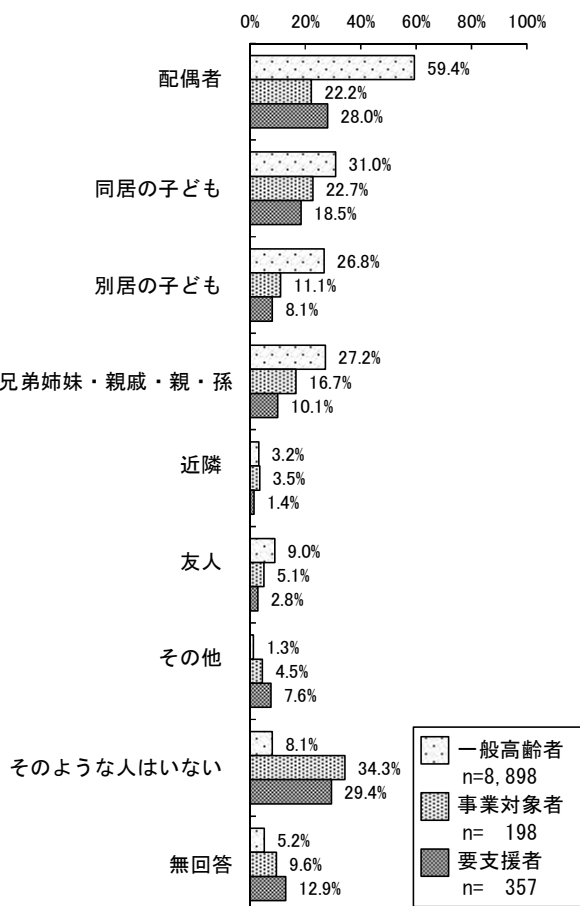
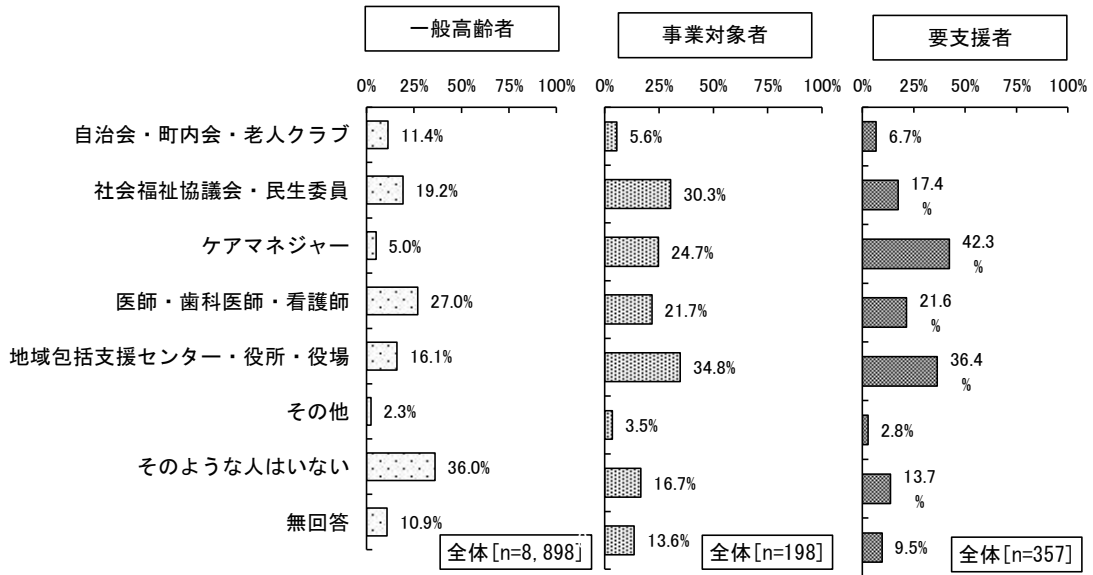


図4.80 病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてあげる人<問6-(4)>



- 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手では、一般高齢者は「そのような人はいない」(36.0%)が最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(27.0%)、「社会福祉協議会・民生委員」(19.2%)となっています。
- 一方、事業対象者は「地域包括支援センター・役所・役場」(34.8%)、「社会福祉協議会・民生委員」(30.3%)、「ケアマネジャー」(24.7%)となっており、要支援者は「ケアマネジャー」(42.3%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(36.4%)、「医師・歯科医師・看護師」(21.6%)となっています。

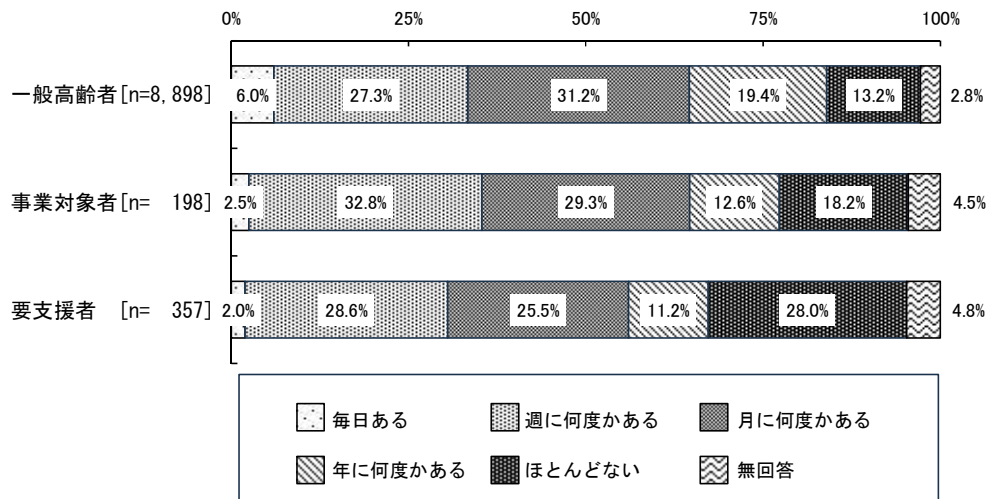
図4.81 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手<問6-(5)>



(2) 友人・知人との交流状況

- 友人・知人と会う頻度では、一般高齢者は「月に何度かある」(31.2%)が最も高く、次いで「週に何度かある」(27.3%)、「年に何度かある」(19.4%)となっています。
- 一方、事業対象者は「週に何度かある」(32.8%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(29.3%)、「ほとんどない」(18.2%)、要支援者は「週に何度かある」(28.6%)が最も高く、次いで「ほとんどない」(28.0%)、「月に何度かある」(25.5%)となっています。

図4.82 友人・知人と会う頻度<問6-(6)>



○1 か月間に何人の友人・知人と会ったかでは、一般高齢者は「3～5人」(27.0%)が最も高く、次いで「1～2人」(25.6%)、「10人以上」(21.3%)、事業対象者は「1～2人」(31.8%)が最も高く、次いで「3～5人」(22.2%)、「10人以上」(14.6%)となっています。要支援者は「1～2人」(31.7%)が最も高く、次いで「3～5人」(21.3%)、「0人(いない)」(20.4%)となっています。

○よく会う友人・知人はどんな関係の人かでは、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「近所・同じ地域の人」(49.0%・44.9%・48.7%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(33.2%・25.8%・16.5%)となっています。

図4.83 何人の友人・知人と会ったか（最近1か月間）＜問6-(7)＞

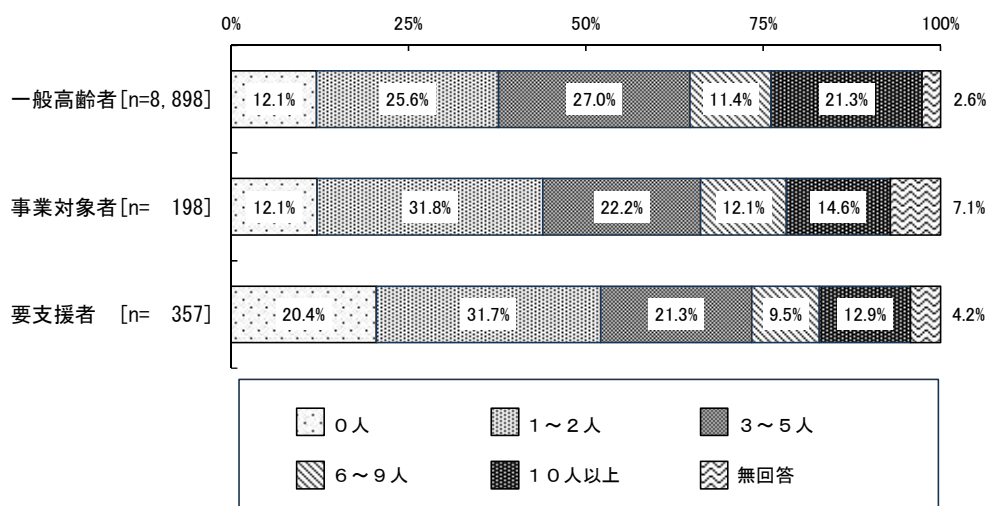
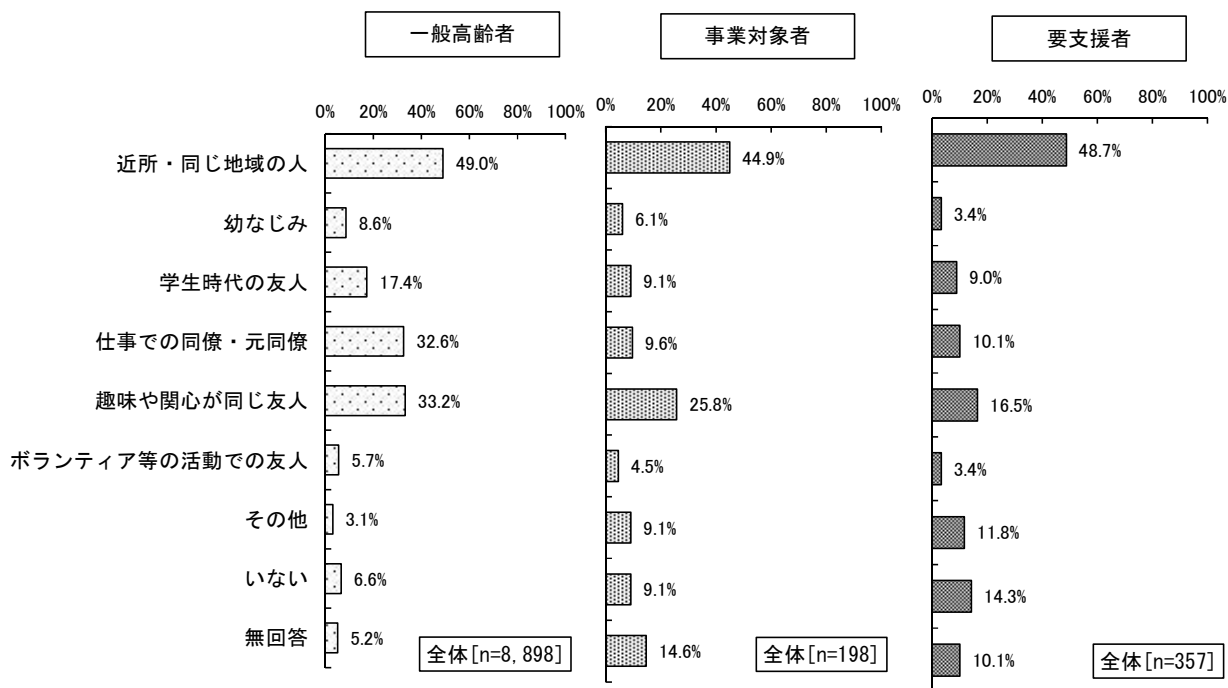


図4.84 よく会う友人・知人はどんな関係の人か＜問6-(8)＞

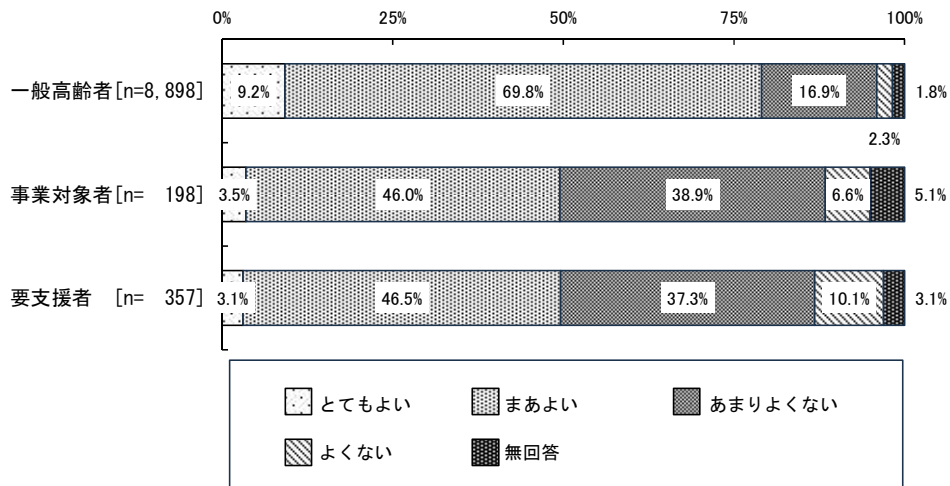


7 健康について

(1) 健康状態

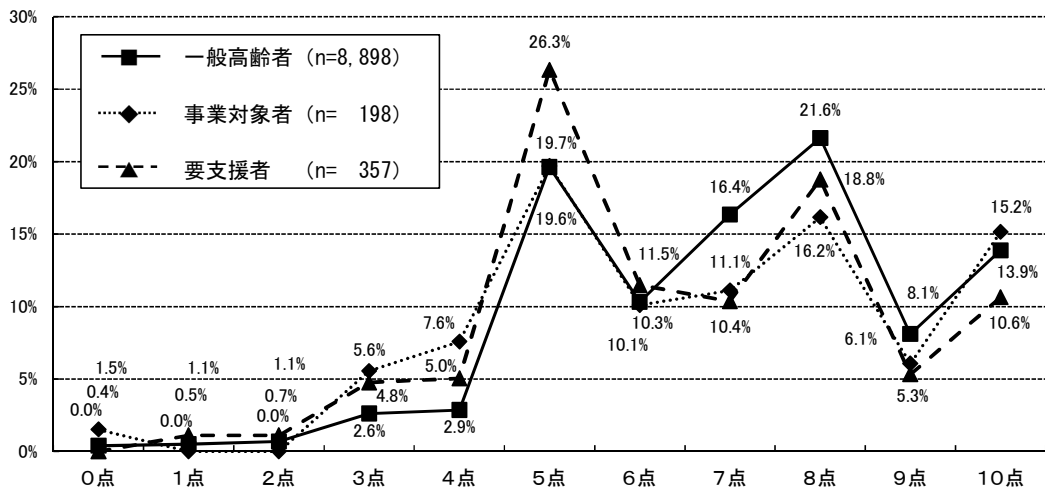
- 主観的健康感をみると、一般高齢者は「まあよい」(69.8%)が最も高く、「とてもよい」(9.2%)を合わせた79.0%が健康と感じています。
- 事業対象者・要支援者は「とてもよい」(3.5%・3.1%)と「まあよい」(46.0%・46.5%)を合わせて49.5%・49.6%となりほぼ半数が健康と感じています。

図4.85 現在の主観的健康感<問7-(1)>



- 現在の主観的幸福感では、一般高齢者は「8点」が最も多く、次いで「5点」、「7点」となっています。事業対象者・要支援者はいずれも「5点」が最も多く、次いで「8点」となっています。

図4.86 現在の主観的幸福感<問7-(2)>



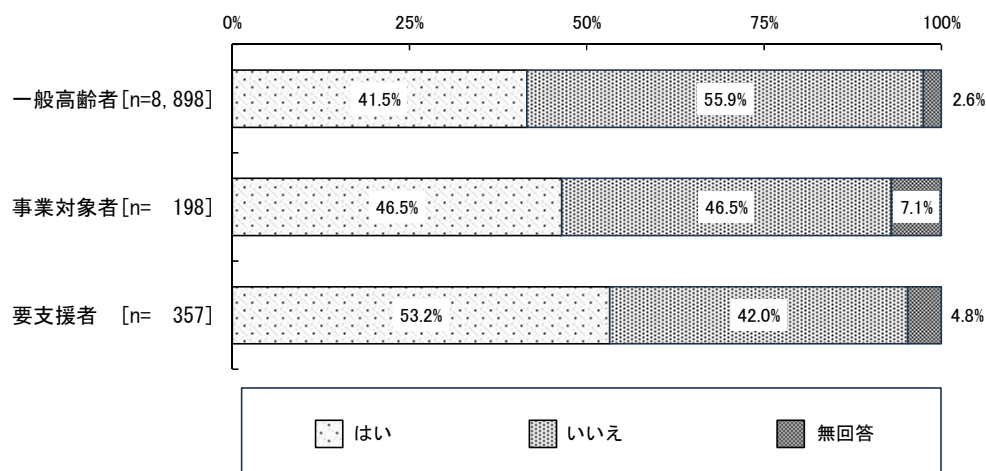
平均点	一般高齢者	7.0点
	事業対象者	6.7点
	要支援者	6.5点

※ただし、無回答者（一般 271 名、事業対象者 14 名、要支援者 18 名）を除きます。

（2）こころの健康状態

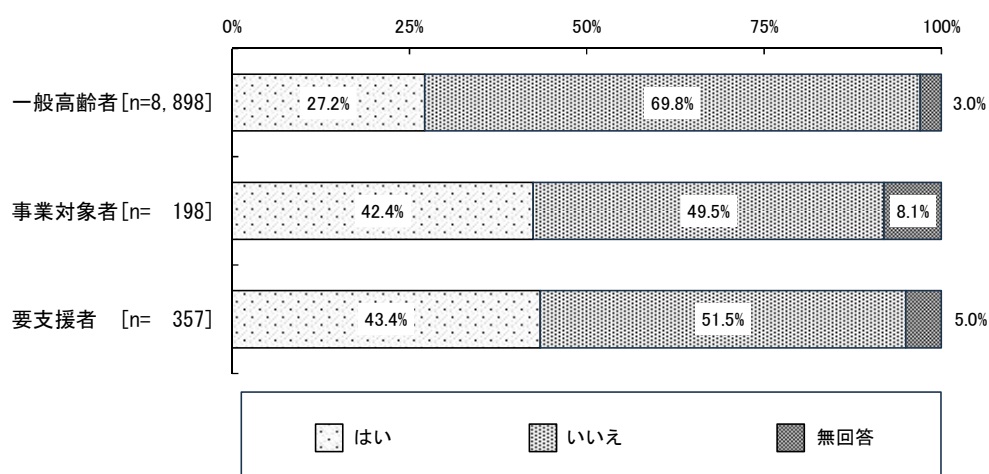
○この1か月間、気分が沈んだりすることの有無では、一般高齢者は41.5%、事業対象者は46.5%、要支援者は53.2%があったと回答しています。

図4.87 この1か月間、気分が沈んだりする<問7-(3)>



○この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じの有無では、一般高齢者は27.2%、事業対象者は42.4%、要支援者は43.4%があったと回答しています。

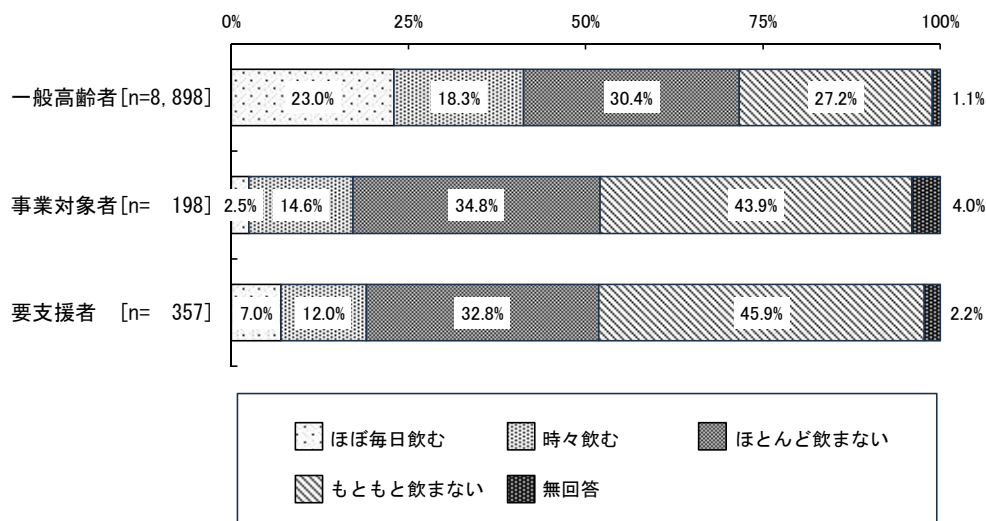
図4.88 この1か月間、物事に対して心から楽しめない<問7-(4)>



(3) 疾病と喫煙や飲酒の関係

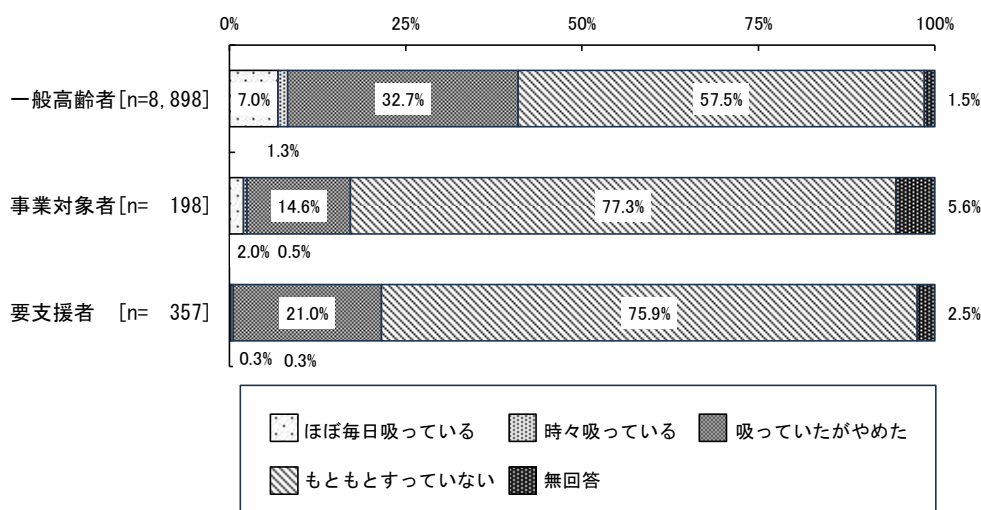
- 飲酒の状況をみると、一般高齢者は「ほぼ毎日飲む」(23.0%)と「時々飲む」(18.3%)を合わせた41.3%が飲酒者となります。
- 一方、事業対象者・要支援者は「ほぼ毎日飲む」(2.5%・7.0%)と「時々飲む」(14.6%・12.0%)を合わせた17.1%・19.0%が飲酒者となり、前者と比べて半数未満となっています。

図4.89 飲酒の状況<問7-(5)>



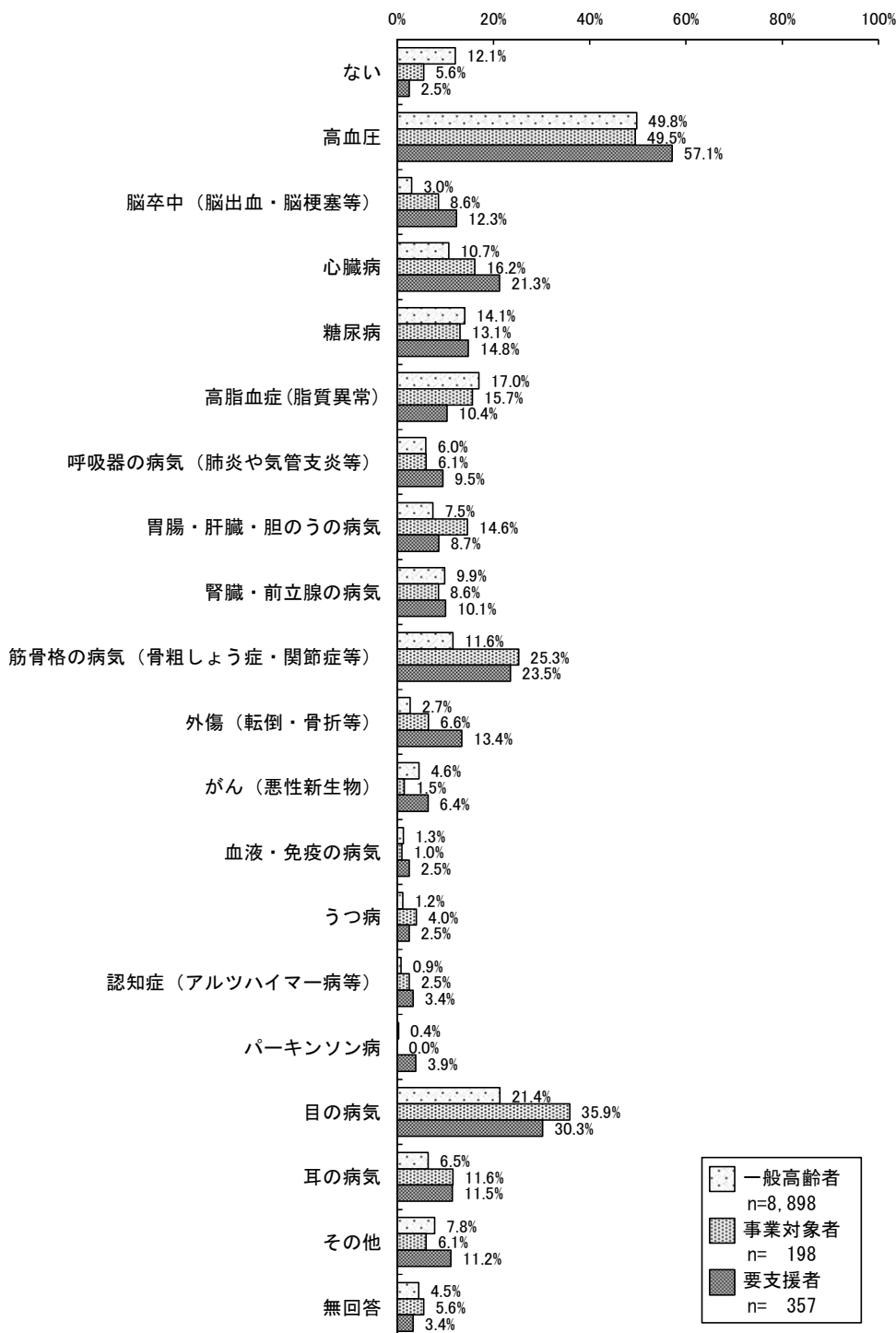
- 喫煙の状況をみると、一般高齢者は「ほぼ毎日吸っている」(7.0%)と「時々吸っている」(1.3%)を合わせた8.3%が喫煙者となります。
- 一方、事業対象者・要支援者は「ほぼ毎日吸っている」(2.0%・0.3%)と「時々吸っている」(0.5%・0.3%)を合わせた2.5%・0.6%が喫煙者となり、前者と比べて半数以下となっています。

図4.90 喫煙の状況<問7-(6)>



○現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、全体では一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「高血圧」（49.8%・49.5%・57.1%）が最も高く、次いで「目の病気」（21.4%・35.9%・30.3%）となっています。

図4.91 現在治療中、または後遺症のある病気<問7-(7)>



8 認知症にかかる相談窓口の把握について

- 認知症の症状がある又は家族が認知症の症状がある方は一般高齢者が8.9%、事業対象者が12.1%、要支援者が17.1%となっています。
- 認知症に関する相談窓口を知っている方は、一般高齢者が30.2%、事業対象者が24.7%、要支援者が30.0%となっています。
- 認知症サポーター養成講座を受けたことがある方は、一般高齢者が8.6%、事業対象者が8.1%、要支援者が4.5%となっています。

図4.92 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか<問8-(1)>

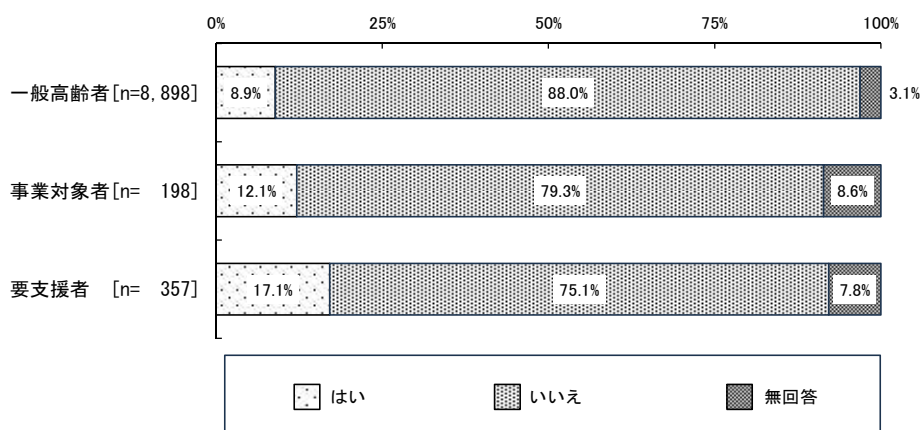


図4.93 認知症に関する相談窓口を知っているか<問8-(2)>

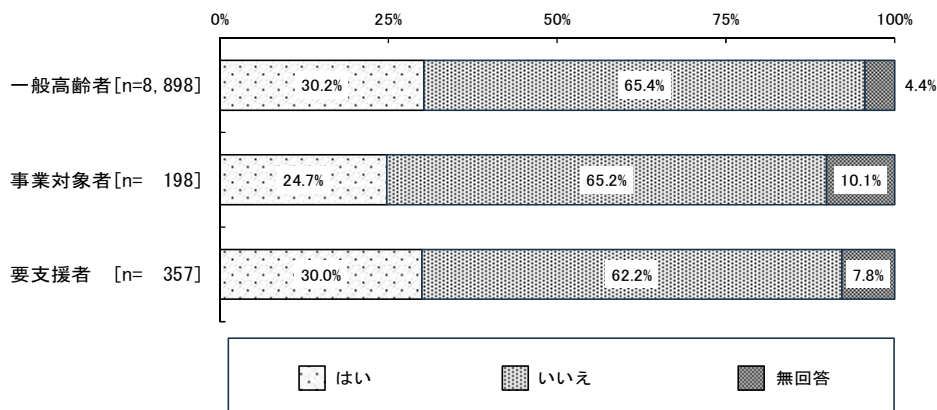
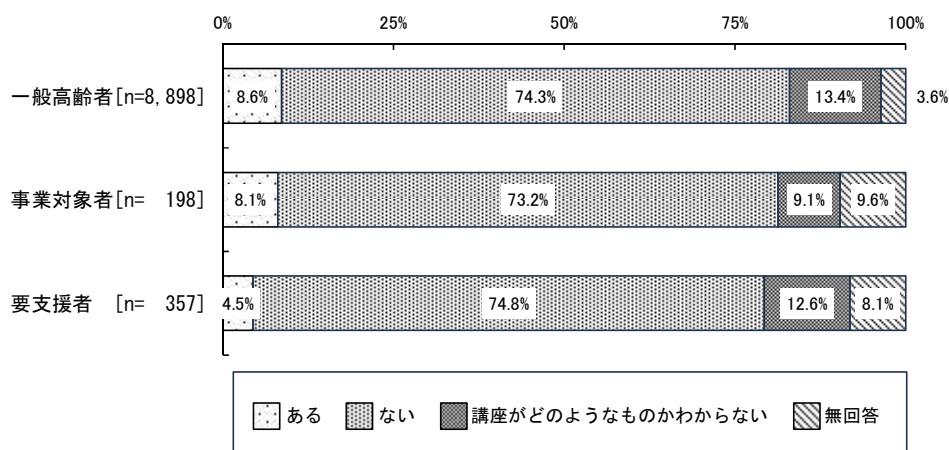


図4.94 認知症サポーター養成講座を受けたことがあるか<問8-(3)>



9 介護が必要になった場合の生活等について

○介護が必要になった場合の生活場所の希望をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」（30.2%・32.3%・35.0%）が最も高く、次いで一般高齢者では「施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で生活したい」（19.6%）、「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら生活したい」（12.9%）、となっています。

○訪問介護（ホームヘルパー）などのサービスの希望をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「受けない」（72.7%・78.1%・75.2%）となっています。

図4.95 介護が必要になった場合の生活場所の希望<問9-(1)>

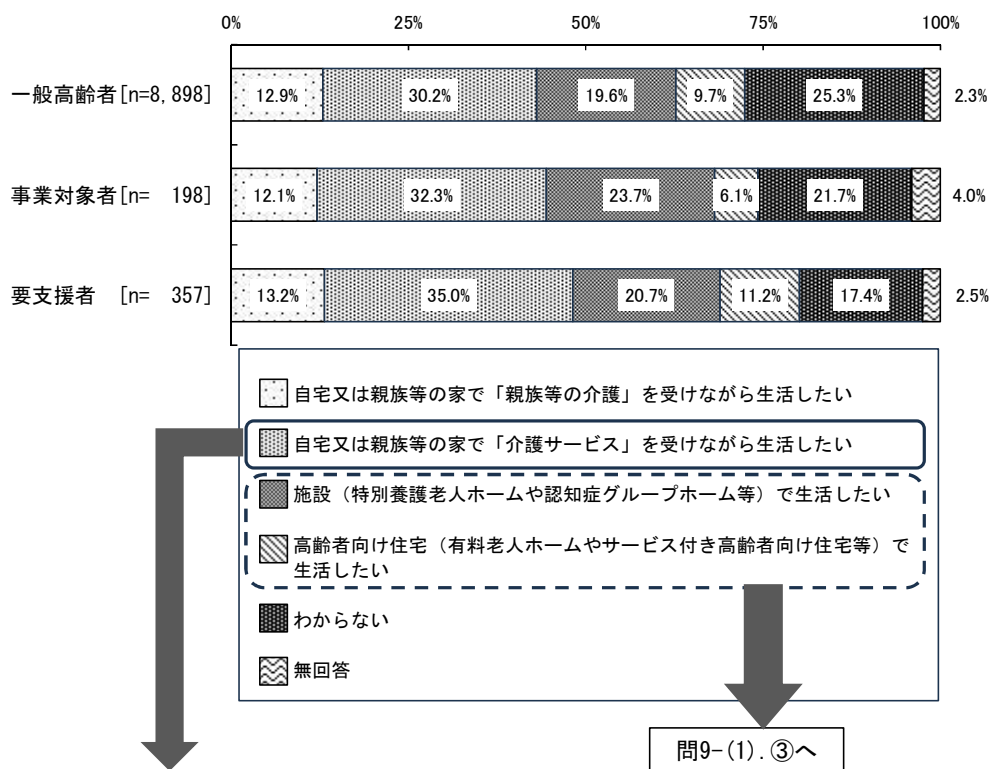
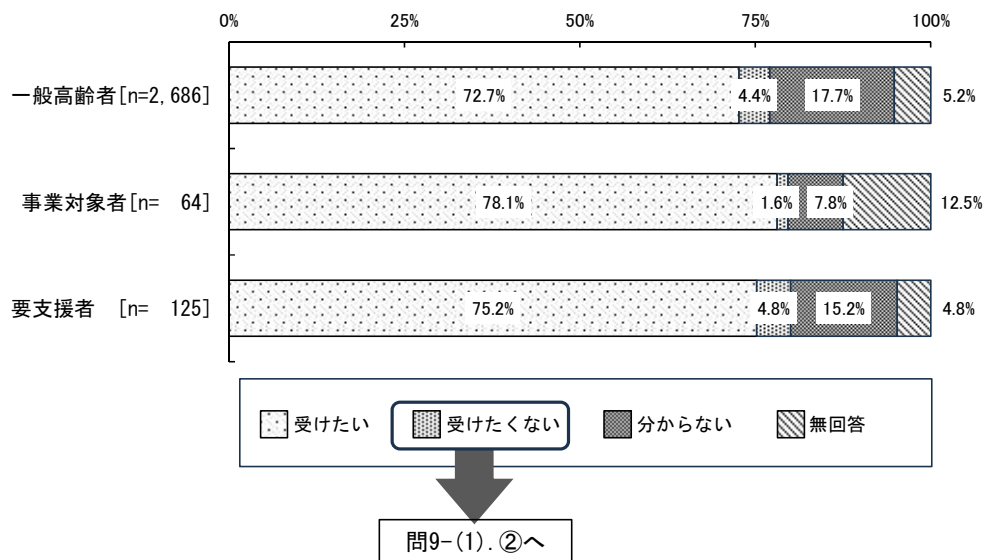
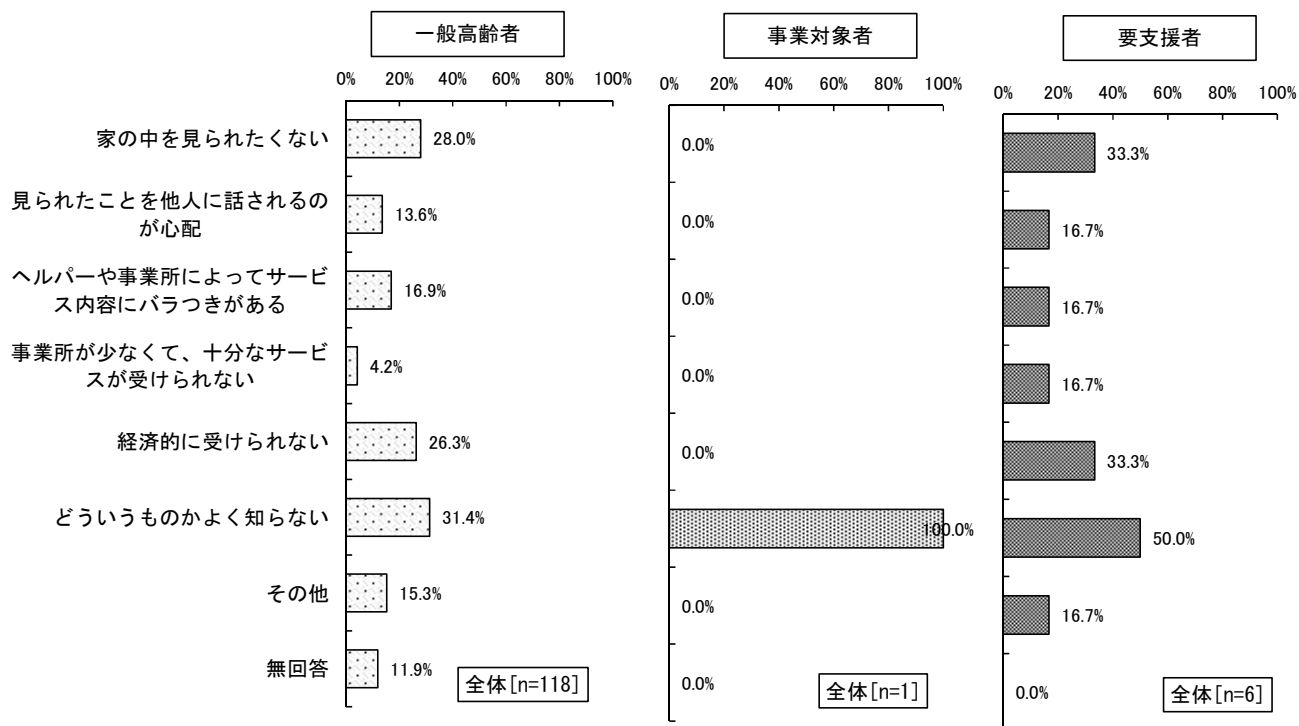


図4.96 訪問介護（ホームヘルパー）などのサービス希望の有無<問9-(1).①>



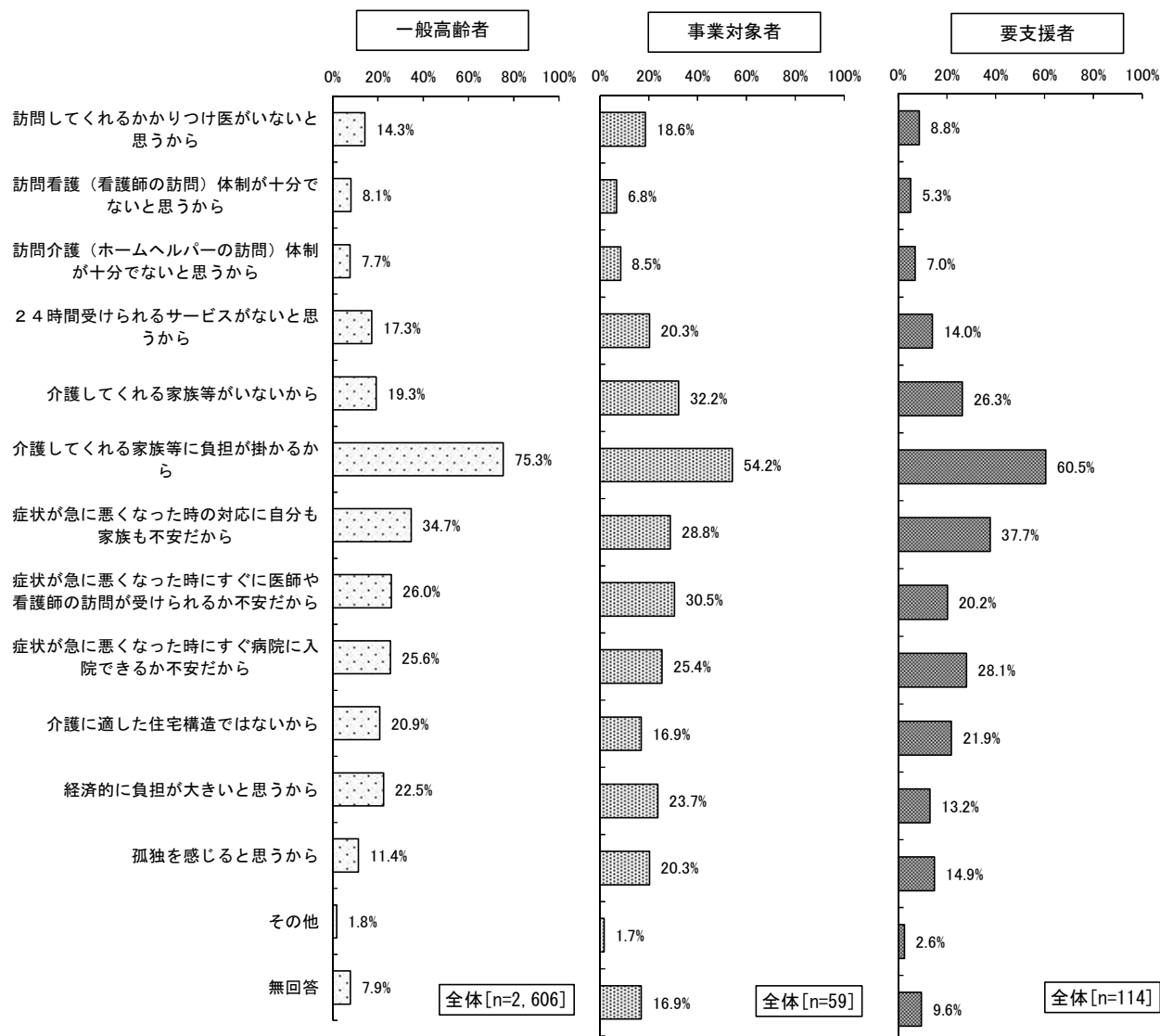
○「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら生活したい」と回答した方のうち訪問介護（ホームヘルパー）などのサービス希望は7割以上あるのに対し、サービスを受けたくない理由として「どういうものかよく知らない」（31.4%・100.0%・50.0%）を挙げる方がいました。

図4.97 サービスを受けたくない理由<問9-(1).②>



○施設や高齢者向け住宅で生活したい理由をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「介護してくれる家族等に負担が掛かるから」（75.3%・54.2%・60.5%）が最も高く、次いで一般高齢者・要支援者は「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安だから」（34.7%・37.7%）、事業対象者は「介護してくれる家族等がないから」（32.2%）となっています。

図4.98 施設や高齢者向け住宅で生活したい理由<問9-(1).③>



10 もしものときの話し合いについて

○もしものときの話し合いの有無をみると、「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の割合を合わせると、一般高齢者は33.4%、事業対象者は38.8%、要支援者は44.9%となっています。

○話し合ったきっかけとしては、一般高齢者は「ご家族等の病気や死」(44.5%)が最も高く、次いで「自分の病気」(38.3%)、「人生の最終段階についてメディアから情報を得た時」(30.4%)となっています。事業対象者・要支援者は「自分の病気」(53.2%・61.3%)が最も高く、次いで「ご家族等の病気や死」(44.2%・28.1%)となっています。

図4.99 もしものときの話し合い<問10-(1)>

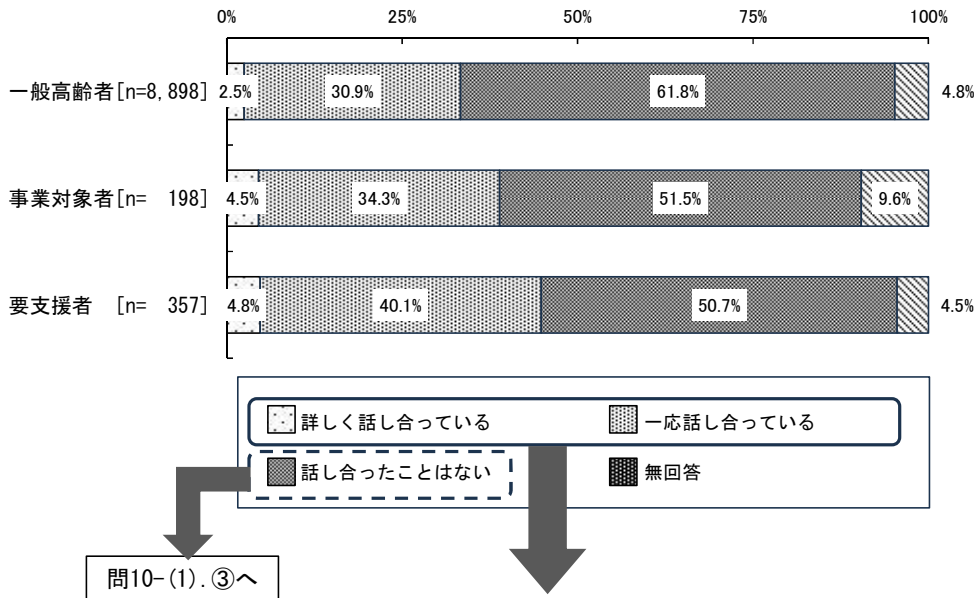
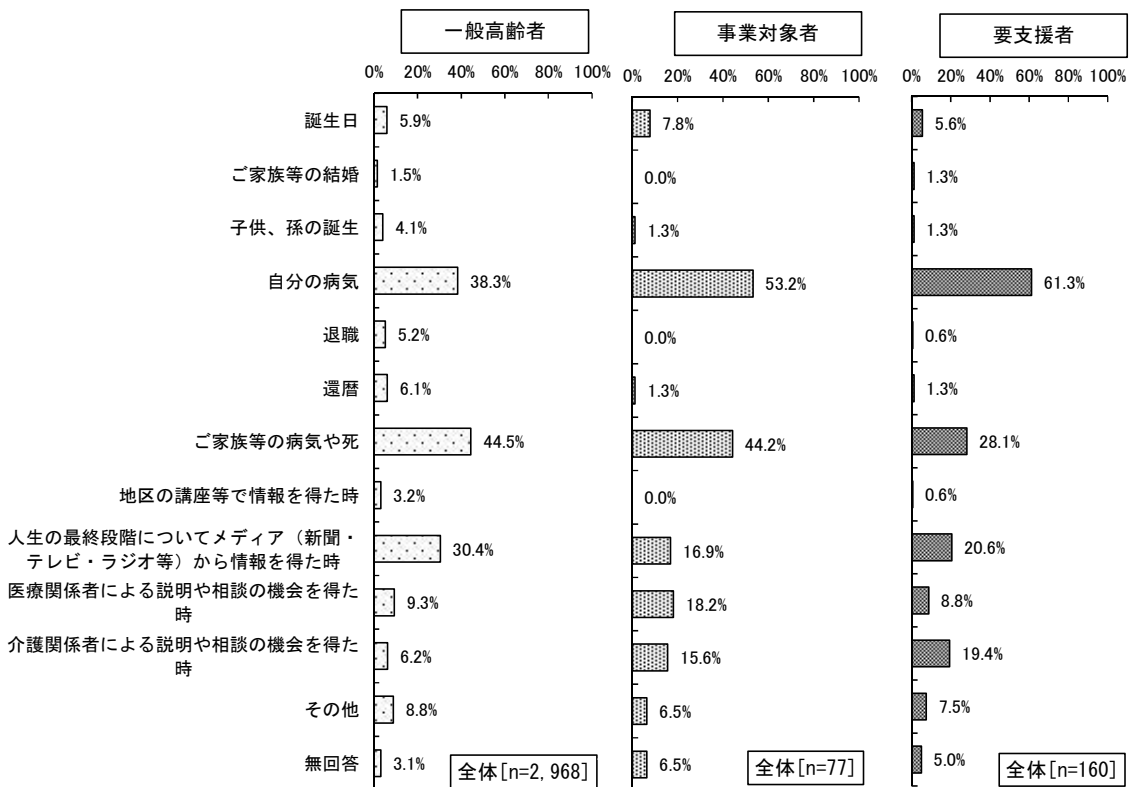
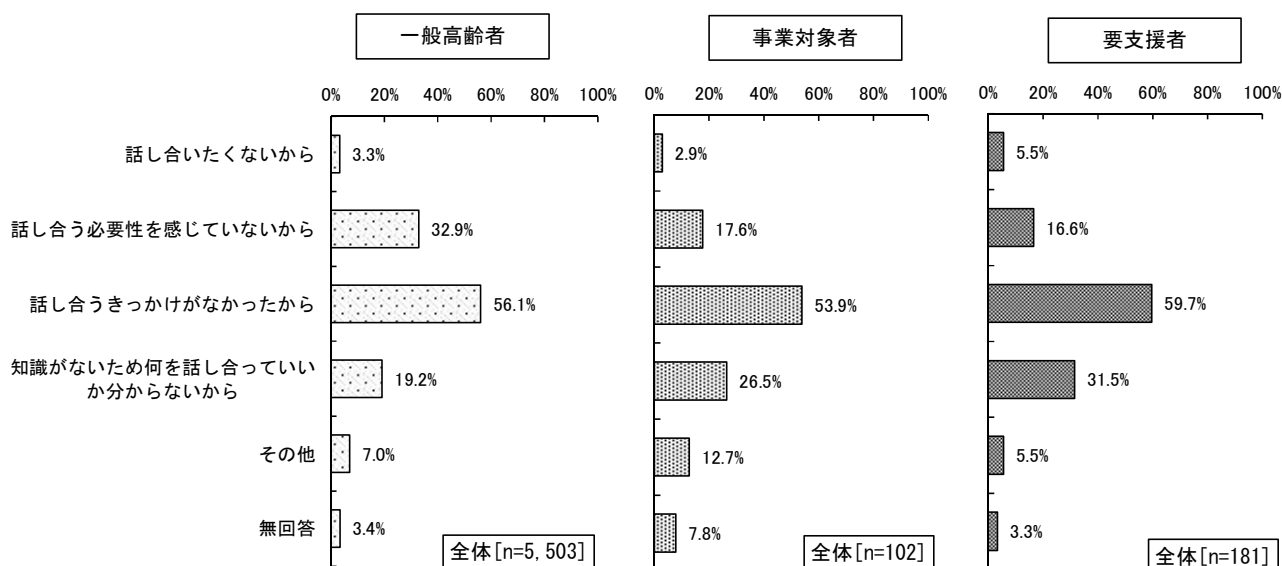


図4.100 話し合ったきっかけ<問10-(1).①>



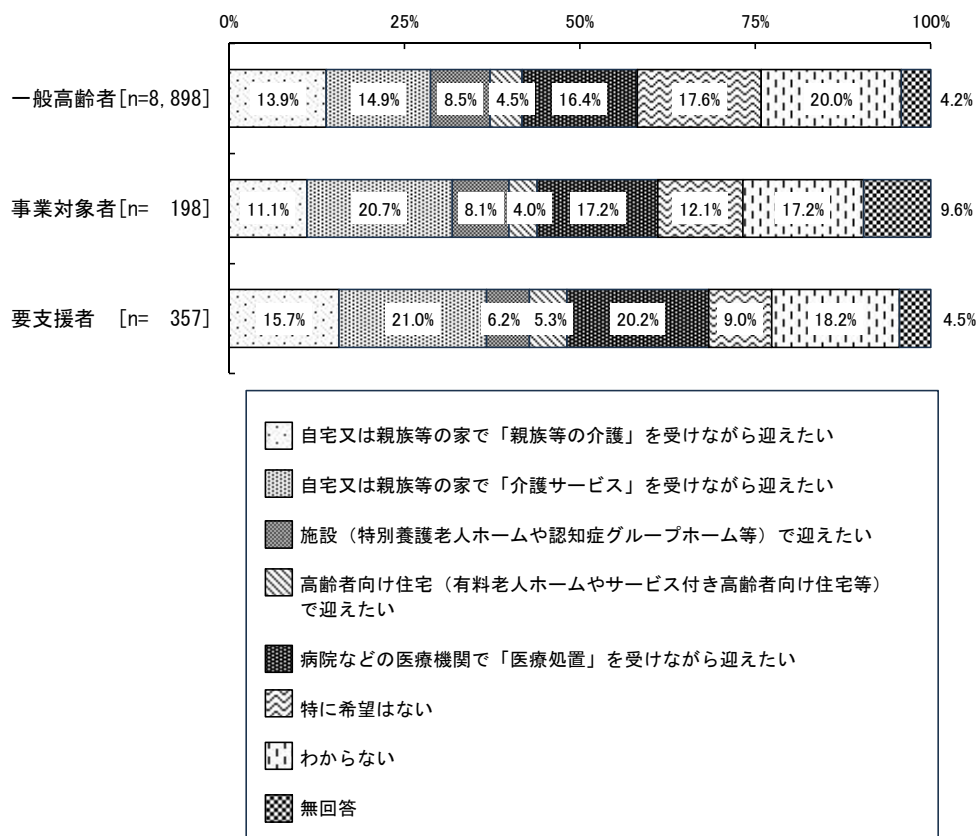
○話し合っていない理由として、一般高齢者は「話し合うきっかけがなかったから」(56.1%)が最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」(32.9%)、「知識がないため何を話し合っているか分からないから」(19.2%)となっています。事業対象者・要支援者いずれも「話し合うきっかけがなかったから」(53.9%・59.7%)が最も高く、次いで「知識がないため何を話し合っているか分からないから」(26.5%・31.5%)となっています。

図4.101 話し合っていない理由<問10-(1).②>



○どこで、どのように人生の最後を迎えることを希望するかについて、一般高齢者は「特に希望はない」(17.6%)が最も高く、次いで「病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい」(16.4%)、「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい」(14.9%)となっています。事業対象者・要支援者いずれも「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい」(20.7%・21.0%)が最も高く、次いで「病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい」(17.2%・20.2%)となっています。(「わからない」を除く)

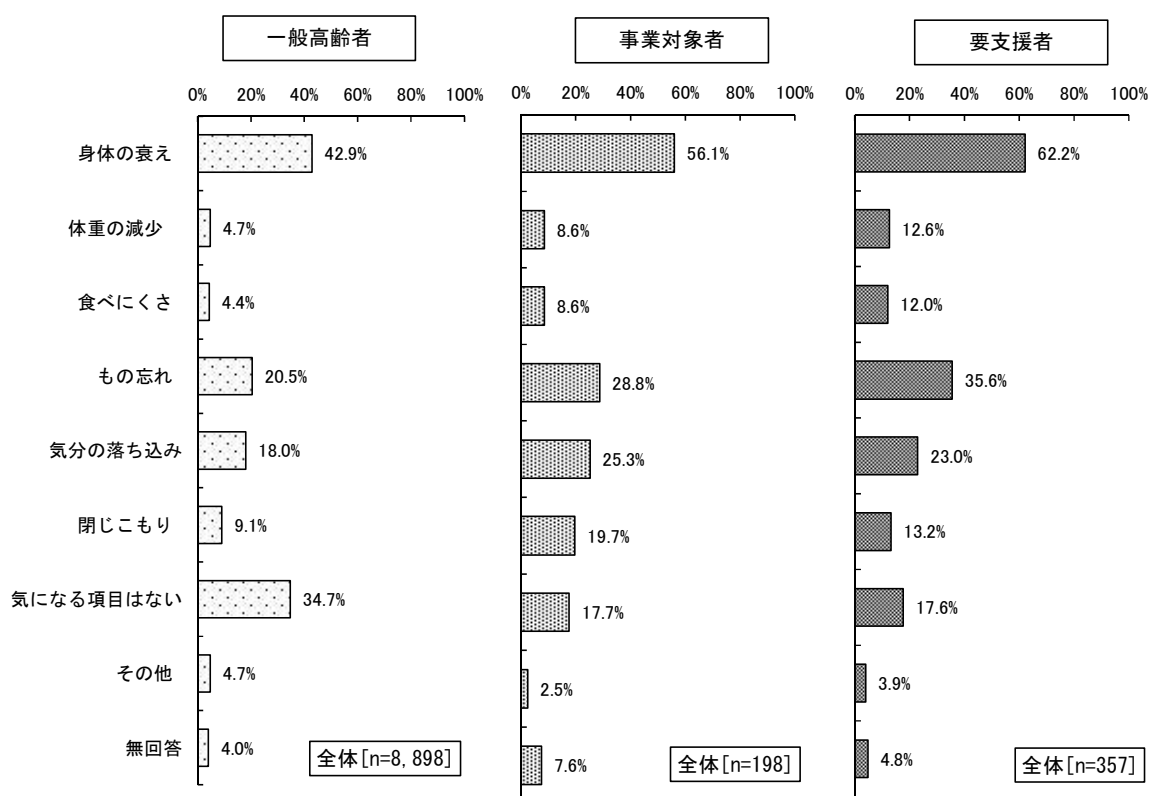
図 4.102 どこで、どのように人生の最後を迎えることを希望するか<問 10-(2)>



11 その他

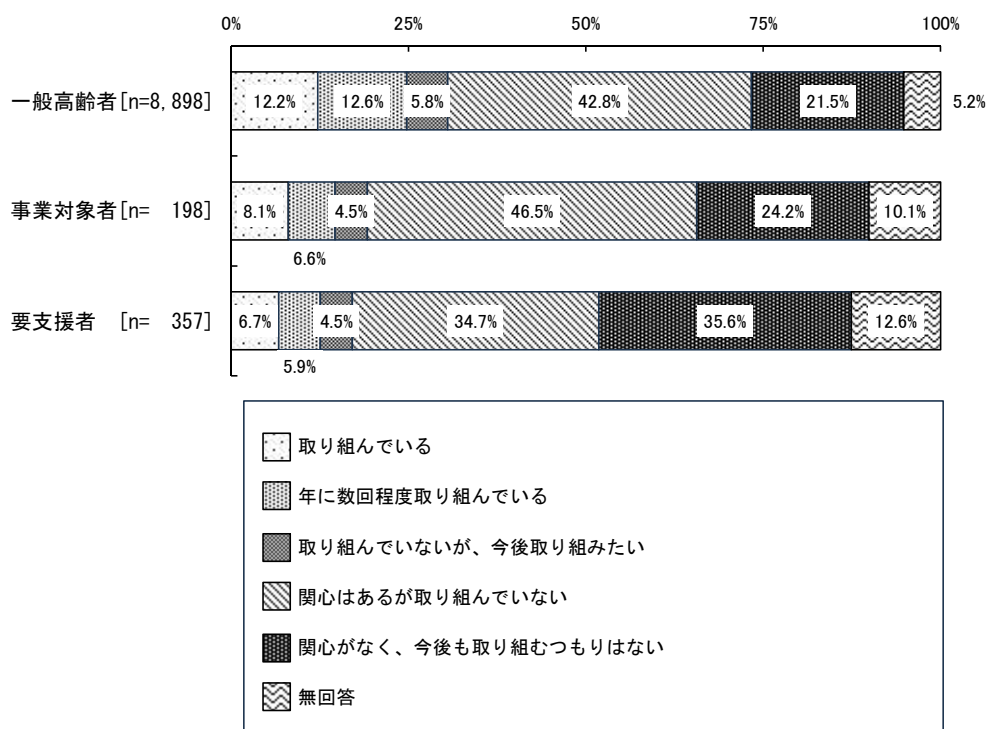
○新型コロナウイルス感染症流行以前（令和元年）と比べ、気になることについて、一般高齢者は「身体の衰え」（42.9%）が最も高く、次いで「気になる項目はない」（34.7%）、「もの忘れ」（20.5%）となっています。事業対象者・要支援者いずれも「身体の衰え」（56.1%・62.2%）が最も高く、次いで「もの忘れ」（28.8%・35.6%）、「気分の落ち込み」（25.3%・23.0%）となっています。

図 4.103 新型コロナウイルス感染症流行以前（令和元年）と比べ、気になること<問 11-(1)>



○生活の中で文化・芸術の鑑賞活動に取り組んでいるかについて、一般高齢者は「関心はあるが取り組んでいない」(42.8%)が最も高く、次いで「関心がなく、今後もし取り組むつもりはない」(21.5%)、「年に数回程度取り組んでいる」(12.6%)となっています。事業対象者は「関心はあるが取り組んでいない」(46.5%)が最も高く、次いで「関心がなく、今後もし取り組むつもりはない」(24.2%)、「取り組んでいる」(8.1%)となっています。要支援者は「関心がなく、今後もし取り組むつもりはない」(35.6%)が最も高く、次いで「関心はあるが取り組んでいない」(34.7%)、「取り組んでいる」(6.7%)となっています。

図 4.104 生活の中で文化・芸術の鑑賞や活動に取り組んでいるか<問 11-(2)>



第5章

高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果
(在宅介護実態調査結果)

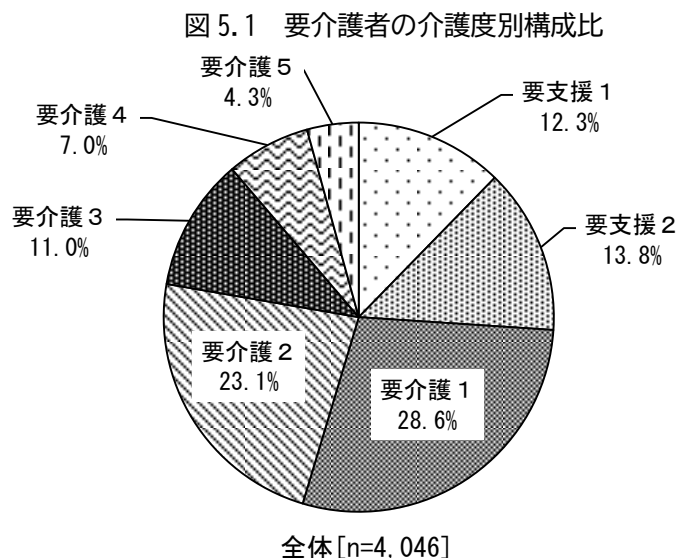
山形市

第5章 高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果 （在宅介護実態調査結果）

1 ご本人（要介護者）の状況について

（1）要介護者の介護度

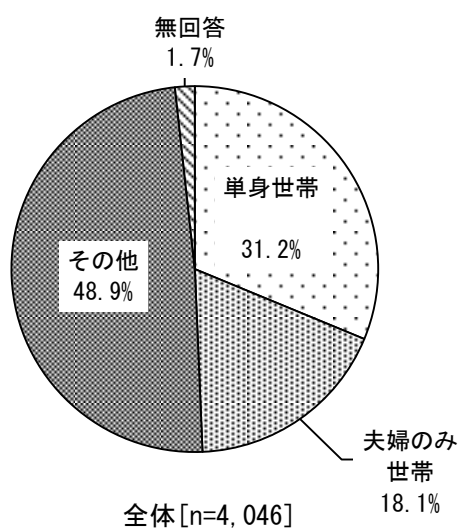
○回答のあった要介護者の介護度をみると、「要介護1」（28.6%）が最も高く、次いで「要介護2」（23.1%）、「要支援2」（13.8%）、「要支援1」（12.3%）となっています。



（2）要介護者の世帯状況

○世帯類型をみると、「単身世帯」は31.2%、「夫婦のみ世帯」は18.1%となっており、「その他」の世帯が48.9%と最も高くなっています。

図 5.2 世帯類型<問1>



(3) 家族・親族から介護してもらう頻度

○家族・親族による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(42.9%)が最も高く、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」と合わせると66.7%の方が家族・親族による介護を受けている状況です。

○また、介護度別にみると、要介護1～5では「ほぼ毎日ある」(45.9～54.8%)、要支援1・2では「ない」(48.9・35.4%)が最も高くなっています。

図 5.3 家族・親族から介護してもらう頻度<問 2>

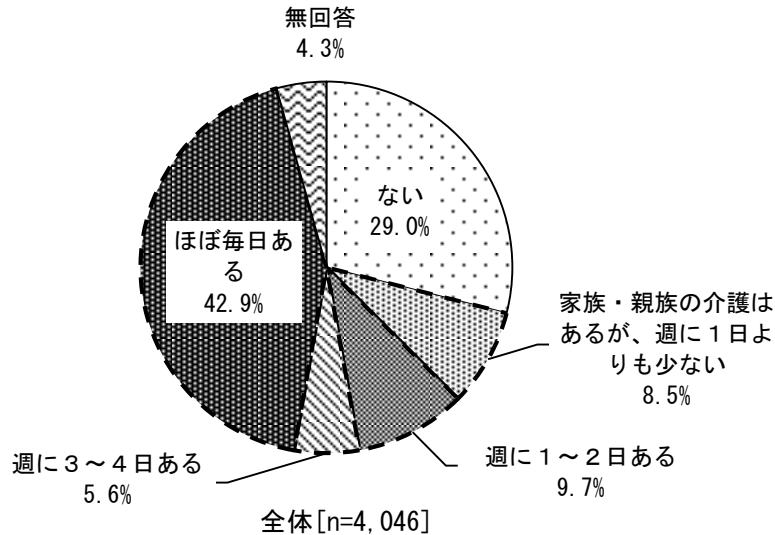
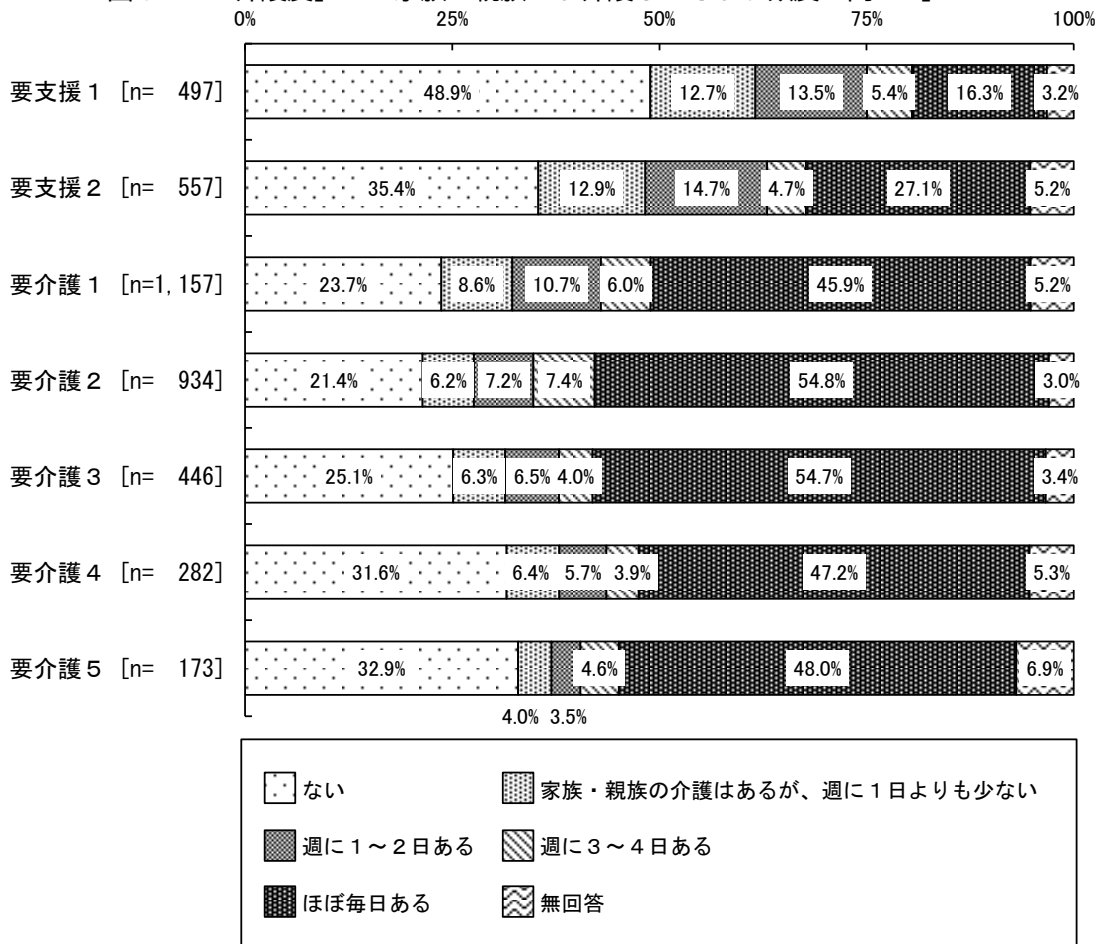
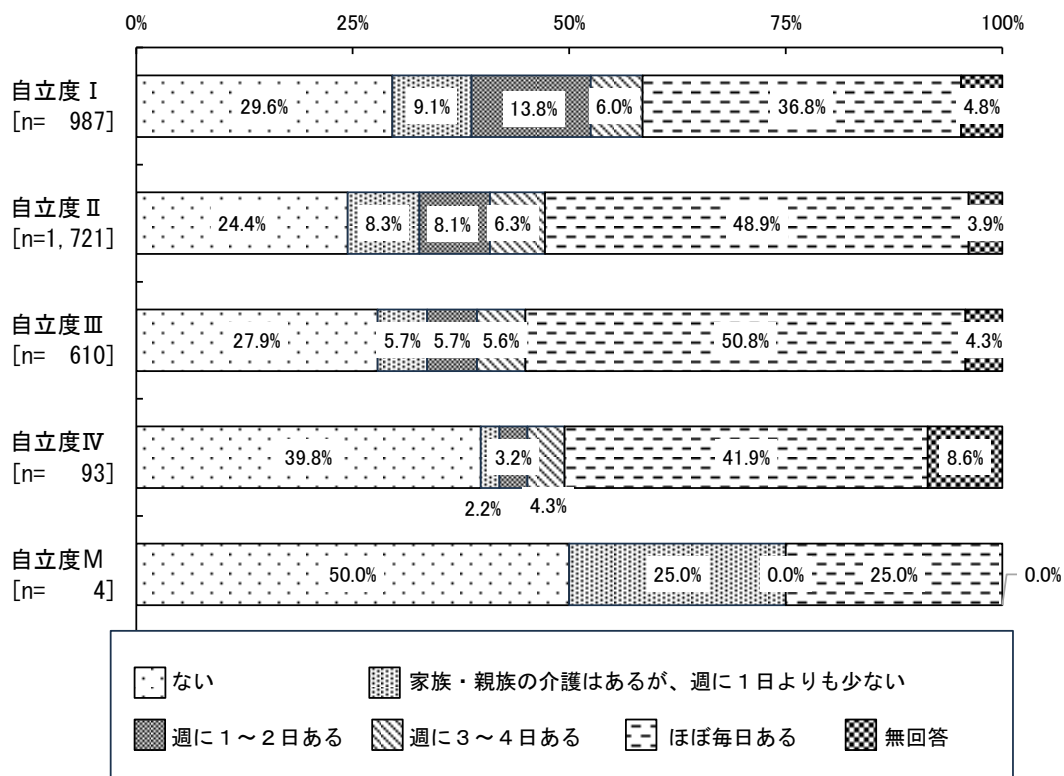


図 5.4 「介護度」 × 「家族・親族から介護してもらう頻度<問 2>」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、自立度Ⅰ～Ⅳで「ほぼ毎日ある」(36.8～50.8%)が最も高く、次いで「ない」(24.4～39.8%)となっています。

図 5.5 「認知症高齢者日常生活自立度」×「家族・親族から介護してもらう頻度<問2>」



2 主な介護者等の状況（属性等）について

（1）主な介護者の状況

- 要介護者からみた主な介護者は、「子」(51.6%) が最も高く、次いで「配偶者」(25.7%)、「子の配偶者」(14.6%) となっています。
- 主な介護者の性別は、「女性」(66.9%)、「男性」(31.9%) となっています。
- 主な介護者の年齢は、「60～69歳」(35.1%) が最も高く、次いで「50～59歳」(22.8%)、「70～79歳」(19.1%)、「80歳以上」(16.2%) となっています。

図 5.6 要介護者からみた主な介護者<問 3>

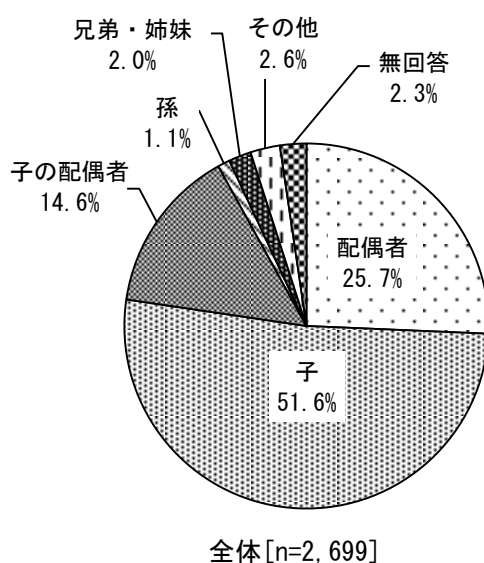


図 5.7 主な介護者の性別<問 4>

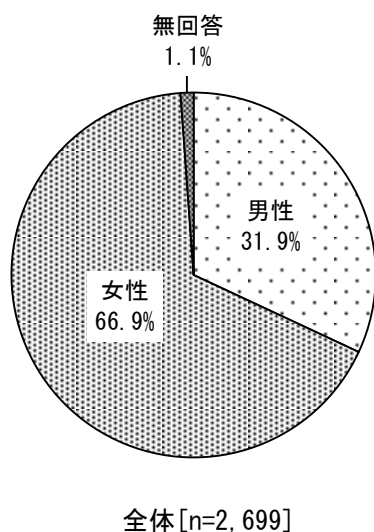
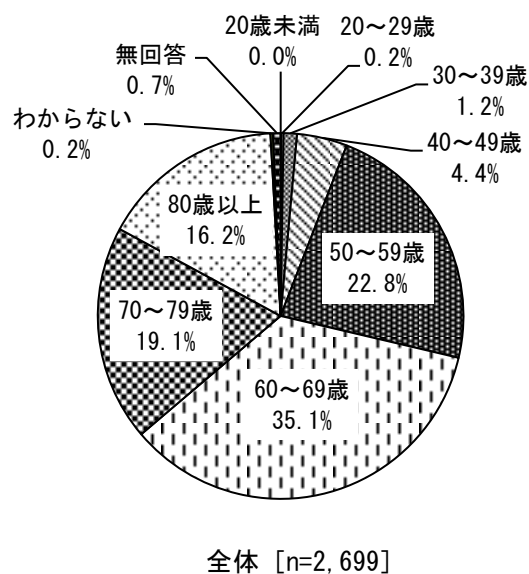


図 5.8 主な介護者の年齢<問 5>

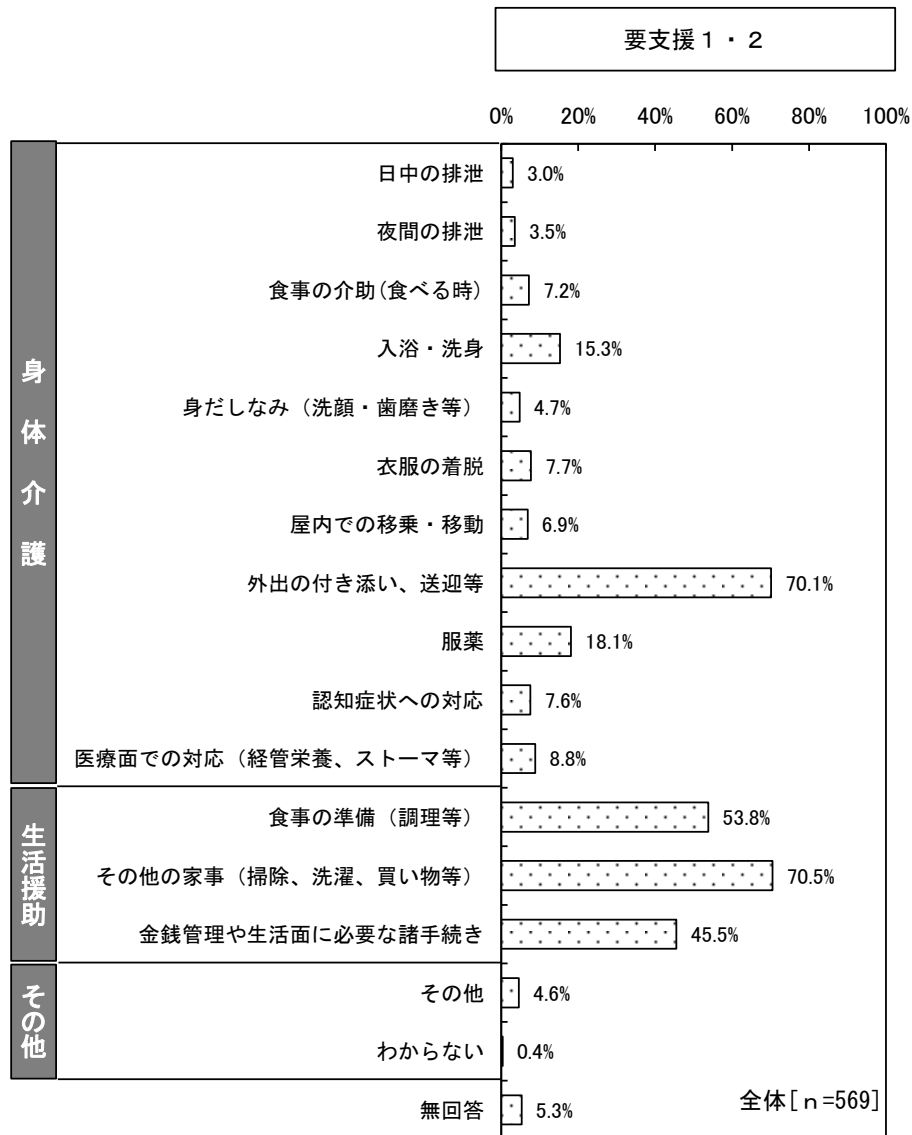


(2) 主な介護者の介護実態

○要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(70.1%)が最も高く、次いで「服薬」(18.1%)、「入浴・洗身」(15.3%)となっています。

○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が70.5%、「食事の準備(調理等)」が53.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が45.5%となっています。

図 5.9 主な介護者が行っている介護等<問6>

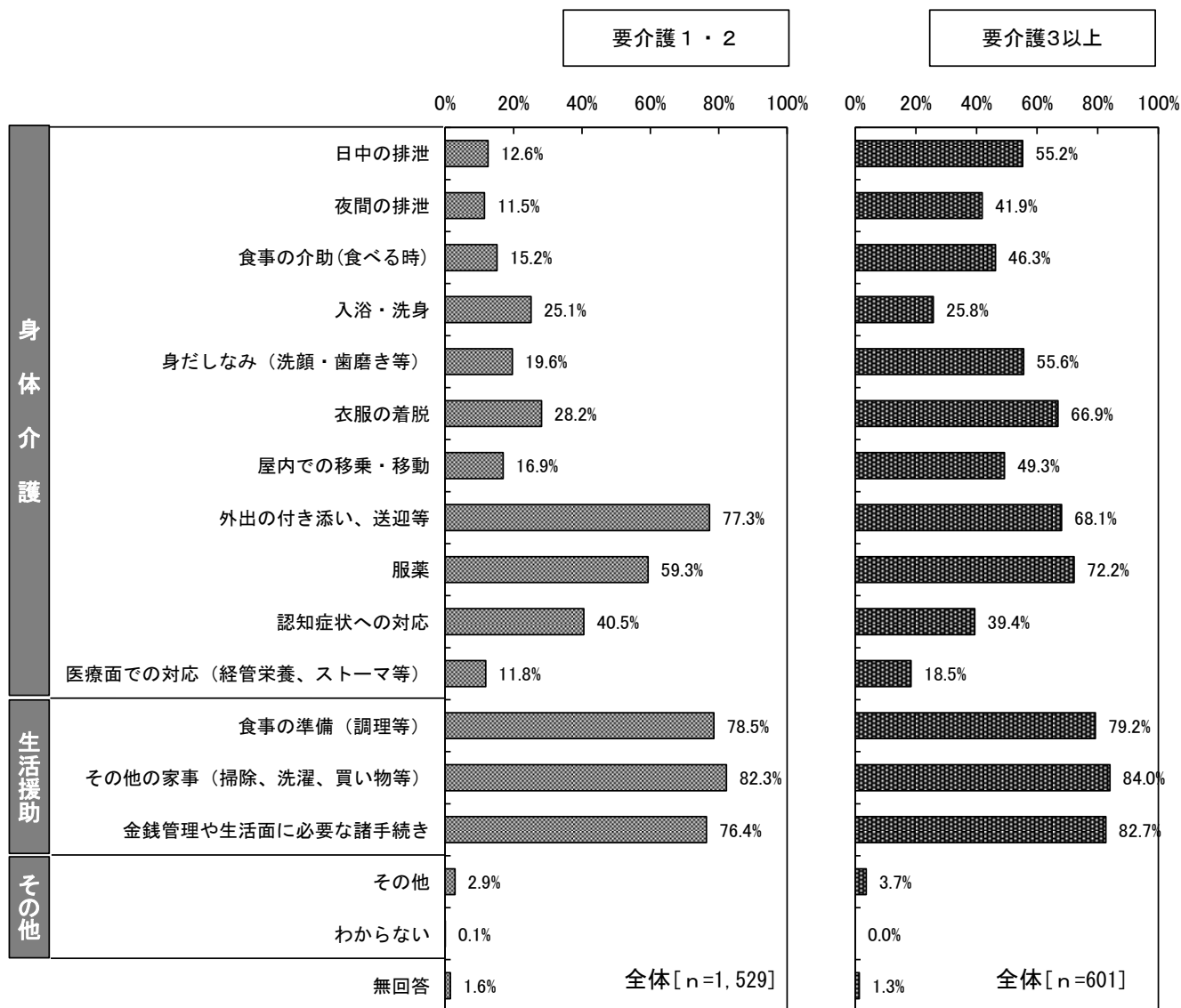


○要介護1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(77.3%)、「服薬」(59.3%)が高くなっています。

○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が82.3%、「食事の準備(調理等)」が78.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が76.4%となっています。

○要介護3以上の方の身体介護をみると、「服薬」(72.2%)、「外出の付き添い、送迎等」(68.1%)、「衣服の着脱」(66.9%)で割合が高くなっています。

○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が84.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が82.7%、「食事の準備(調理等)」が79.2%となっています。



（3）家族・親族が介護のために離職した状況

○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（7.6%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（1.4%）が離職し、2.8%の方が転職しています。

○世帯類型では、介護離職者と継続就労者とも「その他」の世帯（62.3%・57.0%）が最も高く、次いで「単身世帯」（23.4%・33.3%）、「夫婦のみ世帯」（12.3%・9.0%）となっています。

図 5.10 家族・親族の介護による退職・転職状況<問7>

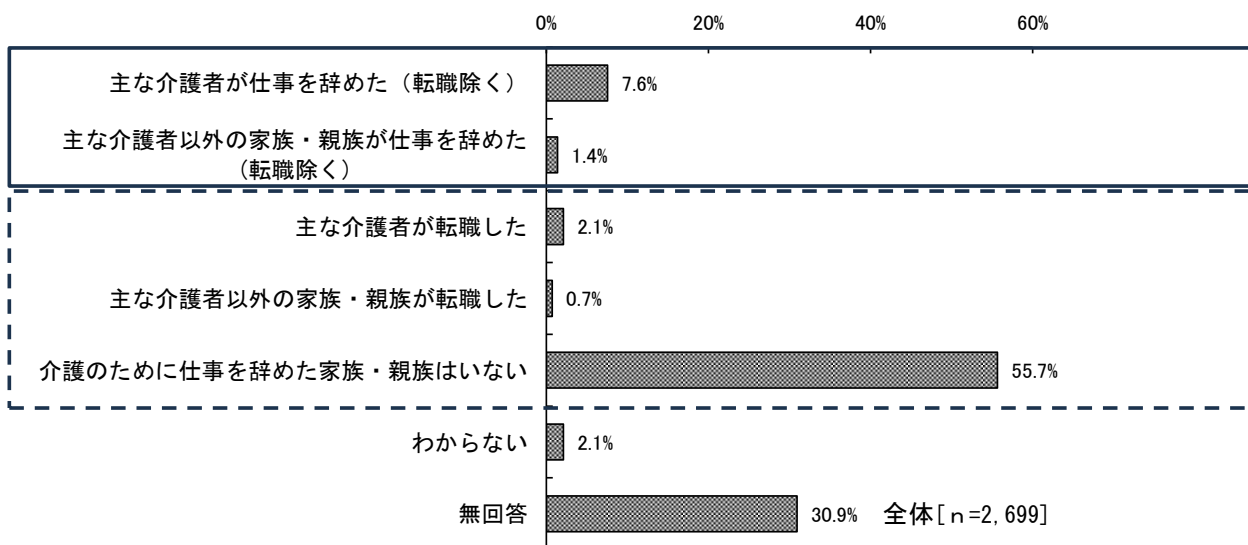
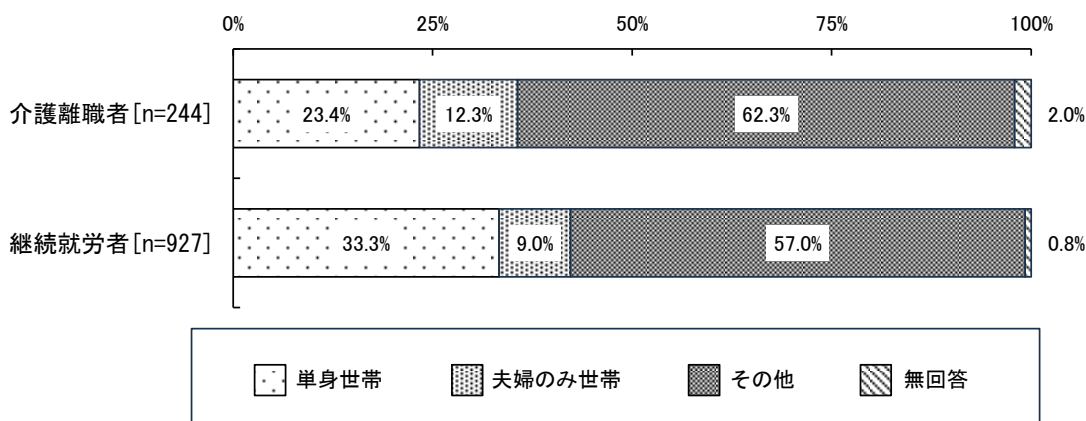


図 5.11 「介護離職者・継続就労者別」×「世帯類型<問1>

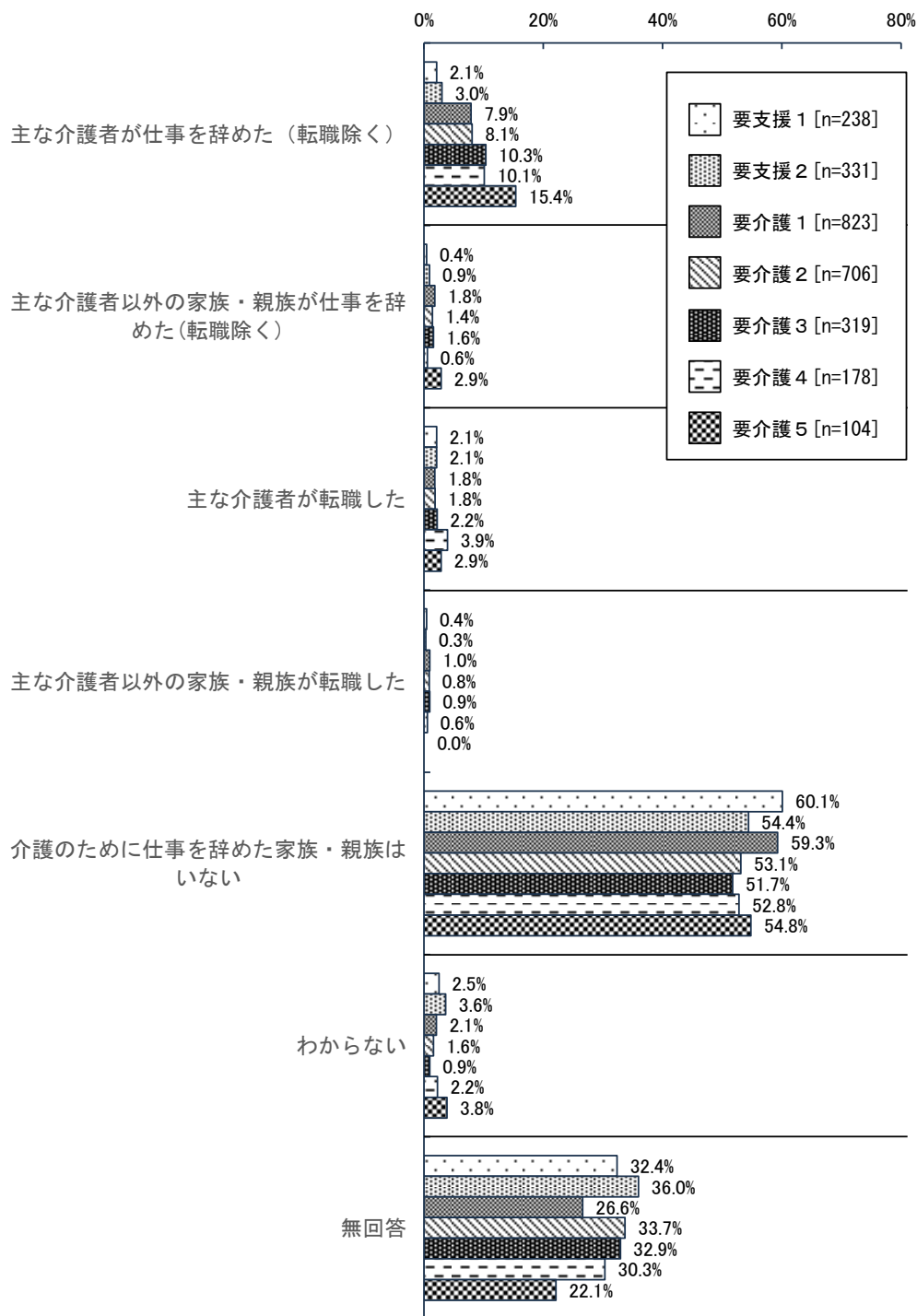


※介護離職者：問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

○介護度別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、全ての要支援、要介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(51.7~60.1%)が最も高く、次いで要支援1・2では「わからない」(2.5%、3.6%)、要介護1~5では「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(7.9~15.4%)となっています。

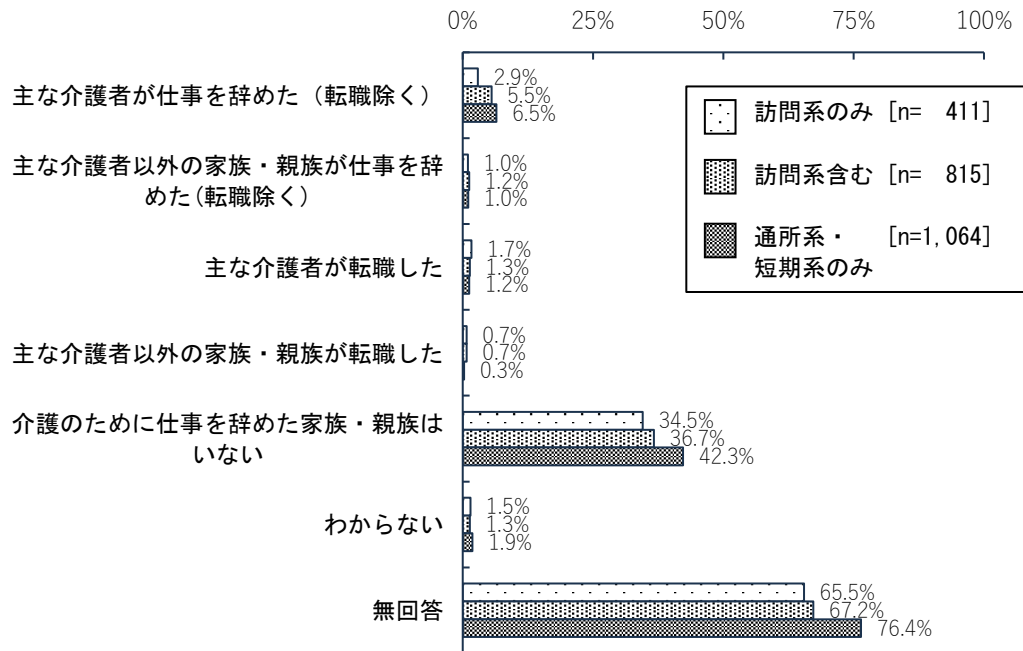
図 5.12 「介護度」×「家族・親族の介護による退職・転職状況<問 7>」



○サービス利用状況別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」方は、訪問系を含むサービス利用状況が7.4%、訪問系だけのサービス利用状況が2.6%、通所系・短期系だけのサービス利用状況が6.1%となっています。

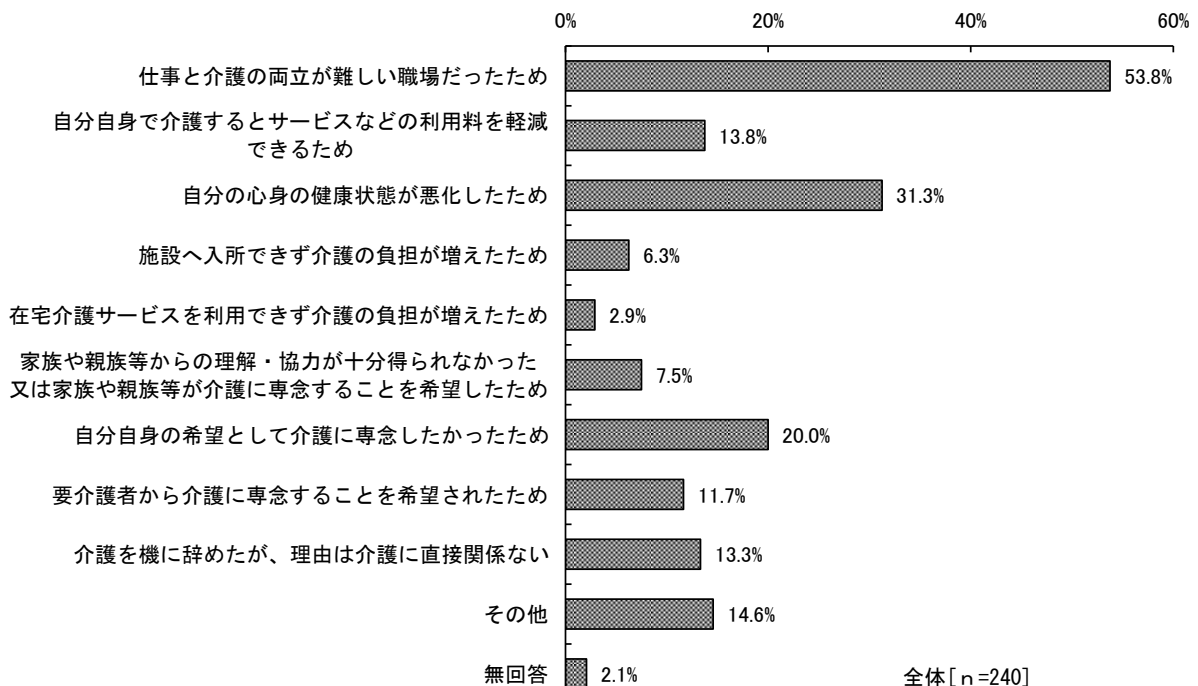
○「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」方は、訪問系を含むサービス利用状況が62.2%、通所系・短期系だけのサービス利用状況が62.0%、訪問系だけのサービス利用状況が55.3%となっています。

図 5.13 「サービス利用状況」×「家族・親族の介護による退職・転職状況<問7>」



○家族が仕事を辞めた理由としては、「仕事と介護の両立が難しい職場だったため」（53.8%）が最も高く、次いで「自分自身の健康状態が悪化したため」（31.3%）、「自分自身の希望として介護に専念したかったため」（20.0%）となっています。

図 5.14 家族が仕事を辞めた理由<問7-1>

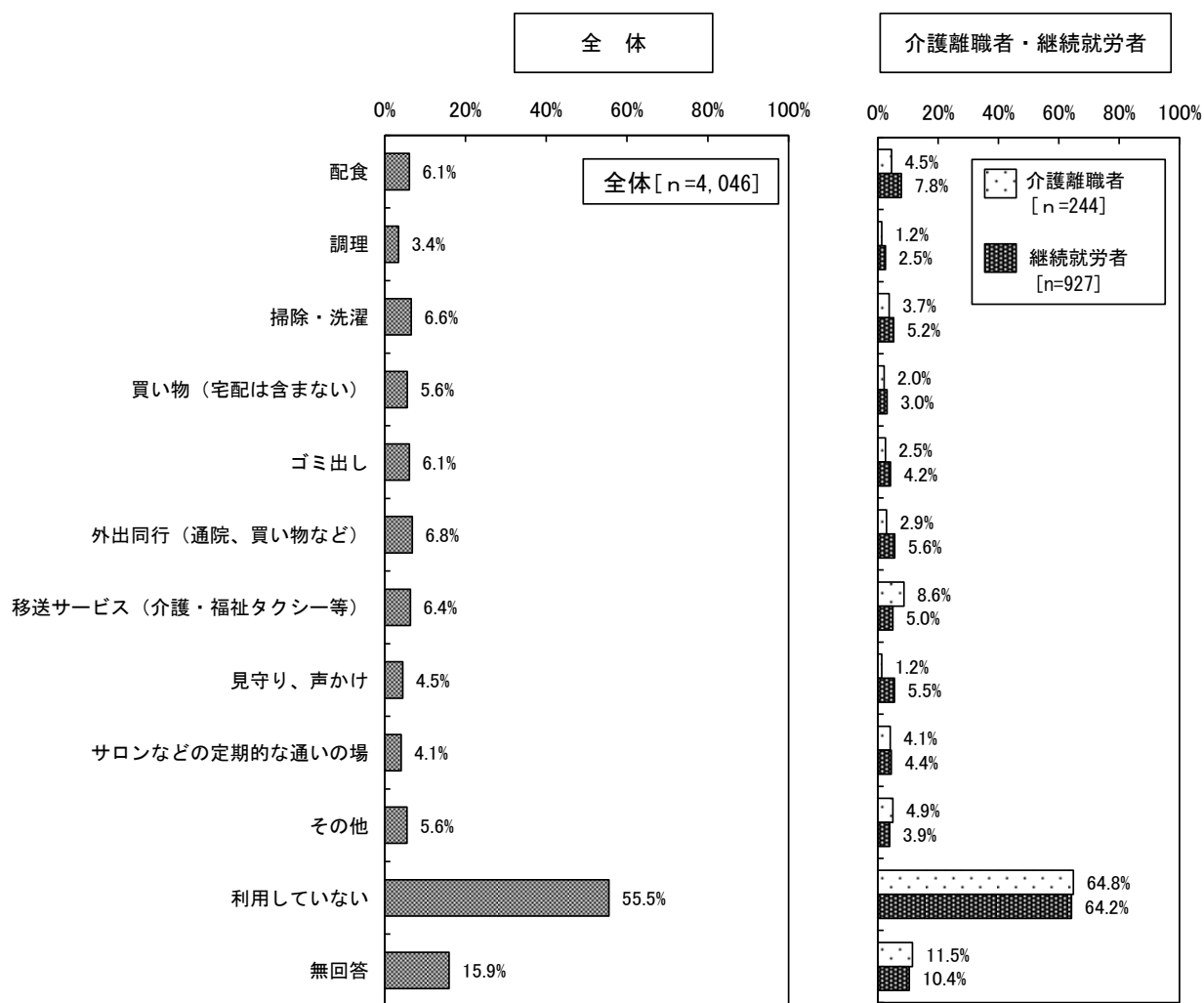


3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」(55.5%)が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(6.8%)となっています。
- 介護離職者・継続就労者ともに「利用していない」(64.8%・64.2%)が最も高くなっています。次いで、介護離職者では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(8.6%)、「配食」(4.5%)、継続就労者では「配食」(7.8%)、「外出同行(通院、買い物など)」(5.6%)となっています。

図 5.15 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況<問 8>

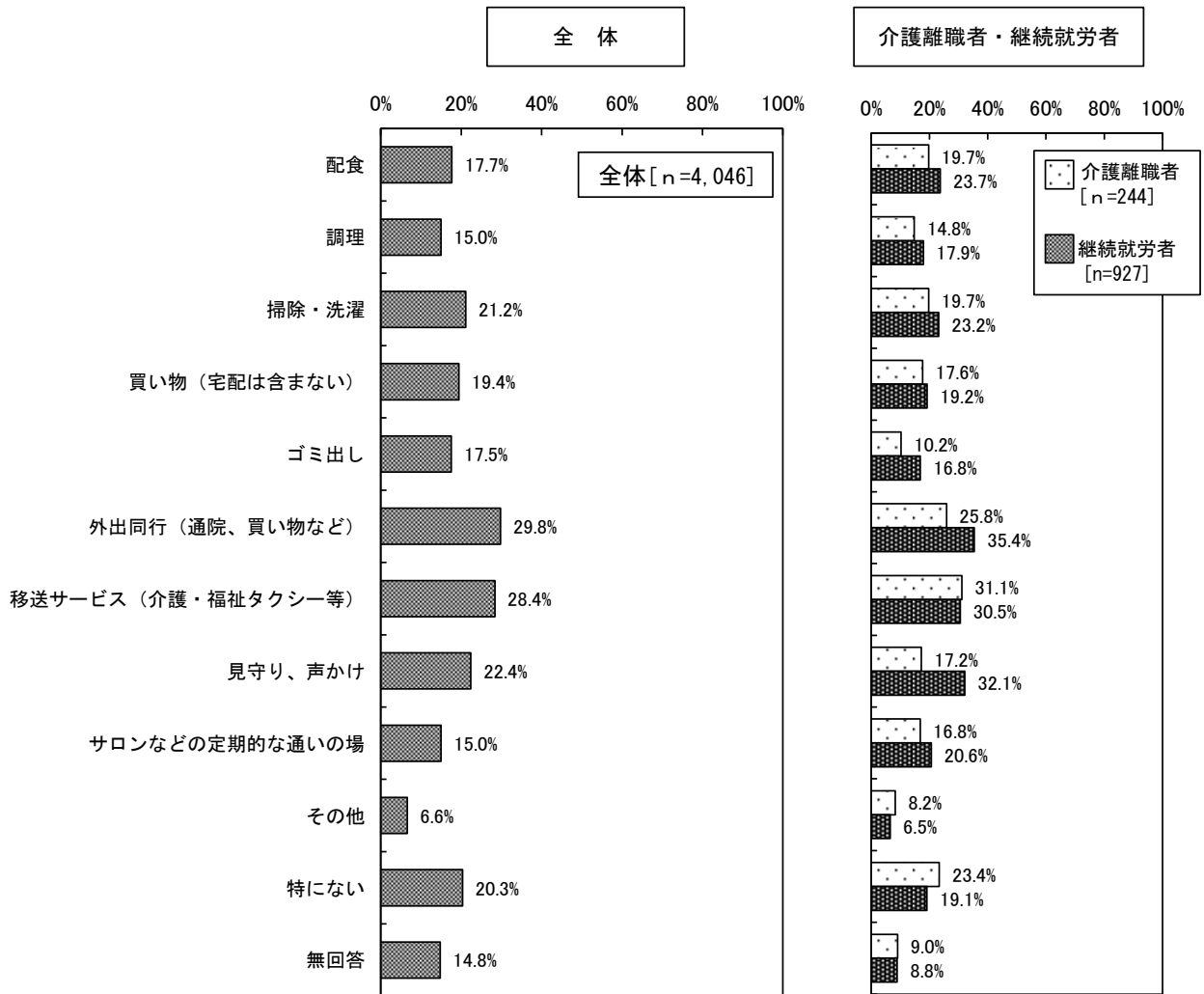


※介護離職者：問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の計です。

- 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスをみると、全体では「外出同行（通院、買い物など）」(29.8%)が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(28.4%)、「見守り、声かけ」(22.4%)、「掃除・洗濯」(21.2%)となっています。
- 介護離職者では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(31.1%)が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」(25.8%)となり、継続就労者では「外出同行（通院、買い物など）」(35.4%)が最も高く、次いで「見守り、声かけ」(32.1%)となっています。

図 5.16 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス<問9>



※介護離職者：問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

- 在宅生活を続けていくにはどの介護サービスが必要だと思うかでは、全体では「デイサービスなどの通所系のサービス」(26.7%)が最も高く、次いで「ヘルパーなどの訪問系のサービス」(23.7%)、「ショートステイなどの短期系サービス」(22.7%)となっています。
- 介護度別にみると、「要支援1」～「要介護1」では「デイサービスなどの通所系のサービス」(30.2%～32.3%)が最も高く、「要介護2」～「要介護4」では「ショートステイなどの短期系サービス」(27.5%～30.3%)が最も高く、「要介護5」では「ヘルパーなどの訪問系のサービス」(35.3%)が最も高くなっています。

図 5.17 どの介護サービスが必要だと思うか<問 9-1>

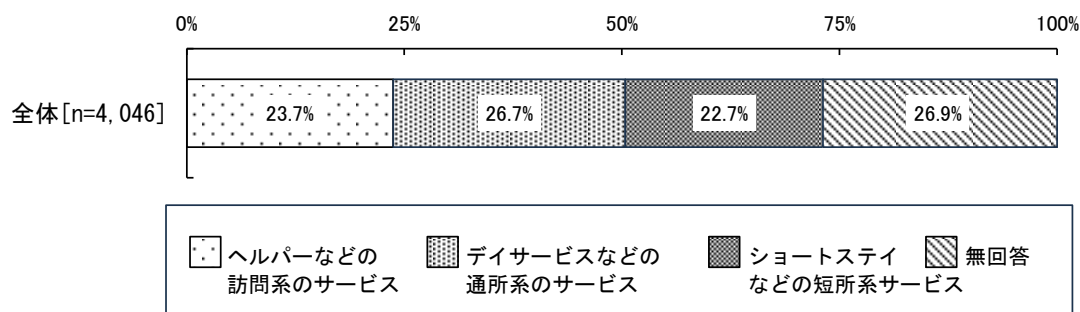
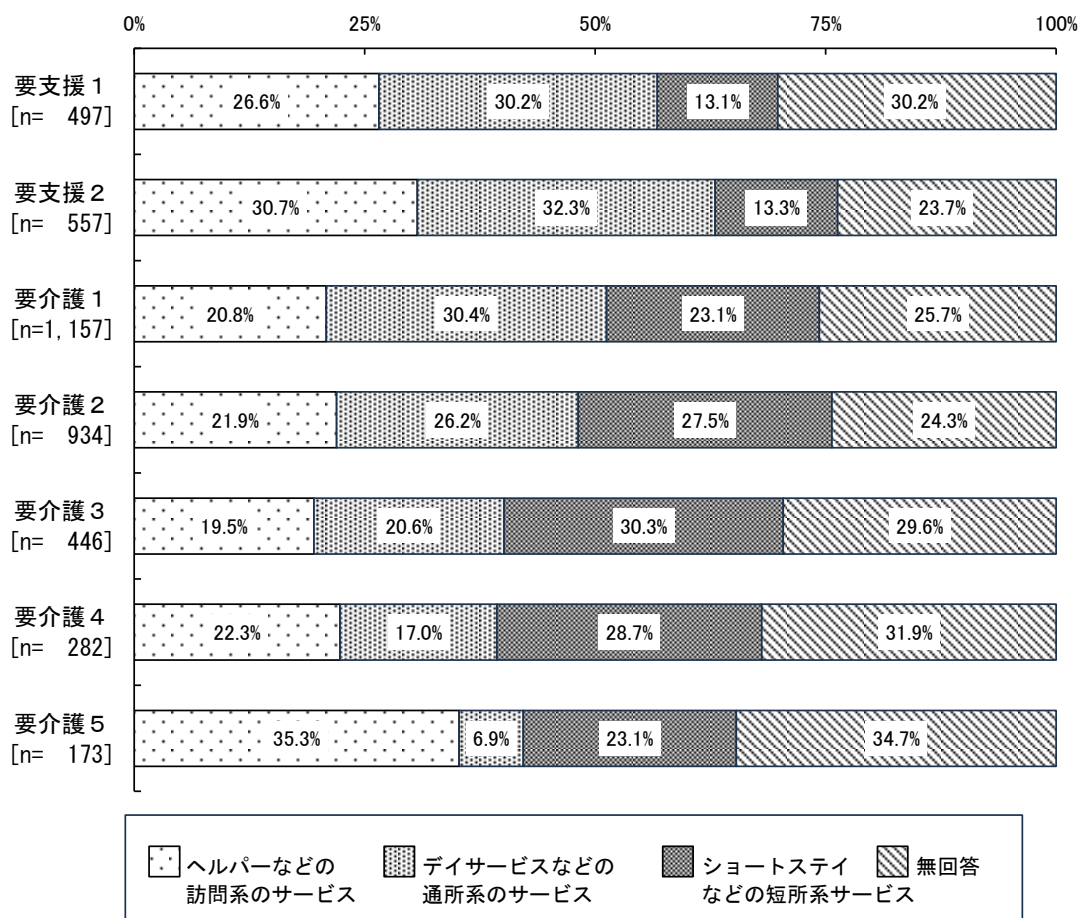


図 5.18 「要介護度」 × 「どの介護サービスが必要だと思いますか<問 9-1>」



○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた30.9%が、入所・入居予定または検討中となっています。

○介護度別の検討状況では、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、要支援1では14.3%、要支援2では15.6%、要介護1では28.3%、要介護2では36.9%、要介護3では50.7%、要介護4では44.3%、要介護5では41.0%となっています。

図 5.19 施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>

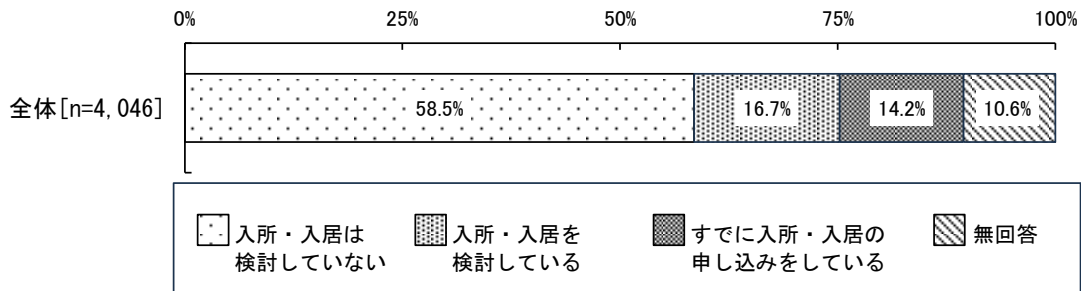
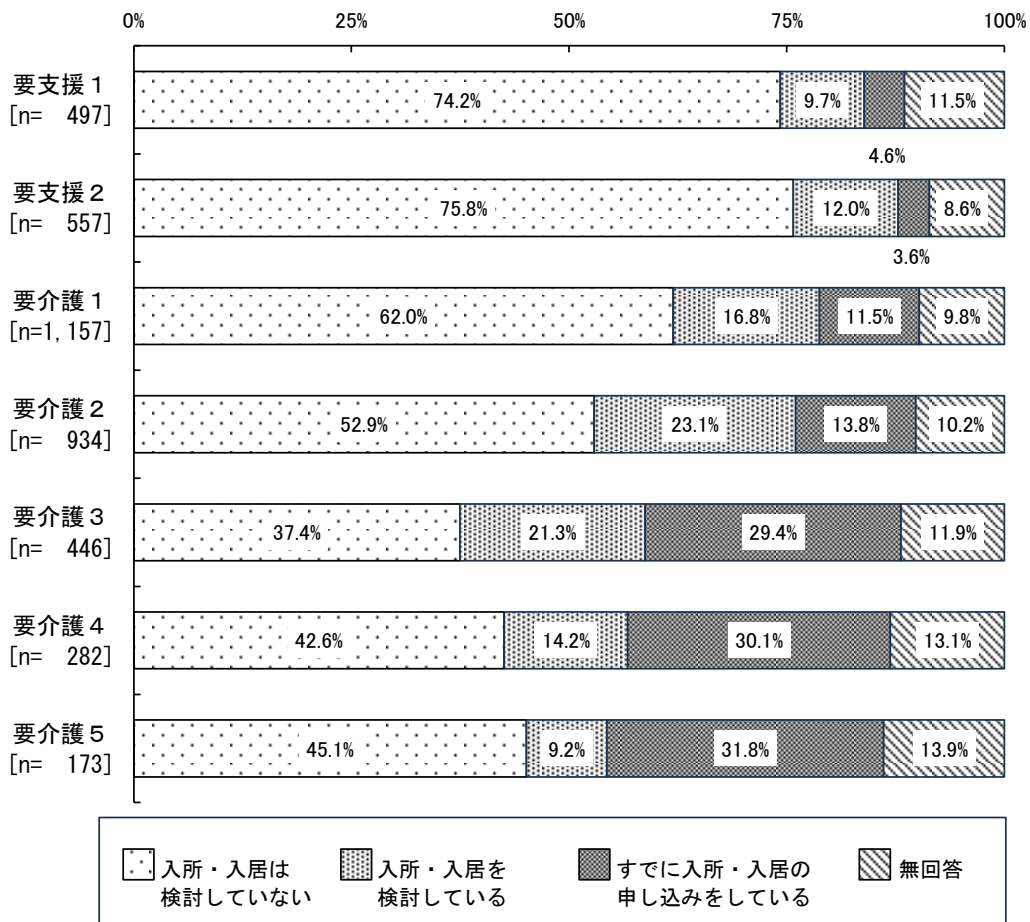
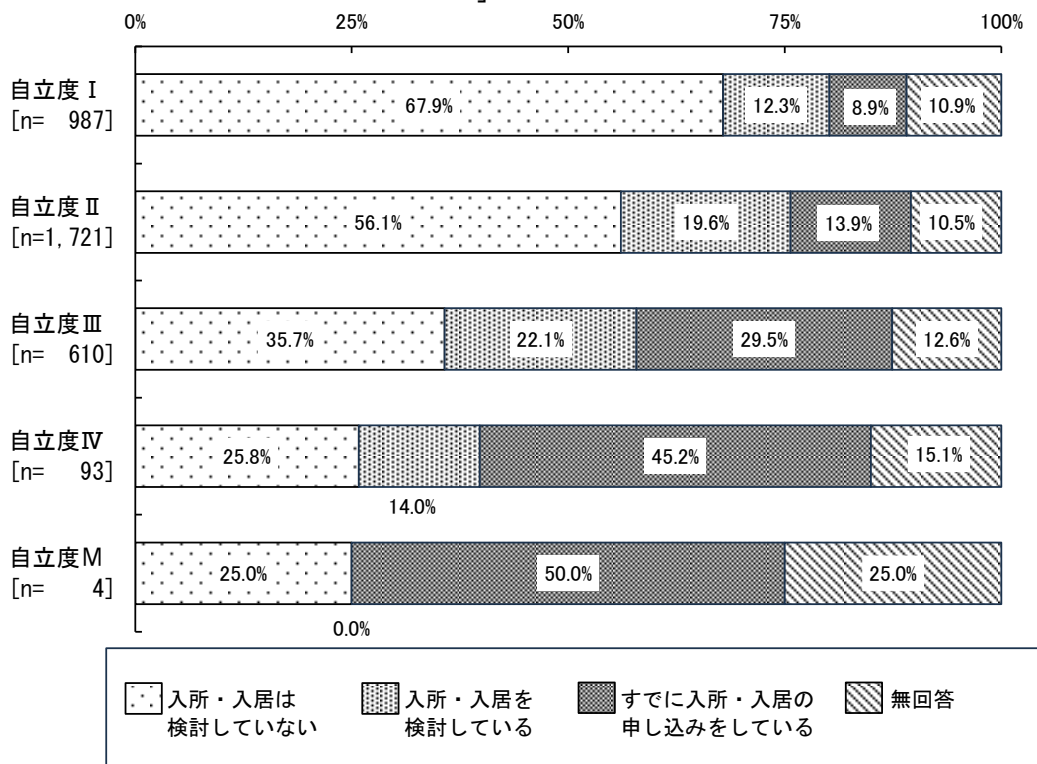


図 5.20 「要介護度」 × 「施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた施設等への入所・入居に関する検討状況は、自立度 I～IVすべてにおいて、「入所・入居は検討していない」(55.7%～60.0%)が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(19.3%～21.1%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(10.2%～13.2%)となっています。

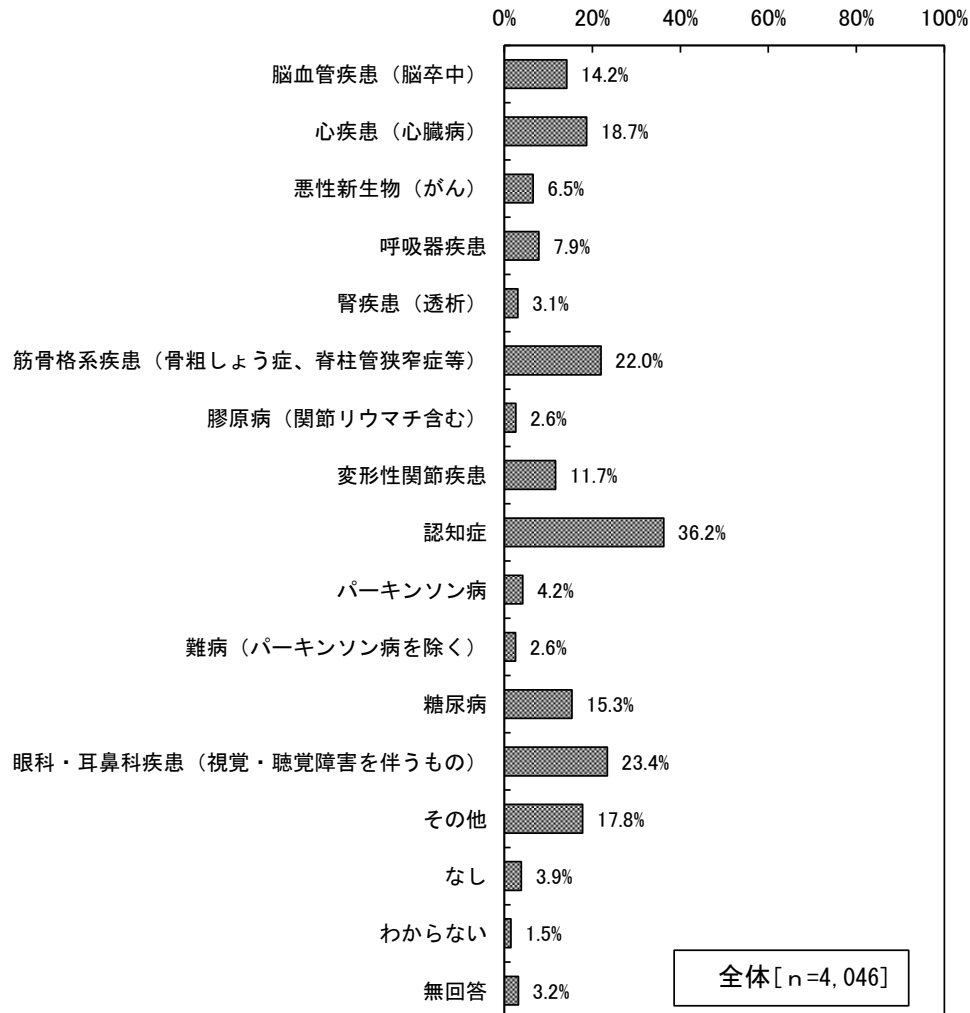
図 5.21 「認知症高齢者日常生活自立度」×「施設等への入所・入居に関する検討状況<問 10>」



（2）訪問診療の利用状況

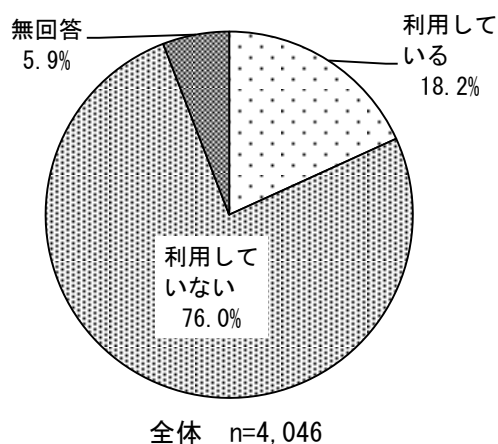
○要介護者が現在抱えている傷病名をみると、「認知症」（36.2%）が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（23.4%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（22.0%）となっています。

図 5.22 要介護者が現在抱えている傷病名<問 11>



○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」方は18.2%となっています。

図 5.23 訪問診療を利用しているか<問 12>



(3) 介護保険サービスの利用状況

- 介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」は57.6%、「利用していない」は36.5%となっています。
- 介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(42.2%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(17.7%)、「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」(16.5%)となっています。

図 5.24 介護保険サービスの利用状況<問 13>

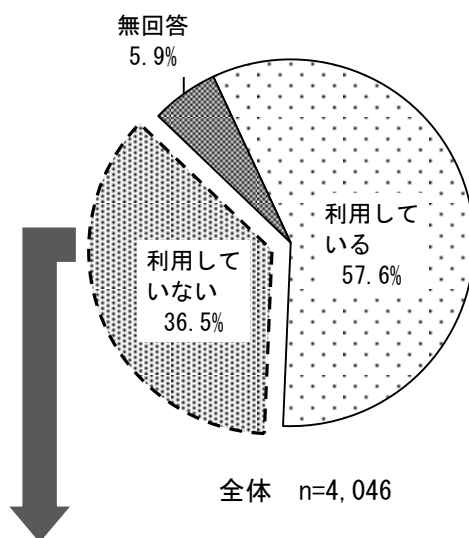
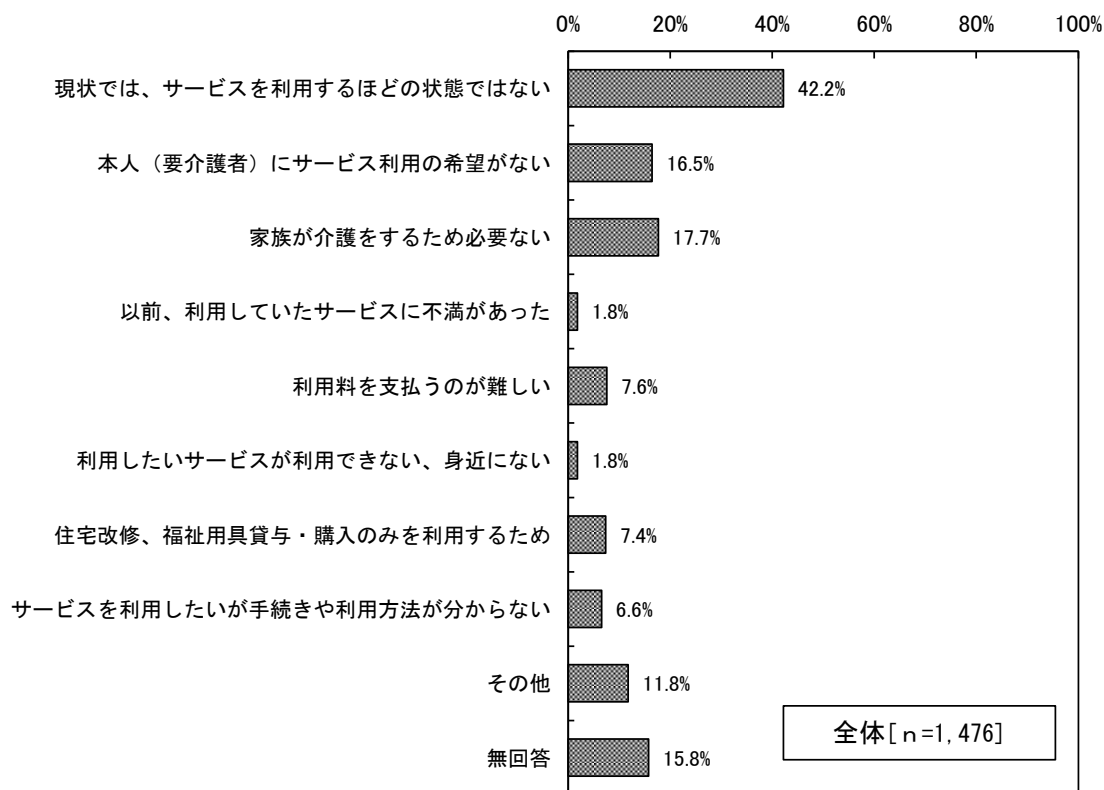


図 5.25 介護保険サービスを利用していない理由<問 13-1>

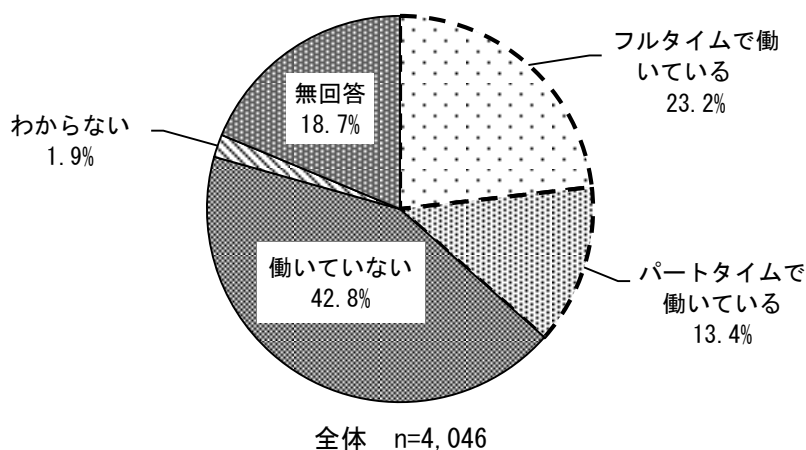


4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」(23.2%)、「パートタイムで働いている」(13.4%)を合わせた36.6%の方が就労しています。

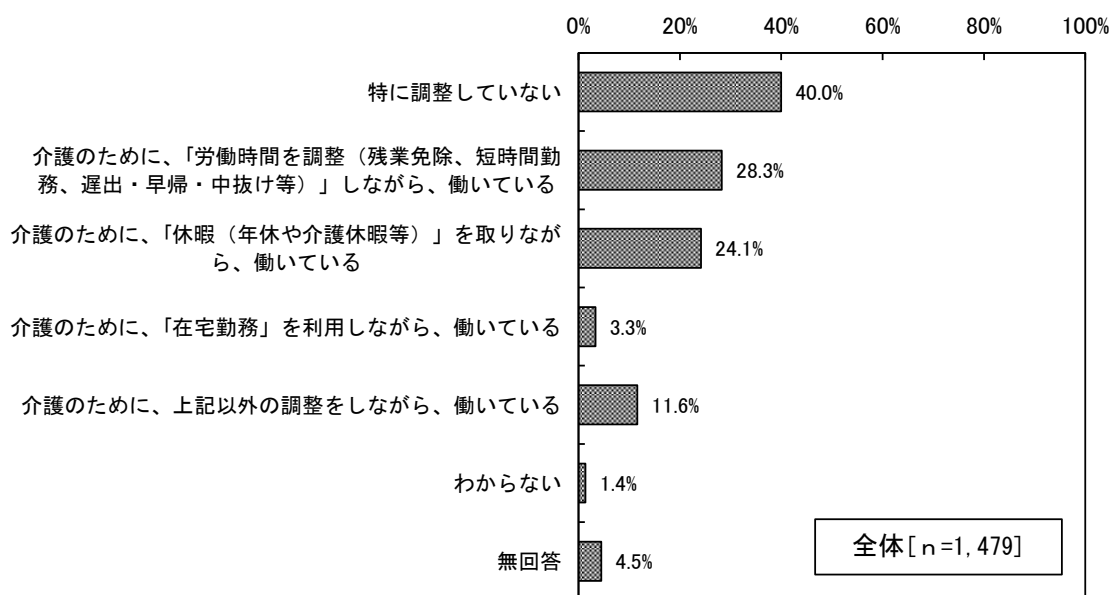
図 5.26 主な介護者の現在の勤務形態<問 14>



(2) 就労実態と意向

○介護による働き方の調整をみると、「特に調整していない」(40.0%)が最も高く、次いで、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」(28.3%)、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」(24.1%)となっています。

図 5.27 働き方を調整しているか<問 14-1>



- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(27.0%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(23.9%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(22.7%)となっています。
- 今後の介護と仕事の両立については、「問題なく、続けていける」(21.6%)と「問題はあるが、何とか続けていける」(52.7%)を合わせた今後も継続できる方は74.3%、一方、「続けていくのは、やや難しい」(7.6%)と「続けていくのは、かなり難しい」(7.4%)を合わせた継続が困難な方は15.0%となっています。

図 5.28 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援<問 14-2>

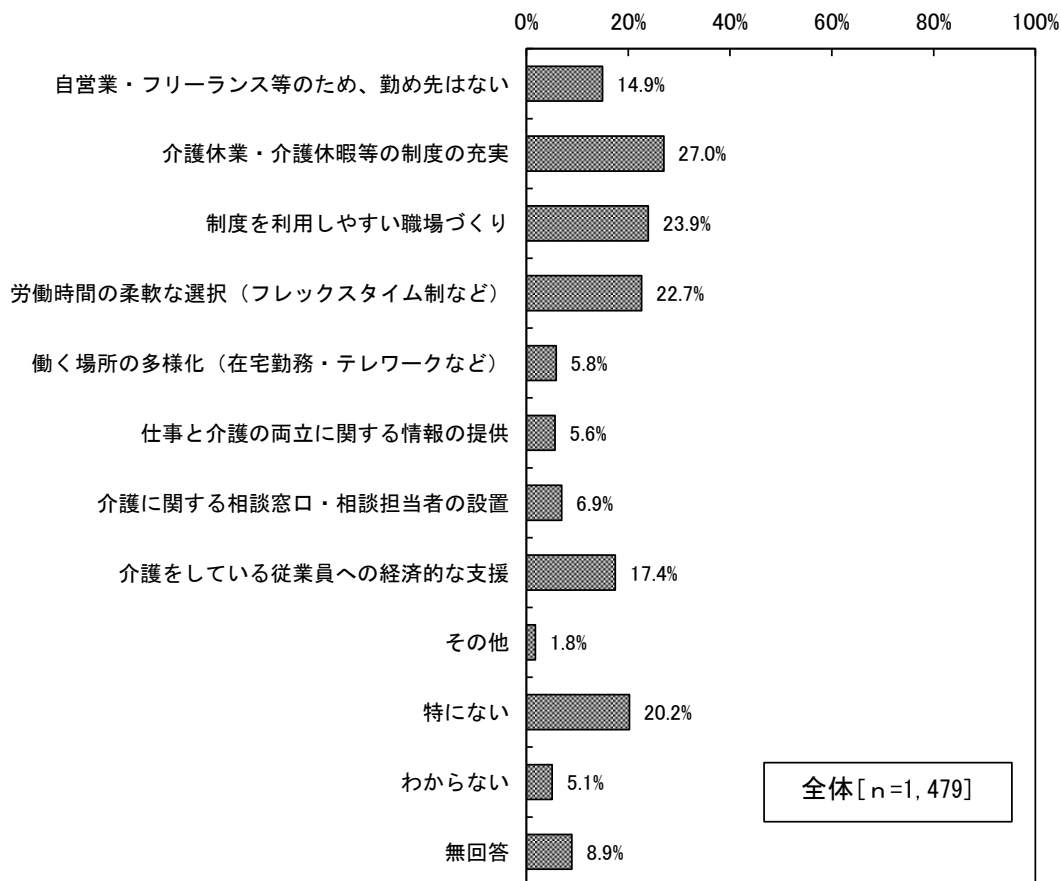
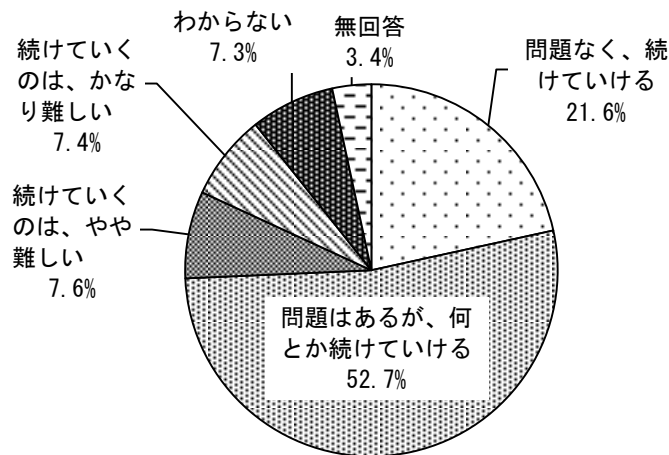


図 5.29 今後も働きながら介護を続けられるか<問 14-3>



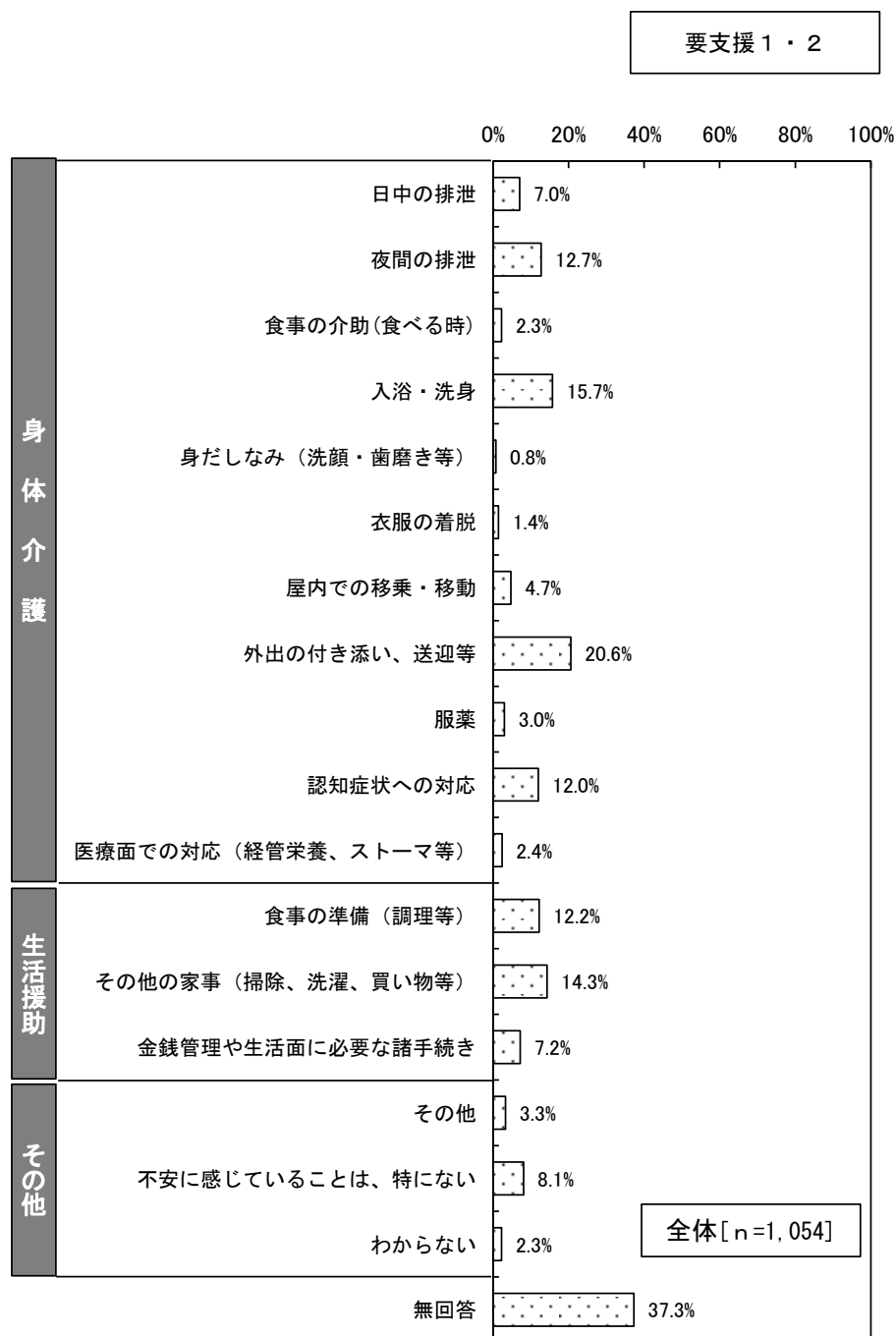
全体 n=1,479

5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

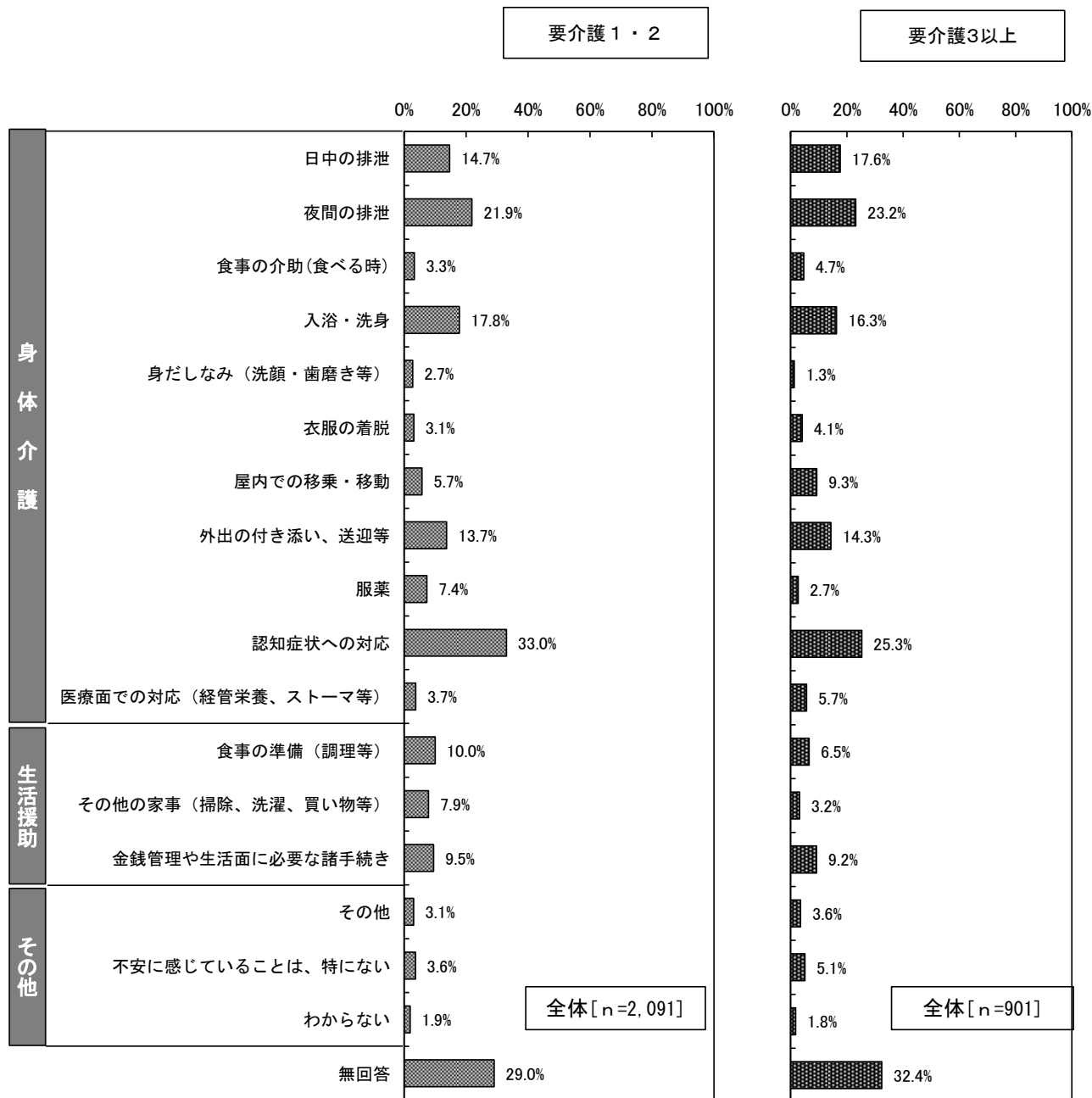
（1）主な介護者が不安を感じる介護等の内容

- 主な介護者が不安を感じる介護内容をみると、要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」（20.6%）、「入浴・洗身」（15.7%）、「夜間の排泄」（12.7%）、「認知症状への対応」（12.0%）で割合が高くなっています。
- 生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が14.3%、「食事の準備（調理等）」が12.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が7.2%となっています。

図 5.30 主な介護者が不安を感じる介護等<問 15>



- 要介護1・2の方の身体介護では、「認知症状への対応」(33.0%)、「夜間の排泄」(21.9%)、「入浴・洗身」(17.8%)で割合が高くなっています。
- 生活援助では、「食事の準備(調理等)」(10.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(9.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(7.9%)となっています。
- 要介護3以上の方の身体介護をみると、「認知症状への対応」(25.3%)、「夜間の排泄」(23.2%)、「日中の排泄」(17.6%)で割合が高くなっています。
- 生活援助では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が9.2%、「食事の準備(調理等)」が6.5%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が3.2%となっています。



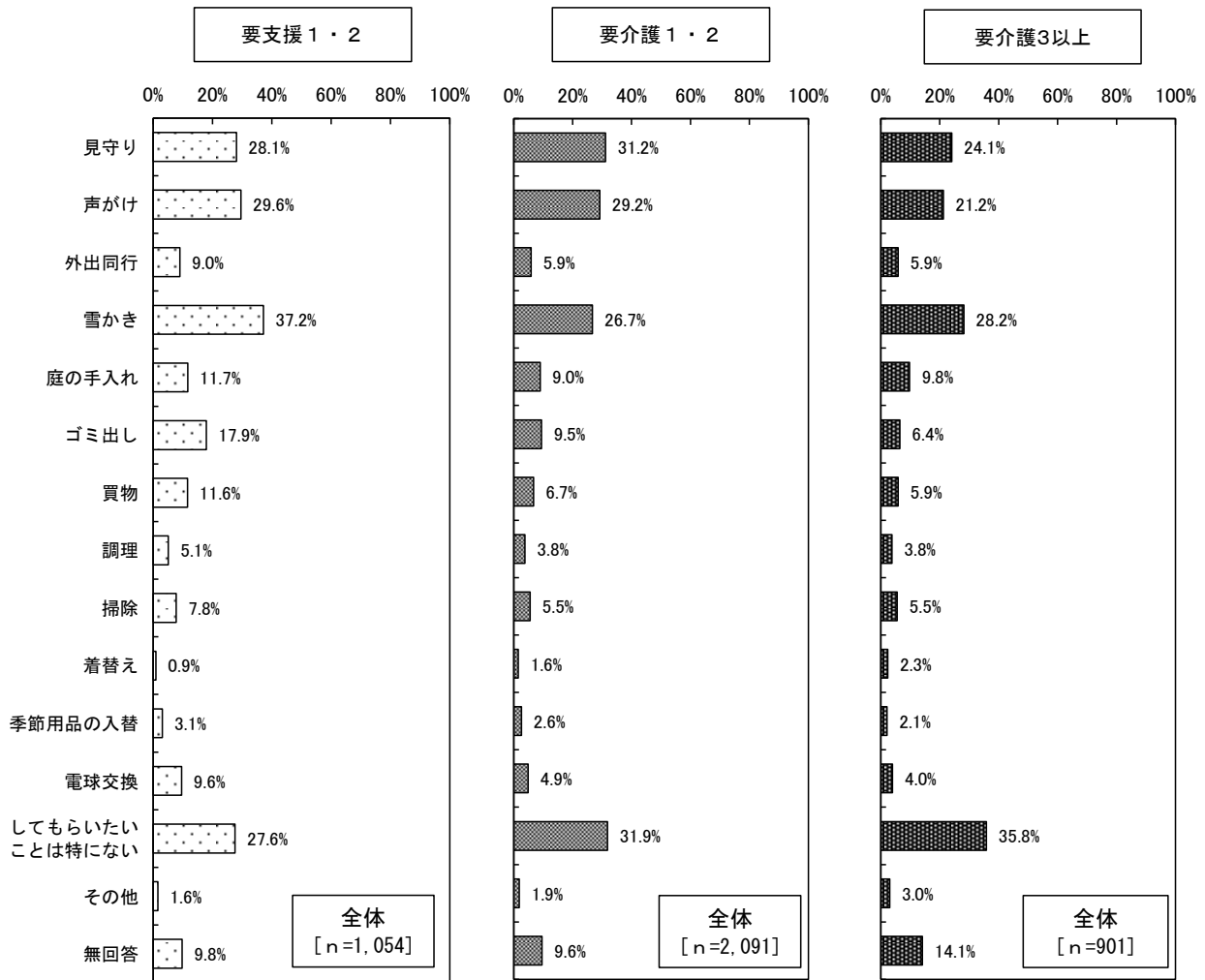
○生活の困りごとを近隣の人をお願いできるとしたら、要支援1・2は「雪かき」(37.2%)が最も高く、次いで「声がけ」(29.6%)、「見守り」(28.1%)となっています。

○要介護1・2では「見守り」(31.2%)が最も高く、次いで「声がけ」(29.2%)、「雪かき」(26.7%)となっています。

○要介護3以上では「雪かき」(28.2%)が最も高く、次いで「見守り」(24.1%)、「声がけ」(21.2%)となっています。

○一方、「してもらいたいことは特にない」と回答した方は、要支援1・2が27.6%、要介護1・2が31.9%、要介護3以上が35.8%となっています。

図 5.31 生活の困りごとを近隣の人をお願いできるとしたら<問 16>



6 もしものときの話し合いについて

- もしものときの話し合いの有無をみると、「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の割合を合わせると、要支援1・2は51.8%、要介護1・2は52.0%、要介護3以上は59.6%となっています。
- 話し合ったきっかけとしては、要支援1・2は「自分の病気」(48.4%)が最も高く、次いで「ご家族等の病気や死」(39.6%)、「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(23.8%)となっています。要介護1・2は「ご家族等の病気や死」(38.6%)が最も高く、次いで「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(36.8%)、「自分の病気」(34.7%)となっています。要介護3以上は「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(45.1%)が最も高く、次いで「医療関係者による説明や相談の機会を得た時」(36.7%)、「ご家族等の病気や死」(33.1%)、となっています。
- 話し合っていない理由として、要支援1・2、要介護1・2、要介護3以上のいずれも「話し合うきっかけがなかったから」(44.4%・49.7%・52.0%)が最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」(27.3%・23.4%・20.9%)となっています。

図 5.32 問17 もしものときの話し合いの有無<問17>

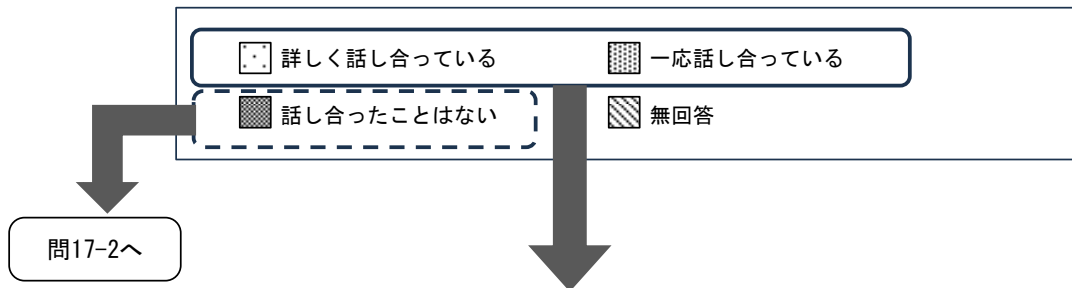
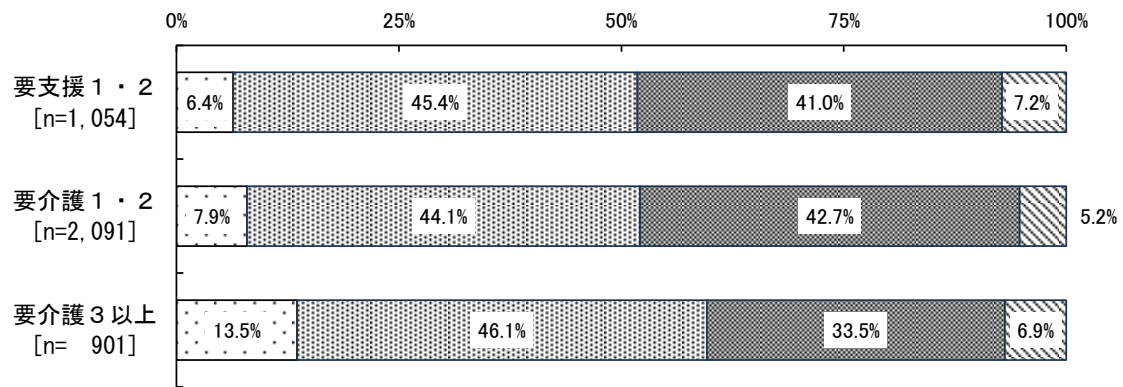


図 5.33 話し合ったきっかけ<問17-1>

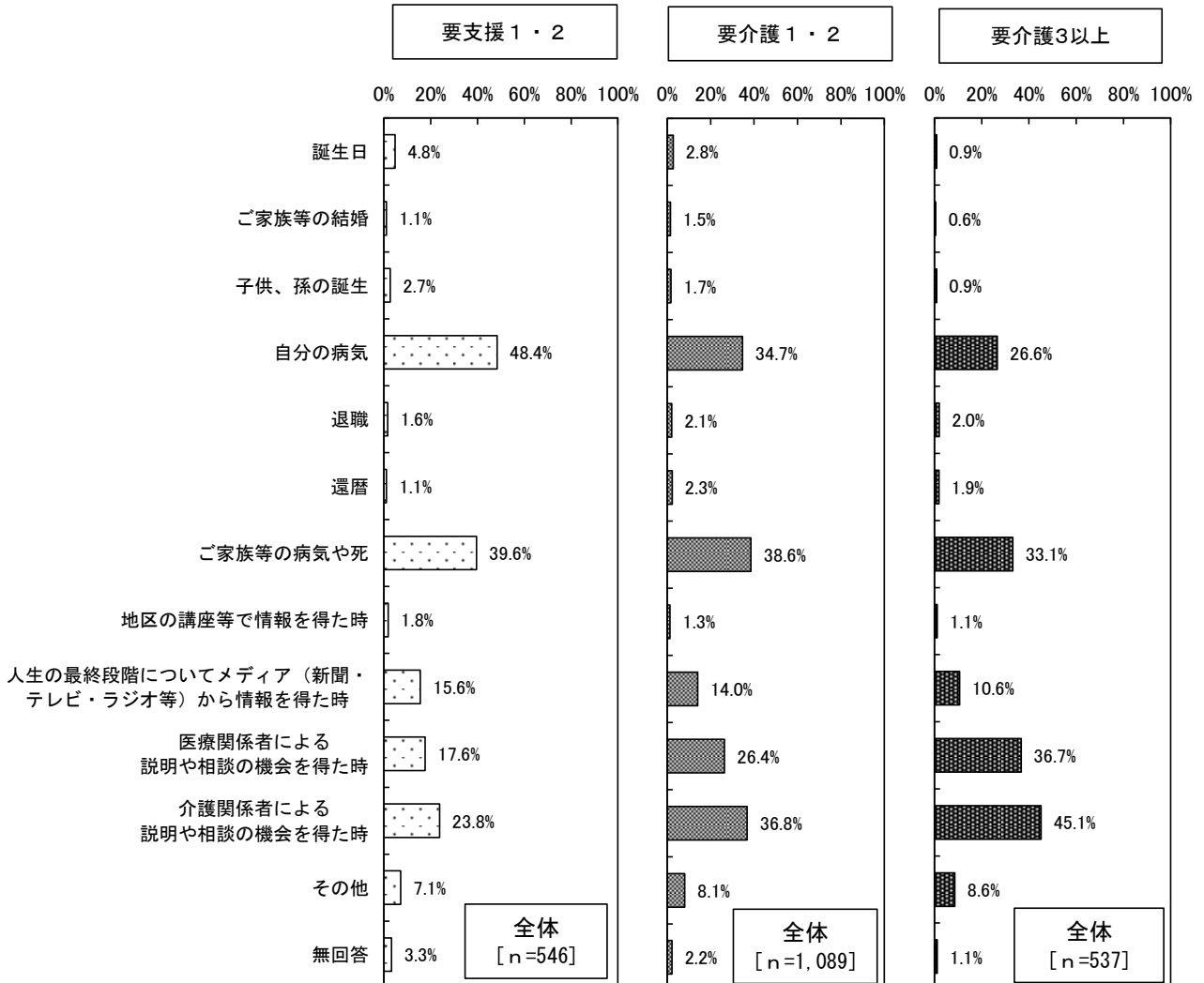
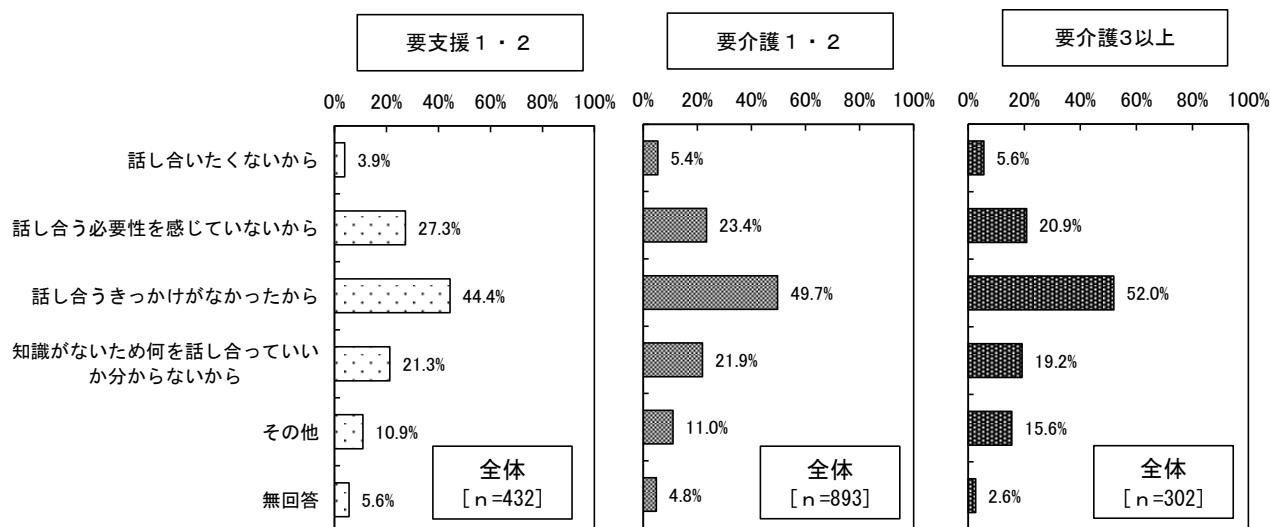
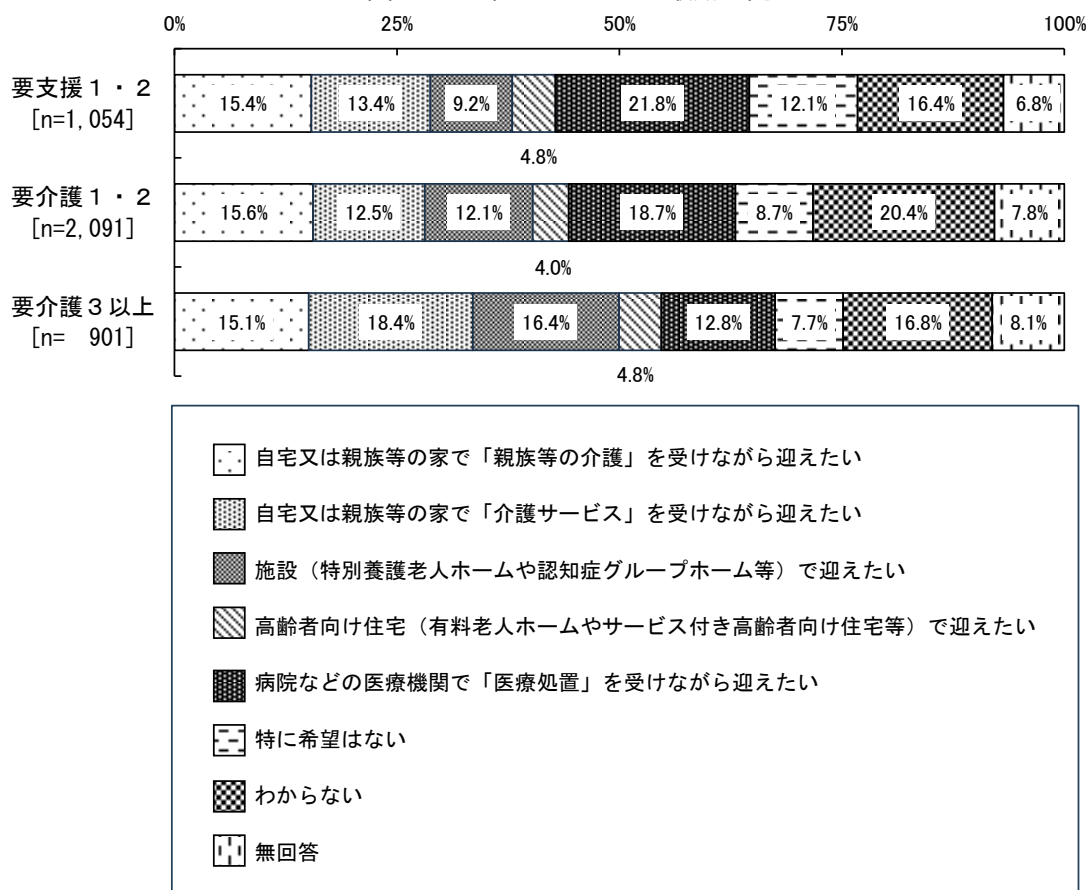


図 5.34 話し合っていない理由<問 17-2>



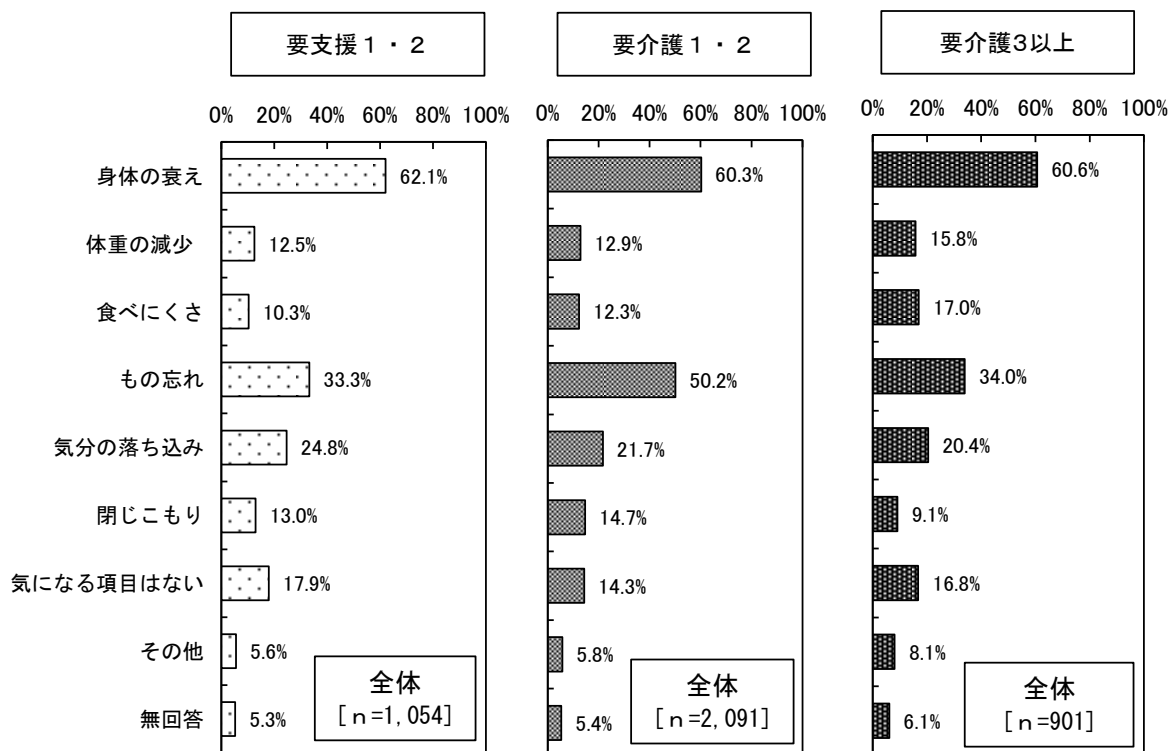
○希望する人生の最期については、要支援 1・2、要介護 1・2 はいずれも「病院などの医療機関で『医療処置』を受けながら迎えたい」(21.8%・18.7%) が最も高く、次いで「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(15.4%・15.6%) となっており、要介護 3 以上は「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら迎えたい」(18.4%) が最も高く、次いで「施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で迎えたい」(16.4%)、「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(15.1%) となっています。

図 5.35 希望する人生の最期<問 18>



○新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ、気になる項目については、要支援1・2、要介護1・2、要介護3以上いずれも「身体の衰え」（62.1%・60.3%・60.6%）が最も高く、次いで「もの忘れ」（33.3%・50.2%・34.0%）、「気分の落ち込み」（24.8%・21.7%・20.4%）となっています。

図 5.36 新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ、気になる項目＜問 19＞



資料編

資料編

1 電算処理の判定条件等

集計等の電算処理にあたっては、以下の判定条件に基づいて行いました。

■高齢者像の判定条件（該当設問に無回答があれば、「判定できず」とする）

	項目	判定条件
高齢者像	一般高齢者 ※要支援者・要介護者・事業対象者を除く65歳以上の高齢者の方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●事業対象者以外
	健康高齢者 ※一般高齢者のうち、介護予防事業対象者、サービス事業対象者に該当していない方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●事業対象者以外 and ●介護予防事業対象者以外 and ●サービス事業対象者以外
	介護予防事業対象者 ※一般高齢者のうち、サービス事業対象者と判定される方を除く、6つのリスク（「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知機能の低下」「うつ傾向」）の何れかに該当した方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●事業対象者以外 and ●サービス事業対象者以外 and ●「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知機能の低下」「うつ傾向」リスク判定のいずれかの該当者
	サービス事業対象者 ※一般高齢者のうち、6つのリスクの何れかに該当し、家族構成が一人暮らしか共に65歳以上の夫婦二人暮らしの方、もしくは日中独居状態がよくある方で何らかの介護・介助を受けているまたは必要としているが受けていない方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●事業対象者以外 and ●介護予防事業対象者以外 and ●問1-(1)で「1. 1人暮らし」or「2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」に回答 or 問1-(1)①で「1. よくある」に回答 ●問1-(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが現在は受けていない」に回答 or「3. 現在何らかの介護を受けている」に回答
	事業対象者 ※要支援者を除き、介護予防・日常生活支援総合事業の対象となっている方を称しています。	●事業対象者
	要支援者 ※要支援1・2の認定を受けている方を称しています。	●要支援認定者
	要介護者 ※要介護1～5の認定を受けている方を称しています。	●要介護認定者

■ リスクの判定条件

項 目		判定条件
運動器の機能低下	該当	・ 3点以上
	非該当	・ 0点以上2点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
低栄養の傾向	該当	・ 2点
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
口腔機能の低下	該当	・ 2点以上
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
閉じこもり傾向	該当	・ 2点
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
認知機能の低下	該当	・ 1点以上
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
うつ傾向	該当	・ 1点以上
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合

■運動器の機能低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」: 1点
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 または 「2. 1度ある」: 1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」: 1点

※3点以上: 該当 0点以上2点以下: 非該当

■低栄養の傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(1)	身長 () cm 体重 () kg	BMI < 18.5 : 1点
問3-(7)	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」: 1点

※2点: 該当 0点以上1点以下: 非該当

■口腔機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」: 1点
問3-(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3-(4)	口の湯きが気になりますか	

※2点以上: 該当 0点以上1点以下: 非該当

■閉じこもり傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」または 「2. 週1回」: 1点
問2-(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」または 「2. 減っている」: 1点

※2点: 該当 0点以上1点以下: 非該当

■認知機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問4-(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」: 1点
問4-(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」: 1点
問4-(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」: 1点

※1点以上: 該当 0点: 非該当

■ うつ傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問7-(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」：1点
問7-(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	

※1点以上：該当 0点：非該当

■ IADL（手段的自立度）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車可）	「1. できるし、している」 または 「2. できるけどしていない」：1点
問4-(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-(6)	自分で食事の用意をしていますか	
問4-(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4-(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

※0点以上3点以下：該当 4点以上：非該当

■ 知的能動性（社会参加）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1. はい」：1点
問4-(10)	新聞を読んでいますか	
問4-(11)	本や雑誌を読んでいますか	
問4-(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

※0点以上2点以下：該当 3点以上：非該当

2 アンケート調査票

(1) 高齢者の健康と生活状況調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

高齢者の健康と 生活状況調査

（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

調査票

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

山形市では、令和3年3月に令和3年度から令和5年度までを期間とする山形市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画）を策定し、「自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域とともに支えあい、健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくり～地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立～」を基本理念に、住み慣れた地域で安心して生活できる“まちづくり”を進めています。

このたび、令和5年度に、令和6年度から令和8年度までを期間とする新たな山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）の策定を予定しており、地域の課題や高齢者の皆様の要望（ニーズ）等を把握するためのアンケートを実施することとなりました。

この調査は、無作為に抽出した、山形市にお住まいの要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の方を対象としています。

なお、本調査で得られた情報は、皆様の健康情報という大切な個人情報であるという認識に立ち、山形市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに前述以外の目的に利用することはありません。

大変お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年2月

山形市長 佐藤 孝弘

記入日	令和 年 月 日	
※ <u>調査票を記入されたのはどなたですか。</u> ○をつけてください。		
1. あて名のご本人 が記入	2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 _____)	3. その他

ご記入後、お手数ですが、この調査票を折り畳んで同封の返信用封筒に入れ、

3月20日（月）までに

郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

ご記入にあたってのお願い

1. この調査対象者は、山形市にお住まいで、令和5年1月5日現在で要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙のあて名ラベルに記載の「あて名のご本人」についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。各設問には、令和5年2月時点の状況でご回答ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険サービスを受けている場合、又は認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び利用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び利用目的について】

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。
ただし、地域分析等にあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が特定されない形で利用することがあります。



アンケートの協力をお願いしますベニ！

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 () | |

【(1) において「1. 1人暮らし」以外の方のみ】

① 日中、1人になることがありますか (○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. 介護・介助は必要ない | 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | |

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (○はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------------|-------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 | |
| 3. がん (悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) | |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等) | 6. 認知症 (アルツハイマー病等) | |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 | 9. 腎疾患 (透析) |
| 10. 視覚・聴覚障害 | 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他 () | 15. 不明 |

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか (○は1つ)

1. 持家 (一戸建て) 2. 持家 (集合住宅)
3. こうえいちんたいじゅうたく 公営賃貸住宅 4. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅 (一戸建て)
5. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅 (集合住宅) 6. 借家
7. その他 ()

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 病気 | 2. 障害 (脳卒中 ^{しょうがい} の後遺症 ^{のうそっちゅう} など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配 (失禁 ^{ろういしょう} など) |
| 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他 () |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 () | | |

【(4) において「3. できない」(バスや電車を使って1人で外出できない)の方のみ】

① その理由は何ですか (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 体力的に難しい | 2. バス停や駅が近くに無い |
| 3. 使いたいときにちょうどいいバスや電車がない(本数が少ない) | 4. 乗り方が分からない |
| 5. 乗り継ぎが分からない | 6. その他 () |

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

【(5) において「3. できない」(自分で買物できない)の方のみ】

① その理由は何ですか (○はいくつでも)

1. 買った物を持って帰るのが難しい
2. 店が近くにあるが歩いていくのが難しい
3. 店が近くにない
4. 店までの移動手段がない
5. 買物の仕方が分からない
(何を買ったらいいか分からない、レジでの支払い方が分からないなど)
6. その他 ()

【(5) において「3. できない」(自分で買物できない)の方のみ】

② 食品・日用品の買物をする人は主にどなたですか (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------------------|----------|---------|
| 1. 同居の家族 | 2. 別居の家族 | 3. 近隣の人 |
| 4. 友人 | 5. ヘルパー | |
| 6. ボランティアによる買物の生活支援サービスを利用 | | |
| 7. その他 () | | |

(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

【(6) において「2. できるけどしていない」「3. できない」(自分で食事の用意をしていない)の方のみ】

① その理由は何ですか (〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 体力的に難しい | 2. 料理の仕方が分からない |
| 3. 自分の役割ではない | 4. 火の使用に注意が必要だから |
| 5. その他 () | |

【(6) において「2. できるけどしていない」「3. できない」(自分で食事の用意をしていない)の方のみ】

② 食事の用意をする人は主にどなたですか (〇はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 同居の家族 | 2. 別居の家族 |
| 3. ヘルパー | 4. 配食サービスを利用 |
| 5. その他 () | |

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

【(8) において「3. できない」(自分で預貯金の出し入れができない)の方のみ】

① その理由は何ですか (〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 体力的に難しい | 2. 銀行等が近くにない |
| 3. 銀行等までの移動手段がない | 4. 預貯金の出し入れ方が分からない |
| 5. その他 () | |

【(8) において「3. できない」(自分で預貯金の出し入れができない)の方のみ】

② 預貯金の出し入れをする人は主にどなたですか (〇はいくつでも)

- | | |
|---|----------|
| 1. 同居の家族 | 2. 別居の家族 |
| 3. 福祉サービス利用援助事業 (判断能力が不十分な方でも福祉サービスが利用できるよう、これに伴う金銭管理等をあわせて行う仕組み) | |
| 4. その他 () | |

【(22) において「1. 利用している」の方のみ】

①インターネットの利用目的は何ですか（数字に○をつけてください）（○はいくつでも）

【通信・情報発信での利用】

1. 電子メールの送受信
2. LINE（ライン）の利用
3. LINE（ライン）以外のコミュニケーションツールの利用（Facebook（フェイスブック）、Instagram（インスタグラム）、Twitter（ツイッター）など）
4. Zoom（ズーム）などを使ったオンライン形式の会議等

【情報検索での利用】

5. 情報検索（天気、ニュース、地図、交通情報など）
6. ホームページやブログの閲覧
7. 動画共有サイトの閲覧（YouTube（ユーチューブ）など）

【買い物・手続き等での利用】

8. 金融取引（インターネット銀行、証券取引等）
9. 商品の購入（インターネットショッピング、オークション）
10. 電子申請（設備予約、税申告など）
11. QRコード、バーコード決済（PayPay（ペイペイ）など）

【娯楽での利用】

12. オンラインゲームの利用
13. その他（ ）

(23) 自動車の運転免許証を持っていますか（○は1つ）

1. 持っている
2. 持っていない

【(23) で「1. 持っている」の方のみ】

① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ることは何ですか（○はいくつでも）

1. 仕事（就労）
2. ボランティア・町内会・自治会などの社会参加活動
3. 食品や日用品の買物
4. 衣料品などの買物
5. 病院への通院
6. 診療所への通院
7. 行政機関の手続き
8. 金融機関の手続き
9. 趣味やスポーツなどの活動
10. 友人・親戚等との交流
11. その他（ ）

【(2)において「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」「3. 参加したくない」の方のみ（現在、参加者として活動に参加していない方）】

① 現在、参加していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 体力的に難しい | 2. 活動場所までの移動手段がない |
| 3. 活動に関する情報がない | 4. 興味のある活動がない |
| 5. 参加の誘いがない | 6. 一緒に参加する友人がいない |
| 7. その他（ | ） |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

【(3)において「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」「3. 参加したくない」の方のみ（現在、企画・運営（お世話役）として活動に参加していない方）】

① 現在、参加していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 体力的に難しい | 2. 活動場所までの移動手段がない |
| 3. 活動に関する情報がない | 4. 興味のある活動がない |
| 5. 参加の誘いがない | 6. 一人で参加するのは心細い |
| 7. その他（ | ） |

(4) あなたは地域でどんな支援ができると思いますか（〇はいくつでも）

- | | | | |
|----------|----------|-------------|----------|
| 1. 見守り | 2. 声かけ | 3. 外出同行 | 4. 雪かき |
| 5. 庭の手入れ | 6. ゴミ出し | 7. 買物 | 8. 調理 |
| 9. 掃除 | 10. 着替え | 11. 季節用品の入替 | 12. 電球交換 |
| 13. できない | 14. その他（ | | ） |

【(4)で「13. できない」（地域で支援できない）の方のみ】

① その理由は何ですか（〇はいくつでも）

- | | | |
|------------------|---------------|---|
| 1. 体力的に難しい | 2. 時間がない | |
| 3. 支援が必要な人が分からない | 4. 一人ではやりたくない | |
| 5. 支援する意思がない | 6. その他（ | ） |

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | ） | 8. そのような人はいない |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（○はいくつでも）

- | | | |
|---------------------|-----------------|---|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 | |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 | |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他（ | ） |
| 7. そのような人はいない | | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（○は1つ）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)
同じ人には何度会っても1人と数えることとします

1. 0人 (いない) 2. 1~2人 3. 3~5人
4. 6~9人 5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 () 8. いない

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている
2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ()

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

(3) 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか (○は1つ)

1. ある
2. ない
3. 講座がどのようなものかわからない

問9 介護が必要になった場合の生活等について

(1) 介護が必要になった場合、どこでどのように生活をしていきたいですか (○は1つ)

1. 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら生活したい
2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら生活したい
3. 施設 (特別養護老人ホームや認知症グループホーム等) で生活したい
4. 高齢者向け住宅 (有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等) で生活したい
5. わからない

問10 もしものときの話し合いについて

ここからは、少し踏み込んだ質問になります。

大きな病気やケガにより命の危機が迫った状態になると、約70%の方が、考えや望みを人に伝えることができなくなると言われています。

もしものときに備え話し合うことはとても大切なことですので、もしものことを想像しながらお答えください。

(1) もしものときのために(※)、これまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか(○は1つ)

1. 詳しく話し合っている
2. 一応話し合っている
3. 話し合ったことはない

※もしものときのために、あなたの大切にしていることや、あなたが望む医療や介護について、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うことを「人生会議(ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」と呼び、国が推奨しています。

【(1)において「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応話し合っている」の方のみ】

① 話し合ったきっかけは何ですか(○はいくつでも)

1. 誕生日
2. ご家族等の結婚
3. 子供、孫の誕生
4. 自分の病気
5. 退職
6. 還暦
7. ご家族等の病気や死
8. 地区の講座等で情報を得た時
9. 人生の最終段階についてメディア(新聞・テレビ・ラジオ等)から情報を得た時
10. 医療関係者による説明や相談の機会を得た時
11. 介護関係者による説明や相談の機会を得た時
12. その他()

【(1)において「3. 話し合ったことはない」の方のみ】

② その理由は何ですか(○はいくつでも)

1. 話し合いたくないから
2. 話し合う必要性を感じていないから
3. 話し合うきっかけがなかったから
4. 知識がないため何を話し合っているかわからないから
5. その他()

(2) もしものときは、どこで、どのように人生の最期を迎えることを希望しますか
(○は1つ)

1. 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい
2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい
3. 施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で迎えたい
4. 高齢者向け住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等）で迎えたい
5. 病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい
6. 特に希望はない
7. わからない

問 1 1 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症流行以前（令和元年）と比べ、気になる項目は何ですか（○はいくつでも）

- | | | |
|--------------|------------|----------|
| 1. 身体の衰え | 2. 体重の減少 | 3. 食べにくさ |
| 4. もの忘れ | 5. 気分の落ち込み | 6. 閉じこもり |
| 7. 気になる項目はない | 8. その他（ | ） |

(2) 山形市は文化創造都市の実現を目指しています。生活の中で文化・芸術の鑑賞や活動に取り組んでいますか（例：音楽、舞踊、美術、文芸、茶道、華道、映画、演芸落語など）（○は1つ）

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 年に数回程度取り組んでいる |
| 3. 取り組んでいないが、今後取り組みたい | |
| 4. 関心はあるが取り組んでいない | |
| 5. 関心がなく、今後も取り組むつもりはない | |

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

3月20日（月）までに郵便ポストに投函してください。

(2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査（在宅介護実態調査）

高齢者の生活と 介護者の就労状況調査 （在宅介護実態調査） 調査票

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

山形市では、令和3年3月に山形市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画）を策定し、「自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域とともに支えあい、健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくり～地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立～」を基本理念に、介護や支援を必要とする方々と家族等介護者にとって住みよい“まちづくり”を進めております。令和5年度の計画の見直しにあたって、介護を必要とする高齢者等が自分らしく在宅生活を続けられる体制の整備や、家族介護者の介護離職をなくし、地域住民が役割を持って、支え合いながら活躍できる「地域共生社会」の実現に向けた介護サービスのあり方を把握するため、アンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、無作為に抽出した、山形市にお住まいの65歳以上の要支援・要介護認定者（以下「要介護者」という。）のうち、在宅で生活している方及びその介護者の方を対象としています。

なお、本調査で得られた情報は、山形市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに前述以外の目的に利用することはありません。

大変お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年2月

山形市長 佐藤 孝弘

ご記入後、お手数ですが、この調査票を折り畳んで同封の返信用封筒に入れ、

3月27日（月）までに

郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

山形市 長寿支援課

電話：641-1212（内線653）

FAX：624-8398

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、要介護者ご本人及び主な介護者の方についてお答えいただくアンケートです。各設問には、**令和5年2月時点**の状況でご回答ください。
2. 回答は、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合があります。回答は、設問ごとに示している指示に従ってください。
3. 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、ことわり書きや矢印がある場合は指示に従い、次へお進みください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び利用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び利用目的について】

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、山形市高齢者保健福祉計画（第9期介護保険事業計画）策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。
ただし、地域分析等にあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が特定されない形で利用することがあります。



アンケートの協力をお願いしますベニ！

問A 現在、この調査票に回答されているのはどなたですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. あて名のご本人(要介護者) | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 担当ケアマネジャー |
| 5. その他() | |

I ご本人(要介護者)の状況について

問1 世帯類型はどれに該当しますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他() |
|---------|-----------|-----------|

問2 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか。(○は1つ
(同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。))

- | | | |
|-------------|----------------------------|-----------|
| 1. ない ⇒ 問8へ | 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | |
| 3. 週に1~2日ある | 4. 週に3~4日ある | 5. ほぼ毎日ある |

II 主な介護者等の状況(属性等)について

問3 主な介護者の方は、ご本人(要介護者)から見てどなたになりますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他() |

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢はどれに該当しますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満
⇒ 学生の方は問5-1へ | 2. 20~29歳 | 3. 30~39歳 |
| 4. 40~49歳 | 5. 50~59歳 | 6. 60~69歳 |
| 7. 70~79歳 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問5-1 問5において「1. 20歳未満」かつ学生の方にお伺いします。

就学の状況はどれに該当しますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------------|
| 1. 小学生 | 2. 中学生 |
| 3. 高校生 | 4. 大学生、短大生、専門学校生等 |
| 5. 休学中 | 6. その他() |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等はどれですか。(○はいくつでも)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内での移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | |
|------------|
| 15. その他() |
| 16. わからない |

問7 ご家族や親族の方で、ご本人(要介護者)の介護のために、過去1年の間に仕事(※1)を辞めた方・転職された方はいますか。(○はいくつでも)

(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) ⇒ 問7-1~問7-2へ
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) ⇒ 問7-1~問7-2へ
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※1 自営業や農林水産業の仕事を辞めた・転職した場合も含まれます。

問7-1 問7において「1. 主な介護者が仕事を辞めた」「2. 主な介護者以外の家族・

親族が仕事を辞めた」の方にお伺いします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事と介護の両立が難しい職場だったため
2. 自分自身で介護するとサービスなどの利用料を軽減できるため
3. 自分の心身の健康状態が悪化したため
4. 施設へ入所できず介護の負担が増えたため
5. 在宅介護サービスを利用できず介護の負担が増えたため
6. 家族や親族等からの理解・協力が十分得られなかった又は家族や親族等が介護に専念することを希望したため
7. 自分自身の希望として介護に専念したかったため
8. 要介護者から介護に専念することを希望されたため
9. 介護を機に辞めたが、理由は介護に直接関係ない
10. その他 ()

問7-2 問7において「1. 主な介護者が仕事を辞めた」「2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」の方にお伺いします。

その際に、どこかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

1. 地域包括支援センター
2. ケアマネジャー・サービス事業所等
3. 労働局（ハローワーク）
4. 社会福祉協議会
5. 家族・親族
6. 近隣の人（民生委員、町内会、地区社協、福祉協力員等含む）
7. 職場
8. 医療機関の相談窓口等
9. 相談していない
10. その他 ()

Ⅲ 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて

問8 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービス（※2）は、何を利用していますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他（ ） |
| 11. 利用していない | |

※2 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

問9 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス（※3）（現在利用中を含む）が必要だと思えますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他（ ） |
| 11. 特にない | |

※3 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

問9-1 また、次のどの介護サービスが必要だと思えますか。（○は1つ）

1. ヘルパーや看護師等が訪問し、介護や療養上の支援をする訪問系のサービス
2. デイサービスなど日帰りで施設を利用する通所系のサービス
3. ショートステイなど施設に短期間入所する短期系サービス

問10 現時点において、施設等（※4）への入所・入居を検討されていますか。
（○は1つ）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居の申し込みをしている

※4 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 ご本人（要介護者）が、現在抱えている傷病名を教えてください。
（○はいくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他（ ）
15. なし
16. わからない

問12 ご本人（要介護者）は、現在、訪問診療（※5）を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している
2. 利用していない

※5 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか
（○は1つ）

1. 利用している ⇒ 問14へ
2. 利用していない ⇒ 問13-1へ

問13-1 問13において介護保険サービスを「2. 利用していない」方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人(要介護者)にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない
9. その他()

※ここからは、「主な介護者」の方がご回答ください。「主な介護者」の方のご回答が難しい場合は、ご本人(要介護者)が記入されるか、無回答で結構です。

IV 主な介護者の就労状況について

問14 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. フルタイムで働いている | ⇒ 問14-1～問14-3へ |
| 2. パートタイム(※6)で働いている | ⇒ 問14-1～問14-3へ |
| 3. 働いていない | ⇒ 問15へ |
| 4. わからない | ⇒ 問15へ |

※6 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

V 介護生活が続ける際の不安や困りごと

問15 (在宅生活を送る要介護者を介護している)現在の生活を今後も続けていくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等はどれですか。(〇は3つまで)

(現在行っているかどうかは問いません。)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内での移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------|----------------------|
| 15. その他() | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. わからない | |

※ここからは、ご本人(要介護者)又は主な介護者の方のどちらかがご回答いただいても結構です。

問16 あなたの生活の困りごとを近隣の人をお願いできるとしたら、どのようなことをお願いしたいですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|-------------|----------|
| 1. 見守り | 2. 声かけ | 3. 外出同行 |
| 4. 雪かき | 5. 庭の手入れ | 6. ゴミ出し |
| 7. 買物 | 8. 調理 | 9. 掃除 |
| 10. 着替え | 11. 季節用品の入替 | 12. 電球交換 |
| 13. してもらいたいことは特にない | 14. その他() | |

問17-2 問17において「3. 話し合ったことはない」方にお伺いします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 話し合いたくないから
2. 話し合う必要性を感じていないから
3. 話し合うきっかけがなかったから
4. 知識がないため何を話し合っているかわからないから
5. その他 ()

問18 もしもの時はどこで、どのように人生の最期を迎えることを希望しますか。

(〇は1つ)

1. 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい
2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい
3. 施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で迎えたい
4. 高齢者向け住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等）で迎えたい
5. 病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい
6. 特に希望はない
7. わからない

VII その他

問19 新型コロナウイルス感染症流行以前（令和元年）と比べ、ご本人（要介護者）の状態で気になる項目は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------------|------------|----------|
| 1. 身体の衰え | 2. 体重の減少 | 3. 食べにくさ |
| 4. もの忘れ | 5. 気分の落ち込み | 6. 閉じこもり |
| 7. 気になる項目はない | 8. その他 () | |

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

3月27日（月）までに郵便ポストへご投函ください。

高齢者実態調査結果報告書

発行日 令和5年7月

発行 山形市

編集 山形市 福祉推進部 長寿支援課

住所 〒990-8540 山形県山形市旅籠町二丁目3番25号

TEL : 023-641-1212 (代表)

<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/>